ミルコvsシウバ戦浮上！ ノゲイラ、K−1参戦か？

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年3月28日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第4巻・7号・通巻66号

SRDX

No.66
2002
3・28
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

「石井館長」様の宣戦布告

今度のターゲットはPRIDEか？

JUST BRING IT!

かかって来い！

SRDX 3・28 No.66

3.1 WWF日本上陸はマット界をどう変える？
3.3 K−1 WORLD GP in 名古屋大会詳報

定価680円 本体648円

次は「K-1 vs PRIDE」か？
マット界、潰し合いへ

ノゲイラ様も宣戦布告！

な、なんと「K-1GPに出たい！」

覚悟しろ、小川、藤田、ミルコ！みんなブッ潰してやるぅ！

『プライド』のヘビー級王者であるアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（25）が、『プライド19』後にバカンスでバリ島へ行っていた帰りに成田空港に立ちより、爆弾発言を行った。なんと、"プロレス・ハンター"と呼ばれるミルコ・クロコップに挑戦を表明するだけでなく、石井館長がよければK―1グランプリに参戦したいと言い出したのだ。ノゲイラは何も『プライド』ルールでK―1戦士と闘おうと言っているのではない。K―1ルールでも、ミルコやマイク・ベルナルドらと勝負しようというのである。しかも、K―1グランプリのトーナメントに参加しようというのは、本当に面白すぎる。さらにノゲイラは、プロレスのリングに上がって、小川直也や藤田和之らとも闘い、ブッ潰すことを宣言。21世紀最強の男と呼ばれるノゲイラの無差別攻撃には、夢が膨らむばかりだ。

▲あまりに強すぎて対戦者がいないと言われているノゲイラ。まさかK―1ルールでもOKと考えているとは……

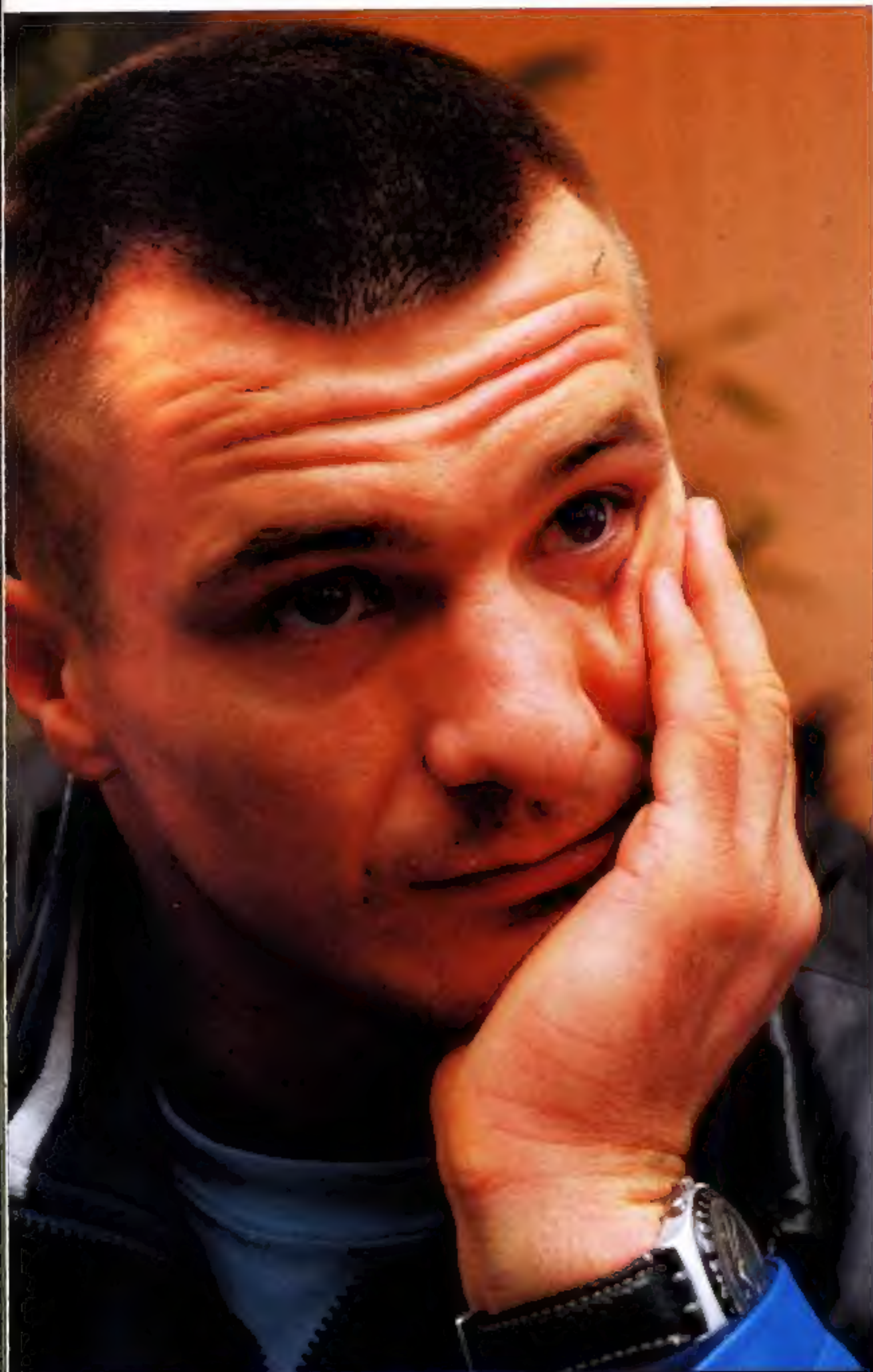
最強の賞金首に大変身 ミルコ・クロコップ

「シウバの下にならない自信はあるね!」

3月3日、K―1ワールドGP名古屋大会でK―1ワールドGP王者のマーク・ハントを倒し、現時点でのK―1最強の男となったミルコ・クロコップ。ミルコは同時に今、マット界最強の賞金首になっている。そんなミルコに対して、次のチャレンジャーとして浮上したのが、『プライド』ミドル級王者のヴァンダレイ・シウバであり、ヘビー級王者のアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラだ。そんな渦中のミルコを、名古屋大会翌日にインタビューしてみた。

取材◎小松伸太郎

CROCOP

ハント戦で急に苦しい顔をしたのは、やはり左の拳を痛めたからだ

—昨日、試合が終わったばかりだというのに過密スケジュールですね。僕らもミルコさんのインタビュー時間がなかなかとれなくなったので、こんなところまで追って来てすいません（笑）。

ミルコ　なるべく早めにすませてくれないかな。お腹が空いてるんだ。

—あ、そうですか（笑）。先ほどスパゲッティが食べたいとおっしゃってましたけど、好きなんですか？

ミルコ　……ミートソースしか食べないよ。これもインタビューかい？　食べものに関してはいろいろ厳しいんだ。私自身も好き嫌いがあって、ソース類は好きじゃないし、野菜類も好きじゃない。本当にシンプルなものしか食べないんだよ。ウェルダンで焼かれたステーキとか、ご飯とか、そういうものが好きなんだ。

—主食は肉ばかり？

ミルコ　もちろん、焼かれた肉だけどね。生肉は食べないよ。

—まさにK—1の肉食獣ですね。

ミルコ　まあ、肉ばかり食べているからそういう力は出るね。

—どうですか？　昨日、K—1キングと闘った感想は？

ミルコ　昨日、皆さんが全てを見ていると思うので、どうだったかという判断はお任せするよ。

—ハントに対しては、どの瞬間で勝てると思いましたか？

ミルコ　カードが組まれた瞬間だ。

—あ〜、そんなに早く（笑）。

ミルコ　カードが決まった段階で勝つ自信は持っていたし、自分はいつも自信に満ちている。それもどう闘おうと勝てる自信は持っていたね。

—ミルコさんのその自信は、いったいどこから来るんですか？

ミルコ　それは日々のトレーニングからだ。私は毎朝6時に起きて、テロ対策の特殊部隊のほうであらゆる訓練をしているからね。自分が率いているメンバーにキックボクシングから、バーリ・トゥード、格闘技と呼べるモノは全て教えている。それから夕方の4時に帰宅して、仮眠をとって、午後7時から9時まで自分のトレーニングをして、夕食をとってから休む。毎日がその繰り返しなんだ。これだけのトレーニングをやってたら、自分が勝つのは当たり前だろう。私はそれほど格闘技の世界にのめり込み、努力しているからね。

—凄まじいですね。ところで、試合中盤から急にミルコさんは弱々しい顔になりましたけど、それは？

ミルコ　たしかにハントは強いので、苦しい試合だった。

—テレビで石井館長がミルコさんは左の拳を痛めたんじゃないかと言ってたんですけど、それはどうですか？

ミルコ　うん、それはご覧のとおり、左の2本の指をケガしたんだ。石井館長のご指摘のとおりさ。

—それで後半はハイキックを多用したんですか？

ミルコ　そうだ。

—ラウンド間のインターバルではセコンドにかなり大声で叫んでいたように見えたんですけど、どんな会話をしていたんですか？

ミルコ　基本的に戦術や戦略を話し合ってただけだよ。まあ、自分が話し合っていたというよりも、セコンドが私に指示を出していただけで、私はずっと黙って聞いていた。基本的にインターバルの時はセコンドが指示を出すだけで、私はそれをもっとやるべきなのか、やめるべきなのかをずっと考えているだけだよ。

—でも、レポーターは、ミルコさんがケガをしたのかもしれないし、イライラしていたようにも見えたと言っていたんですけど。

ミルコ　昨日のことだから覚えてないな。試合中のことだしね。ヒジか頭か、固いところにパンチをしてケガしてしまったと思うんだけど、それはちょっと覚えていない。もしかしたら苛立ってたかもしれないけど、今は覚えていないね。

—ミルコさんの左のハイキックって、みんな来るのが分かっていても食らってしまうんですけど、それは誰かから教わったテクニックなんですか？　それとも自分で身に付けたものですか？

ミルコ　いろんなトレーニングを積んで得たもので、自然に身に付けたものだ

◀3・3K—1名古屋大会の閉会式で、石井館長はリング上からマット界に対して高らかに無差別宣戦布告を行った。昨年の猪木軍との抗争に続き、今年もK—1が、石井館長がマット界を大きくかき回しそうだ

シウバが上になるのがうまいと言っても私はすぐに立つだけだね

ね。いつ頃からっていうのも分からないし、誰から学んだということもない。

――試合後、ミルコさんに次はヴァンダレイ・シウバを当てたいという話を石井館長から聞いたんですけど。

ミルコ 聞いてるよ。

――シウバ戦を聞いた時は、どういうふうに思いました？

ミルコ いい試合になるよ。

――K―1ルールと「プライド」ルール、シウバとやるんだったら、どっちがいいですか？

ミルコ どっちでもいいよ。

――シウバって「プライド」のミドル級王者ですし、相当な強豪なんですが、それについてはどう思います？

ミルコ べつに彼が「プライド」のミドル級王者であっても、自分にとっては普段の試合となんら変わりはないよ。

――今までと変わらない？

ミルコ なんでそこで違いがあるんだ？

――いやぁ～、寝技もあるし。

ミルコ 自分はリングに倒されないようにするし、それはあり得ないね。

――グラウンドはあり得ない？

ミルコ もちろん試合中はなんでも起こり得るけど、シウバにやらせないだけだよ。

――やっぱりそういう自信もトレーニングから身に付くものなんですかね。

ミルコ そうだ。

――シウバ戦について関連してお聞きしますけど、桜庭選手は知ってますか？

ミルコ 知ってるよ。

――桜庭選手は日本でもトップクラスの強い選手なんですけど、シウバはその桜庭選手に2回も勝っているんです。それほどシウバは強いんですけど、それでも自信は揺るがないですか？

ミルコ サクラバがシウバに負けたのも知っているし、東京ドームでの試合も見たよ。でも、私はシウバを負かせる自信はあるし、サクラバに勝つ自信もあるね。

――あの桜庭VSシウバ戦を見た感想っていうのはどうだったんですか？

ミルコ いい試合だったね。それ以外のものは何もない。

――じゃあ、その一方で「プライド」のヘビー級王者であるアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ選手がミルコ選手に挑戦を表明しています。それについてはどう思います？

ミルコ それはK―1ルールかい？　それとも「プライド」ルール？

――えーっと、両方だと思うんですけど。

ミルコ 1試合目はK―1ルールで、2試合目は「プライド」ルールで闘えれば、私としても非常に嬉しい。そういうふうにルールをお互いに譲り合っていければ、非常に平等な闘いになるからね。ノゲイラについては、バーリ・トゥードの世界では最強の天才だと思っているよ。

――でも、石井館長は「まずはシウバがいいんじゃないか」って言ってました。

ミルコ だから、それは石井館長に任せるよ。私の目標は、あくまでもK―1チャンピオンになることだからね。

――あの～、しつこいようですけど、シウバって、打撃の選手なんですけど、相手をテイクダウンさせて、上からボコボコに殴るのが戦法なんですよ。ミルコさんは「プライド」のルールでやっても、下にならない自信ってあるんですか？

ミルコ ……シウバに下にされても、自分はまた立ち上がるよ。

――シウバって、本当に上になると動かなくて、立ち上がるのは難しいんですけど、それでも……？

ミルコ 何度同じことを聞かれても、自分は立ち上がると言ったんだから立ち上がるよ。彼が不死身の男で、宇宙人だったら別だけど、同じ人間なんで立ち上がると言った以上、立ち上がるだけだ。

――こういうことを聞くのは、グラウンドでの不安はもうないのかなと思ったからなんですけど。

ミルコ だから？

――申し訳ありませんでした（笑）。

ミルコ 自分も頭が悪いわけじゃないし、毎日ガードポジションとか、グラウンドの練習もしている。そういうトレーニングによって自信も持っているんで、こういう答え方をさせてもらったんだ。

――は、はい。ミルコさんは、K―1の闘いと「プライド」のような闘いとどっちが好きなんですか？

ミルコ K―1やキックのような立ち技格闘技は、非常にダイナミックな闘いだ。動きが激しいし、キックやパンチなどエキサイティングな攻防が主になる。それに対して「プライド」は組み技が多くて、技としてはチョークやサブミッションなど多彩だけど、ダイナミックさの点で言えばK―1のほうが面白いんじゃないかな。自分自身、「プライド」のような闘いはやっていきたいという意思はあるし、好きだよ。けれども、バーリ・トゥードというのは、ストリートファイトの延長線上にあるのに対し、K―1はひとつの芸術じゃないかなと思う。昨日の試合でも、ハイキックという一瞬をとらえた技で、非常にクリーンに、はっきり決まっただろう。レイ・セフォーとマイク・ベルナルドの試合だって、マイクがガードを下げた一瞬を狙って、レイの右アッパーがきれいに決まった。ああいう、決め技の美しさはK―1のほうが上

次は「K-1 vs PRIDE」か？
マット界、潰し合いへ

プロレスは好きじゃないね。殺し屋と呼ばれるのは訂正してほしい

だと思う。そもそも「プライド」はリングの凄く下のほうで勝負が決まるじゃないか。だからお客さんにとっては見えづらいし、K—1のほうが分かりやすいんじゃないかな。でも、誤解してほしくないのは、「プライド」のような闘いには勇気がいるし、彼らの勇気とか、技術のレベルの高さは高く評価しているよ。

—なるほどねぇ。じゃあ、ミルコさんはプロレスについてはどう思います？ まず、そもそもプロレスを見たことはありますか？

ミルコ テレビで何度か見たことがある。特に意識的に見たってことはないけどね。

—好きか嫌いかで言ったら、プロレスは好きですか？

ミルコ 好きじゃないね。

—それは、どういうところがですか？

ミルコ 単純に嫌いなだけだ。それ以上のことは何もない。

—じゃあ、ミルコさんは〝プロレス・キラー〟とか〝プロレス・ハンター〟と呼ばれていますけど、それは当然だろうっていう気持ちが強いんですか？

ミルコ まず私は殺し屋ではないので、そこは訂正してほしいね。私はファイターであるしノーマルガイだ。まして自分は警察官であり、ファイターであり、スポーツマンなので、そういう言われ方は嬉しくないね。

—そうなんですか。ミルコさんはプロレスはスポーツだと思っていない、と。

ミルコ ショーかスポーツかという部分で言えば、エンターテインメントという部分が強いと思うね。本当の勝利者がいないし。ただ、プロレスラーが強いか弱いかと言ったら、強いヤツもいるし、弱いヤツもいると思うね。フジタは少なくとも強い選手だと思うし、サクラバが自分のことをプロレスラーと言っているなら、彼も強いプロレスラーだと思う。

—ああ。じゃあ、K—1ファイターが「プライド」のようなバーリ・トゥードに挑戦することについてはどう思いますか？

ミルコ もちろん、いいことだと思う。ファイターとしてのチャレンジの場が増えるし、経験にもなるからね。私もフジタ戦の前から少しレスリングのトレーニングをはじめ、昨年の秋から本格的に総合のトレーニングをやるようになった。そのことは、総合のためだけでなく、自分のスタミナを養う意味でも良かったし、自分のコンディションを整える意味でも良かったよ。短期間で肉体改造にも成功したしね。

—K—1ファイターの中には、オープンフィンガーグローブだと拳が壊れるので怖いという意見もあるんですけど、それについてはどうですか？

ミルコ 自分はやっぱりプロフェッショナルだからこそ、その壁はブチ壊せると思う。特に私はマキワラで普段から拳を鍛えているからね。もし抵抗があると言ってる人間がいるなら、本当のファイターじゃないと思うね。

—マキワラで！

ミルコ そう。

—それにしても、ミルコさんは今、最も注目されるファイターになっていますよ。有名なプロレスラーにも勝っているし、昨日はK—1王者のハントにも勝っているし。

ミルコ とにかく私は強いと言われる選手と闘いたいんだ。チャンピオンに勝つことが、プロとして一番の評価につながるし、自分がどこまで強いのか確かめられるからね。だから、K—1で言えばK—1王者になることが一番の目標だし、「プライド」でもチャンピオンになりたい。ノゲイラでもシウバでも、彼らはチャンピオンなので、私としてもやり甲斐のある相手だね。まぁ、全ては石井館長にお任せするけど。

—分かりました。お忙しいところをお時間をとってもらってすみませんでした。このあとの、メンコ大会（TBSの『筋肉番付』で放送）も頑張ってください。

ミルコ ああ、私はどんな勝負でも負けることが一番嫌いだからね（笑）。

—もし、1回戦で勝ったら、準決勝の相手は石井館長になるかもしれませんね（笑）。

ミルコ 石井館長が相手だと言っても、勝負は勝負だ。私は手加減するつもりはないし、勝ちを譲るつもりはないよ（ニヤリ）。

—んあ〜、本当に非情な人だなぁ。■

▲TBSで放送される『筋肉番付』のメンコ大会にK—1戦士が出場。例えメンコといえど負けたくないミルコは、本番前から練習に余念がなかった。果たして結果はいかに？

沖縄でのキャンプ後、久々に
桜庭和志を直撃！

ミルコだったら、
シウバに勝つ可能性は
あるんじゃないですか

石井館長の発言もあり、ミルコVSシウバのプロレスラー破壊対決が噂されているが、そうなると、その向こう側に見えるのは「桜庭VSミルコ」の一戦だ。2月15日から27日まで、沖縄で日本ハムファイターズのキャンプに参加し、復帰に臨んでいる桜庭和志に、電話で緊急インタビューしてみた。

聞き手◎谷川貞治　写真◎宮澤正明

――あ～、サクちゃん、久しぶり。今、電話でインタビューしてもいい？

桜庭　あっ、いいですよ。

――じゃあ、携帯だと聞き取りにくいので、今いるところの番号教えて。すぐに会社からかけるから。

桜庭　あっ、はい。

（あらためて、桜庭選手の教えてくれた番号にかけ直す）

――トゥルルル、トゥルルル、トゥルルル、トゥルルル、トゥルルル…………

……………………。

桜庭　あっ、はい。

――なんで出ないのよ（笑）。

桜庭　知らない番号が出たから（笑）。

――だって、今からかけるって言ったじゃないっー

桜庭　あーっ、ちょっとフェイントかけてみようかなと思って（笑）。

――相変わらず面白い人ですね（笑）。でも、ホント久しぶりですね。

桜庭　久しぶりっていうか、谷川さんの噂は聞いてますよ。

――噂？

桜庭　噂っていうか、このまえ髙田さんたちと飲みに行った時、僕が行くまでに帰っちゃったでしょ。今時、エスケープルール使ってるんだもんなぁ（笑）。

――ああ～、途中でエスケープして帰っちゃったヤツ。すみませ～ん、酔っぱらっちゃいまして（笑）。

桜庭　やっぱり、エスケープルールじゃ緊張感出ないですよ。一本勝負でいかないと（笑）。

――そうだねぇ。まあ、今度リベンジの機会を与えてください。ところで、トレーニングのために沖縄に行ってきたんですって？

桜庭　北海道です。

――あのね……（笑）。

桜庭　（笑）。

――で、その沖縄でどんなトレーニングをやってきたのか、まずはそのへんを聞かせてくださいよ。

桜庭　キツかったけど、良かったですよ。その日のメニューがあるんですよ。30メートル、ダッシュして行って帰ってきて、20メートル、ダッシュして行って帰ってきて、10メートル、ダッシュして行って帰ってきたり、それを何本も何本もやるんですけど、最後のほうは足がついていかないんですよ。

――プロ野球のキャンプって厳しいの、やっぱり。

桜庭　厳しいですよ。僕は最初のウォーミングアップと、最後の走り込みだけなんですけどね、一緒にやるのは。他の選手はその間に野球の練習をしているんですけど、僕は肩のリハビリをやってて。ゴムチューブ使ったりして、日陰に隠れながらやってたんですけど、野球の練習は長いんで相当キツイですね。

――12日間くらい参加していたんですよ

かりません。

日ハムの練習はキツかったですね 足がついていかなかったですよ

――12日間くらい参加していたんですよね。

桜庭　2月の15日に行って、27日に帰ってきたから、そうですね。日ハムの選手と同じ宿舎に泊まって。朝7時に起きて体操するんですよ。それから朝食をとって、9時半から遅い時は3時くらいまでずっと練習してました、みんな。

――桜庭選手は、普段あまり走らないんでしょ。

桜庭　はい。

――どうなんですか、走るっていう練習は?

桜庭　いやぁ……。

――実は好きだったりして。

桜庭　あ、好きだってことにしてもらってもいいですよ。

――ははは。じゃあ、実はウェイトトレーニングもめちゃくちゃ好きだったりして。

桜庭　う〜ん、ウェイトよりは走ることが好きだってことにしてもらってもいいですよ。

――ああ、そうなんだ(笑)。肩の具合はどうですか?

桜庭　まだ固いところが少し残ってますけど、だいぶ良くなりました。

――スパーリングはいつ頃からできそうですか?

桜庭　もうやってますよ。キャンプから帰ってきてから。グラウンドだけですけどね、軽く。まだちょっと怖いですけどね。左から回ったり、くっついたりとか。だから相手に気を遣ってもらいつつ、徐々にやってるって感じです。

――復帰はいつ頃になりそうですか?

桜庭　腹筋の練習もやってますよ。

――だから、復帰、復帰!(笑)。

桜庭　あーーっ、復帰(笑)。それは分かりません。

――そうですよね(笑)。ところでキャンプに行ってたんで「プライド19」の時は会場にいなかったんですけど、ビデオで見ました?

桜庭　早送りで。松井の試合とか気になりましたし。

――田村VSシウバ戦を見た感想は?

桜庭　あーっ、そう言えば、この間、車上狙いに遭ったんですよ。車の中に生活費置いといたら、窓ガラス割られて盗まれて。もー、頭にきたんですよ。最初、車に近付いたら、窓のガラスに点々みたいなものが付いてて、その日は曇ってたから、「あれー、雨でも降ったのかな」「窓開けてたから、入ったのかな」と思ったら、それが全部ガラスの破片だったんですよ。

――ええっー　それは警察に届けたんですか?

桜庭　届けましたよ。でも、犯人が捕まったとしても、その犯人がお金を使ってたら、そのお金は戻ってこないって言われたんですよ。ヒドイですよ。じゃあ、また僕が一から働いて稼がなくちゃいけないってことじゃないですか。日本の法律ってそういうもんみたいですよ。

――そ、それは田村選手がもしシウバに勝っていたら、また一から実績を作らなくちゃいけないという話なんですか?(笑)。

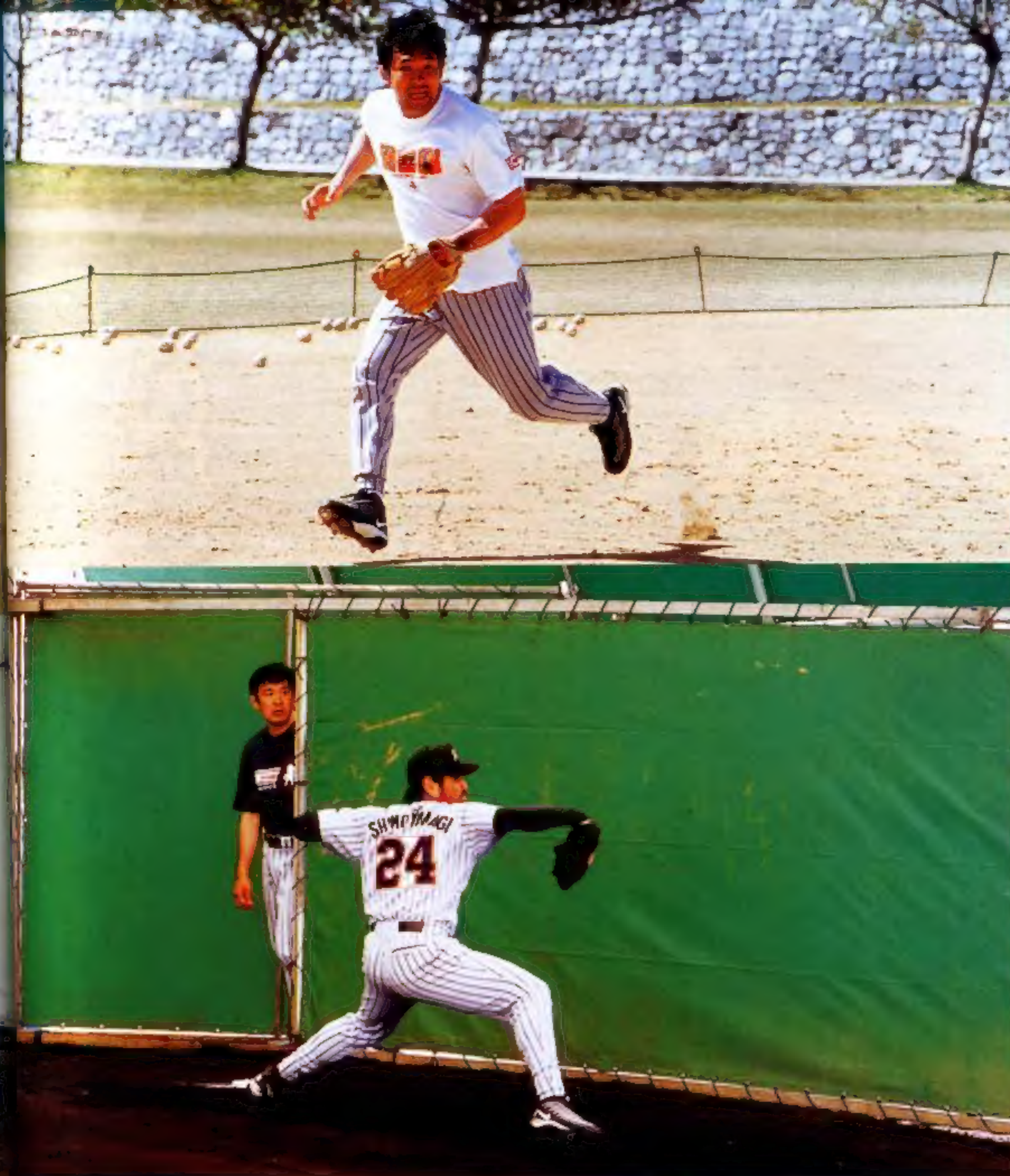
桜庭　……(笑)。

――松井選手の相手も強かったですね。

桜庭　あーっ、それも早送りで見たんで(笑)。

――あ、そうなの(笑)。あの日は、カーロス・ニュートンが一番いい試合をしましたね。

桜庭　ああ、そういうふうに聞きました。

ニュートンがいい試合をするのは、技術で一本極めようとしているから

なんて言うんですかね、いい試合をしようと思っている人は、必ずいい試合をするんじゃないですか？

―どういうこと？

桜庭　だから、抑え込んでも勝ちだと思っている人は、つまらない試合をするでしょう。そういう人に比べれば、関節技で一本取ろうと思っている人はいい試合をするんですよ。同じ勝ちでも、抑え込んでずっとそのままの状態でも勝ちだし、一本取るのも同じ勝ちじゃないですか。で、誰だって勝ちたいじゃないですか。でも、いい試合をするのかしないのかは、その差だと思いますよ。

―いい試合ができるかどうかというのは意識の差だと。

桜庭　そうだと思いますよ。だからニュートンはいっつもいい試合をするんじゃないですか。

―松井選手が足りないってのはその部分なんですかねぇ。

桜庭　そうだと思いますね。松井がなぜ強いかって言ったら、気持ちが強いんですよ。精神力！　シウバなんかもそうですけどね。でも技術で勝とうという気持ちが試合でまだ足りない。たとえば、この前のグレイシーとの試合では、フロントスリーパーを極められちゃったじゃないですか。で、それもね、松井は技術ではずそうとするんじゃなく、ロープの外に飛び出ようとしたでしょ。前のペレの時もコーナーに相手をぶつけて技をはずそうとしたし。それって、たしかにお客さんは喜ぶんですよ。喜ぶし、ウケるからついやっちゃうんですけど、モノを使って相手の技をはずそうという意識なんですよ。だから、技術で対抗しようとしていないんで、はまっちゃうんだと思うんです。

―分かる、言ってること。

桜庭　それは松井にはボソッと言ったんですけどね。リングじゃなければできないとか、壁がなければできないっていうのは技術じゃないんですよ。松井がなぜいつもいい試合をするかと言ったら、精神力が強いからいつも粘れるんですよ。でも、勝つかどうかっていうのは、技術なんです。

―シウバの強さが精神的なものにあるってこともよく分かるなぁ。

桜庭　シウバって打ち合いでも、いつもガクッとヒザを落とす瞬間があるじゃないですか。でも、彼はそこでダウンに見せず、くっついてごまかす力がある。それは絶対に負けないんだ、勝つんだという強い精神力だと思うんですね。シウバが強いのは、一番は精神力ですよ。

―分かります、分かります。

桜庭　だから、僕的にはいつかそのシウバに対して、技術で、関節技を極めて「まいりました！」と言わせたいんですけど。

―ああ、いいねぇ。もうシウバとはやりたくてウズウズしているんですか？

桜庭　いやぁ、どういうふうに言えばいいんですかねぇ。

―どういうふうに言えばって？

桜庭　僕的には一度やった相手よりも、まだやったことのない相手のほうがいいって思ってますから。でも、正直に言えば勝つまで、「まいりました」と言わせるまでやりたいって気持ちもありますよ。

―そりゃあ、そうでしょう。桜庭選手は誰よりも負けず嫌いですからね。

桜庭　でも、3回続けてっていうのはどうかと思うし、それは「プライド」が決めることであって、僕が決めることじゃ

魚釣りの話になって、「ミルコも釣ろうかな、おいしいから」って（笑）

ないですからね。

――その意味じゃあ、今、石井館長のほうから、シウバVSミルコ・クロコップなんて話も出てるんですけど。

桜庭 一発いいのが入ればミルコのほうが勝つと思うけど、総合的に言ったらシウバのほうがうまいっていうか。まあ、勢いとかパワーはミルコのほうがありますけどね。

――というか、桜庭選手にとって、ミルコVSシウバっていうのは構わないんですか？

桜庭 それは構わないですよ、全然。

――あ、構わない。もしミルコが勝ったりしたら、桜庭VSミルコっていう凄いカードが浮上してきますけど。ミルコってどうですか、対戦相手として。

桜庭 それはいいですよ、体重的に合えば。

――いやぁ、もうミルコは体重的に下がらないと思うんですけど。

桜庭 でも、僕とは10キロ以上の体重差があるでしょ。僕、増えても87キロくらいですもん。せいぜいそのくらいですよ。僕がこれ以上太ったら、イマム（今村雄介）になりますよ。谷川さんなんかも格闘技やってみたらいいですよ。10キロ体重差があったら、どんなに大変かって。もう全然違いますよ。なんでみんな体重増やそうとするかっていったら、やっぱりそれは体重が重いほうが断然有利だからですよ。でも、適正体重ってありますからねぇ。

――ミルコの強さってどんなところにあると思います？

桜庭 身体能力が高いんじゃないですか？ だから、シウバとミルコがやったとしたら、総合の技術をトータルで考えたらシウバのほうが上だと思いますよ。で、やっぱり「プライド」のような、なんでも有りの闘いになると、何か一つの技術が優れているよりも、トータルでできる人のほうが強いんですよ。アマレスだけじゃ勝てないし、柔道だけでも勝てない。打撃だけでもやっぱり勝てないんですよ。でも、ミルコの場合はその突出した部分的な技術が異常じゃないですか。普通10倍ぐらい突出していたとしたら、ミルコの場合、20も30も打撃では突出している。だから、平均的にできるシウバに、その突出した部分だけで勝つチャンスはいっぱいあると思います。

――なるほどねぇ。シウバに勝てる日本人って、誰かいると思います？

桜庭 大山（峻護）君が勝つんじゃないですか。大山君が冷静に闘ったらね。あと金原さんでもいいし、高山さんも勝つんじゃないですか。高山さんは体重が重すぎるかぁ。

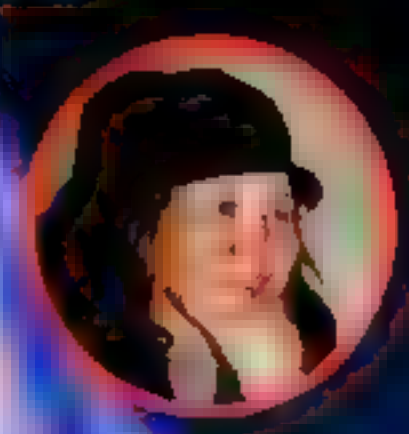
――あ、そう。でも、桜庭VSシウバの再戦ももう一度見たいけど、桜庭VSミルコってのもいいなぁ（笑）。

桜庭 あの～、週プロでコラムの連載を持っているじゃないですか。そこで、釣りの話になって、最後にミルコも釣ってみるかって、話にもなったんですけどね。ミルコはやっぱ、今一番おいしいですから（笑）。

――もう、おいしいなんてもんじゃないでしょ。

桜庭 でも、なんで僕ばっか重いヤツとやらなきゃいけないんですか。シウバだって重いし、もうちょっとみんな考えてほしいですよ（笑）。

――しょうがないですよ。だって〝プロレス界の救世主〟なんだから（笑）。じゃあ、ミルコとの復帰戦楽しみにしてます（笑）。■

K-1とPRIDEの
今後について考えてみたら
ターザンがちっちゃく見えました
出席者◎ポテチン山本（ターザン山本改め）
サダハルンバ谷川（本誌編集長）
・小松モグタン（本誌序の口編集部員=いまだ）
司会 沢忠之（本誌シュート発行人）
FILE CAMP
KICK SUBMISSION&SUPLEX
U.W.F
12

キーワードは「引け、引け」なんですよぉ

山本 おい、谷川ぁ！ 俺は腹ぁ立って、腹ぁ立って怒りが治まらんよぉ！

谷川 い、いきなりどうしたんですか？ 山本さん。

山本 あのWWFを観られなかったんだよぉ、この俺が！

谷川 えっ？ ウチの編集部なんか見習いのこいつまでリングサイド最前列で観ましたよ。

山本 ………へ？

谷川 当日、都合でも悪かったんですかあ。

山本 ダマされたんだよぉ、かの有名なW・Yに。「キップありますよ」って言われて。で、ネットとかでも要するに5千円の席を1万円でお分けしますって言うんでさぁ、福岡とか大阪とかからも観たい連中が二十数人来たわけよ。で、お金集めて待っていたら、先に金を取ろうとするんだよね。「それはおかしい」ってことで渡さなかったけど、結局、チケットなくてパアですよぉ。投機の対象になっていたんだよねぇ、今回のチケットは。5千円の席が3万円だもん、ダフ屋で。

谷川 僕たちは最前列の席を前日に定価で手に入れましたよ（笑）。しかも取材でも入れましたし。

山本 じゃあ、それを俺にくれよぉ！ 5万円で買ったよぉ。

――山本さん、このモグラでさえ最前列ですよ。元「週プロ」編集長が何やってるんですか（笑）。

山本 モグラぁ？ ……ところでおまえは誰だぁ？

谷川 Showが山本さんに代わって、今号から強制的に「自主謹慎」に入りましたので、座談会に入れることにしました。ウチの見習いの小松です。

小松 あ、小松です。……まだ見習いの身ですが、リングサイド最前列でWWFを観てきました。

山本 くぅ〜！

小松 えーっと、フランクに「モグタン」（＝小松の呼び名）と呼んでください。

谷川 じゃあ、山本さんがさらに悔しい思いをしたところで始めましょうか。モグラ、とっとと話を進めて。

小松 ……えーっと、今日は「プライド19」とK―1について……でしたよね？

――でも、山本さんはWWFどころか、その2つの大会も観てないですよね（笑）。

山本 いや、観てないけど、俺は「SRS・DX」での新たなデビュー戦を飾らなきゃいけないと思って、じ〜っくりと考えてきましたよぉ。

小松 さすがですね。僕なんかこの場に来るのに何ひとつ考えてきていませんよ。

山本 ………おい、谷川ぁ。こいつは大物なのかぁ？

谷川 まあ……、Showよりは。

山本 まあ、いい。で、今日はまずプロレスについてから話を始める。新日本、ノア、全日本とメジャーが3つあるんだけどさぁ、キーワードは一言で言うと「引け、引け」なんですよぉ。

谷川 「引け引け」ですか？

山本 「退散」「退却」「撤退」ですよ。

谷川 はぁ、3つ。

山本 プロレスはこの時点でK―1と「プライド」にギブアップ宣言というかさぁ、全面降伏宣言ね。よ〜するに、引いて閉じて、そういうものに関わらない、と。それを一番、意識的に自覚的にやったのが、武藤敬司ですよぉ。そういう世界から逃れて、あるところへ潜り込んで行って閉じようとしているわけだ、全日本プロレスを。昔のように鎖国しよう、と。

谷川 ほお〜ん。

山本 それが今のプロレスで求められているというか、あるものから退散、退却、撤去するということなんだよぉ。

谷川 あるものってなんですか？

山本 うん、それが5つあったよぉ。

――ダハハッ、出血大サービス（笑）。

山本 まず1番目は、格闘技からの退却というか撤退だよぉ。

谷川 それはK―1と「プライド」、両方からですか？

山本 いや、「格闘技という概念」「格闘技という価値観」「格闘技という意味」。つまりその概念、価値観、意味に乗ってたんだけども、そこからも、自由になるというか、解放されないとプロレスはダメだというかね。これは「プロ格」の完全放棄ですよ。それは武藤が全日本という駆け込み寺に行くことによって、自覚的にやったわけ。だから、今は全日本が一番なわけですよ。

谷川 ふんふんふん。

山本 2番目は、ドームプロレス。プロレスは東京ドーム、ドーム興行から完全撤退する。もう無理なんだよ。会場が大きすぎて、選手のファイトが届かないでしょ。適当な大きさの中で、一番いいの

……………うむむ　……なるほど、そうかあ

は日本武道館ですよ。昔に戻して日本武道館を頂点にしたプロレスをやる。これが2番目の撤退宣言。

谷川 へえ～、なるほど。おい、モグタン、ちゃんと聞いてるか？

小松 あ……、はい。

山本 で、3つ目。あらゆる交流戦からの撤退。交流戦も閉じちゃってやらない。交流戦という価値観、概念、意味性からの、要するに自由、解放だよね。

谷川 はあはあ。

山本 で、4番目と5番目は、これは概念としてあるんだけど、それを捨てないとダメなわけです。つまり「ストロングスタイル」という幻想、概念、価値観。これも放棄して、自由になる。

小松 こ、これは……なんですか？

――松花堂だよ（笑）。

小松 ショーカドー？

山本 おい、モグタン！　俺の話を黙って聞けっ！　でっ！　最後の5番目。これが一番重要。「最強」という概念、意味性、価値観も捨てて、そこから自由になって解放される。この5つを全て捨てて自由になる。これが実行されることによって初めてプロレスはプロレスであり得るんですよぉ。今の時点でこれを完全に実現したのが、武藤敬司ですよぉ。彼は偉大なる革命児で、普通は保守的に逃げたとか、引いたとか、取られているわけでしょ。猪木さんが主張するプロ格路線から、闘わずして去っていったということで。でも、それは違うんだよ、実は攻撃的でアクティブな精神が生きているというかさぁ。とにかくプロレスは、そういう「ギブアップ宣言」と「逃走宣言」をやらなきゃならん。

谷川 なるほどぉ。さぁ、どうぞ山本さん、今日は豪華な松花堂弁当を用意したので食べてください。

山本 遠慮なくいただきますよぉ！

谷川 おい、モグタン。ここまで山本さんの話を聞いてきて、質問とかなんか意見があったら遠慮なく発言していいぞ。

小松 ………いや、べつに。そ、それにしても、これが弁当だとは……。

山本 柳沢氏はどう思う？　それしかないと思うよ、俺は。

――……まあ、それは「クローズド・マーケット」ってことでしょ？

山本 そう、クローズして関わらないという。これはよ～するに、デフレ的な価値観に走るということですよぉ。

――それはWWFと一緒って話になっちゃうんだよなあ。

山本 いや、WWFの場合は格闘技とプロレスという、両方を捨てたんだよぉ。もう面倒くさいから、格闘技とプロレスが持っていたあらゆる価値観を全部捨てたんだよね。捨て去ったということはもの凄く弾けたわけですよ。で、プロレスでなく格闘技でもないものになったわけですよ。それが要するに、ナマで観るスペクタクルな連続ドラマでしょ。で、日本の場合は『プライド』、K―1が新しい新日本プロレスになるかどうかだよぉ。

――いや、だからね、いま山本さんが言った5つの提示は、全部「クローズド・マーケット」で生きろっていうことでしょう？

山本 そういうことになるなぁ。

――それを一番やっているのはWWFなんですよ。だって「Jスカイスポーツ」で観ている閉じられた世界の客が1万6千人、横浜アリーナに集まったわけでしょ。あれほどクローズドなマーケットはないですよ。そのクローズド・マーケットの「点」をあそこまで世界的にオープンに広げて「線」にしたっていうことだよね。だからクローズとオープンという意味の相互性というか、それがWWFに全て現出しているわけですよ。

山本 うむむっ……。

――だから、山本さんの言ったことはそのとおりなんですよ。で、逆にK―1とか『プライド』が何をしているかって言ったら、クローズドのマーケットを開放してあげているわけですよ。中量級なんて、キックボクシングというクローズした世界を、K―1という遠心力に乗せてあげて、閉じられていることにコンプレックスを持っているファンたちを解放してあげる。それがK―1と『プライド』の手法ですよ。

山本 ………うむむ。

――だから必然的に大きくなっていくんだけど、実はK―1も『プライド』もクローズドのファンを相手にしているんですよね。そうじゃなきゃ求心的なビジネスが成り立たないということがハッキリ分かっているから。

山本 ……なるほど、そうかあ。

――だから、一般大衆だけを相手にしているっていう見方は大間違いなんですよ。そこが昔の新日本プロレスに近いんじゃない？　その手法が自然に遠心力を持っちゃったわけだから。一般的なイメージではK―1や『プライド』が一般大衆相手のオープン・マーケットの中で凄い勢いを得ていると思っているだろうけれども、俺は絶対にクローズド・マーケットを相手にしたから、ああなっていったんだと思いますよ。

谷川 昔の新日本プロレスは典型的にそうだもんなぁ。分かるか？　モグタン。

小松 ………え～っと、新日本のレスラーはオープン・フィンガー・グローブを着けちゃいけない……っていうようなことですか？

谷川 んあ～！

――まあ、話をずっと飛躍させれば、それも間違いじゃないな（笑）。

小松 う～ん……。

谷川 モゴモゴやってんじゃないよ。

小松 あ、いや、この弁当うまいんで……。

谷川 んむぐぅ～！

山本 だからもう、情報が邪魔なんだよね。情報が邪魔なので、そこを解放しなきゃいけないんだね。クローズドすると、その邪魔なのをカットされるんだよね。

――まあ、閉じることが遠心力に繋がるという仕組み、そのノウハウがプロレス業界にまったく伝わってないんでしょう。それはK―1と『プライド』の一人勝ちになるのも無理ないですよ。

石井館長はえげつないことをしたなぁと思ったよぉ

谷川 なるほど。じゃあ、今は一人勝ちという状態の中で「プライド」とK-1はさらにどういう方向に進んでいったらいいと思います?

山本 テレビで見ていたんだけど、石井館長はえげつないことをしたなぁと思った。

谷川 どういうことですか?

山本 年末の『猪木軍対K-1』の影響が完全に俺の中にあるわけですよ。で、選手が登場してくるじゃない。武蔵とグラウベの入場を見ていたらさぁ、自分の中でチェックしているんですよ。よ～するに、このふたりはK-1という競技の中で限定された枠の中の選手なのか、それともK-1という競技からはみ出してやろうとする何かをもっている選手なのか、と。で、顔を見たら「こいつはK-1競技内限定選手だな」って見えるわけ、武蔵にしてもグラウベにしても。その瞬間にもうテンションがガタッと落ちたよぉ。で、試合内容を見たら、そのとおりの試合になるわけですよぉ。これはハッキリ言って、石井館長が『猪木軍対K-1』をやった、完全なる俺らに対する変な影響だよね。もう入場した瞬間に判断して、ジャッジしてしまうわけ。

谷川 ほお～ん。

山本 そうすると、次にルールの中でどれだけのことをやる選手なのか、要するにルール内のランク付けをするわけだよね。そうしてみると、ルールからはみ出して闘うという意志はないわけですよ、ふたりとも。この時点で両者とも「K-1内限定戦士」で「ルール内限定戦士」かと分かって、テレビのスイッチを切ろうとするわけよ、俺は。で、そのとおりの試合になるわけよ。その瞬間にシラケたというか、醒めたというか引いちゃったんだよね。反対にK-1の枠をはみ出してるミルコに対する幻想が爆発しているので、比較して見ちゃうと本当につまらない選手に見えるんだよ。まあ、あの武蔵は期待してないからいいとして、あのブラジル幻想があるグラウベまでがつまんなく見えちゃうからね。

――寂しい日曜日ですねぇ（笑）。

山本 その時点で、なんか石井館長も俺たちも禁断の木の実を食べてしまったというか、それを痛切に感じて衝撃を受けたわけですよぉ。で、次に出てきたのは誰だった?

小松 えーっと、バンナと天田です。

山本 「バンナ、このヤロー！ 大晦日にいい加減な試合しやがって」と思っているわけだよぉ、こっちは。「オマエなんか天田に負けてしまって二度とK-1に来んな」と思って見てたらさ、エライ気合いが入ってんだよね。するとバンナはK-1内限定選手からはみ出して、軌道を外れてバーッと行く選手なのかと見るわけ。結局は行きそうもねえなとは思うんだけど、闘いぶりを見たら、決められたルール内では爆発的だよね。「この点ではオマエは合格だよ」と。俺の中でBランクの中で出て合格だけど、はみ出してやらないのはちょっとなぁという。要するに選手にそういう点数を付けてしまうわけですよ。

谷川 はあはあ、なるほど。

山本 で、次の試合はなんだった?

小松 セフォーとベルナルドです。

山本 そう、ベルナルドだ。「オマエは、なんかノゲイラとかとやりたいとか言っているけど、試合ぶり見たら全然はみ出している空気も気配もなんにもねえじゃねえかぁ。こいつはK-1内限定選手じゃねえか」と思っちゃうわけ。で、セフォーなんかはさぁ、殴られても前に行って「ルール内の枠を超えてやっているじゃねえか」と思ったら勝ちは見えるよねぇ。

谷川 ふんふんふん。

山本 『猪木軍対K-1』は、そういう形で俺のK-1の見方を完全に変えてしまったんだよぉ。これからはK-1内で純化して、その面白さを最大限に、代々木の中量級みたいにルール内での、もの凄くテンションが高くてハードルの高い試合をするのか。それとも外へ出ていって、他流試合をするのか。2つのグループに分けて「純化されたK-1戦士」と「はみ出したK-1戦士」の二重構造で、パーッと突っ走ればいいということが、はっきり分かった。

谷川 その二重構造が必要ですよね。

山本 とにかくそういう区分けしなきゃいかん。ということは、今までのK-1はミスターパーフェクトのあれ?

小松 ……アーネスト・ホースト。

山本 そう。あとは求道者タイプのアンディ・フグ。で、天才暴君の……。

小松 ……ピーター・アーツ。

山本 その3人は、よ～するにK-1の純血種だったんだよね。純血種がK-1の中で輝いてグランプリチャンピオンになったけど、その価値観さえも古くなったというか、K-1が別の価値観を得たなと。それで俺はメインを見てビックリしたわけですよ。

谷川 ミルコVSハント戦を見て。

山本 あのふたりは田舎もんだもん。ミルコとハントは麦なんかでいう野生の種ですよ、K-1の中の。雑種や野生の種だったら、純化されてないから外へ出て

俺は責任を感じたよ、UWFを作ったことを

闘ってもいいわけですよ。純血種と野生種との二重構造でこれからのK—1というのは進んで行って、その両面を究極的に進めていけば、K—1は天下を取ると思ったよ。それをやれるかどうかだよ、館長が。どう思う？

——いや、だから山本さんが言っているように、全てクローズドの価値観を刺激しているんだよね。だから、中量級が純血の世界っていうけど、中量級大会で一番面白かったのはなんですかっていったら、それは村浜と須藤元気だと思うんですよ。

山本 うん、そう。

——彼らの立場としては、はみ出してるんだよね。自分たちがクローズド・マーケットに押し込められるのを拒否して、K—1という世界に飛び込んできた。閉じられたキックボクシングっていう世界が開放されたわけでしょ。

山本 と、とにかくあらゆるところに挑戦状だして、K—1の選手はそういうふたつの闘いができるように、二段構えで全世界に対して打って出たほうがいい。

谷川 行っても有利、来ても有利というのはいいですね。

山本 そう。行くのも行く、来るなら来いというさぁ。これは、ホント、石井館長に言ったほうがいいよ。こんな絶好機、最大のチャンスないよ。石井館長はま〜ったく悩む必要なくて、今こそそれをやるべきですよぉぉぉぉ！ オールすべてぜ〜んぶ、全世界に総攻撃かけなきゃダメですよぉぉぉ。

——声を大にして言ってください（笑）。

谷川 じゃあ、残るもう一つの問題は今後の「プライド」だなあ。

山本 今の「プライド」というのは、非常に瞬間風速が最大の勝負になってきてしまっているわけ。だから「点」になるんだよね。ところがよ〜く考えてみると、シウバなんかは、勝ちを重ねながら桜庭戦につないでいったでしょ。だから、階段を上がって、点を結んでいって目的を達成させたよな。でも、瞬間風速最大の勝負論、衝撃性を求めると、やっぱりいきなり田村とシウバをやっちゃうわけ。本来は長い目で待たせながら、つないでいくのがプロレスでしょ？ 田村も「プライド」に慣れるという意味で、それなりのヤツとやっていってシウバに到達するという、そういうスタイルや線を作らないと一回一回が苦しいと思う。「プライド」はそういう路線に変更すべきじゃないかと思うけど、そっちはどう思う？

——そうなんだけど、山本さんの言うクローズド・マーケットの論理で言うと、UWFで観客があれだけ騒ぐんですよ。「プライド」っていう急進的な世界ではUWFなんて点にもならないと思ってるかもしれないけど、結果的には線になっているんですよ。

山本 そ、それが線になっているのか……？ で、でも、それは過去の歴史が作った遺産でしょ。

——そうです、遺産ですよ。それが線になっているんですよ。WWFとか見た時にも我々は普段何も見てないけど、来ているヤツらはみんな、我々が点と思っている現象が、線になっているんですよ。それがクローズド・マーケットだと思うんですよね。

山本 う、うん。そっからもう1回ね、出し惜しみじゃないけど、出し惜しみなんてダメだって言われているよね、今は。でも、やっぱりね、田村なんかは使えばいいってもんじゃないと思うなぁ。それをしないと結果が悪いとさぁ、「はい、それまでよ」になっちゃって。それはもったいないもんなぁ。プロレスの使い方って、残りカスくらいまで使うじゃない。

——残りカスって（笑）。

谷川 だから、なんて言うんですかね。あの一試合で消費されたかどうかってのは田村の問題でしょうね、これからの。

山本 例えば、Uインターと新日本がパッと一発勝負をやって凄かったよね。あ

俺はぜ～んぜん気が付かなかったよぉぉぉ

れはあれでいいんだけども、やっぱり昔は外人レスラーが来ても、開幕戦からず～っとあってさぁ、なかなか馬場さんに挑戦できなかった。あのスタイルも必要だと思うんだよなぁ。

そういう概念は必要だと思いますけど、ただそのやり方は今の時代には通用しないですよ。

山本 通用しない～!?

——だって分かっちゃってますもん、みんな。クローズドのファンは初めから分かっているじゃないですか。だからK—1も一緒で、ミルコVSハントになっちゃうんですよ。ミルコVSハントなんて、この時期にやるべきカードじゃないでしょ、全然。

谷川 やるべきじゃないよね。僕らが望むカードはジェロムVSミルコとかですよ。

——それが正しいでしょ。山本さんと同じ概念、感覚で、もっと育てていってほしいんですけど、それが通じない時代なんですよ。

山本 せっかちだねぇ～。

——でも、石澤と一緒で1年後に田村のドラマ、観る側が勝手に線にしてくれるクローズド・マーケットがあるんですよ。

谷川 それがあるんだから、いいんだよね。だから、僕はハントVSミルコのほうが難しいと思うんですよ。試合的に見た時に田村VSシウバっていうのは、今後の展開が読みやすいけれども、ハントVSミルコは、そういうドラマにつながるような決着がつかないんですよ。凄く中途半端に終わったじゃないですか。

山本 もったいないよなぁ。

谷川 もったいないですよ。ハントが一撃でKO負けしたりしたら、線になるんですけど、ハントもいいところあった、ミルコもいいところあったとなってしまうと、なかなか線にならないですよね。でも、田村を売るにはあのシウバ戦でいいと思うんですよ。あれで田村が消費されたと思うかどうかですから。

山本 俺は責任を感じたよ、UWFを作ったことを。

小松 あ、UWFって山本さんが作ったんですか？

——まあ、そんなようなもんだな（笑）。

山本 俺は天下の詐欺師だったよぉ。

——それは間違っていないな（笑）。

山本 UWFを上げるのは恥だよ、もう。

谷川 だけど、この間の田村VSシウバを見ていて思ったのは「UWF」というのはまだまだ商品力がありますよねえ。

——クローズド・マーケットであれだけ求心力があったんだから、遺産とかの次元じゃなくてそれは記憶だからね。遺産だったら消費されちゃうけど記憶は消費されないですからね。

谷川 記憶と同時に、猪木軍団じゃないけど「UWF」が「プライド」の観客にとって、まだ見ぬ強豪だったからね。UWFが16年くらい前にできて、今20歳の人が4歳とかそんな時だからねえ。知っているわけがない人たちがUWFって騒いでいるんだったら、メチャクチャ商品になりますよ。UWF対K—1でもいいし、UWF対猪木軍でも全然成り立つし。

山本 UWFがぁ？　いまぁ!?

——成り立ちますよ。

山本 成り立つ～ぅ!?

谷川 UWF対K—1で成り立ちますよ。それこそ、桜庭、田村、高山、あのへんの選手たちがK—1軍とやったら……。

山本 あ～っ！　Uインターの連中がかぁ。

「プライド軍団」って言ったって、UWFで揃うんですから。そこにはケン・シャムロック入れてもいいですし（笑）。

山本 俺はぜ～んぜん気が付かなかったよぉぉぉ。ああ、そうだなぁ、桜庭を筆頭にしたUWF軍団というのは面白いや。

——高田延彦までいるんですよ（笑）。つまり記憶は消費されないんだってことですよ。

山本 ………記憶的な快楽というのは凄いんだよなぁ。

谷川 田村本人が今どう考えているか分からないけど、田村が消費されたとか、周りの人が田村は消費したと思った瞬間に、田村はホントに消費されちゃうけど、消費されたと考えなければ、まだまだメチャクチャ商品になりますよ。

——で、次こそレガース付けて出ていくんですよ（笑）。

山本 そういえば、あと2年後にUWFは20周年だぞぉ！

——いいですね（笑）。ぜひやってもらいましょうよ、2年後に。でも山本さん、UWFが20周年とかって言って、UWFルールでやらせることがUWFの記憶を引っ張りだすことじゃないんですよ。UWFっていう記憶をもっとムーブメントとして爆発させるんだったら、この間の田村みたいな形で全然いいと思うんですよ。そっちのほうが全然生き生きしますしね。それをUWFルールでやらせちゃうのが、今の新日本の発想ってことですよ。

山本 うん、そうだねぇ。

谷川 そうなったら次はUWFから安田みたいな選手が出ますよ、絶対に。

——「UWF」という記憶がまだ商売になるとしたら、それは山本さんが作ったってことですよね（笑）。

山本 俺も捨てたもんじゃねぇなぁ。

——ぷぷっ！　でもそれはまさに、山本さんの遺産かもしれない（笑）。

山本 遺産～っ!?　俺はまだ死んでませんよぉぉぉ！

だから、まだ山本さんは「プライド」とかK—1のスケール感と等身大になっていいスタンスにいたのに、それを捨ててもの凄くちっちゃなところに、自分を閉じ込めているんですよ。自分でクローズドしちゃった（笑）。

山本 ク、クローズド……。

谷川 もっと大きなところにいたら、絶対にまた山本さんの時代が来ますよ。だって、山本さんが自分で作ったものなんですよ。

ターザン山本復権祈念
超シュート座談会！

目覚めよう。俺はいじけていたなぁ

山本　マ、マヌケだなぁ、俺……。

――なんで、山本さんがWWFのチケットがなくて会場にも入れないなんてことになってんですか（笑）。それは、自分の等身大を一番分かってないからですよ。ちっちゃすぎますよ、今の山本さんは、ホントに。

山本　それじゃ、俺がUWFの特許持っていたら、それだけで食っていけたぁ？

――それは使い方ひとつだろうけど、そういう財産は廃れないんですよ。記憶なんだから。

山本　記憶が廃れないってことは、それってプロレスじゃないかぁ。それじゃあ、俺はもの凄～く自分のことを過小評価しているわけか。

――そういうことです！

谷川　はあ～ぁ、なんで自分のことが分かんないのかなぁ。

――ダハハッ、サダハルンバに言われたらおしまいですね。

小松　……こんなこと言ってはなんですけど、UWFに全然思い入れのない僕でも、田村にはメチャクチャ興奮しましたからね。

山本　ええ～っ！

小松　知らなくても、僕だってなんとなく分かりますよ……。

――そんな記憶を作った山本さんが、他人にいいところばかり持っていかれるとはねぇ（笑）。山本さんが普通にしていれば、WWFだってK−1だって「プライド」だって「最前列で観てください」ってなるに決まっているのに、それを自らの言動で拒否しているんです！

山本　きよ、今日から心を改めますよぉ。目覚めよう……俺はいじけていたなぁ……。

――ぷぷぷぷぷっ！

谷川　まあ山本さん、しばらくはリハビリだと思って焦らずに頑張ってください（笑）。

山本　そ、その言葉が今日最大のショックだよぉ。今日は二人にシュートを仕掛けられたよぉ。俺は再起不能ですよぉぉぉ！

――何か困ったことがあったら言ってください（ニコニコ）。力になれるかどうか分からないけど（笑）。

山本　あちゃぁぁぁぁぁ！　情けをかけられたらおしまいですよぉぉぉ！■

噂のシウバvsミルコはどうなるっ!?

4・28 PRIDE.20 チケット特別先行予約
3月24日（日）0:00～24:00

『SRS・DX』オフィシャルサイトにて
23日（土）の深夜からスタート！
http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

「プライド20」は
パンクラス初参戦かぁ！
楽しみだなぁ～！

んあ～！
「SRS・DX」公式サイトで
「プライド」のチケットも
買えるんだ～！

サダハルンバ谷川編集長

「プライド20」4月28日（日）横浜アリーナ

◆開　場 /	14:00	
◆試合開始 /	16:00	
◆入場料 /	VIP席	100,000円
	RRS席	25,000円
	スタンドS席	15,000円
	スタンドA席	7,000円

※詳しくはサイトにてご確認ください

『SRS・DX』オフィシャルサイトでは、一斉発売（3/31）のなんと1週間前に「プライド20」チケット特別先行予約を行います！　予約できるのは、もちろん全席種。お支払い方法は、郵便振替、グレート・アントニオ店頭受け渡しのどちらかから選べます。しかも、店頭受け渡しなら当店だけのオリジナル特典付き！　良い席は『SRS・DX』公式サイトで早めに予約しよう！

アルゼ K-1 WORLD GP 2002 in 名古屋

3・3★名古屋市総合体育館レインボーホール

超K－1主義

アンディ・フグ型が支えた20世紀 21世紀型のスターの条件は……

3R、遂にミルコの左ハイがK－1王者ハントに炸裂。このダウンが勝負の明暗を分けた

撮影◎中島ミノル 山口比佐夫

「ハントに勝てると思ったのは、カードを組まれた瞬間だっ」（ミルコ）

▲前回のK－1ジャパンで中迫剛に生涯初のダウンを奪われているだけに、今回は万全の気合いとコンディションで出てきたハント

▲一方のハントは、入場曲を歌うサモア系シンガー、キング・カピシに先導されて入場。最初、歌いながら入ってきた、この人がハントだと思った人も多い

▲試合前日の記者会見に、ハントは見違えるほどオシャレになって出てきた。顔もいつの間にか王者のオーラが出ている

▲異種格闘技戦を行ったことで、かなり風格が出てきたミルコ。入場の時の表情もゾクゾクするほどの殺気が漂っていた

なぜK―1がこれほどの復活を果たし、石井館長が今ブレイクしているかというと、それは紛れもなく総合格闘技にチャレンジしたからだ。今のK―1を見ていると、プロレスも『プライド』も、全て二重構造、三重構造に見えてくる。今回の名古屋大会でも、総合の帰還者であるヤン・ザ・ジャイアント・ノルキヤ、ジェロム・レ・バンナ、ミルコ・クロコップは明らかに異形のファイターに見えた（マイク・ベルナルドだけはまあ、いつもと同じに見えたんだけど）。

その代表格がミルコだ。ミルコは昨年、グランプリ戦線からはずれてプロレスラー3人と総合格闘技ルールで闘うことで、ヒクソン級の大化けを果たした。しかも、K―1では優等生だったミルコが、なぜかプロレスラーと絡むことで豹変。「タカダはフェイクファイター」だとか「ナガタには一生ハイキックとはなんたるかが分からない」と、そこまで言うかと思うほどの毒舌三昧。今回のハント戦についても「勝利を確信したのは、カードを組まれた瞬間だった」と言ってのけたほどである。

そんなヒールぶりも板についただけに、ハントVSミルコ戦はおよそK―1ファイター同士の闘いには見えなかった。もしかしたら、石井館長の深層心理の中では、純K―1ファイターであるハントのほうに、この試合は勝ってもらいたかったんじゃないだろうか。それほど今のミルコは、K―1のインベーダーに見えるのだ。

一方のハントのほうも、これまた風変わりなチャンピオンである。これまでのK―1王者は、アーネスト・ホーストやピーター・アー

アルゼ K-1 WORLD GP 2002 in 名古屋
3・3★名古屋市総合体育館レインボーホール

ファンにとってこの一戦は純K−1が好きかどうかを問われる一戦だ

▶クリンチのうまいミルコに対し、ハントが足払いでテイクダウンに成功。この男もやはり総合向きだ!

▲両者の体重差は20キロ以上。ハントの突進にやはりミルコは押されたが、もの凄い左を叩き込む

▲接近戦になればやはりハントが有利。一発一発の重いパンチに、ミルコが後退していく

スト・ホーストやピーター・アーツを見るまでもなく、完璧なアスリートがK−1の頂点についていた。そこが、プロレスにない魅力だったのだが、ハントの最大の魅力は彼らとは対極をいく〝ゆるさ〟を持っていることだ。

普段は冬でも裸足で歩き、おいしい物はなんでも食い過ぎる。それでいて打たれ強くて、パンチ力も抜群なとにかくかわゆい男。あの東スポのK−1担当記者をして、「ハントならいくらでも記事が書ける」と言ったほどのキャラクターの持ち主である。

K−1にとってアンディ・フグの死は大きなダメージを受けたが、そんなアンディに代わり、21世紀型のK−1スターとして登場したのがこの2人。つまり、21世紀型のスターのキーワードは、「超K−1主義」と「圧倒的キャラクター」の2つが、今、浮上しているのだ。

そんな2人を出し惜しみなく、名古屋でいきなりぶつけてしまうところがまた石井館長らしいところ。この2人が闘うことで、ファンに突き付けられているのは、純K−1が好きかどうかということである。つまり、自分にとってK−1はK−1のままで突き進んでほしいのか、それとも去年のように超K−1主義というか、総合の試合にもチャレンジすることを是とするのか、そんなことを問われる一戦だった気がする。

で、私はそのどちらの立場かというと、断然ミルコ側の視点だった。というより、現時点でハントが負けてもK−1的に傷つかないが、ミルコが負ければK−1の勢いがトーンダウンしてしまう気が

魔性のハイキック、炸裂！K―1王者がコロリッ

▲あの倒れないハントが尻もちをついた。しかし、すぐに立ち上がったところはホント人間離れしている

▲3R、ミルコの左ハイがハントのアゴを遂に打ち抜いた。「私のハイを食らって、立ってられる人間はいない」（ミルコ）

▲2階から撮った衝撃の[illegible]の左ハイの直前に、ミルコは左スト[illegible]をハントのオデコにブチ込み[illegible]な顔を[illegible]いる[illegible]で左の膝を痛めたようだ

していたのだ。

これはどういうことかと言うと、ミルコが純K―1王者のハントに現時点で負けたりすると、ミルコが外でやっていることが単なるK―1のプロモーションに過ぎなくなる。K―1の流れとまったく関係のないところで起こった〝出来事〟になってしまうのだ。所詮、K―1で強くなることと総合で勝つことは別モノ。むしろ総合で闘うことによって、K―1では弱くなるという結論に達する可能性もあった。

逆にミルコが勝った場合はどうなるのか。それはもうK―1ファイター全員が他流試合の意識に傾きはじめる。K―1で頂点に立つには、これまで地道にグランプリの予選を勝ち抜かなければならなかった。そうしないと、K―1では輝けない。しかも、その道は年々レベルが上がって厳しくなっている。それはベルナルドやレイ・セフォーが東京ドームに行けないことでも証明されている。

しかし、ミルコの成功は、K―1ファイターに別のサクセス・ロードを提示した。ミルコのようにK―1の外で活躍すれば、ファンの評価だけでなく、実力も備わってくる。今回のミルコVSハント戦のように、K―1の中でも大きなチャンスをもらえるってことだ。

ハントVSミルコのカードが決まった時、これはどちらが勝ってもいいなと思ったとしたら大間違い。この一戦は、K―1の方向性を決定付ける重要な一戦なのである。

純K―1主義を守るか、超K―1主義に突き進むべきか。さすがにハントもミルコもその牙城は固

ミルコのコメント

「非常にいい気分だ。いい形でK－1にカムバックできたと思う。ハイキックの感想？　特にない。あれは私の得意技だから。今日の勝利はごほうびだと言ったら変だけど、当然だという気持ちがある。自分は朝6時に起きて、テロ対策の特別部隊のほうへ行って、キックからアルティメットとあらゆる格闘技を指導し、練習している。それから午後7時から9時まで自分の練習をするという毎日の繰り返しなんだ。ある意味、囚われの身のようにね。これだけの努力をしていれば勝つのは当然だよ。ノゲイラ？　シウバ？　どっちの挑戦もOKだよ。できれば、1試合は『プライド』ルール、もう1試合はK－1ルールで闘えればありがたいんだけどね」

ハントのコメント

「もちろん、結果にはガッカリしてますけど、一生懸命やりました。自分はK－1ファイター全員に尊敬の念がありますけど、ミルコもその一人です。コンディションとしては良かったけど、何かひとつ突き抜けなかったなぁ。率直に言って、あまりうまく捕らえられなかったよ。ハイキック？　ダウンをしてしまったんだから、効いたんじゃないかな。でも、自分なりに一生懸命練習しましたよ。でも、言い訳はしません。今後の予定は、もっとハードな練習をして強くなって戻ってくるということです。総合については、背中をドンと押されればやってもいいよ。ダメージ？　精神的に落ち込んでるけど、肉体的には大丈夫だよ」

▲さすが実力者同士の対戦だけに、勝負は判定決着に。1ダウンを奪ったミルコが勝った

▲この日、ミルコは12発もの左ハイを打っている。それでもKOされないハントは凄い！

ミルコ、泣き顔の謎

こんな苦しそうな顔は見たことなし やっぱりハントも強かったのだ！

▲喜びの雄叫びも表情も見せないミルコ。次のターゲットは『プライド』のシウバか、ノゲイラか？

▲4・5Rはクリンチ作戦に出たミルコに対し、ハントはヒジをぶつけながら対抗。このヒジのテクニックは、ハントの隠れた強さの秘密だ

▶勝ったにもかかわらず、ミルコは疲れ切った顔をしていた。こんなミルコを見るのも珍しい

★第6試合/(K－1ルール・3分5R)
○ミルコ・クロコップ（5R判定3－0）マーク・ハント●
〈クロアチア/クロコップ・スクワッドジム〉　〈ニュージーランド/リバプール・キックボクシングジム〉
※採点…50－48、50－47、50－46。ハントは3Rにミルコの左ハイキックでダウン1、5Rにヒジでの攻撃により注意1あり

く、その均衡を破ったのは、やはりミルコの左ハイキックだった。

魔性のハイキック再び――。永田裕志を一発で仕留めたミルコのハイが遂にハントのアゴを捕らえ、あの象が踏んでも壊れないハントが大きく尻もちをついた。意表を突かれたわけではない。狙いすました完璧な一撃だった。

だが、そうかといってこの試合、ミルコが終始圧倒していたのでもない。試合の主導権は常にプレッシャーをかけていたハントにあったし、4・5Rは完全にミルコがクリンチで逃げに入っていた。そして、何よりも後半のミルコの表情はほとんど泣き顔。こんな苦しそうなミルコの表情を見るのは、東京ドームで2試合闘った後のホーストとの決勝戦以来のこと。それほど、ハント相手はきつかったということだ。

ミルコがなぜあんな表情をしていたのかは正直分からなかった。試合中にハントの頭を叩いて拳を痛めてしまったのか、それともボディが効いたのか、あるいは久々のK－1でスタミナ切れを起こしたのか。ミルコの苦悶の表情に、K－1の厳しさを見る思いがした。

いずれにせよ、勝ったのはミルコのほう。スッキリした勝ち方ではなかったが、時代は「超K－1主義」に軍配を上げた。

試合後、石井館長は「ノゲイラ、シウバ、『プライド』、猪木（軍）、そしてWWF。我々は誰の挑戦でも受ける」と高らかに宣言した。それは21世紀のK－1のキーワードが、「超K－1主義」に定まったことを象徴する宣戦布告だった。

（谷川）

アルゼ K-1 WORLD GP 2002 in 名古屋
3・3★名古屋市総合体育館レインボーホール

3・3K−1名古屋大会 石井和義館長総括

ノゲイラよりも、体格的に まずはミルコVSシウバでしょう!

—汗が飛び散る白熱のメインでしたけど。

石井館長 ああいう試合になると思うんですよ。ミルコ選手ってクリンチするんで。

—ハイキックの攻防が明暗を分けましたか？

石井館長 そうですね。ミルコはうまく闘ったという感じですね。まあ、ハント選手は決して悪くなかったんですけどね。体のポジションとか組んで体を入れ替えたり、クリンチワークがミルコ選手はうまくなってますね。あんまりあれをやられるとK−1は面白くなくなるんだけど、ハイキックがあったんでね。でも、ハント選手は負けたけど全然下がってないし、ダメージはミルコ選手のほうがあったと思うんですよ。疲れてたから。

—クリンチワークというのは、総合の練習が活きてきたという感じですか？

石井館長 そうですね。入って一発打ってパッと組んだ瞬間、スッと体を入れ替えてるからハント選手は行こうと思ってもミルコがいないんですよね。左側へうまく回っていたというか。総合のためにやったトレーニングが、うまくクリンチワークに活かされてますね。今までホーストが得意だったんですけど、ホーストのお株を奪うようだな。それで、クリンチが嫌なんでハントはヒジを出してブロックしたんですよ。あれはどうしても突っ込んで来るから、ブロックしないとしょうがない。ハントがミルコを足払いでこかしたのはビックリしました(笑)。ハントも組み技系でも強くなるでしょうね。

—リング上であらゆる団体に宣戦布告されましたが？

石井館長 そうですね。ノゲイラやシウバに挑戦されてるんで、まあ、「いつでもいいですよ」という感じで。

—WWFというのはイベントとして競い合うということですか？

石井館長 そうですね。世界へ伸びていくK−1とWWFという感じで、今、WWFはメディアの面でもどんどん出てきてるから。そういう面でも、あるいは演出の面でも。

—直接WWFの選手がK−1に上がれということではないんですね。

石井館長 あれは最高のエンターテインメントなんで。エンターテイメントでも負けないようにしたい。ミルコ選手にしてもそうですし、ジェロムにしても、あるいはノルキヤにしてもそうですけど、プロレスと絡んだ選手はそういった部分で生き生きと復活してる。もう入場シーンから出てくる時の顔が変わってきますからね。お客さんを楽しませるというか、これからは強さプラスいかにファンを引きつけられるか。これからはいかにお客さんを集められるか、いかにお客さんの心を掴めるかというのが、ファイトマネーの重要な判断材料にしていきたいと思ってます。誰がお客さんを呼べるのかと。WWFでも、あるいは新日本プロレスでもそうだし、全日本プロレスにしてもそうでしょうしね。新日本プロレスで一番お客さんを呼んでいるのは猪木さんなんですよね。だから、猪木さんが呼んでるから、みんな猪木さんに対してなんにも言えなくなっちゃう。だから、WWFならロック様だろうし、K−1ではじゃあ誰なのか。今日みたいに、レイ・セフォーとマイクのような試合をやってるとね、また彼らに対してもファンもついていくだろうし。今度は彼らがミルコやマーク・ハントと絡んでどういう試合をするか？ 今のK−1だったらジェロム、ミルコ、ハントがそうなんでしょうね。

—ミルコとノゲイラの試合は実現に向けて動いているんですか？

石井館長 そうですね。実現はもちろんお話があればね。まあノゲイラというか、シウバじゃないですかね、体格的に。

—それは総合ルールでですか？

石井館長 いや、K−1ルールでも総合ルールでも。向こうはK−1ルールでやるというならK−1ルールでもいいし。総合もミルコはもう少し練習すればできますからね。

—シウバの第一の刺客としてミルコを送り込むんですか？

石井館長 べつに向こうが挑戦したいって言ってきてるんで。

—館長はどちらかというと、K−1ルールでやらせたいんですか？

石井館長 そうですね。K−1で挑戦してもらって、次は向こうのルールでも。

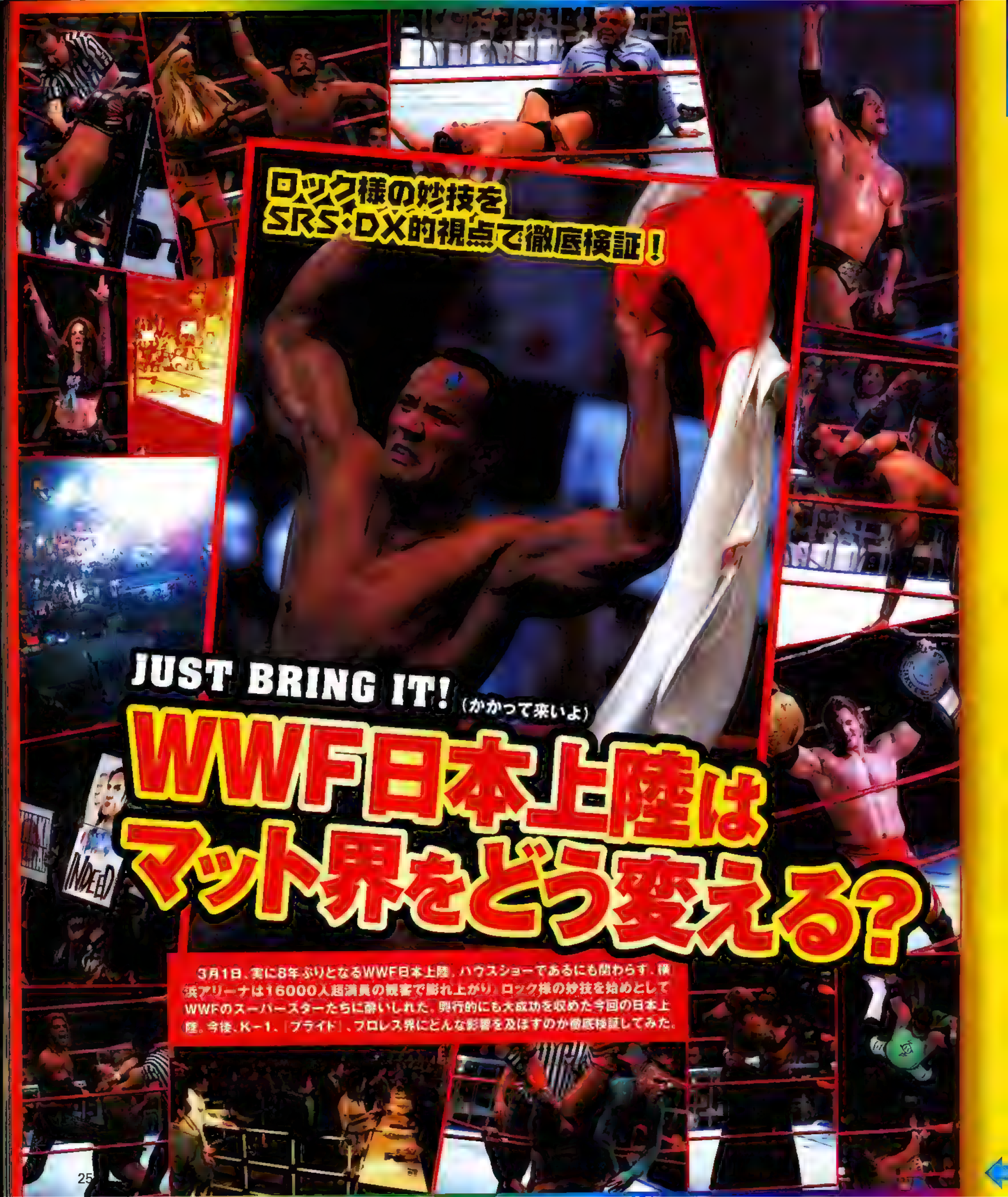
　早ければ7月の福岡あたりが有力ですか？

石井館長 7月の福岡か、まあ違う他のイベントかもしれないし。

—館長はノゲイラよりも先にシウバとやらせたい意向なんですか？

石井館長 そうですね。体格的にまず合うのがシウバかなと思うんですけどね。

—正式に挑戦状を出しているのは、ノゲイラなんですけどね。

石井館長 あっ、ノゲイラなんだ。ノゲイラでもいいですよ。ノゲイラとシウバで決定戦をやってもらってからっていうのは(笑)。

—……(笑)。あの、ジャパン勢に関してはいかがですか？

石井館長 ジャパン勢はやっぱり武蔵も頑張ってはいるんだけども、ミルコとかバンナとか分かりやすいところではノルキヤとかそうですけど、戦場を闘ってきたような感じがないですよね。だから、武蔵選手なんかは思いきって1回他流試合とかやってみたほうがいいですよ。他のリングに上がって。そうするともっと緊張感が増すんじゃないかと思うんですけどね。武蔵は1回馬乗りになってマウントパンチを浴びせるか、もらわないと分からないんじゃないかな。そういう刺激があってまたK−1のリングに戻ってきてまた輝くわけじゃないですか。やっぱり武蔵と他流試合をやって武蔵に勝つとか、武蔵に負けるとかやってたら、極真も全然引かないだろうし。今日は極真らしさも見えなかったし、武蔵らしさも見えなかった。ただうまい、2人ともうまいファイターにはなったなぁと。それよりも負けたけども、天田の潔さのほうが良かったよね。やっぱりこう真剣で向かって行くみたいな2人の試合にはそういう緊迫感があったじゃないですか。だから、ああいう試合が生まれるんだけど。グラウベももっと一皮も二皮も剥ける選手だと思うんですけどね。

—今K−1が向かおうとしている波に取り残されている感じですか？

石井館長 取り残されちゃダメでしょうね。もっともがかないとダメだろうし、今の環境を、彼(=武蔵)は無駄なことをやったほうがいいんじゃないかと思いますね。今のままでずっとテクニックをどんどんうまくしていくって言っても、怖さがないんですよね。怖くないから入ってこれちゃうというか。パンチもそうですけど、速いんだけど体全体で打ってないから効かない。一発がほしいですね。ウワッていうヤツが。

—今日の決着(ミルコVSハント戦)というのは、東京ドームへの参考にはなりますか？

石井館長 当然、ミルコ選手はそうですよね。ミルコ選手は今ベスト8ファイター以外であれば、ベスト8ファイターを越えた一番近いところにいる選手でしょうね。

　直接東京ドーム出場ということはありますか？

石井館長 う〜ん、その辺はまだ考えてないですけどね。

　リング上で猪木さんと「プライド」を分けておっしゃってましたけど。

石井館長 あ、あれは猪木軍と「プライド」勢ということで、僕の中では別物ですね。もう、「プライド」は今は猪木さん離れというか、猪木さんを越えて1つの競技として確立しつつあるという感じが僕はしたんですけどね。その分、他流試合とか異種格闘技戦みたいなおもしろさがちょっと消えてるというか。その中に刺激を与えられたらなと思うし。猪木さんのほうは他流試合という部分の中で、非常に僕らにとっては刺激的。年末年始、夏と絡めて、K−1ファイターにもだんだんそういう自覚というか、ただ勝つだけでなくてお客さんを楽しませて、お客さんを満足させて勝たないといけない。試合中はそれに集中したらいいんですよ。だって、WWFの試合だってそうですけど、やっぱり出てきて、でも試合はプロレスなんですよ。終わった後とか試合の始まる前のお客さんへのサービスというか、そういうことまで考えなくちゃいけないし。K−1全体も考えていかなくちゃいけない。それが若いファンを取り込んでいかないといけないし、ファンをいつまでもあきさせないで引きつけていくことだと思うんですよ。WWFを見に行って凄い良かったと思ったのは、若い子、中学生とか高校生が多いんですよ。だから、これはブレイクするなと。若返りをしていかなくちゃいけないなと思います。それはプロレス界もそうだし、格闘技界もそうだし。K−1も若い女の子とか多いし、若いファンが多いので。ただ、リングサイド周りが少し年輩の方が多いので、その辺もリングサイド周りに若い子たちがチケットを買えるような設定にしていってあげたいですね。■

名古屋大会レポートは85ページに続きます

ロック様の妙技をSRS・DX的視点で徹底検証！

JUST BRING IT!（かかって来いよ）

WWF日本上陸はマット界をどう変える？

3月1日、実に8年ぶりとなるWWF日本上陸。ハウスショーであるにも関わらず、横浜アリーナは16000人超満員の観客で膨れ上がり、ロック様の妙技を始めとしてWWFのスーパースターたちに酔いしれた。興行的にも大成功を収めた今回の日本上陸。今後、K−1、「プライド」、プロレス界にどんな影響を及ぼすのか徹底検証してみた。

武藤敬司が見たWWFとは？

あんなカラフルなプロレスは日本ではできないよ！

聞き手◎石黒由佳子
撮影協力◎スタジオエビス

2月26日、正式に全日本プロレスに入団した武藤敬司。日本で最もWWF向きなレスラーの存在でもある武藤にテレビ解説も務めた3・1WWF「スマックダウンツアー・ジャパン」について語ってもらった。武藤にとってWWF日本上陸は脅威となるのか？

武藤敬司 in WWF!

—今日は全日本プロレスの武藤敬司選手に、これからのマット界がどうなっていくのか、話を聞きに来ました。

武藤 そんなの俺も聞きたいよ。

—えっ（笑）。まずは、この前WWFが日本初上陸を果たしましたが、武藤さんは解説席でご覧になってましたよね。あれだけ間近で見てどうでしたか？

武藤 凄かったですねぇ、凄かった。正直言って、1試合目からメインまでのクオリティーの高さっていうのは凄いですよね。で、同じような内容の試合が被ってこない。やっぱり層の厚さというか、かつそれについてくるファン。もう、勉強してるっていうところで、ファンの人たちも凄いなぁと思った。

—武藤さん自身は、あの日出場していた選手たちのキャラクターというのは把握されてたんですか？

武藤 いや、知らなかったです。どっちがヒールでどっちがベビーとかって分かんない。それをファンは分かってんじゃない。だから凄いなぁと思って。

—あの会場に来ているファンは100パーセント理解してる感じでしたもんね。

武藤 何を見て勉強とかしてるのかなぁとかさ。

—テレビの影響が大きいんですかね。

武藤 ただ、民放で……ああ、12チャンネルでやってるか。

—あとはJスカイスポーツとかもありますからね。和訳がまったくなくてもあれだけ盛り上がってましたもんね。

武藤 ねぇ。ホントに分かって盛り上がってるのかなと思って。俺は分かんねぇけど。

—そうなんですか（笑）。

武藤 俺、分かってないよ（笑）。

—でも、武藤さん楽しそうに見てましたよね。

武藤 いや、見てて楽しいもん。あと、一応、みんなご挨拶に来てくれたからさ。

—ジェリコ選手とかロック様とか。

武藤 フレアーとか、リーガルも来てくれたし。あと船木も来たし。俺知らないところで、女のマネジャーがいたダッドリーボーイズ？　じゃないなぁ、ジャイアントとやったヤツだよ。ビッグ・ショーの相手をした1人もなんか挨拶に来たよ、知らないけど。

—武藤さん何気に知られてるってことですよ。

武藤 そりゃあ、俺だって頑張ってたんだからさ。ていうか、同じチームメイトとしてやってた人間ばかりじゃない。

—先ほどクオリティーが高いとおっしゃってましたが、WWFのプロレス自体に特別なものは感じられましたか？

武藤 いや、やっぱりなんて言うのかな、チームプレーのね、組織力が凄いね。200人以上のレスラーの中から、選りすぐられたタレントたちじゃない。もう、どっちかっていうと、日本っていうのは、"俺だけ目立てば"っていうのがあるけども、向こうは興行ってものを全てチーム一丸でその歯車としてみんなが回ってる。ただ、俺も以前はそのチームメイトの1人だったから、みんなフレアーとか挨拶に来てくれたと思うんですよ。同じ釜のメシを食った仲で。

—フレアーさんも自ら武藤さんに握手に行ってましたもんね。

武藤 いや、入場する時から「ムタどこだ、ムタどこだ」ってマスコミの人に聞いてたから。俺、それ分かったんですよ。

—ジェリコ選手とロック様の試合では場外乱闘で……。

武藤 殴られたでしょ。まっ、殴られておいしい殴られだね。

—おいしい（笑）。そう言えば、武藤さんは場外乱闘の時に、ロック様にモニター渡そうとしてましたよね。

武藤 いや、重たくてさ、渡せなかったよ（笑）。ただ、勝手に俺の水を取って、あれはやっぱり、毒霧を意識してやったあれだと思うけどね。面識ないんだよ。

—ん？

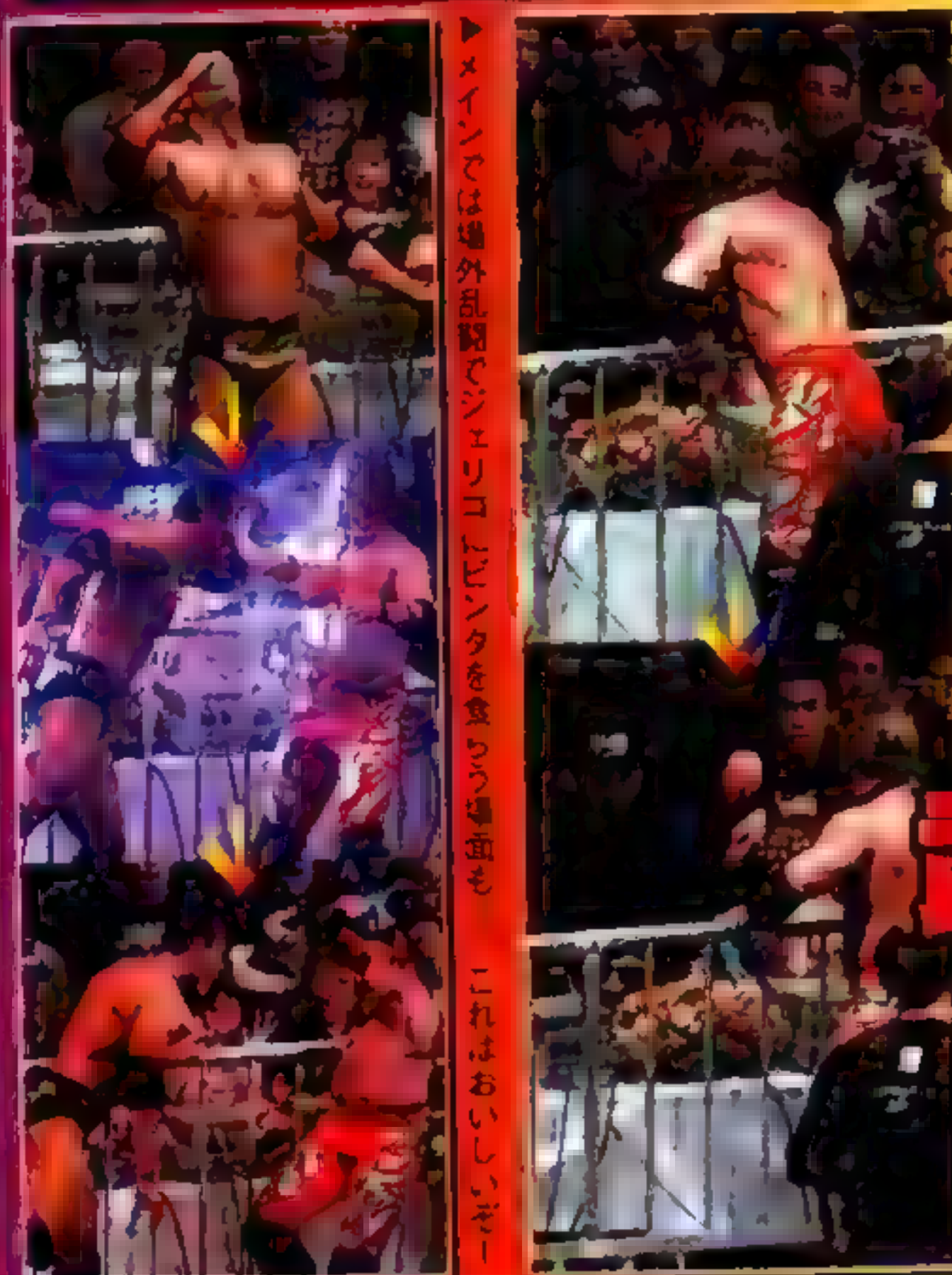
武藤 ロックって。

—そうなんですか？

武藤 ないないないない。お父さんとは試合をしたことあるけど。ロック自身は俺面識ないよ。初めてあそこ（＝リングサイド）で会ったんだよ。

—ロック様を見てどうでしたか？

武藤 ん？　いや、実にいいんじゃないですか。うん。WWFのガードの固さっ

▶試合後にロック様とガッチリ握手した

▶メインでは場外乱闘でジェリコとビンタを食らう場面も　これはおいしいぞー

▶同じくロックvsジェリコ戦の場外乱闘で、ロック様が武藤のペットボトルを奪いジェリコへ毒霧ならぬ★霧攻撃　これはムタを意識したもの？

▶フレアーはリングインする前と退場する時の2度、武藤と握手をした

TAKAみちのくとフナキも試合後にご挨拶

て、俺、挨拶に行こうかなと思ったんですよ。俺らでも入れなかったんですよ、控室に。だから、そのまま解説席であそこでみんな初対面じゃない。

―それにしてはえらい手厚いもてなしでしたね。

武藤　そうそうそう。ただ、試合が終わって俺の携帯に電話があって「今六本木で飲んでるから」っていうあれで、マクマホンジュニアの息子と、ロックとかホントはジェリコも電話掛かってきた。ロックとも話したんですよ。

―ロック様は「一緒にやろうよ」みたいなことを言ってたようですね。

武藤　言ってたけど、社交辞令だね（笑）。一緒にやったらいくらふっかけられるか分からないよ（笑）。

―アハハハ。武藤さんから見て、WWFの優れている点というのは、どういうところですか？

武藤　なんていうか、真似しようと思ったってできないですよ。それはもうアメリカっていう土壌が作ってるプロレスだから。もう、人種がいっぱいいるし、肌の色だってみんな違うし。体も綺麗だしさ、みんな。あれだけカラフルなプロレスは日本ではできませんよ。

―その中でも、武藤さんはWWF向きの選手だと言われてるじゃないですか。

武藤　ていうか、あの歯車の1つには入れるよ。今でも入る自信はあるし。

―日本でもエンターテインメント路線を打ち出してる団体もありますよね。

武藤　う～ん、ただやっぱりダイナミックさとか、例えばビッグ・ショーだとか、ケインみたいなあんなデカイのもいなければさ、ねぇ。まだ受け身とかそういう部分でもアメリカのWWFは洗練されてるじゃない。それはやっぱり二百何人の中から選ばれてるメンバーだからね。

―私もこの間会場でWWFを見たんですが、選手の人たちがホント指先まで神経が行き届いて美しいなぁと思ったんですよ（笑）。

武藤　うんうん、それは大げさだけどね。

―あっ、大げさですか（笑）。

武藤　うん（笑）。ただ、あそこの歯車の1つに入ったら大変なことは大変ですよ。まず、移動だけでも大変でしょ。

―では、WWFの欠点をあえて挙げるとしたらなんでしょうか？

武藤　欠点？　最終的に俺が乗り込んだ場合に……この前のメイン見た？

真似しようと思ったってできないですよ。アメリカって土壌が作ってるプロレスだから

―ええ、見ました。

武藤　メイン見て、残業の20～30分？　あれは俺はできねぇわ。やっぱりあそこの言葉のプロレスをやられると、太刀打ちはできないですねぇ。やっぱり英語圏の強さだね。

―あれはなんとなくみんな分かってて沸いてた感じもしましたけどね。

武藤　あえて分かりやすいもので、あいつらやっぱりプロだから、分かりやすいことでやったと思うよ。まっ、テレビの仕組みとか見てても言葉のプロレスだけはついていけないよな、俺はな。もしWWFに行っても、そこで一ランク半落ちるよな、俺。

―でも、グレート・ムタは喋らないですよね。

武藤　それは当時通用したギミックであって、それが果たして今のテレビプロレスに対して、どこまでそれでいけるかどうかというのはクエスチョンだよね。

―う～ん。こうやってWWFが日本に上陸して、今、注目されているのが、武藤さんが入った全日本プロレスが、WWF方面に向かうのではないかということなんですけども。

武藤　ん？　というか、なんて言うのかな、正直言って全日本プロレス、ジャイアント馬場って、アメリカの本土でも信用というのが凄いありますからね。で、もともと日本の全日本プロレスっていうのも、外人王国だなんて言われた時期もあるし。外人でそういうふうにやってた時もあるからね、テリー・ファンクとかアブドラ・ザ・ブッチャーとかね。そういうのみんな知ってますからね。

―今回のWWFフィーバーで、日本でもエンターテインメントプロレスがウケるんだってことが実証されてる感じもあるんですけども……。

武藤　いやぁ、1回だけじゃ分かんねぇだろ。俺らだってここでね、ああいう新興勢力をディフェンスしながら、本土、俺たちのテリトリーを守りに行くからね。逆言ったら、違った方面でぶっかけなきゃいけない部分もあるし、あいつらにできないプロレスでこのテリトリーを守んなきゃいけないからね。

―それは具体的に言うと、どういうプロレスなんですか？

武藤　具体的に？　具体的なんかは分からないよ。要は闘いだろ。

―武藤さん的にWWFは脅威に感じてますか？

武藤　感じてますよ。いややっぱりね、自分の中でもね、把握してないんですよ。うまく利用しようかなっていうのもあるしさ。

―提携するんじゃないかって話もチラホラありますよね。

武藤　提携……ああいう大きなところと提携とかどうとかなんて、組織としての仕組みが雲泥の差があるからさ。

―提携まで行けたらいいなぁと思うのか、まったく違うものを突き詰めていこうと思っているのか。

武藤　いや、向こうで武藤敬司、全日本っていうのがどれだけメリットがあるのかっていう部分がまだ分からないからね。

―アメリカにも視察に行かれるという話もあるんですよね。

武藤　ま、まあ（笑）、とりあえず今全日本プロレス入ったばっかで、そっちのほうを一生懸命しなくちゃマズイじゃないですか。その後の問題でしょうね。

―日本のプロレス界はここ何年間で、K－1や「プライド」が出てきたことに

よって、対K―1、対「プライド」というテーマがあったと思うんですね。で、WWFというのはK―1や「プライド」とは完全に対極の位置にあるものだと思うんですよ。日本のプロレス界は間に挟まれているような感じがするんですけども……。

武藤 いや、WWFに近いんじゃないの、もっと。いや、もし俺が理想とするんだったらね。とは思うけど？

――では、挟まってるという感じはしないですか？

武藤 同じふうにしたら、良くないじゃん。俺たちは俺たちの世界を築きたいじゃないですか。うん。どっちがどう、二極しかないような気がしないからね。うん。

――武藤さんがWWFの後に話してた「プライド」よりも脅威に感じるというのは、具体的にはどういう感じなんですか？

武藤 今まで全日本のキャッチフレーズのなんだっけ？

――「明るく、楽しく、激しいプロレス」ですね。それに今度は「新しい」が加わったんですよね。

武藤 うん、そうそう。今、新しいっていう部分をとりあえず考えなきゃいけない時じゃないですか。まだ、もっと土台作りをしないといけない。かつ、俺が全日本プロレスでの縄張り、俺がのさばるためのステップしてる最中だから、まだそこまで先のことを考えてないですよ。

――全日本プロレスの中で自分の場所を作っていくということで、考えてらっしゃることはなんですか？

武藤 いやさしあたって、次のチャンピオンカーニバルで、勲章ってものが欲しいじゃないですか。新日本じゃない、全日本に入ってからの。三冠もないし、うん。全日本内部から認めさせる作業をしないと。

――そこでどんどん足場を固めていって、全日本＝武藤みたいな感じにしていきたいと。

武藤 全日本＝武藤は大げさかもしれないけどね。そういう仕組みを考えていけば、WWFみたいな強い組織にしたいっていうのはあるよ。逆に「プライド」みたいなタレントが苦しい組織にはしたくないなっていうのもあるね。

――「プライド」のタレントが苦しいと

「プライド」みたいなタレントが苦しい組織にはしたくない

いうのは、どういうことですか？

武藤 う～ん、負けたら終わりの世界でもう何も次がないっていう世界じゃん。タレントとしては厳しい世界じゃないですか。使い捨ての世界であり、あそこにはなんか俺、夢を感じないというかさ。

――武藤さん的にはWWF的な団結力のある組織で夢のあることをやっていきたいんですね。

武藤 うん、だと思うよ。まだ分からないし、漠然としてるけどね。でも、WWFは厳しいからね、言っとくけど。厳しいけどさ。変な話、向こうも使い捨てとかあるけどさ。

――武藤さんはK―1とか「プライド」は気になってますか？

武藤 気になるけど、あえて気になる必要はないじゃん。俺らあの世界じゃない、プロレスでメシ食ってるわけであって。だから、全日本プロレスの新しいプロレスっていうものを少しずつ証明していかなきゃならないんだから、そこを今一番頑張っていかなきゃならないところであって。

――では、新日本プロレスのほうが気になりますか？

武藤 いや、今はもうなんない。

――他の団体はどうですか？

武藤 いや、ホントは気になるかもしれないけど、あえて気にしないようにしてるよ。今はよそ様の手を借りてどうとかすること自体、地盤沈下になることはたしかだし。自分たちの基礎体力を今作らなきゃいけない時なんだからさ。

――なるほどぉ。いや、てっきりWWFと提携なんて話が進んでいるのかと思ってました。

武藤 いや、そういう部分、それが全日本のためになるんだったら、そういうのも動きますよ。うん。全日本のためがイコール自分のためにもなるからね。

――いずれロック様と闘える日がきたらいいですねぇ。

武藤 そうは思ってるけどさ、うん。なかなかそんな世の中うまくいくわけないじゃん。ただ、なんて言うのかな、風はこっちに向いてるなっていう部分は感じるからね。

――おおっ！

武藤 こうやって「SRS」だっけ？

――はい。

武藤 「SRS」も来てくれるし。今までそんなめったに来てくれなかったのにさ（笑）。

――す、すみません（笑）。

武藤 だから、そういう部分で追い風を感じるみたいなね。批判を受けようが、何しようが一番注目されてるんだからさ。そういうのひっくるめて全部自分のチャンスにしなきゃしょうがないじゃないですか。プロなんだから。うん。

――WWFのことを聞きたいなと思って誰かなと考えて、最初に思い浮かんだのが武藤さんだったんですよ。

武藤 そんなにみんなWWFに注目してるんだったら、WWFとお話しに行ってもいいよ。べつに。

――いいんですか（笑）。

武藤 いいよ。幸い全日本は試合数が新日本より少ねぇからさ。余った時間を有効に使うのもレスラーの条件だからさ。

――その余った時間でウチの取材も受けていただけたと（笑）。

武藤 また、もう1コ階段を上った時に来てくださいよ（笑）。

――それは、ぜひともお願いします！

武藤 うん（笑）。意外とすぐかもしれないよ（笑）。■

「船木も、TAJIRIも俺様が育てたようなもんですよ」

聞き手◎谷川貞治

WWFエグゼクティブ、シェイン・マクマホンと

―「プライド」のルールディレクターであり、K―1のメインレフェリーを務めている島田レフェリーが、なんでWWFを見て、あんなに騒いでいたわけ?

島田 いやぁ? 最高でしたね、ハイ。WWFはエンターテインメントスポーツなんですよ。だから、小さい子供から老人まで楽しめる。もともと『ロウ』とか『スマックダウン』は、テレビ番組じゃないですか。だから誘拐があったり、バックステージで不倫があったりとか、社会の情勢をそのままプロレスとしてやっているんですよ。バックステージでいろいろあって、リング上でマイクアピールして、それでなぜか遺恨が始まってしまうという。最近はオーナーのビンス・マクマホンとリック・フレアーがいきなり始めちゃったんですよ。リック・フレアーが50%の株を持ったんですよ。

―それはガチンコで?

島田 ガチンコでって言うと嘘ですけど、それを真剣にビンス・マクマホンが演じて、50%の株をリック・フレアーから奪いたいわけですよ。一方のリック・フレアーはWWFを古き良きレスリングに戻したいと。そういう展開が正月から始まってるんですよ。会社で言うと、労働組合と社長の絡み合いみたいで面白いじゃないですか。

―日本での試合もそうだったの?

島田 この間の試合は、ハウスショーと言われるもんなんですよぉ。たぶん、日本人向けにハウスショーにしたんですよねぇ、ハイ。ハウスショーは試合を見せるのが主なんでね。『ロウ』とか『スマックダウン』は2時間番組の中で、マイクアピールが1時間20分くらいあるんですよ。で、試合は3分か5分。向こうの選手は〝タレント〟と呼ばれているんですけど、一部の選手はスーパースターと呼ばれてるんですけど。僕の親友というか、僕のかわいい後輩であり、良き友であるショー船木は、ハウスショーのほうが気合いが入るって言うんですよ。『ロウ』とかは試合を見せるよりも、サイドストーリーを見せて、ハウスショーは試合を見せるのが主なんですよ。でも、みんな日本風にアレンジしようとしすぎて、第1試合のエッジとリーガルは失敗しましたね。試合は長すぎるし、何を見せたいのか、ちょっとアレンジしすぎですよ。でも、ショー船木は分かっているから、日本風にアレンジしなかったんですよ。TAJIRIも。僕のアドバイスどおりですよ。

―TAJIRIも知り合いらしいじゃん。

島田 当たり前じゃないですか。僕が、大日本で活躍しているのを発掘して、今の新日本のジュニアチャンピオンの田中稔と試合を組んでやったりしてたんですよ。バトラーツで。

―バトラーツ出てたの? へぇ〜、大出世だ。

島田 バトラーツでやってたからこそ、彼は出てきたんですよ。僕がプロデュースしなかったら、彼のプロ人生は90%くらい変わってますね。僕がWWFマインドを教えてやったようなもんですよ。船木にも。

―でも、キミはダメじゃん、今。

島田 いえいえ。僕はレフェリーとして「プライド」で活躍してるじゃないですかぁ。

―だって、あっちは1億くらい稼いでいるんでしょ?

島田 お金じゃないんですよ。僕だってWWFからオファーありますけど、家族が大切だから行かないだけですよ。

―なんのオファーがあったんだよ。

島田 トラックの運転手とか。

―チンケなオファーだなぁ(笑)。

島田 向こうで僕のライバル、アル・ヘブナーっていう一流レフェリーがいるんですけどね。僕の語学力じゃ、アル・ヘブナーのところまでは行けないなぁと思って断念してるんですけどね。あと5歳若かったら行ってますね。

―WWFが来たことによって、日本のプロレスには影響があるの?

島田 あるでしょうね。やっぱりWWFの選手ひとり一人に個性があるんですよ。日本はもう年功序列を廃止しなきゃダメですよ。新日本で言うと、今はタナケンがメインですよ。天山なんか5年くらい前にメインにして、どんどんエースにしてないからダメなんですよ。K―1とかもそうじゃな

日本は年功序列を廃止すべきですよ

いですか。ミルコとか、マーク・ハントが出て来るから面白くなってる。もうホースト、ピーターの時代じゃないですよ。

——じゃあ、これからマット界自体は変わっていくの？

島田　ああいうお金のある面白いものを見せられたら、後楽園ホールとかで、ただ試合をしているのがチンケなものに見えるでしょうね。でね、あいつらはよく練習しているんですよ。

プロレスの？

島田　プロレスもそうですけど、トレーニングを。要は、自分に金掛けてますもん。日本のレスラーはもっと自分に金を掛けなきゃダメですよ。パーソナルトレーナーを雇ったりとか、サプリメントに気を遣ったりとか。そういうのが足りないですよ。ロックなんて30分でワークアウトできますからね。ワークアウトと言えばBCGですけど。

——何それ？

島田　今度オープンする俺様のジムなんですけど。ロックも通ってる。

——ロックも通ってるの？

島田　一応名誉会員にしときました。船木を通じて。「次はお前のジムに行くよ」って言われましたよ。

——凄いジムじゃん！

島田　当たり前ですよ。誰がやってると思ってるんですか。

——でも日本人に、WWFはできるの？

島田　武藤さんなんか全然できますよ。日本のファンには無理だと思いますけど、選手にやれって言ったらできると思いますね。あとは演出の問題ですよね。ちゃんと放送作家がサイドストーリーを作ってあげるという。選手がマッチメイクをしてたらダメですよ。キャスティングから入らないと。ドラマ作りと同じですよ。コイツとコイツが闘ったら面白いストーリーになるんじゃないかとか、そういうふうに考えていかないと。

——じゃあ、逆に格闘技界には影響ある？

島田　格闘技界にはあんまり影響はないと思いますよ。演出は、K—1や「プライド」も全然負けてないと思うんですよ。で、やってることも両極端なんで。ただ、あのバックステージのドラマを、K—1とか「プライド」も導入したら面白いかなぁと思うんですけどね。

——もっと身の上話を出すとか。

島田　そうそう。だから安田さんの年末の勝利なんてWWFみたいなもんじゃないですか。大借金を背負って、アメリカンドリームみたいになっていく。そういうのに日本人は弱いじゃないですか。

——ところで、モーニング娘。ってWWFなの？

島田　エンターテインメントの部分はWWFだと思いますね。

——モー娘。も仲がいいとか、悪いとかのバックステージが面白いんでしょ。だったら、つんく♂はビンスみたいなもんなんだ。

島田　ちっちゃいビンスですよね。ビンスは懐深いですよ。だって、自分が試合してますから。「プライド」やK—1で言うならば、森下社長や石井館長が試合やってるようなもんですよ。

——キミは、WWFとK—1と「プライド」と、どの世界が一番好きなの？

島田　凄い質問ですね。お客としてK—1と「プライド」見たことないから分からないですけど、テレビで見るならWWFかな。展開がドラマチックじゃないですか。会場で見るなら「プライド」。で、女の子連れて行くならK—1かな。うまいまとめ方でしょ？

——ふ～ん。じゃあ君は、WWFを見たら濡れるの勃つの？　どっち？

島田　僕は勃ちますね。

——勃つんだ～。へぇ～。

島田　あと女子マネージャーが最高ですね。ある筋からチケットをもらって、一番前の席だったんですよ。年甲斐もなく興奮しちゃいましたよ。初めてキャバクラ行った時みたいでしたよ。なんてきらびやかな世界なんだ！　って。アメリカでも何回か見てるんですけど、日本でやってるってのがまたいいんでしょうね。

——ふ～ん。

島田　日本の団体で、頭のいい団体があれば、WWFに売り込んで、ファーム団体になったらいいんですよ。アメリカに2つあるんですよ。WWFには選手が150人くらいいて、でも「ロウ」に出ている選手は15人くらいじゃないですか。それ以外の選手はウェイティングとかファーム団体にいかせて、いい選手をコーチしているんですよ。それだと安くWWFの選手が来るじゃないですか。そういうふうにどっかがなったら面白いと思いますけどね。ファームって言い方は語弊があるかもしれないけど、そこで活躍したら本場にもいけるし、本場の選手も貸してもらえるし。昔の業務提携というより、完全な配下に入っちゃったら面白いんじゃないすか？

——で、キミはWWFとどう絡むの？

島田　最終的には、全面対抗戦ですよ。ロック対ノゲイラとか。

——「プライド」と対抗するの？

島田　そう。どっちかが潰れるまで。

——ロック対ノゲイラはちょっと見たいなぁ。

島田　ストーンコールド対ミルコ・クロコップとかね。「プロレスハンターならオレとやってみろ！　WHAT？」とかやってね。カート・アングル対小林孝至とかね。金メダリスト対決。

——WWFに、キミみたいな悪徳レフェリーはいるの？

島田　いますよ。一人WCWにニックっていう悪徳レフェリーが。

——キミはガチンコの試合で悪徳だもんな（笑）。

島田　いま初めて気が付いた（笑）。悪徳だったんだぁ。僕は自分の中では、レフェリー界のロックなんですけど。みんなはジェリコだと思ってるんだ。ギャップがあるんだなぁ。どうやったらベビーフェイスになれますかね。

——ま、一生なれないね。

島田　うちの双子が泣きますよ（笑）。あ、船木のことだけ言わせて。船木はね、僕の一番かわいい後輩ですよ。後輩っていうよりブラザーですよ。よく電話が来るんですよ。「島田さん元気ですか～」とか。これは他の後輩に見習わせたいね。

——船木はどこの人なの？

島田　もともと藤原組。で、バトラーツに。

——バトラーツにいたの？　大出世じゃん！

島田　みんなの踏み台ですよ。ケインだって、みんな、キミを踏み台にしていくね。ジェフ・ハーディーだって僕が見つけてたんですよ。僕がつんく♂みたいなもんですよ。船木、TAJIRI、そのへんみんな。

——見る目はあるんだ。

島田　見る目はあるんですけど、金がないんですよ。WWFの原石は探してるんですけどね。ヨネもノアに行ったし。みんなちゃんと育てているんですよ。でも、俺様の手元に金がないと。あるのは借金ばかりなりけり、なんてね（笑）。■

▶実はこのTAJIRIも、バトラーツのリングに上がっていたことがあったのだ

▶島田レフェリーの親友でありブラザーであるショー船木と

どう触発されたのか？

僕はWWFのプロレスよりもビジネス構造に興味がありますね

石井和義
（K-1プロデューサー）

――石井館長は最前列でWWFを見てましたよね。さすが勉強されてるなって思ったんですが、石井館長の感想をお聞きしたいんですけど。

石井　まずビックリしたのは、意外とお金がかかってなかったことですね。演出面においても、K-1や「プライド」に比べて全然お金をかけていない。あれはかなり儲かったんじゃないですか？（笑）。

――演出にはお金はかけてないけど、お客さんのノリが演出になっていましたよね。

石井　そうですね。非常にみんなWWFの楽しみ方を知ってますよね。しかも、年齢層がK-1に比べても若い。それは脅威に感じましたね。やっぱりそのジャンルの未来を支えるのは若い年齢層じゃないですか。だから、K-1でも若い子たちがリングサイドでも見られるように、チケット料金を安くするとか考えないといけませんよね。でも、WWFって衛星放送しか見られないんでしょ。あそこに来ていたファンというのは、ある程度裕福な家庭環境にいるんでしょうね。

――いや、最近はケーブルテレビが普及してきて、わりと一般家庭でも「Jスカイスポーツ」は見られるんですよ。

石井　へぇ～。でも、その「Jスカイスポーツ」であそこまでファンを教育しちゃうんですから凄いですね。僕は実際にWWFを見て、プロレスとして凄いのかどうか、面白いものなのかどうかってのは分からないんですよ。それよりも興味があるのは、WWFのビジネス形態ですよね。たとえば、WWFは、映像を自分たちでしっかり管理して、自分たちが放送局を分けて売っている。それでソフトとしてストーリー作りをしてビジネス化してるじゃないですか。K-1もフジ、日テレ、TBSさんと放送しているんですけど、ソフトの見せ方としては全部それぞれの局にお任せしているんですよ。だからワールドGPはフジらしい作り方だし、ジャパンは日テレらしく、中量級はTBSらしい作り方になる。でも、WWFは全部自分たちで作って、ソフトを売り分けているんですね。そんなビジネスの違いに興味がありますね。

――なるほど、なるほど。

石井　WWFは「ライバルはディズニー」と言ってるらしいじゃないですか。そういうWWFに興味がありますよね。たとえばK-1なんかは興行収益がイベントを支えているし、これは日本のプロレス団体全部同じだと思うんですよ。ところがWWFの場合は1位が放映権収入で、2位がグッズの売り上げになっている。そういうビジネス構造を作って上場したところに興味がありますね。でも、国内の他のプロレス団体が脅威に思わないのはおかしいと思いますよ。少なくとも、僕の視界にはWWFが入っているし、負けないつもりでやります。■

WWFはハリウッド映画が来たようなもんじゃないんすかねぇ

村浜武洋
（大阪プロレス）

――村浜さん、3月1日のWWFってご覧になられました？

村浜　いやぁ～、見てないんですよ。

――普段はテレビ等で見たりってしていますか？

村浜　テレビ東京でやっているヤツは見てますよ。

――ああ、「LIVE WIRE」ですね。あれはどうなんですか？

村浜　あんまり好きじゃないですねぇ。アングルが分からないと、見ていても分からないじゃないですか。

――いきなり見ても話の筋が分からないですもんね。

村浜　会場でパッと見て分かるヤツじゃないとね。それに、所詮レスラーがやっていることだから、三文役者がやっているようなもんじゃないッスか。

――三文役者！（笑）。

村浜　ちゃんとした役者がやっているんであれば、違うんだろうけど。

――でも、この前のWWFの会場はもの凄い盛り上がり方だったんですよ。なぜだと思います？

村浜　ハリウッド映画が来たようなもんなんじゃないんスかねぇ。やっぱりスケールが違いますもん。大阪の小さい会場と、アメリカのあの大きな会場でやっていることだとスケール感が違いますよ（笑）。ハリウッド映画も話は大したことないけど、スケール感があるでしょう？　それと同じことだと思いますよ。

――K-1や「DEEP」に出ている格闘家としての村浜さんから見て、今回のWWFの上陸ってどうなんですか？　なんか格闘技界に影響があると思いますか？

村浜　あんまり関係ないんじゃないですかね。まあただ、同じエンターテインメントですからね。お客さんにお金を払ってもらって見てもらってるんッスから。だから、同じエンターテインメントとして見ると、あのスケールは凄いですよね。お客は面白いモノを見に行きますからね、プロレス・格闘技関係なく。

――じゃあ、プロレス側から見たらどうですか？

村浜　あんなんに大阪に来られたら、たまらんですよ（笑）。お客を全部取られますよ（笑）。

――大阪プロレスって旗揚げの時に、スペル・デルフィンさんが「映画みたいなプロレスを目指す」みたいなことを言ってたじゃないですか？

村浜　でも、同じことはできないッスよね。日本人があんなセリフ言ってもクサイじゃないッスか（笑）。英語でやっているから、格好良く聞こえるんですよ。僕らも所詮三文役者ですからね。だから、あれをやるには役者で、ある程度演技のできる人間じゃないとダメッスよね。■

WWF日本上陸で!? マット界はどう変わる!?

ライブで見た人を中心に関係者に聞いてみた!

WWFに、あなたは

篠原光
（チーム南部）

WWFにはみんなやっぱり憧れているから、かなり影響されると思いますよ

——篠原さんはWWFのリタが好きって言ってましたよね？ 3月1日は、見に行かれました？

篠原 ……行ってないんですよ。3月1日って、『スマックガール』の前日でしょう？ 実は減量がきつくて、六本木のサウナにいたんですよ。WWF行きたかったんですけど。で、12時30分頃にウォーリー山口さん（大会当日レフェリーをやっていた人）に「ロックたちがいるから、来い」ってハードロックカフェに呼ばれて、ちょっとだけ顔出したんですよ。

——ああ、打ち上げですか？ じゃあ、まさかロック様を生で見たんですか？

篠原 見ましたね、リタもいましたよ。格好良かった（笑）。

——話したりしたんですか？

篠原 ちょっとだけ、なんか違う生き物みたいだね（笑）。

——普段は、テレビで見ているんですよね？

篠原 はい、「Jスカイスポーツ」とか民放でやっているのを見てますよ。面白いですよね。

——どこが面白いと感じるんですか？

篠原 なんかやることが凄いワイルドだし、車とか壊したりとか、彼女が取ったとか取られないとか、ストーリーが凄い好きですね。プロレスも凄いと思いますけど。

——日本のプロレスと比べるとどうですか？

篠原 なんか迫力が違う。怒り方とかも違うし。アメリカ人特有のってあるじゃないですか。なんかやっているんじゃない？っていうぐらい、キレ方も凄いし。

——もし、WWFが日本で放送され続けると、日本の格闘技とかプロレスってなんか影響ありますかね？

篠原 あると思いますよ。みんなやっぱり憧れているから、かなり影響されると思いますよ、絶対に。

——どういうところに憧れているんですか？

篠原 見てくれもいいし、ナイスガイだし、凄い汚いデブもいないし。デブはデブでも、汚くない迫力のある悪そうなヤツだし。女の子たちもキレイだし。本当にアクトレスっぽいし、ちゃんと映像に耐えられる（笑）。それと、練習や打ち合わせも全部が全部しっかりしているじゃないですか？ ちょっと日本のプロレスって、たまに適当っぽいところもあるし。

——あれを日本でやると流行りますかね？

篠原 だから、半年に1回とか年に1回とかがいいんじゃないですかね？ 日本人って最初は物珍しく、バーッと来るけど、結局飽きちゃう部分があると思うんですよね。やっぱり新日本がいいとか、全日本がいいとか。やっぱり見慣れているほうが。どっちが見慣れているかというと、やっぱり日本のプロレスのほうだと思うし。だから、半年に1回とか年に1回の興行ペースのほうが儲かると思いますよね。■

鈴木健想
（新日本プロレス）

生WWFを見て、明るい未来は見えましたか？

——鈴木さん、最前列で見たWWFの感想を聞かせてください（笑）。

鈴木 ハッハハハハ。いや、好きだから見に行こうと思って。

——よく、テレビでご覧になるんですか？

鈴木 そうですね、FOXとかで。

——実際生で見て、どうでしたか？

鈴木 新しいプロレスかなぁと思って。ドリフ的なところがあって、オチを楽しむというか。ハッハハハハ。

——誰が一番印象に残っていましたか？

鈴木 まず、びっくりしたのはショーよりも、外国人レスラーが武藤さんに凄いリスペクトがあったことですね。見てて小川さんがかわいそうになっちゃいました。凄いなぁと思いましたね。いつも身近にいたんで、分からなかったんですけど。やっぱアメリカ人は奥深いというか。

——武藤さんへのリスペクトに、アメリカ人の奥深さを感じたんですか（笑）。新体制になった新日本プロレスにとって、参考になったところってあります？

鈴木 結局、格闘技とかプロレスとか関係なく、彼らは自分にプライド持っているなぁと思って。リングの外から見ても、プロレスって格闘技に比べて、肩身が狭い思いをしているのかなぁと思いましたね。日本のほうが。プロレスより格闘技っていう雰囲気がある中で、向こうのプロレス見た時に、彼らに凄いプライドを感じましたね。

——鈴木さんも肩身が狭いって感じがあるんですか？

鈴木 う～ん、肩身が狭いっていうのはないですけど、やっぱり格闘技っていうのはいろいろ耳に入りますからね。

——武藤さんは脅威だってコメントしてましたけど、WWFを脅威に感じました？

鈴木 でも別物じゃないですかね？ ファン層も別物というか。もうファッションでしょう。ファッション。

——ファッション？

鈴木 日本の若い奴にとって、WWFはK-1とか「プライド」に近い感じなんじゃないですか？ なんかもうファッションの一つですよね。なんか、新作発表に来ていた感じじゃないですか、プロレスを知らない人が。そんな感じで見ていたんですけど。

——WWFに出てみたいと思いました？

鈴木 ハッハハハハ。突きますね（笑）。

——でも、生WWFを見て、「猪木杯」も優勝されて、「明るい未来」が見えてきたんじゃないですか？

鈴木 もう、そんなに深い意味はないんですよ（笑）。そんなに増長させないでください、その言葉を（笑）。あの時は、何か面白いことを言わなきゃいけないなぁと思って（笑）。

——でも、一番目立ってましたよ。

鈴木 そうですか？ ありがとうございます。ハッハハハハ。■

ターザン山本がWWFを定義する――

匂いのないトマトとまっすぐのキュウリ

文◎ターザン山本（甦った昭和の定義王）

WWFは私にとって視界の外に存在するものである。これだけは最初に断っておく必要がある。ところでWWFの年間最大のイベントは「レッスル・マニア」である。毎年、3月の終わりから4月の初めの日曜に開催される。

2000年の大会まで私は10回以上「レッスル・マニア」を本場・アメリカの各都市で見てきた。ニューヨーク、ボストン、フィラデルフィア、シカゴ、ロサンゼルス、インディアナポリスなどだ。

私がツアーの団長になり日本からプロレスファンを引き連れて、わざわざアメリカまで〝密航〟したわけである。

「レッスル・マニア」は年と共にスターが入れ替わっていった。私たちが最初に行った「レッスル・マニア5」の時はハルク・ホーガン、ランディ・サベージにロディ・パイパーが主役を占めた。そのあとホーガンがWCWに移るとブレット・ハート、ショーン・マイケルズの時代になり、最後の頃にはストーンコールドとロックが主役になっていた。

一応、私はWWFはナマで見てきているのだ。海を渡って実際のWWFを見たことない者に、偉そうなことを言う権利はない。私ははっきりそう言いたい。

3月1日、横浜アリーナでやったWWFの試合を見て喜んでいるファンは、田舎者だ。自分でアメリカまで行って自分の目でWWFを見ろ。それなら私も認める。ところで「レッスル・マニア」のツアーは、非常に奇妙な集団だった。

参加したファンのほとんどは、昭和のプロレスファンだったからだ。それも大部分が新日本プロレスとアントニオ猪木のファン。ツアーの目的はもちろん「レッスル・マニア」の試合を観戦することがメインだったが、もう一つ別の目的がそこにはあったのだ。

それは1日だけ夜、ホテルのミーティングルームを借りて「プロレスを語る夕べ」があったことである。私はそこで講師となりプロレスについて、だいたい2時間ぐらい講演をやった。その内容は全て日本のプロレスについてである。

そこでも話の内容は新日本と猪木。WWFの話はいっさいしなかった。それでも誰も文句を言う人はいなかった。WWFは私たちにとって〝別格〟のものという意識が、初めからあったのだ。

私の場合でいうと日本のことはみんな頭から消し去ってWWFの試合を見る。そうしないと私はWWFは、楽しむことはできない。スイッチを切り換えるかギアをチェンジする必要があるのだ。

私はそれができる人間である。簡単にスイッチが切り換わるのだ。だからなんのこだわりもなく、私は誰よりも無邪気にWWFの試合を楽しむことができた。

これは私の才能の一つでもある。それをいうなら私にWWFに関する選手の知識やデータがなくても、WWFは私を飽きさすことなく見せるほど、完成された興行だったということである。ここにWWFの凄さがあると感じた。

私は私がプロレスファンである存在理由にもなっていた昭和のプロレスと、WWFを完全に別なものであると切り離して見ていたのだ。この形でしか私はWWFを見ることはできない。不可能だ。

「レッスル・マニア」が10回目を迎えた記念の大会は、ニューヨークのMSG（マジソン・スクエア・ガーデン）で開催された。この時、ツアー客は100人を越える参加者となった。つまりその頃になると、昭和のプロレスファンをしのぐぐらい一般の人たちが加わってきた。

要するにその人たちにとっては、プロレスファンになる入口が、そもそもWWFなのだ。それが決定的になったのが2000年の「レッスル・マニア」。もはや昭和のプロレスファンは、少数派になっていた。「プロレスを語る夕べ」に参加する人もまばら。完全に私の役割は終わったと判断。団長の座を降り「レッスル・マニア」のツアーから引退した。

では私にとってそのWWFとはなんだったのか？　WWFは日本のプロレスとは似ても似つかぬもの。もっというならプロレスとは、似ても似つかぬものへと突き進んでいった団体と言えるだろう。

それはどういうことかというとホーガン、サベージ、パイパーなどあくの強い個性派レスラーが、幅をきかす世界をなくしていくことなのだ。彼らは才能はあるが、きわめてわがままな人種。

その最後の生き残りが〝ヒットマン〟ブレット・ハート。彼は背広派のマクマホンJrと衝突をして、WWFを去っていくしかなかった。ホーガンやハートはアメリカ版昭和のプロレス群像。ヒットマンはその最後の生き残り。昭和のプロレスラーとして、マクマホンに抵抗したのだ。その気持ちは痛いほどよく分かる。

そしてブレットは敗れ去り、マクマホンは勝った。その瞬間、アメリカ版昭和のプロレスは終焉を告げ、WWFは新しい時代へと突入していく。ブレットの敗北は昭和のプロレスの敗北であり、また私自身の敗北でもある。

マクマホンはレスラーに勝ったのだ。それも決定的勝利である。こうしてマクマホンはレスラーより上位概念として彼らの上に君臨することになる。

WWFはこのように、レスラーの時代を終わらせた団体なのだ。ホーガン、サベージ、ブレットはレスラーの中のレスラーである。しかも最高のレスラーたち。

そういうレスラーたちは、WWFの新しい世界には必要ない。それが今のWWFの基本的理念である。それまでのプロレスを捨てたのだ。これを分かりやすい例え話でいうと、次のようになる。

昔の野菜はトマトは独特なきつい匂いを放っていた。あの匂いがないとトマトの味がしなかった。キュウリはまっすぐではなく曲がっていた。それが今のトマトにはあのきつい匂いがない。キュウリはなぜか全てまっすぐなのだ。

トマトに匂いがあったり、キュウリが曲がっていたら売れない。商品価値がないと判断され市場に出てこない。これをレスラーにあてはめるとホーガン、サベージ、ブレットがまさに匂いのきついトマト、曲がったキュウリに相当する。

参加したファンのほとんどは、昭和の
由にもなっていた昭和のプロレスと、W
メリカ版昭和のプロレス群像。ヒットマ
マト、曲がったキュウリに相当する。

そして匂いのしないトマト、まっすぐなキュウリがストーンコールドでありロックなのだ。一時、大スターになったショーン・マイケルは、そのちょうど中間にあたるレスラーということになる。

WWFはそうした匂いがしないできれいに見えるトマト、まっすぐでスマートに見えるキュウリを栽培し生産するハウスの経営者みたいなもの。完全な管理システムによって育てられたものなのだ。

しかし本来の野菜は雨や風など厳しい環境の中で育っていくもの。匂いがあるほうが自然である、形が曲がっているほうが自然なのだ。ホーガン、サベージ、ブレットと、ストーンコールド、ロックとの違いは実をいうとそこにあるのだ。

その中でもロックはハウス栽培の中から誕生した大スター。匂いもなく形も変わっていないので、昔だったら中堅止まりのレスラー。それがどうだろう。キャラがはまれば誰でもスターになれる。

サイドストーリー重視のWWFではタレント性が何よりも重視される。WWFがレスラーのことを〝タレント〟と呼んでいるのは、そういうことなのだ。

昭和のプロレスファンは匂いのきついトマトや、変形した曲がったキュウリが好きなのだ。そういう野菜の存在を知らないファンは、今のWWFに一直線に埋没していく。私のように昭和のプロレスを横に置いといて、WWFを楽しむという面倒な作業をする必要がないのだ。

逆にいうと今の観客、ファンが匂いのないトマト、まっすぐなキュウリということである。匂いがない。またはまっすぐなことは、コンプレックスを消した世界のことでもある。それはすなわちプロレスを消したという意味でもあるのだ。

プロレスからあらゆるコンプレックスを消し去ったのが今のWWF。観客もレスラーもコンプレックスを背負う必要のない世界になった。おめでとう。こうしてWWFのリングから匂いのあるトマトと曲がったキュウリは消えたのだ。■

ZERO-ONE1周年記念で破壊王版WWF炸裂！

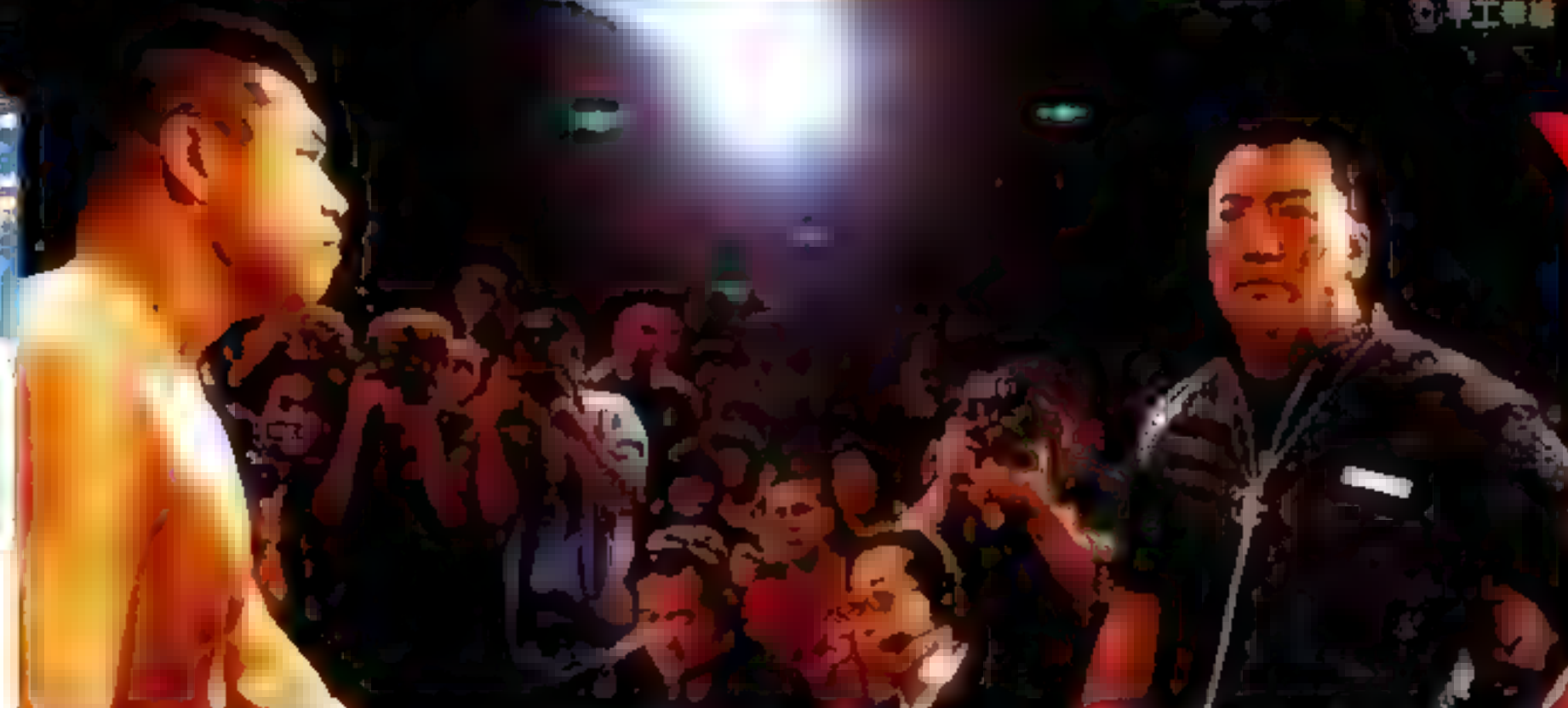
ZERO-ONE 真世紀創造'02
3・2★両国国技館

メイン終了後の大乱闘の後、小川と橋本が挨拶。まず小川が挨拶すると、橋本は「全部言われちゃいました。ありがとう！」と独特の言葉で締めくくった

破壊王ワールドが極真まで呑み込んだ!?

◀1月6日のZERO－ONE後楽園大会で、橋本を襲った元極真の小笠原和彦が、遂にZERO－ONEのリングに登場。極真小笠原道場の門下生を引き連れ、堂々の入場だ

▲小笠原と対戦したのはZERO－ONEの若手選手・崔リョージ。ゴルドーの元弟子でもある崔だが、ZERO－ONEマークに『戦』と書かれた大きな旗を持っての入場と、破壊王イズムをしっかりと身に付けていた

▶試合は、小笠原の空手殺法に、崔が組み技で対抗するという一進一退の攻防が続いたが、小笠原はおもむろに道衣を脱ぎ捨て、コーナーで崔に正拳突きを連発。後ろ回し蹴りで小笠原がトドメを刺した。試合後、小笠原は「橋本出てこい」とマイクでアピール。小笠原の門下生とZERO－ONE勢が大乱闘を起こした。小笠原と橋本の対戦は実現するのか？

▲スカパーの生中継で放送席にいた蝶野を見た橋本は、「今日はいいお客さんが来てんだよ」とリングに誘い挑発。小川がリング下に行き、蝶野とにらみ合ったが、蝶野はサングラスを外すと、橋本とにらみ合い、無言のまま会場を立ち去った

▶小川が大谷を破ると、村上が乱入しZERO－ONE名物の乱闘劇に発展。橋本がそれを制するような形で登場し、小川と村上のシングルマッチを組むと宣言した。その後、橋本が放送席の蝶野を挑発する場面に移っていく

▲ZERO－ONE1周年記念のメインイベントは、小川直也VS大谷晋二郎。大会前に小川に造反していた村上を小川が挑発。試合前から大乱闘の気配が漂っていた

まさしく、日本マット界にとって暴風雨とも言えたWWFの上陸。この暴風雨は、いったい日本のマット界にどんな爪痕を残すのかと、期待と不安に駆られていたが、そんな思いを木っ端微塵に吹き飛ばすような興行が、もう翌日には行われていた。

ZERO－ONEの1周年記念興行である。期待された三沢や、秋山準などのノアのトップ勢は参戦しなかったものの、十分に楽しめたのは破壊王の努力というか、生まれ持った才能の賜物。とにかく、エンターテインメント感ということに関して、破壊王の感性は、世間の人間の感性を超越しすぎている。元極真の小笠原の登場がその典型なのだが、今回の1周年記念興行は、「破壊王がWWFをやるとこうなる」というのをハッキリと見せつけた興行だった。

メイン終了後の大乱闘劇、そして放送席の蝶野正洋を小川とともに挑発するやり方は、まさしくWWF的なシーンだが、破壊王はそういったシナリオをアッサリと破壊してしまう。小川が、「ZERO－ONE1周年記念に来てくれて、ありがとうございました」と観客に挨拶すると、破壊王は「全部言われちゃいました。ありがとーッ！」と、ぶっ飛んだ締め。これぞ、シナリオなどまったくないアドリブ。WWFを解説していた小川をも形なしにしてしまう破壊王のアドリブに、WWFに対抗しうるプロレスを見た気がした。（小松）

フランス「KARATE・BUSHIDO」誌提携
SRS DX
スペシャル・リング・ガイド
No.66 3・28号

CONTENTS

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

山口　ぷぷぷっ！
谷川　いきなりどうしたんですかぁ？
山口　言うちゃ悪いけど、髪型がへんだよ、タニー（笑）。
谷川　ちょ、ちょっと、イメージチェンジでロック様の髪型にしようかと思って……。
山口　それはやってほしいなあ（笑）。
小松　似合いそうですよ、それは。
谷川　似合いそう？　いいこと言ってくれるなあ、キミは。
山口　やっぱりタニーは「ピープルズ解説者」だ（笑）。
谷川　そういえば、僕は今日『プライド19』のDVDの解説収録をしてきたんですけど、次から次に凄く滑らかに言葉が出てくるんですよねえ。録り直し、一切なし。なんかもう"奇跡の解説者"だと思ったなあ。
山口　「サダハルンバ様の妙技を味わえー！」って感じね（笑）。ところで、今日はターザンはいないの？
――ぷぷぷっ。この座談会は前座じゃないんで（笑）。
山口　で、ターザンの相棒のShowはどこに消えたの？

ターザンが入れないのに、なんでおまえが最前列で観てるんだよ！〈柳沢〉

――あいつは鶴見青果市場のメインエベンターだからね、ここには恐れ多くて呼べない（笑）。
山口　ガハハハー　で、今日は何を話すの？　タニー。
谷川　今日は今後Showに代わって座談会のレギュラーになる小松を連れてきたんで……。今日はキミが仕切ってくれよ！
山口　あ、キミが司会？
小松　でへへ、今日はWWFについて皆さんが観た感想を……。
山口　その前にキミ、名前なんていうの？
小松　あ、小松です。
――ちなみにウチの編集部では「もぐら」で通ってるから。これからは「もぐら」もしくは「もぐたん」で通して。
谷川　自らShowの代わりって名乗り出てきたんだけど、ところでShowには「代わりに出ます」って連絡したの？
小松　なんか忙しいみたいで……、めんどくさいし連絡は一切していないです。
山口　さすがだ！　しっかりサダハルンバ・イズムを受け継いでるね（笑）。
谷川　まあ、まずはもぐたんのWWFの感想を言ってみなよ。
小松　サイド・ストーリーとか分かんなくても、ムチャクチャ面白くて、試合だけで凄く楽しめたのが発見だったんですけど。
山口　What？（＝ストーンコールド調）。発見かよ、それ（笑）。ド素人の感想じゃねえか。
谷川　それはプロレスのレベルが高かったってこと？
小松　新日本を観てるよりも、全然面白かったんで……。
谷川　新日本よりもレベルが高かったってことなの？
小松　高かったというかですね……。
谷川　じゃあ、キミの感想は「WWFは新日本よりもプロレスができる」ってこと？
小松　……まあ、そんな感じでしょうか。
谷川　他に感想は？
小松　さあ……？
山口　「さあ……？」って（笑）、Showより凄いのが出てきたなあ。
谷川　で、何が一番面白かったの？
小松　リック・フレアーですかね。
山口　おまえそれ、試合じゃねえじゃねえか（笑）。
小松　いや……、試合もそれなりに楽しめました。新日本を観てるのと変わんないなって思いました。
――じゃあ、ダメってことじゃん（笑）。
山口　新日本と変わんなかったら、それほど楽しめないだろう（笑）。
小松　と、とにかく僕には面白かったんです。
谷川　なんか、そのへんのファンを呼んできたみたいだなあ。まあ、Showと変わらないけど。でも、キミはロック様が投げたエルボー・サポーターを取ったんだよね。
小松　取りました。それはムチャクチャ嬉しかったです。
――その後、「それはおまえの物であって、おまえの物じゃない」って俺に言われた気持ちはどうだったの？
小松　あ、いや、あ、それはもう、これは会社の物だと思いましたよ！　会社の財産がひとつ増えたと思いましたから。
――ウソつけ、この野郎！（笑）。
谷川　それ以外は何か思ったことはないの？
小松　その他は……、小川（直也）が全然アメリカの人たちに相手にされなかったのが、気になったんですけど。ちょっと寂しそうだなあと思って。
――アメリカの人たち（笑）。
小松　なんか、ロック様もフレアーも武藤ばっかり相手にしてて……。
山口　オーちゃんがアメリカの人たちに相手にされてなかったのが気になったと（笑）。
小松　哀れだなあ……、と。
山口　キミはそもそも仕事で行ったの？　それとも客で行ったの？
小松　………半分くらい客なんですけど。
山口　チケット買って行ったの？
小松　………いや、なぜか会社にチケットがあったんで。
――ターザンなんかチケットも手に入らずに行けなかったのに。元『週プロ』編集長が入れないのに、なんでおまえが最前列でタダで観てるんだよ！（笑）。
山口　俺も元『週プロ』編集長のターザンには申し訳ないけど、わけあってね、

リングサイド1列目で観てたの。（笑）。

――わけあって（笑）。

山口 でも、島田裕二も反対側の最前列で観てたのには驚いたね。

谷川 「レフェリー、よく見ろー」とか、ヤジ飛ばしてたよね。

――TAJIRIとかに手を振ってて、前日まで「チケットどうにかなりませんかあ？」とか言ってたのに、島田裕二はどうやって入ったんだろう（笑）。

谷川 とにかくキミ、何か気付いたことを5つ言ってみな。

小松 5つ……ですか？

谷川 じゃあ3つ。

小松 えー……っと。

谷川 じゃあ、1つだけでいいよ。

変な言い方するとWWFは「濡れない」っていうかね〈谷川〉

小松 ……、うまいっスねえ。

谷川 何が？

小松 ここの料理が……。

谷川 んあ～！ もう、しょうがないから会長（＝山口の呼び名）に総括してもらおう。会長はね、もうWWFの凄い専門家だから。

山口 専門家じゃねえよ！ 何、人のことを小鼻を膨らませて自慢してるの。

谷川 え？ 知ってるんでしょ、ビンス博士じゃん、会長は。

山口 俺より詳しいヤツは五万といるよ。

谷川 でも「WWFは面白い」って言ってたじゃないですか。どこが面白いんですか？ プロレスができるってところ？

山口 いやあ、ズバリ言って俺はプロレスとしては観てねえんです！

谷川 まず、そこが小松と違うもんなあ。何、キミはあそこにプロレスを観てるんだよ！

山口 俺はやっぱり、横浜アリーナで一番ビックリしたのは、あの客の熱だね。客の熱がイベントを作り上げていく空間っていうのは凄いですよね。

谷川 ねえ、演出にまったくお金をかけてないのに。

山口 言ってみれば、地球規模の地方興行じゃない？ WWFにとってみれば、横浜アリーナなんて鶴見青果市場でやってるようなもんでしょ（笑）。

谷川 K―1●●大会みたいなもんですよねえ。マイク・ベルナルドだけはいるっていうような。

山口 そんなもんなのに、あんなに熱が生まれちゃうっていうのは驚いたね。

――そんなこと言ったら、絶対に●●の人に怒られるよ。頭にチャンポンぶっかけられるから（笑）。

谷川 んあ～。

山口 まあ「おらが国にWWFがやってきた！」って感じだったよね。でも、あれだけ能動的な熱が生まれるとは思わなかったね、正直。あんな熱気を感じたのは桜庭VSホイラー戦以来くらいでしょ。

谷川 ああ、自然発生的に出た観客の熱というのはね。

山口 そういう意味では記念碑的なイベントですよね。

谷川 僕ね、会場にも入れなかった山本さんには心から申し訳ないんだけど、これまで一度もWWFを面白いと思ったことがないんですよ。まったく感じないんですよね。変な言い方すると「濡れない」っていうかね。でも、あれを面白いっていうのはなんとなく分かるんですよ。

山口 「みんなが面白がるのは分かる」ってこと？

谷川 ええ、それは凄くよく分かるんだけど、なんかねえ「そんなにカッコイイ？」と思うんですよね。ただね、ロック様は生で観た時にちょっと驚いたんですけど。「ああ、さすがだなあ～」って。

山口 「浅黒いなあ」って（笑）。

谷川 黒いのも驚いたけど、英会話だけで日本人に対して説得力をもたせたのが凄いですね。

――英会話ー（笑）。

谷川 あれは日本人に分かりやすいようにっていうか、説得する力が備わってるなっていう。

山口 やっぱり、観客との噛み砕いた心理ゲームが面白いんだよね。

谷川 ふう～ん。

山口 心理ゲームを大衆娯楽的に噛み砕いて提示してるでしょ。その「分かりやすく」っていうところに硬派なプロレスマニアは拒絶反応を示していた時期もあったんですけどね。「俺たちはもっと深いものを見たいんだ」っていう意味で。でも、浅いも深いもなくて、あの心理ゲームの見せ方のレベルはけっこう高いと思うけどね。

谷川 あ、会長。僕、さっき言い忘れましたというか正直に言います。面白いと思ったことがない以前に、WWFを観たこともなかったんですよ（笑）。

――ガハハハハハッハ！（笑）。

山口 相変わらず凄いね、タニーは（笑）。まあ、のめり込ませない壁はたしかにあるよね。

谷川 僕は全然のめり込めないんですよ。

〈※柳沢の携帯の着メロ『威風堂々』が鳴る〉

山口 こうやって、局部的にメチャクチャのめり込んでる人もいるけどね（笑）。

谷川 で、なんで僕がのめり込めないのか、その謎をぜひ会長に解き明かしてもらいたいんですけど。

山口 なんだろうねえ……、どう思う？

ロックがカッコイイという感覚は俺にも全然分かんないよね〈山口〉

もぐたんは。

小松　う〜ん………、なんでのめり込めないんですか？

山口　だから、観たことないって言ってんじゃん（笑）。でも、サダハルンバは外国人が合わないんじゃないの？

谷川　いや、僕ね、この前、ある占いで見てもらったんですけど、海外で仕事すると成功するらしいですよ。なんか、外国人がメチャクチャ合うらしいです。

山口　へえ〜。でも、俺もこの前、ある占い師に見てもらったらねぇ「東大に入れる」って言われた。

——ダハハッ、どれだけ過去に戻ればいいんだ（笑）。

山口　「東大に入れる」って言われてショックだったからねぇ。15〜16年戻らなくちゃいけないんだから。もぐたんは占い見てもらってないの？

小松　……ないです。

谷川　でも、なんでだろうなあ。ロック様がカッコイイなんて思ったこともないし。

山口　俺もロック様がカッコイイなんて思ったことないよ。

谷川　え！　じゃあ、誰がカッコイイと思うの？　会長は。

山口　ビンス！（笑）。

谷川　あ、僕もビンスだけは引き込まれる。

山口　俺はビンス、リック・フレアー、ウィリアム・リーガル派（笑）。

谷川　僕はね、本当に会場に入れなかった山本さんには申し訳ないけど、みんながメッセージの紙を掲げている時に、一人で席で寝てたんですよお。

——ダハハハッ。

谷川　でも、リック・フレアーが登場した時だけは目が覚めた。

山口　まあ、基本的に俺らはヒールからしか物事を見られないってことなんじゃないの？（笑）。ヒールに焦点を当てると物凄く入り込みやすいというか。だから、ロックがカッコイイとかいう感覚は俺にも全然分かんないよね。

谷川　僕から見ると全てが普通なんですよ。試合も普通だし、ロック様の太股もみんな凄いって言うけど普通だし。ヘアスタイルだけ「ちょっと真似ようかなあ」と。

山口　んあ〜。

谷川　全てがね、普通にしか見えないの。そういう見方はダメ？

山口　いや、ダメじゃないでしょ。俺だってテレビで続けて見るまでは非常に壁が高かったからね。そもそも周りに「この面白さは理屈じゃない」って言われるところからして抵抗があったから（笑）。

谷川　だから、あの横浜アリーナでも観客の熱気を見て、観客から初めて覚えさせられたみたいなね。「ロック様ってこういう選手なんだ」とか、「ジェリコっていう人はこうなのか」とか、「リタっていうのはセクシーなの？」とか……。

山口　あのTバックが見えてるところはセクシーだよね。顔はどうでもいいんだけど（笑）。でも、ステイシーの美尻と美脚は凄かったよ。あれは一見に値するね。一番、ステイシーが印象に残ってる（笑）。でもね、やってることは昔ながらのアメリカン・プロレスだよ。興行のフォーマットから何から全てが。

小松　なんか、ビシッと締りますねえ、山口さんがしゃべると。

山口　What？（＝再びストーンコールド調）バカにしてるだろ、おまえ（笑）。

小松　いえいえ、滅相もない。

山口　さあ社長（＝柳沢の呼び名）、そろそろここいらで話をどぉ〜んと膨らませて。

——まあ、一言で言ってしまえば、あれはプロレスじゃないもんなあ。

谷川　えーっとプロレスと、プロレスじゃないものの差ってどこにあるの。

——それは観てる側の壁でしょ。

谷川　壁ってどういうこと？　山口　壁があるってさっき自分で言ったじゃねえか！

谷川　い、いや、それがいったいなんなのか……？

——だから、あれをプロレスだと思うから入れないんでしょ。

谷川　ほお〜ん。

——観てる側の見方の問題で、プロレスだと思って観たらどうも取っ付きにくいんじゃないの？

谷川　な、なんで取っ付きにくいの？

——なんでそれを俺に言わせるかなあ（笑）。

山口　社長は悪のイタコだからね。

谷川　い、いや、本当に分かんないんだよ。なんで取っ付きにくいの？

——ズバリ言って、俺たちが思う「プロレス」の概念から外れてるものだからです（笑）。

谷川　要するにWWFのリングには闘いがないってこと？

山口　まあ、ドラマというか、生の芝居を観てるような感覚だからね。

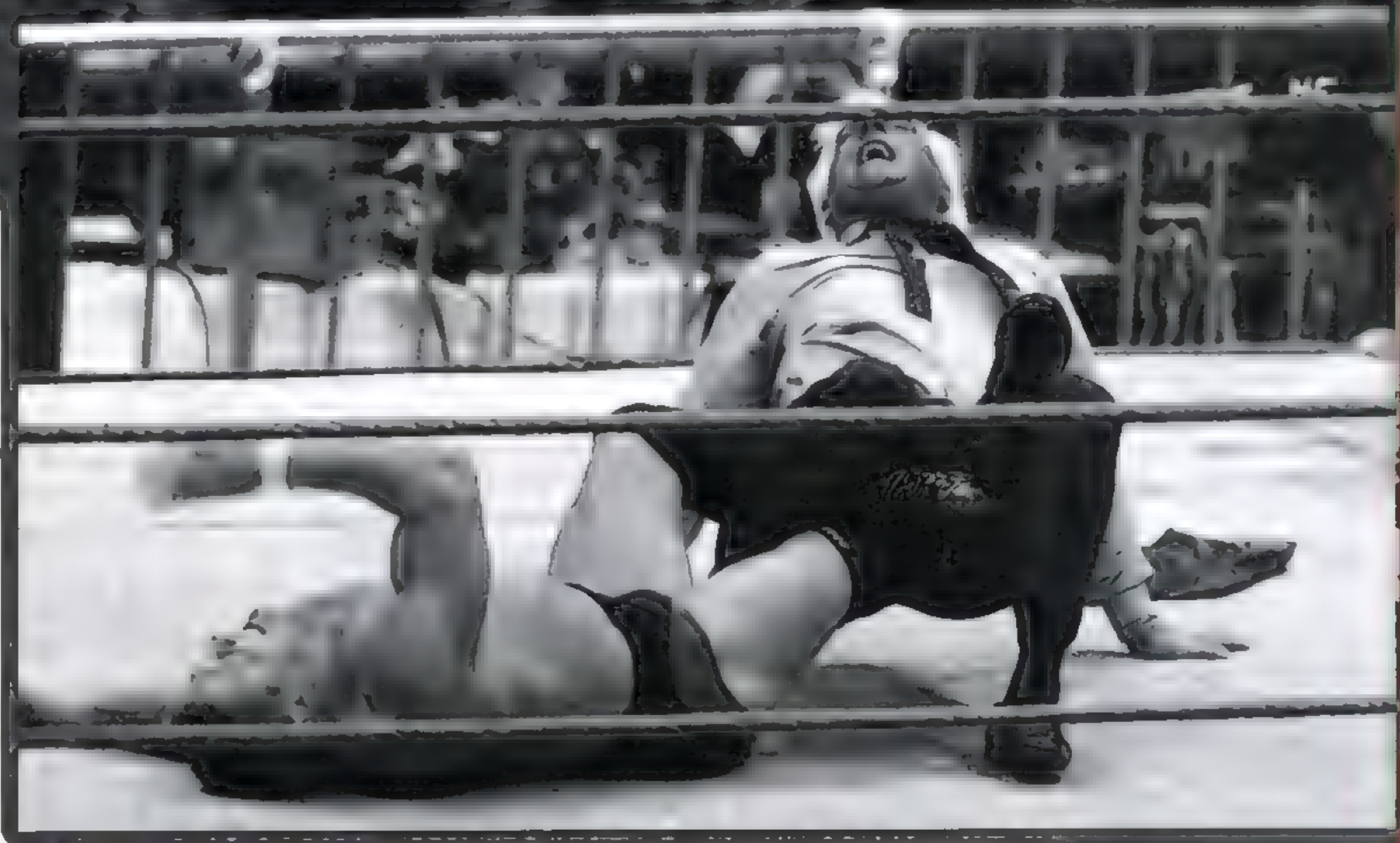
——ここで決定的なことを言ってしまうと、さっきのサダハルンバの言葉に全ての答えがある！

山口　なんかターザンみたいだな。ターザンのイタコ（笑）。

谷川　へ？　ぼ、僕、何か言ったあ？

——だいたいプロレスとか格闘技を観る場合は、男だったら普通「勃つ」「勃たない」って言うでしょ。それをサダハルンバは「濡れない」って言った（笑）。つまり、WWFに響く人っていうのは

「濡れる」んだよ。女の子たちも含めて、プロレスに対する感受性じゃなく観てる人たちはロック様に濡れちゃうわけ。でも、俺はあれに濡れる女は嫌いだなあ（笑）。

山口　その前に、そういうことを思う女というか人間とは合わないもんな（笑）。つまりプロレスをまだ格闘技と捉えたい人は、WWFでは勃たないでしょ。

「濡れる」っていうのはプロレスの救いであり、逃げ道なんだよね〈柳沢〉

――でもWWFで「濡れる」っていう感覚は分かるんだよ。

谷川　僕もその感覚は分かるけど、濡れないんだよなあ。

山口　じゃあ、そういう意味でいうと俺も濡れないわ。ただ、ビンスを観てると濡れる……かな（笑）。

――いや、ビンスを観ると勃つんだよ（笑）。それはプロレスとして観てるから。

山口　リック・フレアーも勃つしね。

――試合以外っていったらおかしいけど、WWFのプロレスラー以外で考えたらいいんだよ。プロレスラー以外の登場人物には勃つでしょ。それをプロレスラーっていう概念で観ちゃうと、もうダメなんじゃないの？

谷川　なるほどぉ！

――だって、クリス・ジェリコだってプロレスやらせりゃあ勃つかもしれないけど、WWFでは濡れないからなあ。

谷川　僕はジェリコには感じないけど、あの金メダルの人には勃つなあ。名前は知らないんだけど、なぜか目が行っちゃうんだよねえ。

山口　あ、カート・アングルね。あれは本当に素晴らしいよ。まあ、月並みな言い方をすると、カートやビンスやシェインは、バカバカしいことやってるなかにも背負ってるものがあるから素晴らしいよね。

――まあ、WWFってプロレスラーじゃない人に「プロレス」が見られるじゃん。それはプロレスラーっていう先入観がないからのめり込めるんじゃない？　ビンスだってまあプロレスラーなんだけど、背広組のキャラだから。でも、ロックとかはプロレスラーだと思って観るから、勃つ勃たないの判断になっちゃうからね。だけど、濡れる濡れないっていうことだけで観たら、あれはたぶん濡れるんだよ。

谷川　僕はそれもないんだよなあ。もぐたんはあれで濡れてるの？

小松　………はあ？

――なんか、変態のおじさんみたいだよ、その聞き方は（笑）。

小松　濡れてはいないですけど、なんとなく分かるって感じですね。

山口　要は、それだけミーハー的要素を解放させてくれる場所が他にないんですよ、今は。

谷川　じゃあ、もぐたんはディズニーランドで濡れるの？

山口　What？（笑）。

谷川　あれを単純に楽しめる人たちっていうのは、ディズニーランドでも濡れるんじゃないんですかあ？

――まあ、雨が降っていればね（笑）。まあ、濡れる濡れないっていう基準でしか観ることはできないんだよ。WWFって。音楽と一緒で、桑田佳祐の歌に濡れますか濡れませんかってことと同じでしょ。

山口　長渕剛を聴いて勃つ人っていうのは、新日本を観て勃つ人でしょ（笑）。

谷川　Showとかは長渕で勃ってるもんなあ。

――だから、そういう人間とはお友だちになりたくないなあっていうね（笑）。まあ、WWFにのめり込まないっていうのは「プロレス」っていう概念の厚い壁なんじゃないの。もしくは「プロレスラー」っていう概念ね。

山口　俺も「あの客の熱」と言った手前ね、少しは認めるところもあるけど、2階席の一番前でジーッと観てるような村松友視さんとか井上義啓さんのイズムを勝手に引き継ぎたいなあって思ってる人間としては……。

――ダハハッ、それは勝手に思わないで宣言したほうがいいよ（笑）。

山口　まあ、そう思ってる身としては、あんな場にはとてもじゃないけどいられないよね。でも、ターザンには申し訳ないけど偶然にリングサイド1列目で観たことによって、それが解放されたのよ。

谷川　そうだよね。逆に後ろのほうで観てたらね、クラブとかにまぎれ込んじゃった感覚というか、生理的に堪えられなくて帰っちゃったと思うよね。だって、観客のあの盛り上がりを1回観れば充分だもん。

あれだけ能動的に濡れに来ている人たちが多いっていうのは驚異的だよ〈山口〉

山口　あ、今の「イズムを受け継ぎたい」っていうのは訂正ー　後世に遺してあげたいと思う者としては、にして（笑）。そういう意味ではプロレスを観てるっていう感覚は全然ないのよ。でも、それはK―1が最初に出てきた時に「こんなのは格闘技じゃないよ」って言ってた人の感覚とも相通じるものがあるかもしれないけどね。

谷川　僕はK―1でも濡れないですねえ。

――まあ、K―1は勃つ勃たないだよね。で、「プライド」は両方があるんだと思う。猪木さんは濡れる濡れないのほうが強いから、アメリカン・プロレスだって言われてるんじゃない？

谷川　なるほどお。もぐたんは分かったか、ここまでの話。

小松　……そのー「濡れる」と「勃つ」の差がもうちょい分からないですね。

山口　What？　「もうちょい分からない」って、キミの日本語が分からないよ（笑）。まあ、そこらへんをいちいち説明してる時間はないんだよな（笑）。

――おまえごときにな。まあ、余談だけど鈴木健想が最前列でDDPのポーズではしゃいでる姿を目撃した時は一番勃ったね（笑）。

谷川　僕は鈴木健想が誰なのかも分かんないもんなあ。

――んあ〜！　まあ話を進めると、「濡れる」っていうのはプロレスの救いであり、逃げ道なんだよね。で、濡れるっていうのが一番難しいんだよね、エンターテインメントとして。

谷川　なるほどお、でも猪木さんで勃つことはないよねえ。

山口　いやいや、猪木さんは勃つのと濡れるのが両方あるからね。

――そういう意味で「両性具有」なんでしょう。でも、猪木さんは濡れるほうが強いっていうかさ。勃つほうでいえば「キラー・イノキ」っていうものでしょ。札幌では久しぶりに勃ったけどね。

山口　「見つけろ、テメエで！」には勃ったね（笑）。まあ、もぐたんが「プロレスとして面白かった」って言ったけど、プロレス的に観ればWWFの場合は全部〝前戯〟だもんねえ。本番は一切なしっていう世界でしょ。

――もぐたんは西川口流じゃなきゃダメなんだろう（笑）。

山口　まあ、俺はどっちかっていうと本番好きなほうなんだけどね（笑）。前戯だけじゃ物足りないっていうのはあるんだけど、それをあの日の客が作り出した熱によってカバーしてくれたっていう感じだな。

――会長は「前戯だけ」っていうところに行って、無理やりに「本番やらせろ！」っていうタイプだからね。

谷川　あ、そう言われると僕は本番好きのタイプだなあ。

山口　サダハルンバは前戯一切なしっていう潔いタイプじゃない？

谷川　うん、無理無理、僕には前戯なんて。いつ何時でも「前戯なき戦い」だから。

山口　うまいっ！（笑）。俺は本番も前戯も両方ほしい、欲が深い人なんでね。それを時代性によって分けて観られるようになったってことだろうね。前戯がWWFで、本番は「プライド」でっていう感じでね。「両方備わったカンペキなものはないんだな」っていう割り切り方ができるようになったってことだね。

――大人になったね、会長も（笑）。

谷川　あ、やっぱり「前戯なき戦い」は訂正！　僕は本番好きだけど、前戯が巧いタイプかもしれない。そういう部分で僕は人間として男性ホルモンが足りない気がするんですよ。

山口　あ、それは凄く分かる。俺は本質的に前戯好き人間なんだけど、ついつい本番やっちゃうタイプかな（笑）。俺が本質的に求めてるのは濃厚ではっちゃけた前戯の空間で、無意識的にWWFみたいなものを望んでるんだよ。

――会長は潜在的に前戯への帰属意識だけはムチャクチャ高いからね。

山口　でも、満足できる前戯にはなかなか会ったことがない。で、めんどくさくなって、ついつい本番をやっちゃうんだよなあ……って何の話だ（笑）。

谷川　それは会長が自分勝手だからなんじゃない？

――ぷぷぷっ！

山口　おっしゃるとおりです。でも、「本番のみ」「前戯のみ」って最初から言われるとどうしてもイヤなんだよなあ。

谷川　僕は満足できる本番に会ったことがないタイプなんだよなあ。

山口　社長はどういうタイプなの？

――俺はなかなかイカない！

山口　ガハハハ。欲が深すぎて、前戯も本番もやらないタイプだよね（笑）。

――俺は両方完璧じゃないとイヤなんだな。

谷川　もぐたんはどっちのタイプなんだよ。

小松　僕は本番のみですね！

山口　おまえ、現実に則した話をしてないか？　今までの話をちゃんと聞いてるか？　現実としてのソープとかイメクラの話じゃないぞ、これまで話してきたことは。まあ、それをいちいち説明してる時間はないけどね（笑）。で、要は本番好きのサダハルンバとしては、WWFは面白くなかったってことだ。

谷川　いやいや、客は面白かったし、ロックはよかったし、フレアーは期待どおりだったし。でもWWFっていうものに対しては、根本的に濡れなかったんです

僕にとってWWFっていうと ズバリ言ってアメリカ……かなあ〈谷川〉

よ、本当に。

山口　でも、ビジネス的に考えれば、あれだけ能動的に濡れに来ている人たちが多いっていうのは驚異的だよね。今までじゃあ考えられないからね、あんなこと。

――あとは気付いたことないのか、もぐらとしては。

小松　あ……、ないです。

谷川　ここまでの話で新たな発見とか、そういうものはないの？

小松　……まったくないですねえ。

――てめえ！　いい加減にしろよ、さっきから食ってばかりいやがって（笑）。

谷川　ちょっと飛躍するけど、男の子が女性アイドルとかを追っかけるのって、勃つっていう感覚じゃないよねえ。どっちかっていったら濡れるって感覚でしょ。勃って追っかけるって気持ち悪いもんなあ。

山口　ガハハハハ！　それはターザンとかＳｈｏｗのタイプでしょ。「出てる出てる！　前を隠せよ、気持ち悪いから」っていうタイプ（笑）。

――言われてみれば、プロレスと格闘技のマスコミはそういうタイプが多いかもしれないなあ（笑）。

山口　それは面白いなあ、もぐたん。

小松　…………面白いですか？

谷川　んあ～！

山口　で、結論としてはどうなるの？

谷川　ちょっとこのへんで締めてくれよ、もぐたん。

小松　ＷＷＦは…………、濡れるものです。

――そのままじゃねえか（笑）。まあ、でもＷＷＦに上がってもらいたい日本人レスラーって、濡れる濡れないでしか判断できないよなあ。

谷川　一番出てほしいのは誰だ？

小松　……やっぱり橋本真也です。

山口　Ｗｈａｔ？（笑）。

谷川　ど、ど、どーしてそこで橋本が出てくるんだよ。

山口　まあ、それはそれとして橋本ファンとしては観たいけどね。

――橋本劇場はもはや、アドリブを超越したエンターテインメント観だからなあ（笑）。

山口　「け、警察の方ですか？」だからなあ（笑）。

――「時は来た！」だよ（笑）。

谷川　う～ん、橋本は勃つなあ。

――蝶野や武藤にはない勃たせ方を持ってるんだよ。

谷川　橋本には、場の空気も何もないもんねえ。

――全部、自分の空気にしちゃうんだもん。あれは天性なんだろうね。橋本をＷＷＦに出しちゃったら、ＷＷＦはものの見事に破壊されるよね。まったく濡れないから（笑）。

谷川　やっぱりＷＷＦに一番似合うのは猪木さんでしょ。あと武藤とか、蝶野とか。

山口　小川直也も濡れさせる存在になったら「プライド」に出なくてもいいのにねぇ。で、タニーにとってＷＷＦって何？

谷川　僕にとっての……、ＷＷＷＦって……。

山口　「Ｗ」が1個多いよ（笑）。

谷川　僕にとってのＷＷＦって、ブルーノ・サンマルチノとか……。

――ダハハハッ！

山口　思い出は語らなくていい（笑）。

谷川　あとはＷＷＦっていうとズバリ言ってアメリカ……かなあ。

――んあ～！

谷川　結論的に言うと、僕にとってのＷＷＦは等身大のものですね。

山口　タニーにとっては、ごくごく普通のものってこと？（笑）。

谷川　僕のほうがちょっと大きい……かなあ。猪木さんや石井館長は異形の人だけど、ビンスとは普通に付き合えるって感じだからなあ。

――俺も猪木さんや石井館長のほうが凄いことをやっているって感覚だなあ。

谷川　前から言ってるけど、ビンス・マクマホンって人間の能力として僕とそんなに変わらないなあ、と。

山口　ガハハハ！　俺サイズってこと？

谷川　うん、僕サイズ。

――まあ、それもどうかと思うけど（笑）、単純に言うと日本とアメリカのマーケットの差だよ。奥行きとしては猪木さんや石井館長のほうが凄いことをやってるんだろうけど、向こうのほうが世界規模のマーケットでスケールのデカいビジネスを展開してるからね。ただ俺たちのプロレスや格闘技という概念では、広がりと同時に奥行きを求めちゃうから。でも、単なるアメリカン・エンターテインメントショーとして捉えたら、「濡れる」っていう部分の色気もあるし、イベントとして相当クオリティーが高いのも事実だよね。

山口　これからＷＷＦは日本に根付くんだろうか？

谷川　僕はなんとなく流行ると思うなあ。

――日本のプロレスファンが、本場のエンターテインメントショーというかレベルの高いイベントを見てしまった、体感してしまったっていう事実は、相当デカいと思うよ。いろんな意味で影響が出ると思うなあ。

谷川　じゃあ、これからＳｈｏｗに代わってレギュラーになるんだから、最後にもぐたんからひとこと言ってもらおう。

――おまえにとってＷＷＦって何？

小松　………なんか聞けば聞くほど、まったく分からなくなってきました。

山口　Ｗｈａｔ？（笑）。

谷川　キミは、会場にも入れなかった山本さんに、確実に殺されると思うよ。■

3/14THU～3/28THU

CALENDAR

3/14 THU	★『SRS・DX』66号発売日
3/15 FRI	■修斗/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p47 ●フジテレビ系『SRS』（26:15～26:45）⬅p69
3/16 SAT	◆K-1 BURNING 2002～広島初上陸～/チケット発売 ⬅p46
3/17 SUN	■全日本キック連盟/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p48 ◆PRIDE.20/チケット特別先行予約 ⬅p46
3/18 MON	◆K-1 BURNING 2002～広島初上陸～/チケット発売 ⬅p46
3/19 TUE	
3/20 WED	
3/21 THU	
3/22 FRI	●フジテレビ系『SRS』（26:15～26:45）⬅p69
3/23 SAT	
3/24 SUN	■新日本キック協会/東京・後楽園ホール（17:15～）⬅p48 ◆PRIDE.20/『SRS・DX』オフィシャルサイト特別先行予約 ⬅p46
3/25 MON	■パンクラス/東京・後楽園ホール（18:30～）⬅p47
3/26 TUE	
3/27 WED	
3/28 THU	★『SRS・DX』67号発売日

格闘技パーフェクトガイド

Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

PRIDE

「SRS・DX」公式サイトのチケット予約は3月24日！

PRIDE.20
4月28日（日）　神奈川・横浜アリーナ

◆開場14.00　試合開始/16.00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円　RRS席25,000円　スタンドS席15 000円　スタンドA席7,000円
◆チケット発売/先行発売3月17日（日）10:00～19:00、一斉発売3月31日（日）10:00～
◆チケット発売所/下記の表を参照
◆会場アクセス/JR東海道新幹線・横浜線新横浜駅、地下鉄新横浜駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント
☎03-5775-5700

4.28「PRIDE.20」チケット発売情報

〈特別先行予約〉
3月17日（日）　10:00～19:00
【特電】　☎052-961-6341
〈一斉発売〉
3月31日（日）　10:00～
ドリームステージエンターテインメント　☎03-5775-5700
全国有名プレイガイド

4.28「PRIDE.20」SRS・DX特別先行予約

3月24日（日）　0:00～24:00
「SRS・DX」オフィシャルサイト
(http://www.so-net.ne.jp/srs-dx)

DEEP2001

遂に全カード決定！
リングス・ジャパンの滑川、横井が参戦！

2・15横浜大会で第1次の幕を閉じたリングス。所属選手の動向が気になっていたが、リングス・ジャパンから滑川康仁、横井宏考、和田良覚がDEEPに参戦することが決定した。滑川の相手は、リングス崩壊前では実現不可能であっただろう、パンクラスism所属の渡辺大介。ここにリングスvsパンクラスが実現する！　そして、横井は"日本選抜VTチームvsルチャ・リブレVT軍団"の5対5対抗戦の一員として、五輪出場経験もあるメモ・ディアスと対戦する。

滑川康仁

横井宏考

DEEP2001 4th IMPACT in NAGOYA
3月30日（土）　愛知県体育館

◆開場/16:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席10,000円　アリーナA席8,000円　アリーナB席7,000円　スタンドS席6,000円　2F特別席6,000円　2F指定席5,000円　3F自由席3,000円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、サークルK、三越プレイガイド☎052-251-4377、松坂屋プレイガイド☎052-251-1841、名鉄観光プレイガイド☎052-585-1747、IVY BOOKS 名古屋本店☎052-459-7122、IVY BOOKS 味美店☎0568-33-8808、公武堂☎052-241-2511、四日市M-STAGE☎0593-57-2152、イープラス（http://eee.eplus co.jp）、カラカラ新栄店☎052-265-3329、オタッキー御器所店☎052-841-6738、DEEP2001事務局
◆会場アクセス/地下鉄名城線市役所駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

決定対戦カード

K-1 ジャパンシリーズ

K-1 BURNING 2002 ～広島初上陸～
4月21日（日）　広島サンプラザ

◆開場/14:30　試合開始/16.00　◆入場料/SRS席20,000円　S席12,000円　A席5,000円　◆チケット発売/3月16日（土）10:00～　◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、キャンディープロモーション、広島テレビ・チケットセンター
◆会場アクセス/JR山陽本線新井口駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場予定選手

4・21「K-1BURNING 2002～広島初上陸～」チケット発売情報

〈一斉発売〉
3月16日（土）　10:00～
ローソンチケット【特電】　☎0570-00-0065［携帯・PHS不可］
チケットぴあ　【特電】　☎0570-00-0062［携帯・PHS不可］
キャンディー・プロモーション　【特電】　☎0570-08-9999［携帯・PHS不可］
広島テレビ・チケットセンター　☎082-249-1218
3月17日（日）～
ローソンチケット　☎082-567-9900［Lコード：67648］
チケットぴあ　☎06-6363-9960［Pコード：601-319］
3月18日（月）～
キャンディー・プロモーション　☎082-249-8334

K-1 ミドル級シリーズ

K-1 WORLD MAX 決勝戦
5月11日（土）　東京・日本武道館

◆詳細未定　◆会場アクセス/地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手

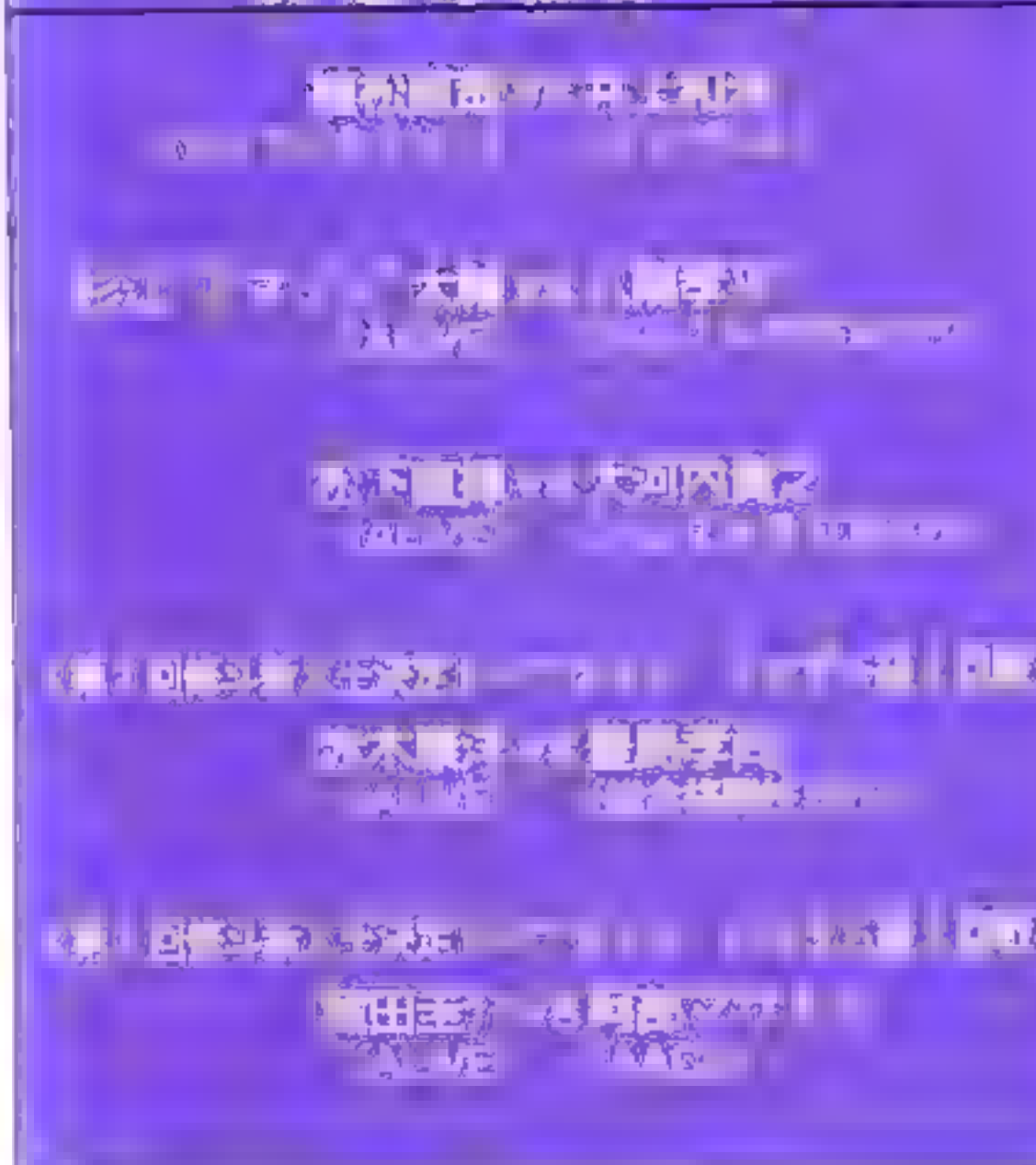
修斗

プロフェッショナル修斗公式戦
3月15日（金） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

SHOOTO GIG CENTRAL
3月31日（日） 愛知・名古屋市公会堂

◆開場/14:00 試合開始/15:00
◆入場料/RS席8,000円 S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:754-260）、公武堂☎052-241-2511、I.V.Y.BOOKS☎0568-31-0727 ファミリーマート、アライブ☎052-719-0133
◆会場アクセス/JR・地下鉄鶴舞線鶴舞駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/アライブ☎052-719-0133

決定対戦カード

プロフェッショナル修斗公式戦
4月14日（日） 東京・北沢タウンホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

プロフェッショナル修斗公式戦
4月21日（日） 東京・北沢タウンホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

プロフェッショナル修斗公式戦
5月5日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00 ◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎0473-78-6400

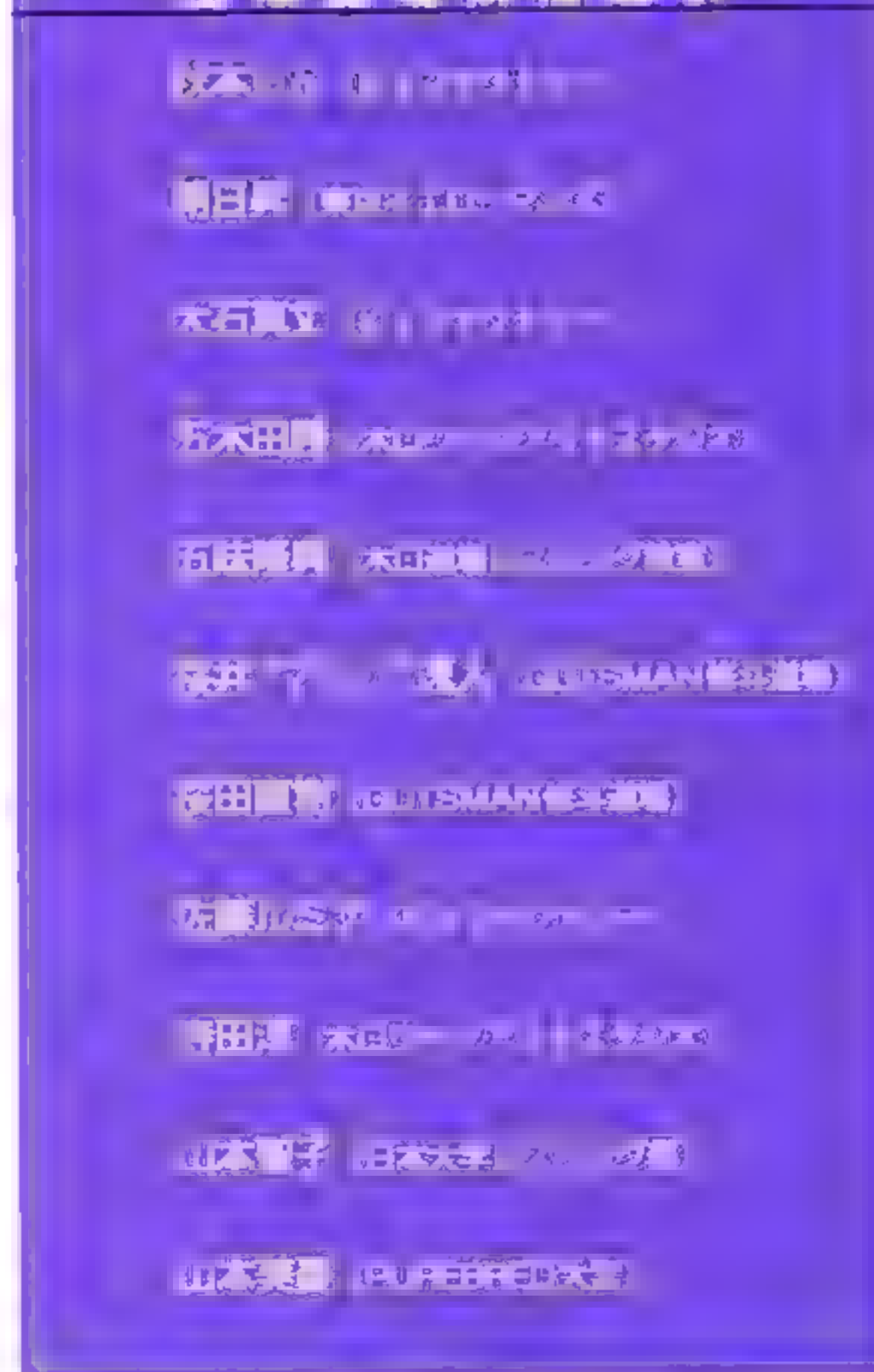
プロフェッショナル修斗公式戦
5月28日（火） 東京・北沢タウンホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラTOKYO☎03-5984-3209

木口道場

CLOSE ENCOUNTER OF 木口道場
4月25日（木） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:30
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/格闘ショップ・イサミ
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/大会実行委員会☎0466-26-3676

主な出場候補選手

パルテノン&バーサスエンターテインメント

PREMIUM CHALLENGE
5月6日（月・休） 千葉・東京ベイNKホール

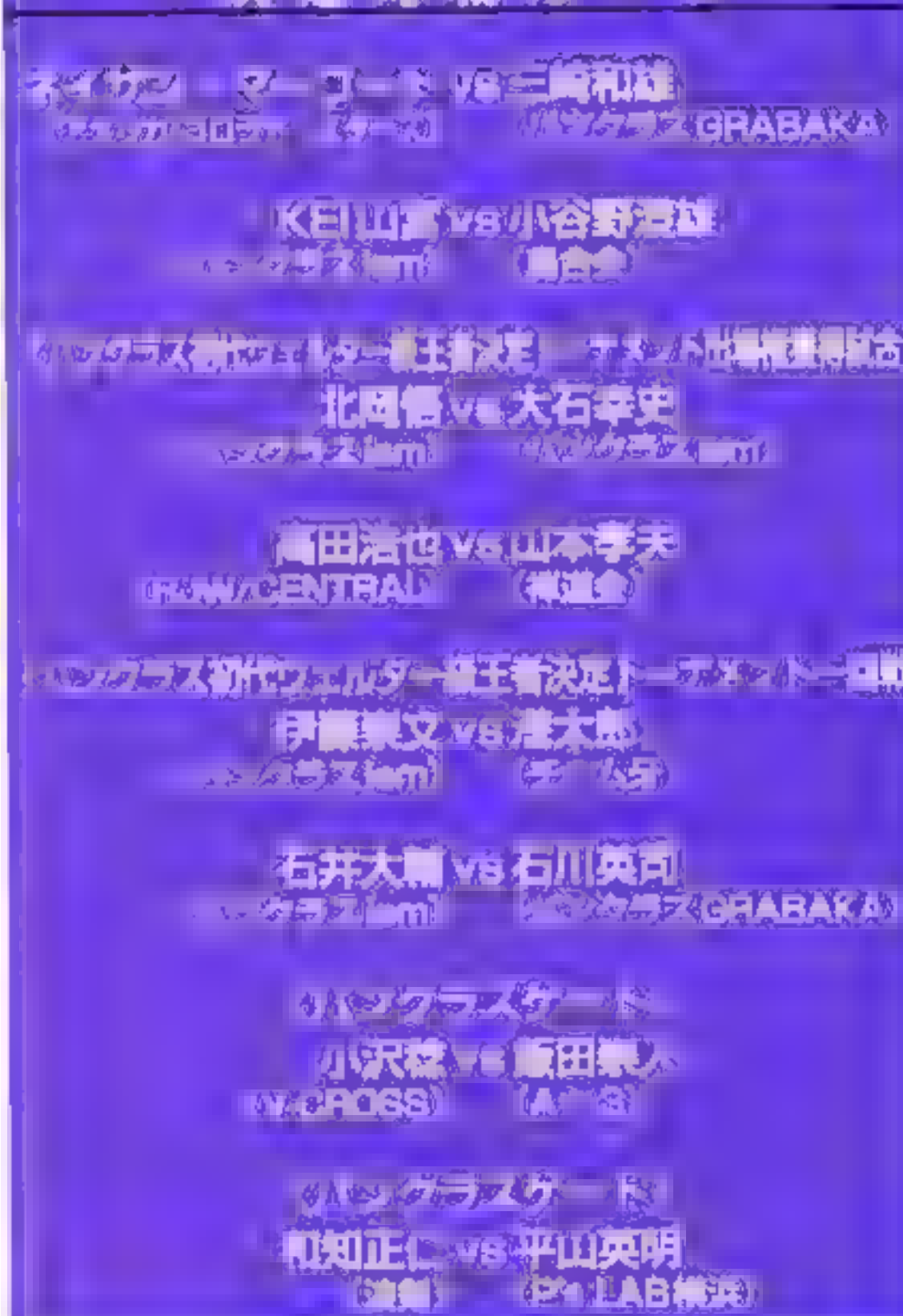
◆詳細未定 ◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅より路線バス12系統でヒルトンホテル下車すぐ ◆お問い合わせ/パルテノン&バーサスエンターテインメント☎03-5312-7522

出場予定選手

パンクラス

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
3月25日（月） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席12,000円 A席9,000円 B席6,500円 C席4,500円 D席3,500円 立見席3,000円 ※当日券は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ（Pコード:594-040）、ローソンチケット（Lコード:39910）、CNプレイガイド、eプラス、後楽園ホール、書泉ブックマート、板橋大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、FIGHT COMPANY☎03-3325-5047、SSSアカデミー水道橋☎03-5212-7920、SSSアカデミー高島平☎03-5945-7166
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

PANCRASE 2002 SPIRIT TOUR
5月11日（土） 大阪・梅田ステラホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席8,500円 A席6,500円 B席4,500円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/P'sLAB大阪☎06-6649-8530、チケットぴあ（Pコード594-040）、ローソンチケット（Lコード39910）、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富万☎078-811-6222、パンクラス ◆会場アクセス/JR大阪駅中央北口より徒歩10分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

日本キックボクシング連盟

2002破壊シリーズ NKB統一ランキング戦

4月13日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/未定　◆チケット発売/未定　◆チケット発売所/未定　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

全日本キックボクシング連盟

OVER the EDGE

3月17日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00　◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見席3,500円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、Bout Review、全日本キック電話予約TEL 03-3365-1171　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

SMACK GIRL実行委員会

予測不可能！ 時間差式バトルロイヤル開催！

毎回新しい試みをやってくれる「スマックガール」だが、女子総合格闘技界初のタッグマッチに続き、次回大会では時間差式バトルロイヤルが行われる！　ルールは打撃なしで、一定時間になると次の選手が登場する『ロイヤルランブル』形式になる模様。新たな試みに期待！

格闘技エンターテインメントSMACK GIRL ROYAL SMACK 2002

4月7日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/SS指定席4,500円　自由席3,500円（当日4,000円）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ディファ有明☎03-5500-3731、書泉ブックマート、後楽園ホール、チャンピオン
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/SMACK GIRL実行委員会
☎03-5447-8483

topic!　篠代表、FAXで謝罪

3・2『スマックガール』での篠原光vs辻結花の試合において、篠原の体調不良により、試合開始直後の篠原のセコンドによるタオル投入、TKO決着という結果において、スマックガール実行委員会篠泰樹代表の見解が発表された。

篠泰樹代表
「この試合にご期待くださった観客の皆様、関係者の皆様、対戦相手の辻結花選手をはじめとする出場いただいた各選手の気持ちを裏切る形となってしまったことをここに改めてお詫び申し上げます。スマックガール実行委員会で協議した結果、このような事態を二度と起こさないという気持ちをもって、試合当日の検診に加え、今後は参加選手の前日予備検診を行い、選手の体調を事前に把握し体調のすぐれない選手については大会前日に出場の是非を協議することとし、あわせて、リザーブマッチを想定、万が一の際には代理選手による試合カード再編成を行える体制を強化して、皆様のご期待に背かないよう、より一層の努力に努めていきます」

スマックガール実行委員会では、お詫びとして、3月2日に行われた大会チケットの半券を提示すると、4月7日開催の次回大会、または5月6日開催の次々回大会の入場料金が当日券に限り半額となる。

新日本キックボクシング協会

GET FORWARD! ～前進～

3月24日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　A指定席7,000円　B指定席5,000円　立見席4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/伊原プロモーション、チケットぴあ、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原道場☎03-3780-1338

市原大会

4月21日（日）　千葉・市原臨海体育館

◆開場/15:30　試合開始/16:00　◆入場料/RS席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見席3,000円　◆チケット発売/未定　◆チケット発売所/未定　◆会場アクセス/JR内房線五井駅西口より徒歩30分、JR内房線五井駅・市原市役所駅・臨海駐車場駅より無料シャトルバス運行　◆お問い合わせ/市原ジム☎0436-25-1909

FIGHT VI

4月28日（日）　神奈川・トーエル横浜

◆開場/14:30　試合開始/15:00　◆入場料/SRS席10,000円　RS席6,000円　2階席5,000円　立見席4,000円　◆チケット発売/未定　◆チケット発売所/未定　◆会場アクセス/東急東横線綱島駅よりバス乗車、「大同メタル前」下車、徒歩5分　◆お問い合わせ/トーエルジム☎045-590-3942

Ticket Present！

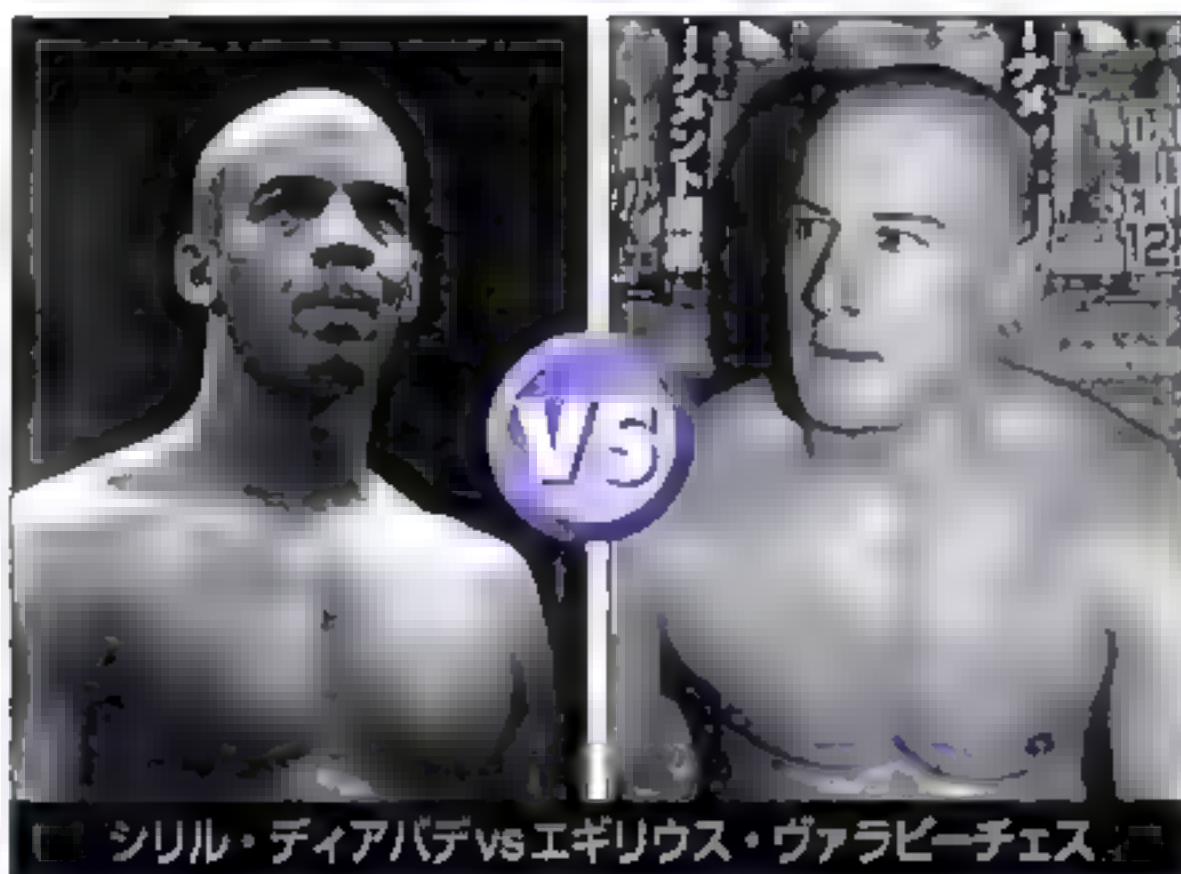
3・24「GET FORWARD! ～前進～」の観戦チケットを、「SRS・DX」読者5組10名様にプレゼント！希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは3月19日（火）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先／〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F　SRS・DX編集部「3・24新日本キックチケットプレゼント」係

シュートボクシング

世界中からVT戦士集結！SB勢は勝てるのか!?

毎回、世界中から強豪が集まるSBのリング。今大会には、前回、大会直前で来日中止になった北の最終兵器軍団から、ユーリ・シェフチェンコが襲来、土井広之と対戦する。そして、リー・ハスデルを破壊したシリル・ディアバテは、リングス・リトアニアのエギリウス・ヴァラビーチェスとの対戦が有力。また宍戸大樹とリングス・ライト級で名を挙げた小谷直之の対戦も決定した。

宍戸大樹vs小谷直之

シリル・ディアバテvsエギリウス・ヴァラビーチェス

The age of "S" vol.2

3月31日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:00
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、ワールドスポーツプラザKINGS☎03-3462-1001、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会
☎03-3843-1212

The age of "S" vol.3

5月13日（月）　大阪府立体育会館第2競技場

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット
◆会場アクセス/地下鉄・南海なんば駅より徒歩5分、近鉄なんば駅より徒歩10分、JR大和路線なんば駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/ワールドシュートボクシング協会 大阪ジム
☎06-6382-2863

MA日本キックボクシング連盟

KING～COMBAT 2002～ 60kg最強トーナメント

3月30日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A指定席7,000円　B指定席5,000円　立見席3,000円　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、他　◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分　◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7063

ニュージャパンキックボクシング

DREAM RUSH 4

5月12日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:00　◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　指定C席3,000円　立見席2,000円
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、他
◆会場アクセス/JR総武線・都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/NJKF事務局☎03-5625-2371

決定対戦カード

Result!

2002破壊シリーズ
2・23★東京・後楽園ホール

★第11試合
○TURBO（5R判定3-0）楠本勝也●
〈パンフィック〉　〈東京北星〉

★第10試合
○木浪シャーク利幸（5R判定3-0）宮本勲●
〈[illegible]〉　〈大和〉

★第9試合
○中川裕也（4R2分20秒、TKO）遠藤暢司●
〈[illegible]〉　〈ピコイ・錦〉

★第8試合
○發田隆治（5R判定2-1）馳和徳●
〈ウィラサクレック〉　〈大阪真門〉

★第7試合
○佐藤ツヨシ（1R1分51秒、KO勝ち）中岡秀夫●
〈ピコイ・錦〉　〈大阪真門〉

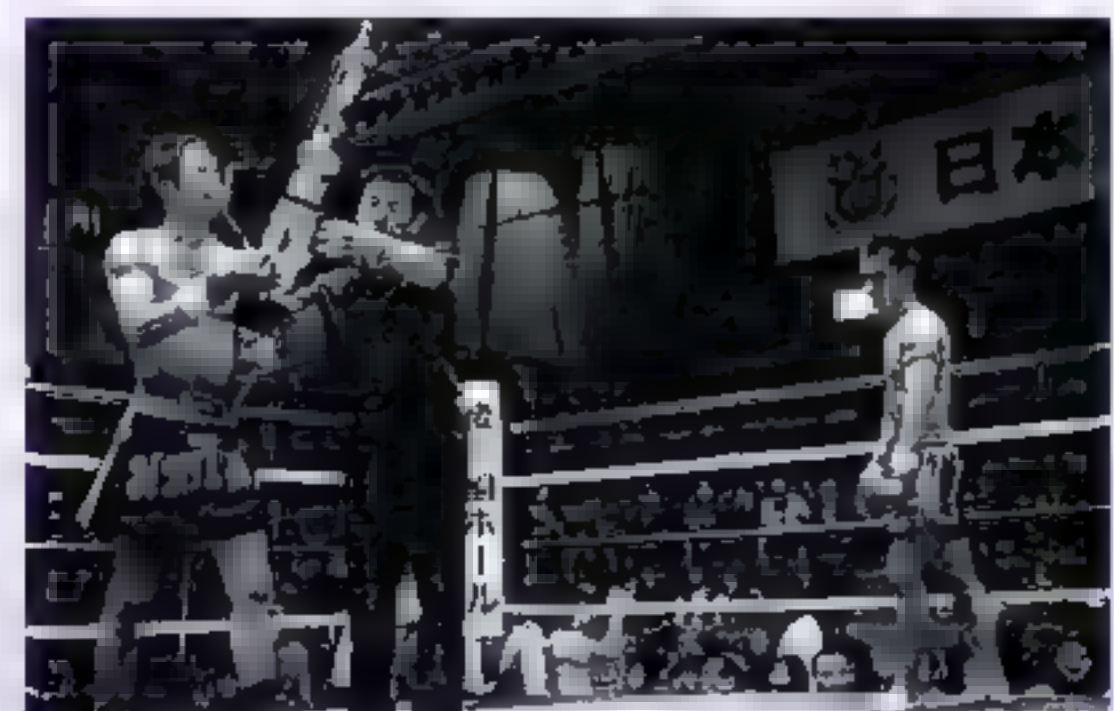
★第6試合
○木村佳晴（3R1分07秒、KO勝ち）藤勝利●
〈杉並〉　〈藤〉

★第5試合
△若生浩次（3R判定1-0、ドロー）高舘英嗣△
〈大阪真門〉　〈杉並〉

★第4試合
○三好基之（3R判定3-0）SHINGO●
〈杉並〉　〈村越〉

★第3試合
○高橋賢哉（2R1分04秒、KO勝ち）相沢哲也●
〈[illegible]〉　〈みなみ〉

★第2試合
○桃井浩（3R判定2-0）広瀬哲郎●
〈[illegible]〉　〈平戸〉

★第1試合
○藤城健一（3R判定3-0）小林まさひろ●
〈[illegible]〉　〈パシフィック〉

▲メインには、NKB統一ランキング戦フェザー級トーナメントの優勝候補、NJKFフェザー級1位の楠本勝也が登場。21歳の新鋭、TURBOと対戦した。両者とも決定打を出ないまま試合が進んだ5R、TURBOの左ヒジによって楠本が流血。劣勢に立った楠本（写真・右）はTURBOのラッシュにあい、まさかの判定負けとなった

空手

正道会館

第14回オープントーナメント 西日本新人戦空手選手権大会
3月31日（日）　大阪府立体育会館

◆開場/9:00　試合開始/10:00
◆入場料/無料　◆会場アクセス/地下鉄なんば駅5番出口より徒歩5分　◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

第37回オープントーナメント 全日本新人戦空手選手権大会
4月7日（日）　埼玉・戸田市スポーツセンター

◆開場/9:15　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅西口より徒歩7分　◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

勇志会空手道

第13回東都空手道選手権大会
3月24日（日）　神奈川・とどろきアリーナ・メインアリーナ

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/JR南武線武蔵小杉駅から1番乗場より市バス「溝05、杉40」系統で「春日神社」下車、または2番乗り場より東急バス「宮内経由溝口」行で「等々力グランド入口」下車
◆お問い合わせ/勇志会空手道大会事務局☎03-5393-9763

真樹道場

第4回オープントーナメント 中部日本新人空手選手権大会
5月19日（日）　愛知県岡崎市総合運動公園第2練成道場

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/名鉄バス中央総合公園下車すぐ　◆お問い合わせ/真樹道場愛知支部☎0565-24-3861

新空手

第66回新空手交流大会
3月17日（日）　東京武道館・第一武道場

◆試合開始/11:30　◆入場料/500円　◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

格闘スポーツスクールレックスジャパンエンタープライズ

第17回関西グローブ空手交流大会
4月28日（日）　大阪府立体育会館・柔道場

◆開場/9:30　試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/地下鉄・南海なんば駅より徒歩5分、近鉄　なんば駅より徒歩10分、JR大和路線なんば駅より徒歩15分　◆お問い合わせ/第17回関西グローブ空手交流大会事務局☎06-6351-7994

大道塾

2002北斗旗体力別選手権予選 第33回関東大会及び各交流大会
3月21日（木・祝）東京・台東リバーサイドスポーツセンター　3階第1武道場

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/営団地下鉄・都営地下鉄浅草駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

2002北斗旗体力別選手権予選 第27回西日本大会及び各交流大会
3月24日（日）　愛知県武道館　第三競技場

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/JR名古屋駅、名鉄新名古屋駅、近鉄名古屋駅より名鉄バスセンター3階2番のりばから、三重交通バス「南陽町藤前」「名四経由長島温泉」行き乗車、「武道館前」下車すぐ
◆お問い合わせ/大道塾中部本部☎052-262-0034

キックボクシング

J-NETWORK

J-BLOODS Ⅱ
4月21日（日）　東京・ディファ有明

◆開場/15:00　試合開始/15:30
◆入場料/RS指定席10,000円　S指定席8,000円　A指定席6,000円　B指定席4,000円　立見席4,500円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/J-NETWORK、アクティブJ三軒茶屋ジム、サバーイ町田ジム、ソーチタラダ渋谷ジム、J-NETWORK池袋ジム、チケットぴあ
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-5248

アマチュア

髙田道場

髙田道場サブミッションレスリング大会
4月14日（日）　東京・髙田道場 B1F

◆試合開始/14:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/東急目黒線武蔵小山駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/髙田道場☎03-5749-5030

合気道S.A.

オープントーナメント 実戦・リアル合気道選手権大会
4月14日（日）　東京・八王子クリエイトホール

◆試合開始/13:00　◆入場料/3,000円　◆チケット発売所/現金書留で3月20日までに観戦希望・氏名・住所・電話番号を明記のうえ、〒193-0821 東京都八王子市川町128-280 櫻井文夫 まで郵送。現金書留到着後、大会整理券を送付　◆会場アクセス/JR中央線八王子駅・京王線京王八王子駅より徒歩4分　◆お問い合わせ/合気道S.A.代表師範 櫻井文夫☎0426-51-8418

日本コンバットレスリング協会

第8回全日本コンバットレスリング選手権大会
3月24日（日）　東京・町田市総合体育館サブアリーナ

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR横浜線成瀬駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/日本コンバットレスリング協会☎0466-26-3676

アマチュア修斗

福島フリーファイト2
3月17日（日）　福島・郡山総合体育館 柔道場

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/JR東北本線・新幹線郡山よりバス乗車、「一本松前」下車すぐ
◆お問い合わせ/パレストラ福島☎090-2883-9458

第2回西日本フレッシュマン・トーナメント
3月24日（日）　大阪中央体育館 柔道場

◆試合開始/10:30（予定）
◆入場料/無料　◆会場アクセス/地下鉄中央線朝潮橋下車すぐ
◆お問い合わせ/日本修斗協会☎03-5912-6455

HYBRID WRESTLING 武∞限

PANCRASE Presents "武∞限 2002 DESTINY TOUR"
3月17日（日）　沖縄県立武道館2階第2練成道場

◆開場/16:00　試合開始/17:00　◆入場料/一般席1,500円　学生席1,000円（学生証持参）　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、犬神商会☎098-866-3538、IN YOUR FACE☎098-863-3115、SOUTH OF MARKET☎098-863-2606、WOOD CHUCK☎098-868-1732、RideHot☎098-936-2947、auショップ RAMS 識名店☎098-853-4515、ISLAND BROTHERS Cafe☎098-860-8844、ARF☎098-856-5767、米市場 浮島通り店☎098-868-3629、0120-014-530、HYBLID WRESTLING 武∞限
◆会場アクセス/那覇空港より車で5分　◆お問い合わせ/HYBLID WRESTLING 武∞限☎090-8293-5012

その他

日本女子ボクシング協会

FIGHTING GIRLS PT2
4月29日（月・祝）　東京・北沢タウンホール

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/SRS席10,000円（当日12,000円）　RS席7,000円（当日8,000円）　S席6,000円（当日7,000円）　立見席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/日本女子ボクシング協会ほか　◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/日本女子ボクシング協会☎03-3485-7063

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999	レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
ローソンチケット ☎03-3569-9900	板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
CNプレイガイド ☎03-5802-9999	チャンピオン ☎03-3221-6237
オデッセー ☎03-3408-0331	書泉ブックマート ☎03-3294-0011
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513	後楽園ホール ☎03-5800-9999
レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078	

バックナンバー インフォメーション

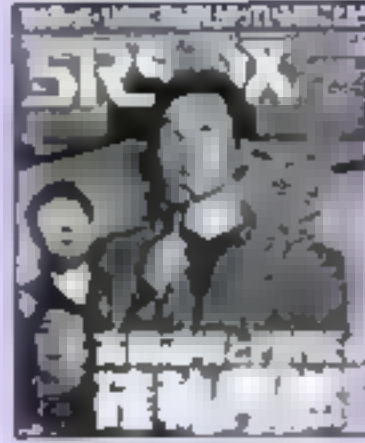
これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

（11・22　58号）
●大会速報/11・3「プライド17」東京ドーム大会、ホイス・グレイシーインタビュー、試合後インタビュー…ミルコ・クロコップ、ヴァンダレイ・シウバ
●噂の三面記事拡大版/12・31「猪木軍vsK-1」いったい誰が出るのか？
●1・11「一撃」開催決定！/武蔵、野地竜太インタビュー、11・3〜4極真全日本大会速報
●SRS・DXの注目/「プライド」に来る変なガイジンたち、世界大会直前！大道塾「飲んだくれ」座談会、リングスヘビー級王座ヒョードルインタビュー
●大会レポート/10・30パンクラスvsグラバカ対抗戦後楽園大会、10・25「真撃」日本武道館大会、10・28新日本キック後楽園大会、10・31AX下北沢大会

（12・13　59号）
●注目！/12・31「イノキ・ボンバイエ」猪木軍vsK-1最新情報
●「K-1ワールドGP決勝戦」直前情報/クローズアップ…ジェロム・レ・バンナ、フランシスコ・フィリォ、ピーター・アーツ、アーネスト・ホースト、マーク・ハント現地取材
●「プライド17」徹底検証・高田vsミルコ戦の波紋/高田延彦、藤田和之、安田忠夫インタビュー、堀辺正史師範による総括、徹底分析座談会
●緊急企画「強い日本人よ、出て来い！」/高山、子安、菊田インタビュー
●大会詳報/11・3〜4極真全日本大会、11・17大道塾世界大会　ほか
●SRS・DXの注目/フジマールvsシーザー武志対談、郷野&佐々木、ラバナレスインタビュー

（12・27&1・10 合併号　60号）
●完全速報！/12・8「K-1ワールドGP2001決勝戦」
●12・31「猪木軍vsK-1」最新情報/K-1王者マーク・ハント、永田裕志、レイ・セフォーインタビュー、堀辺正史師範提言「こうすれば猪木軍vsK-1は面白くなる」
●噂の三面記事/12・23「プライド18」に両王者揃い踏み？　ほか
●SRS・DXの注目/パンクラス尾崎社長、金原弘光インタビュー、TKが訴える日本人選手意識改革論、前田日明がグレート・アントニオにやって来た！
●大会詳報/12・1パンクラス横浜文体大会、11・20シュートボクシング後楽園大会、11・30全日本キック後楽園大会　ほか

（1・24　臨時増刊号　61号）特別定価／720円
●12・31「猪木軍vsK-1」直前情報/「猪木軍vsK-1」決戦目前密着ドキュメント、アントニオ猪木vs石井和義対談、ホイス、ベルナルド、安田インタビュー
●完全速報/12・23「プライド18」マリンメッセ福岡大会
●年末ビッグイベント大特集/12・9新日本キック ラジャダムナン興行、12・16修斗NKホール大会、12・21リングス横浜文体大会、12・23DEEPディファ有明大会
●年末企画/アントニオ猪木が2001年マット界を一刀両断！
●大会レポート/12・9全日本キック後楽園大会、12・15ReMix2001ロシア大会
●別冊付録/「SRS・DX」2002年カレンダー

（1・24　62号）
●完全詳報！/12・31 INOKI BOM-BA-YE 2001「猪木軍vsK-1最強軍」、安田忠夫インタビュー、アントニオ猪木、石井館長コメント、新春☆緊急座談会
●噂の三面記事/前田日明、突然のリングス解散宣言！、K-1ジャパン静岡初上陸で中迫vsハントが決定！、「一撃」は日テレが放送　ほか
●SRS・DXの注目/東スポ大賞技能賞受賞・菊田早苗インタビュー、2・11「K-1 J・MAX」に名乗りを挙げた異色ファイターたちに迫る！…村浜武洋、須藤元気インタビュー
●速報/1・4全日本キック後楽園ホール大会
●大会レポート/12・26「AX」、12・28「SAMURAI!開局5周年記念イベント」

（2・14　63号）
●2002年、早くも始まったマット界の大地殻変動！/田村潔司、高田延彦、武藤敬司、ドン・フライインタビュー
●大会詳報/1・11「一撃」代々木第2体育館旗揚げ大会
●新春三大特集！/「K-1 J・MAX」、ルチャ・リブレ、女子総合格闘技特集
●SRS・DXの注目/「SRS・DX」公式HP集計結果大公開！、12・31「猪木軍vsK-1軍」の余波…石井館長、永田裕志、堀辺正史、尾崎社長インタビュー
●噂の三面記事/「K-1 J・MAX」トーナメント組み合わせ決定！　ほか
●大会レポート/1・11「UFC35」、1・12修斗後楽園大会　ほか

（2・28　64号）
●緊急特集/揺れる猪木イズム　21世紀のプロレスとは？　アントニオ猪木、蝶野正洋、髙山、週刊ゴング・金沢克彦編集長インタビュー
●K-1特集/ミルコ、ハント、中迫インタビュー、特別寄稿「プロレスマスコミから見たK-1」…紙のプロレスRADICAL・山口日昇編集長、週刊ファイト・井上義啓元編集長
●「プライド19」直前情報/エンセン井上、ブッカーKインタビュー
●「SRS・DX」特別企画/夢の競演！　ヤノタクvsルチャ
●大会レポート/2・1SB後楽園大会、1・27K-1 JAPAN静岡大会、1・27パンクラス後楽園大会、1・27新日本キック後楽園大会、1・26NJKF後楽園大会　ほか

（3・14　65号）
●大会速報/2・24「プライド19」さいたまスーパーアリーナ大会
●大会詳報/2・11「K-1 WORLD MAX日本代表決定トーナメント」代々木第2体育館大会、2・15リングスラストマッチ横浜文化体育館大会
●ターザン山本復活！「K-1 WORLD MAX」座談会
●SRS・DXの注目/小比類巻貴之&黒崎健時インタビュー、カーロス・ニュートンインタビュー、3・30DEEPに向け佐伯代表がメキシコ視察「これが噂のルチャ最強軍団だ！」
●大会レポート/2・11修斗神戸大会、2・15全日本キック後楽園大会、2・17パンクラス大阪大会、2・22THE BEST後楽園大会

バックナンバー・通信販売方法

定価/各680円　送料/1冊＝110円、以下一冊増えるごとに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。61号のみ720円です。ご注意願います。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　「SRS・DX バックナンバー係」まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

春爛漫。

次号は、ビッグイベントが少ない分、インタビュー、企画モノなど、盛りだくさんお楽しみに！

卒業、そして入学&入社と、変動のこの季節、
マット界の“激動”を徹底的に検証する「SRS・DX」を読んで、
時代の流れに乗り遅れるなっ！

4・21 K-1ジャパン 広島大会 最新情報

3・22 UFC36 速報！ 桜井“マッハ”速人 VS マット・ヒューズ ほか

徹底リサーチ！ PRIDE.20 4・28 横アリ大会

2002 4/11号
No.67
毎月第2・第4木曜日発売
定価 680円（税込）

発行/フジテレビ出版・ローデス　発売/扶桑社

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

http://www.asakusakid.com

2・24『プライド19』徹底総括 キッドのお気に入りは"オバケ"だった！

博士 2・24「プライド19」は盛り上がったな。

玉袋 まさか武藤が川田に負けるとは……。

博士 全日本プロレスの話じゃないよ！ 今回はアントニオ猪木様&桜庭和志なしの興行で不安だったが、フタを開けたら盛り上がった興行だった。

玉袋 なんといってもメインですよ！

博士 田村が挑んだシウバ戦、でも試合は一方的な試合になった。

玉袋 元リングスの王者・田村が何もできないで負けたのはショックですよ。

博士 シウバに顔面を叩かれて流血までしたからな。

玉袋 あれこそシウバの手打ちうどんですよ！

博士 田村は「うどん屋発言」は若気の至りだったって言ってるんだから、今さらうどん屋発言するな！ でも、Uへのこだわりを持つ男が挑んだ一大決戦だけに、この結果はショックだった。

玉袋 この結果に対し前田日明は「体重をあと10キロ増やせ」と発言。

博士 まだリングス時代のアドバイスと変わってねえだろ！

玉袋 この結果は実質上Uの終焉なんですか？

博士 Uが終焉したら田村の道場Uファイル・キャンプも終わっちまうだろ！ ここはひとつ田村の「プライド」での復活を祈る！

玉袋 今回の僕の注目キャラはチーム・オコゲのティム・カタルフォですよ！

博士 オコゲじゃなくてオバケだよ！

玉袋 季節外れの闘うサンタクロース！

博士 勝手なキャッチフレーズつけるなよ！ あの特徴あふれるヒゲが良かった。

玉袋 トランクスの尻の部分に「エセ骨法」って書いてありましたよ！

博士 そのヒゲは似てるはえ方してるけど烏合会の矢野卓見だろ！

玉袋 対戦相手は茨城県波崎町の海岸に2月11日早朝、鯨約50頭が打ち上げられているのが見つかったうちの1頭トム・エリクソン。

博士 べつに今年やたら日本の沿岸に打ち上げられる鯨の話じゃないよ！ 大きい身体がハーマン・メルヴィル描く『白鯨』のモビー・ディックのイメージがあるトム・エリクソンだよ！

玉袋 この試合のキャッチフレーズが良かった！

博士 グリンピースに怒られそうなキャッチで「捕鯨を解禁せよ！」だった。

玉袋 負けじとヴァリッジ・イズマイウの試合のキャッチフレーズが「犬食いを解禁せよ！」。

博士 狂犬だからって犬食いなんてテーマ出さないよ！

玉袋 鯨食も犬食もそれぞれの国の食文化なんです！

博士 なんの話してるんだよ！ ティム・カタルフォはエイハブ船長になり損ねた。

玉袋 チョークスリーパーで本物のオバケになりかけましたよ。

博士 あの風貌はもったいない。ぜひとも谷津と高齢対決を望む！ そして今回登場した新たなグレイシーのホドリゴも強烈だったな。

玉袋 入場から今までのグレイシーと違ってましたからね。

博士 グレイシートレインでの入場なしで、踊りながら出てきた。

玉袋 次回から踊り子・グレイシーに改名するそうです。

博士 しないよ！ 「プライド」のポリスマン・松井がまたもや大流血！

玉袋 松井は「プライド」界の二代目キラー・トーア・カマタに改名！

博士 おまえが勝手に改名ばかりするな！ 流血大王かよ！

玉袋 やはり「プライド」にはグレイシーが必要ですよ！ このままホドリゴが勝ち上がってきて、ミドル級戦線に名乗りを挙げてきたら最高ですよ！

博士 甘いマスクだし人気出ること間違いないし、やはりグレイシーが出ることで一族の重みが出てくるからな。

玉袋 グレイシー一族とエンセン大和魂一族との団体戦も見たいですよ！

博士 やらないよ！ 試合前に暴力事件で実刑判決を受けたエンセンの試合は地上波ではNG、衛星波だけならオンエアはOKという形になった。

玉袋 これで絶望的だった田代まさしの復活が衛星波でフジテレビ系の格闘技番組に復帰する可能性が出てきましたね。

博士 出るわけないだろ！ エンセンは試合後のマイクパフォーマンスで問題発言もあったし、今回お騒がせだった。

玉袋 If you smell what The ROCK is cookin!!

博士 なんでロック様になってるんだよ！ アメリカにも放送されている「プライド」でファック・ユー発言したんだよ！

玉袋 これで実質的にUが終焉を迎えたんですね。

博士 そのUじゃなくてYouだよ！ なんでもかんでも「U」に結び付けて、UWFを終焉させようとするな！

玉袋 そうですね、ちゃんと中野龍雄が守ってますからね。

博士 地味な興行打っただけだろ！ そのエンセンはこの試合終わりで戦争に行くそうだ。

玉袋 だからエンセンの周りには日本遺族会がピッタリとついてたんですね。

博士 あれはエンセンの弟子や家族だよ！

玉袋 あのタトゥーで戦争行ったら実写版『兵隊やくざ』ですよ！

博士 そりゃ勝新主演の名画だろ！

玉袋 エンセンには戦場で大和魂で玉砕なく、無事帰ってまたファイトしてほしい。

博士 しかし勝ったノゲイラは凄いな。

玉袋 すっかりメロン乳小池栄子もメロメロですからね。

博士 しかし、「プライド」の解説の小池栄子は大抜擢だな。

玉袋 「プライド」VS新日本プロレスの小池VS乙葉とのゲスト巨乳解説対決が見モノですよ！

博士 勝負は完全に見えてるだろ！ 小池は「ノゲイラに三角極められたい」なんて気の効くこと言ってるくらいだからな。

玉袋 もしかしたら先輩のふーみん&ホルスよりも先に小池&ノゲイラがゴールインする可能性があるな！

博士 ないよ！ シャムロックVSフライも上々の盛り上がりだった。

玉袋 あの譲り合わない殴り合いは、あれはアメリカのドライブインで展開しそうな殴り合いでしたよ！

博士 安いB級映画にありそうだな。フライも足首極められても我慢していた。

玉袋 試合後に「5年間、悪口言ってゴメンね」とフライが告白、これで愛が芽生えたんですよ！

博士 だから見た目がホモっぽいからって、勝手なラブストーリー作るなよ！

玉袋 でも、この試合は本当に痺れたよ！ ドン・フライ最高！

博士 ファンは急増！ そして日本人に好かれる選手と言えばカーロス・ニュートンだな。

玉袋 ワールドカップを前にサッカーの王様ペレを撃退！

博士 サッカーの王様じゃないよ！

玉袋 ニュートンは剣道着で入場してきたから、最初は中身がミスター桜田だと思いましたよ。

博士 もう出て来ないよ！ カタコトの日本語でアピールしてたのが健気で良かった。

玉袋 強さと可愛さがあるニュートンはスター候補生ですな。

博士 考えてみれば猪木色がほとんどなかった今大会。

玉袋 百瀬さんの隣にドクター中松はなぜいたのか？ これが猪木色としての謎掛けかもしれませんよ！

博士 なわけねぇだろ！ ■

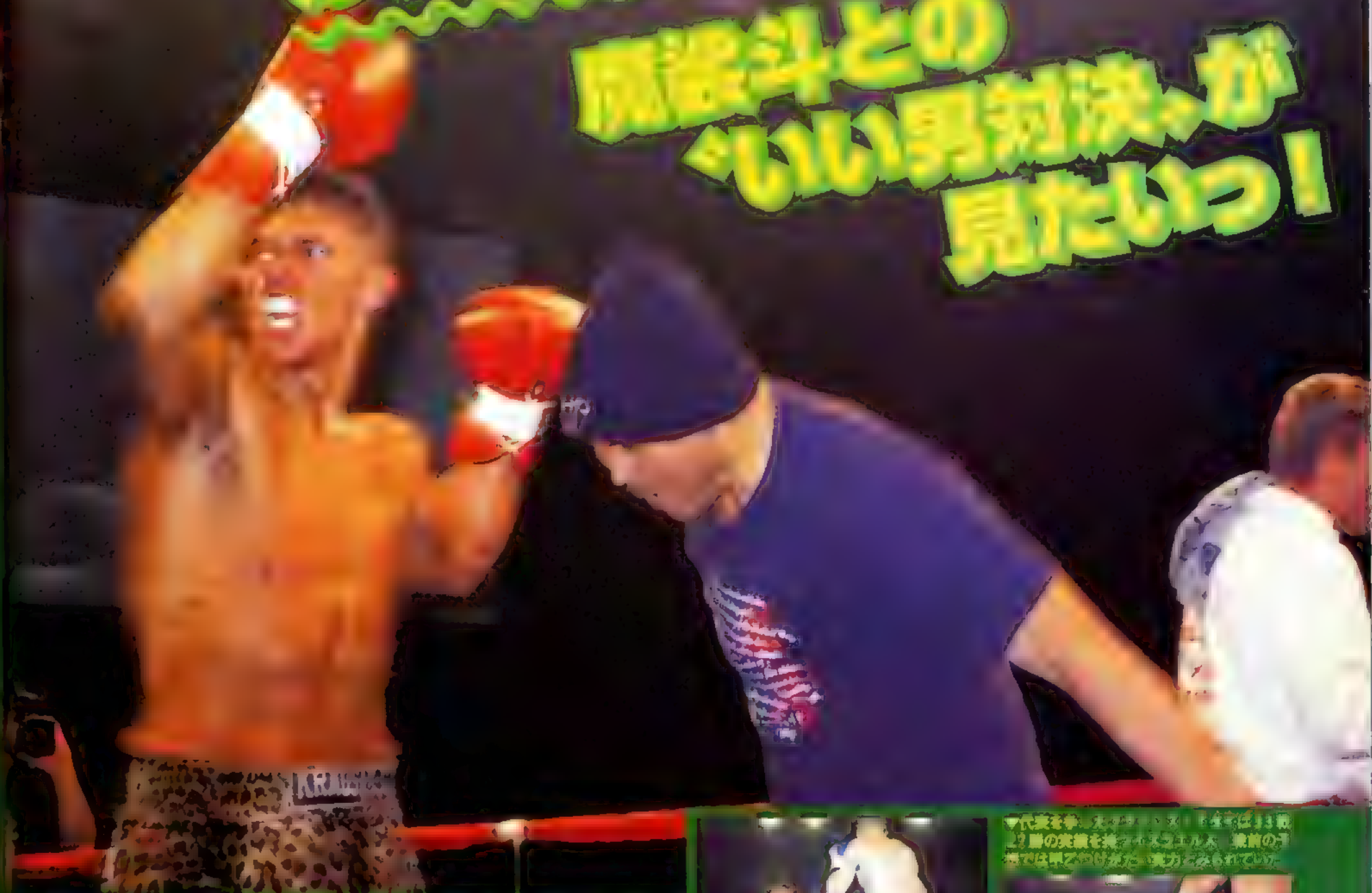
遂にベールを脱ぎ始めた5・11 K－1中量級世界大会

5・11 K-1 WORLD MAXのヨーロッパ代表決定戦で見事なKO勝利を収め、晴れて代表の座を勝ち取ったアルバート・クラウス。外見といい実力といい、"欧州の魔裟斗"といった感じか

こいつが優勝候補ナンバーワン！

欧州代表、魔裟斗似の"超イケメン"

クラウスだっ！

ルックス◎破壊力◎ 魔裟斗との"いい男対決"が見たいっ！

★K-1 WORLD MAX 欧州代表決定戦（68キロ）
○アルバート・クラウス（2R1分46秒KO勝ち）フランシス・イタイ●
〈オランダ/リンホー〉　〈イスラエル/メジロ〉
※パンチ連打

取材&撮影◎遠藤文康

去る2月11日のK—1中量級大会「ワールドMAX〜日本代表決定トーナメント」は、魔裟斗と小比類巻貴之という主役級の2人、そして村浜武洋、須藤元気ら脇役的選手も大奮闘し、まさに爆発的と言っていい盛り上がりを見せたが、あの大会はあくまで予選であり、本番は5月11日の世界大会。

予選から1カ月が過ぎ、世界大会まであと2カ月を切ったということで、当然、気になるのが世界大会出場選手の顔ぶれだ。

日本からは、トーナメント優勝の魔裟斗。そして、決勝で魔裟斗に判定負けしたものの互角のファイトで場内を沸かせた小比類巻も館長推薦として参戦することがほぼ決定している（ただし、なんらかの条件付きらしいが）。果たして2人が挑む世界の強豪は、どんな顔ぶれなのか？　ここへ来て、出場選手が一部決定し、ようやく世界大会のベールがはがれ始めた。

欧州代表の座を獲得したのは、アルバート・クラウス。21歳と若いが、すでに45戦のキャリアを持つ。単純に計算しても月1ペースで約4年もかかるわけだから、クラウスの、この試合数の多さはハンパじゃない。しかも戦績は39勝36KO。KO率はナント8割！　しかも全てがパンチによるものというから、並はずれたハードパンチャーであることは間違いない。

今回の代表決定戦においても、その実力を存分に見せた。相手のフランシス・イタイは、ピーター・アーツと同じ名門メジロジム所属のイスラエル人。33戦して27勝。実績ではクラウスにも引けをとらない実力者だった。

試合前は、ほぼ互角と予想され

K-1オランダ大会

2・24★オランダ・アーネム市ラインホール

ノブ・ハヤシの粘りわずかに届かず。4強イグナショフに惜しい判定負け!

◆昨年のワールドGPで4強入りを果たしたイグナショフとノブ・ハヤシ

5・11武道館決戦に向け世界の実力者が続々集結!

中国からは散打王

"手からイナズマを出す男"

試合前は、ほぼ互角と予想されていたが、いざフタを開けてみると、実力差は歴然。両者が様子をうかがった1Rこそ大差は出なかったものの、2Rに入るや、クラウスが一方的な攻撃。ディフェンス一辺倒となったイタイを、まるでサンドバッグのように殴り続け、最後は左右のフックで立ったまま失神させたのだ。レフェリーが止めに入ると、イタイは糸の切れたマリオネットのようにスローモーションでバッタリと倒れ、そのまま5分近くも昏倒していた。

クラウス、恐るべし。

スピード、切れ、破壊力、どれをとっても超一流。さらに、写真を見ていただければ分かるように、ルックスまでも抜群ときている。

かってはラモン・デッカー、イワン・ヒポリット、デニー・ビルなど、有力選手が群雄割拠していたヨーロッパ中量級。レベルの高い欧州で、現在、ナンバーワンの名を得ているクラウスだけに、5・11『K—1ワールドMAX』も優勝候補筆頭であり、魔裟斗にとって、最強の敵となることは間違いない。〃日蘭いい男対決〃、ぜひ実現してほしいカードだ。

また、中国代表の散打王・張加溌(ジャン・ジャポー)も気になる。日本予選では総合格闘家・須藤がトリッキーな闘い方で、小比類巻を苦しめたが、散打の闘い方もキックボクシングとは異なるだけに、異種格闘技戦の色合いの強い試合になりそうだ。〃手からイナズマを出す男〃の異名を持つだけに、何かをしてくれそうな予感も十分。5・11は、2月以上に激しく、熱い闘いになりそうだ。■

オランダ予選優勝は伏兵・パリス

やっぱりK—1、予選さえも波乱! 優勝候補ボンヤスキー準決で敗退

▲パリスの強烈なローキックに、ボクシング出身のグリラスカスは5度もダウン。その度に必死に立ち上がる姿に観客は大きな声援を送った

▼グリラスカスはリトアニアのキックとムエタイの王者ではあったが、1回戦、準決勝のダメージもあり、パリスの再三のローキックに最後は力尽きてしまった

▶オランダ大会を制したエロル・パリス。地味ながら元NKBB王者であり、コンビネーションが巧く、オールラウンド型の経験豊富な選手だ

★K-1 WORLD GP 2002 世界地区予選オランダ大会トーナメント決勝（K-1ルール・3分3R）
〇エロル・パリス（2R2分30秒 KO勝ち）ダリアス・グリラスカス●
〈オランダ〉 〈リトアニア〉
※ローキック

〝K—1には魔物が棲む〟とよく言われるが、このオランダ大会も大波乱の連続だった。

まずはスーパーファイト。ワールドGPベスト4のアレクセイ・イグナショフがKOで圧勝するかと思いきや、ノブ・ハヤシが予想以上の健闘を見せた。1Rにダウンを喫したが、それで開き直ったのかノブは猛然と打ち返す。どれだけパンチを食らっても平然と立ち続けるノブに、イグナショフも最後は呆然としていた。結局、判定で負けはしたものの、チャクリキ陣営はノブの頑張りに大喜び。逆にイグナショフは疲れからかコーナーに座り込むほどだ。まだまだノブは伸びる。今年のジャパンGPは期待できるかもしれない。

続いての驚きは去年のラスベガス大会でフィリォに勝ったセルゲイ・イバノビッチだ。これだけ実績がありながら、なんとリザーブマッチに出場。しかもパベル・マイヤーに負けてしまったからさらにビックリである。

そしてトーナメント本戦。一度は引退した往年の名選手ヤン・ウェッセルが復帰してきたのも予想外だったが、最大の衝撃はレミー・ボンヤスキーの敗退だ。昨年、レイ・セフォーを破って一躍、名を上げたボンヤスキー。今大会でも優勝はまず固いと思われていた。

だが、この21世紀を担う逸材は、1回戦から苦しむことになってしまう。メルビン・マノエフを2度ダウンさせたものの鋭い反撃にタジタジ。KOで弾みをつけたい初戦が判定までもつれ、場内から喝采を浴びる〝名勝負〟になってしまったのだから皮肉だった。

まったのだから皮肉だった。

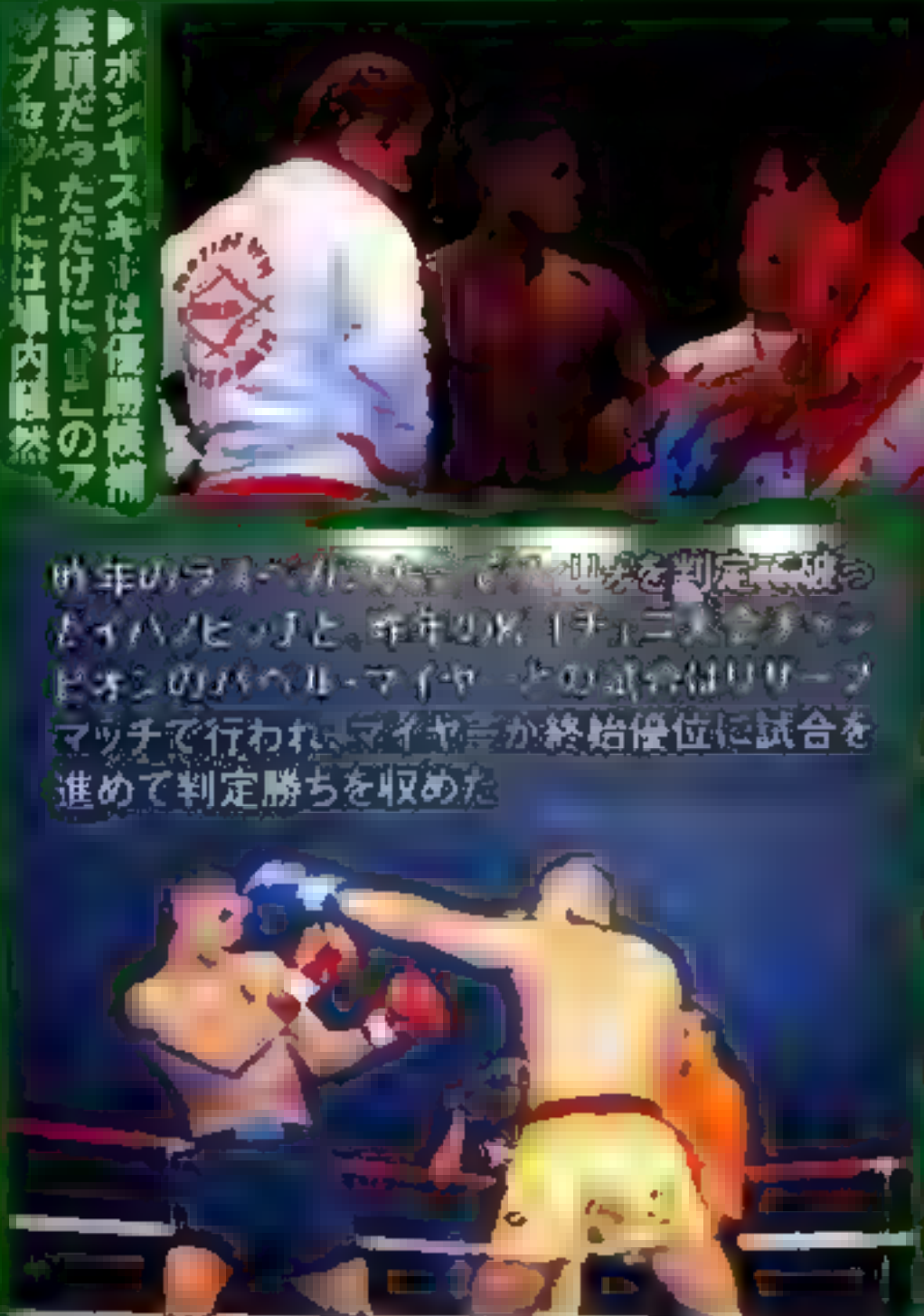
昨年、セフォーをボコったボンヤスキーが悶絶KO負け

▲昨年6月の仙台大会でレイ・セフォーにKO勝ちしており、今回は優勝候補の筆頭と見られていたボンヤスキーだったが、準決勝でパリスのボディブローに悶絶。KO負けを喫してしまった

▲1回戦のダメージの大きかったボンヤスキー。序盤は慎重に様子を見ながらパンチなどで攻めた

◀パンチとローキックのコンビネーションで攻めるパリスが徐々にペースを掴み、ロープ際で渾身のフックをレバーに。ボンヤスキーはのたうち回り立つことができなかった

▶ボンヤスキーは優勝候補筆頭だっただけに、このアップセットには場内騒然

マイヤーがリザーブマッチでフィリポに勝ったイワノビッチに判定勝ち

昨年のグランプリ[illegible]でフィリポを判定で破ったイワノビッチと、昨年の[illegible]チャンピオンのペーター・マイヤーとの試合はリザーブマッチで行われ、マイヤーが終始優位に試合を進めて判定勝ちを収めた

1回戦で思わぬダメージを負ってしまったボンヤスキーに対し、準決勝の相手エロル・パリスはノーダメージで勝ち上がってきた。慎重にならざるをえないボンヤスキーを、パリスは序盤からガンガン攻めていく。パンチからローと、得意のコンビネーションが冴えるパリス。思わずロープを背にしたボンヤスキーに、パリスが渾身の左フック一撃！

さしもの優勝候補筆頭も、レバーをモロに打ち抜かれてはたまらない。悶絶、そしてダウン。のたうち回って苦しみ、そのまま立ち上がれなかった。誰もが目を疑うアップセット。ボンヤスキーのグランプリ・ロードは、早すぎる幕切れを迎えてしまった。

こうなればパリスは怖いものなしだ。決勝戦でもリトアニアのグリラスカスに猛攻を加えていく。ボクシング出身の相手にローを連打し、2Rの間に5度もダウンを奪ってのKO勝ち。倒れるたびに雄叫びを挙げて立ち上がるグリラスカスのガッツは感動を呼んだが、最後はテンカウントを聞いた。

まさかの伏兵・パリス優勝。だがこのパリスは、ただの大穴じゃなかった。元NKBB王者で、これまでワンマッチで負けたのはロイド・ヴァン・ダムだけという実績もある。経験豊富で、オランダ式の緻密な対角線コンビネーションは抜群。パリスの優勝はたしかに意外だったが、同時に格闘王国オランダの底力の証明でもあると言えるのだ。次の標的はワールドGP。オランダの隠れた実力者が、世界のひのき舞台で波乱を起こしても決して不思議ではない。■

ランダ
電

“赤鬼”ルスカ脳溢血で倒れる！

文◎遠藤文康

オランダからショッキングなニュースが飛び込んできた。一つはリングス・オランダのウィリー・ピータースが狙撃されたというもので、もう一つは、あのウィリアム・ルスカがバカンスで訪れていたスペイン領カナリア諸島で、脳溢血で倒れたというニュースだ。ルスカは倒れて3カ月が経った今も全身マヒ状態で、言葉も話せないという。もう、あの“赤鬼”ルスカの勇姿を見ることはできないのだろうか。

©Essei Hara

▶日本のマットでも猪木との死闘をはじめ幾多の名勝負を繰り広げたルスカ。現在は全身マヒ状態とのことだが、なんとかリハビリで、ファンの前に元気な姿を見せてほしい

バカンス中に倒れ、全身マヒ状態に

ミュンヘンオリンピック柔道の重量級と無差別級の両階級で金メダを獲得しギネスブックに名を連ねるウアム・ルスカ（60歳）が脳溢血で倒昨年11月、趣味のヨットで大西洋リカ沖にあるスペイン領カナリアバカンスを楽しんでいたルスカ血が襲ったのだ。にオランダに帰国したものの全身状態。言葉もまったく話せない状って3カ月が過ぎた。旧友ドールをはじめ、多くの友人が見舞いに病院を訪問したが「このような姿は見せたくない」との意思表示をしたため、現在は友人たちも見舞いを遠慮している状態だ。ドールマンによると「あのルスカはもう帰ってこない。車イスでも彼なら復帰はするだろうが、あのルスカはもういない。残念なことだ。とても悲しい」と語った。

痛風を持病として患い、ビールとビリヤードが大好きなルスカ。昨年の夏にはオリンピック強化選手と柔道の練習をしたようだが、その時すでに軽い兆候があったようだ。また、最近は血圧も高く、本人も用心はしていたようだが、バカンス中に残念な結果となってしまった。

アントニオ猪木と激闘を繰り広げた、往年の“赤鬼”ルスカが、今は静かにベッドに横たわっている。なんとかリハビリでできる限りの復活を願いたい。■

▲ルスカはミュンヘン五輪の柔道で、無差別級と重量級を制した柔道王。その強さは伝説となっている

ピータース、狙撃される！

▲『プライド9』では、ヒース・ヒーリングの『プライド』デビュー戦の相手を務めているウィリー・ピータース。リングへの復帰はあるのだろうか

太腿、肩など4カ所に被弾 報復？ 抗争に発展の危険性も

リングスオランダメンバーのウィリー・ピータース（36歳・引退済み）が何者かによって襲撃された。

2月22日（金）オランダ時間午後9時半、出勤前に女性同伴でタパス料理のレストラン「エルニーノ」で食事をしていたピータースの前にスキーマスクで顔を覆った男が出現。犯人はピータースの目の前でマスクを脱ぎ取り、顔を見せてからサイレンサー付きのピストルをピータースのこめかみに当てた。咄嗟に犯人の手首をつかんでピストルを下に向けたピータースだったが、そのまま発射されて1発目が右太腿、2発目が左太腿へ。揉みあっての3発目が右肩、4発目が首筋をかすめた。サイレンサー装着のため音は静かだったが異変を察知した店内のウエイター（18歳・トルコ人）が犯人を背後から羽交い絞めにしたが、そのウエイターも左腕を撃たれ貫通。犯人は逃走した。偶然同じ店内にいたビッグ・モー・T選手（以前「UFO」参戦）が警察に通報。ピータースはすぐに病院へ運ばれた。

ピータースは長くセキュリティー（バウンサー）の仕事をしており、現在は責任あるチーフ的立場。「マルカンティプラザ」というクラブのセキュリティー責任者でもある。ここには過去、佐竹雅昭も訪れたことがある。警察の話によると「犯人は、何度もそのクラブで暴れて迷惑をかけていたモロッコ人男性で、いつもピータースに追い返されていた。それを逆恨みしての犯行だと思われる」とのことだ。

リングスオランダ総帥クリス・ドールマンの元には、信じがたいことに当のピータースから電話があり「今、救急車の中だ。撃たれた」と笑いながら連絡があったようで、ドールマンもすぐに病院に駆けつけたそうだ。弾丸の位置が深く手術は様子を見てからにしようということになり、ベストの方法としてそのまま残したほうがいいという結論になっているようだ。強引に取り出すと筋肉組織へのダメージが大きいからとの判断による。

なお、生命に別状はない。リングスメンバーのフレッド・オーストロン（心臓外科医）も診察に参加。またリングスでレフェリーをしているヤン・フェンローイ（警官）がこの件を担当することになった。

責任感の強いピータースは、以前にも逆恨みから暴漢にナイフで腹を刺されたことがある。その時は暴漢の手を握って上にあげたために、自らの腹を下から上に切り裂いてしまい腸が飛び出してしまったという。ピータースは飛び出した腸を自分で腹の中に戻し、あまりの凄さに犯人は逃亡、後日逮捕されている。それ以来、ピータースは試合では傷を隠すためにアマレスのタイツを着用するようになった。いずれにせよ、何とも凄まじい胆力を見せつけるピータースだ。

なお、今回の事件には伏線がある。ボブ・シュライバーの勤務するクラブでもいつも問題を起こすモロッコ人がおり、その男もシュライバーにピストルを向けるという悪さをしたようだ。その時は脅しただけで、それ以上は何もしなかったようだが、その男をカジノで見かけたハンス・ナイマンとディック・フライが「あいつがいつもボブに迷惑をかけている男だ。やってしまおう」と男を連れ出し植物人間にしてしまったようだ。

ピータースが襲撃されたのはそれから2週間後なので、もしかするとこれはモロッコ人チーマーによる報復とも考えられている。ややもすれば長引く抗争になる危険性も孕んでいるので警察当局は全力で犯人捜査に乗り出している。■

ホドリゴ・グレイシー

こんな呑気なグレイシー見たことないぞ！ 特撮オタクのケンカ番長

インタビューでもやっぱり『チェンジマン』ポーズだ！

2・24『プライド19』で日本初ファイト、松井大二郎を初のタップ&失神負けに追い込むとともに、『電撃戦隊チェンジマン』の主題歌で入場して観客のハートをワシ掴みにしたホドリゴ・グレイシー。今回は大会直前に収録したインタビューのお蔵出しバージョンである。『男一匹ガキ大将』ばりのケンカエピソードをノーテンキに語ったかと思えば、小学生のように特撮の話で盛り上がったりと、とにかく"最強の一族"っぽさをまったく感じさせない（でも強い）新型グレイシーの魅力をどうぞ!

聞き手◎橋本宗洋　撮影◎吉澤晃

RODRIGO

—ホドリゴさん、はじめまして。今回は待望の日本初ファイトですね。

ホドリゴ　うん、ボクも凄くワクワクしてるんだ。

—日本のファンはまだホドリゴさんのことをよく知らないんで、生い立ちからお聞きしたいんですけど。ヘンゾ選手のイトコになるんですよね？

ホドリゴ　そうだね。ヘンゾ、ハイアンのイトコだよ。お父さん同士が兄弟で。

—子供の頃からヘンゾ選手やハイアン選手と一緒に育ったんですか？

ホドリゴ　みんな近くに住んでたよ。リオなんだけど、そんなに大きい街じゃないから近所だった。

—子供の頃から一緒に遊んだりして。

ホドリゴ　ハイアンとはいつも一緒に遊んでたなぁ。ヘンゾは自分たちよりちょっと年上なんだけど、でもよく遊んだよ。いい兄貴って感じだよね。

—ホドリゴさんはどんな子供だったんですか？

ホドリゴ　ほんとに悪ガキだったんだよ。ケンカもよくしたし、あとはモノを壊したりね。

—モノを壊すって？

ホドリゴ　小さい時からのボクのクセなんだけど、壁の角の所を見ると無性に壊すっていうか、削りたくなっちゃうんだ。カナヅチでガチガチって（笑）。

—ハハハ（笑）。なぜだ。

ホドリゴ　なんでだか自分でも分かんないんだよぉ。とにかく角を見るとムズムズしてきちゃうんだ（笑）。ボクのお父さんは、ブラジルでは大きなショッピングモールの中で道場を開いてたんだけど、そこの壁を削って、いっつも怒られてたんだよ（笑）。学校も落第したしね。

—落第しましたか（笑）。

ホドリゴ　8歳くらいから去年、結婚するまで、ずっとそんな感じで悪ガキだったんだよ。

—ハイアン選手と仲が良かったってことは、ケンカも一緒だったんですか？

ホドリゴ　一緒にディスコやクラブに行くと、必ずケンカだよね。

—なんでケンカになっちゃうんですか？

ホドリゴ　ブラジルではケンカして警察に捕まっても、その時だけのことだからさ。べつに牢屋に入れられたりしないから。だからブラジルの若者にとってケンカは当たり前のことなんだよ。おとがめなしなんだから、やらなきゃもったいないって感じで（笑）。

—罪にならないからやるってムチャクチャですね（笑）。

ホドリゴ　もう一つの理由は、ボクたちがグレイシーだからだよ。グレイシー一族である以上、いつでも強さを証明しなきゃいけないんだ。周りの人間も「グレイシーなら柔術やってるんだろ？　強いんだろ？」って話ばっかりしてくるしね。ボクらの親たちだって、ケンカしながら育ってきたはずさ。

—ケンカするのはグレイシーの使命なんですね（笑）。

ホドリゴ　グレイシー一族ってのは、ファッションの話じゃないけど一種のブランドなんだよね。世界中でも、みんな揃って同じ競技に取り組んでる一族なんていないと思うし。なぜか分からないけどグレイシーの家に生まれたってだけで柔術をやらなきゃいけないんだよね。そういう一族に生まれついたってことで、ケンカするのはボクたちファミリーの血なんだよ。子供の頃だって、兄弟ゲンカとかすると普通の親なら止めるでしょ？　でもウチはそうじゃなかったんだ。

—というと？

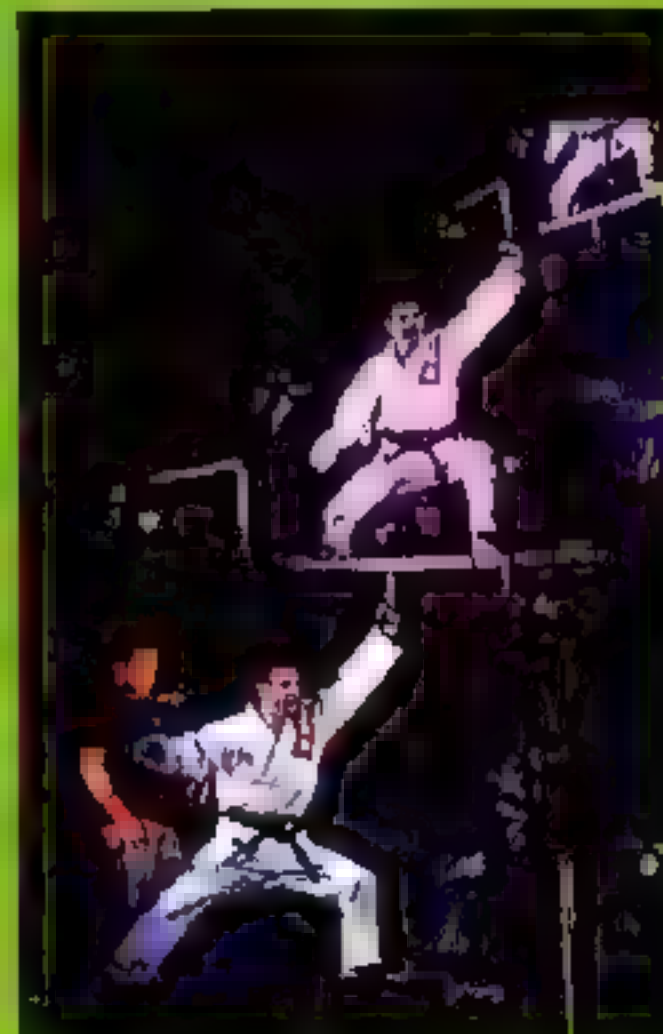
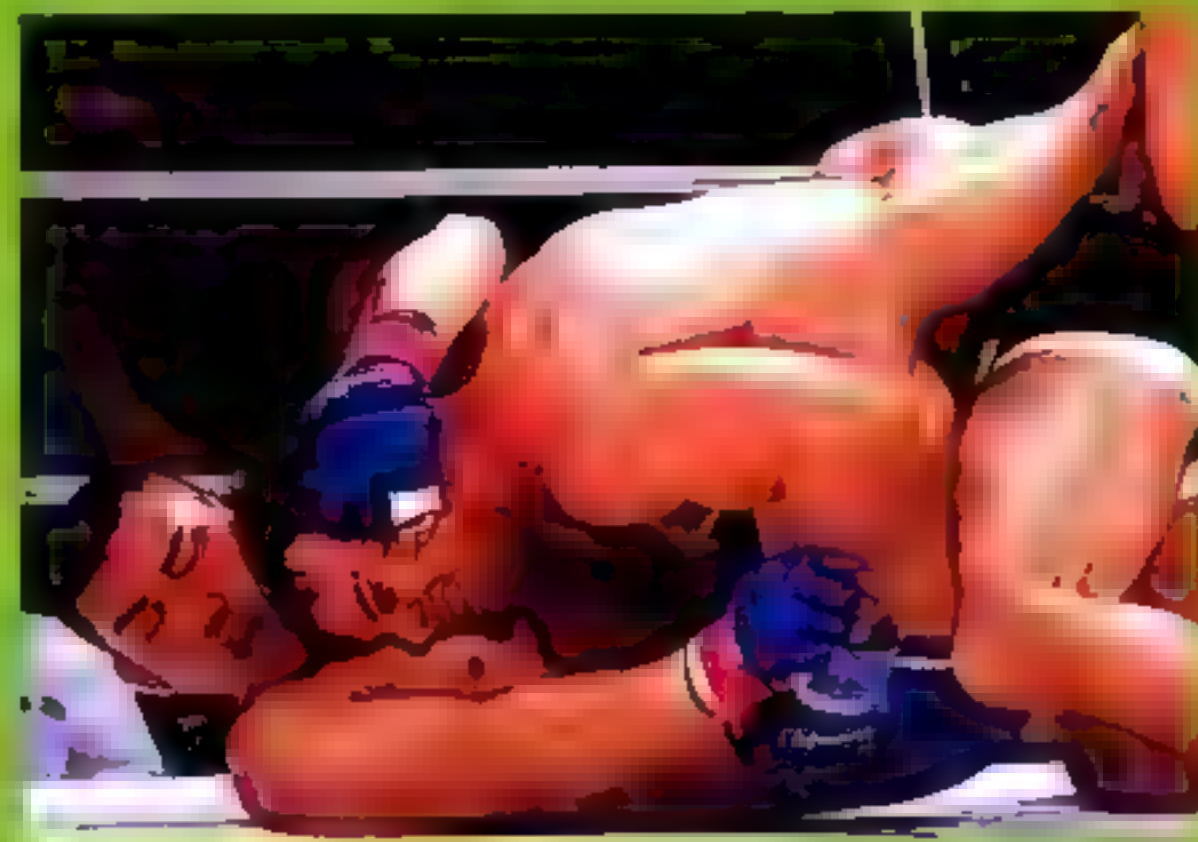
ホドリゴ　別の部屋に連れて行って閉じ込めて「ここで疲れるまでやれ」って言うんだよ（笑）。

—「やるなら徹底的にやれ」と（笑）。

ホドリゴ　1時間くらいケンカして、最後は疲れて動けなくて、お互いにツバかけ合ったりとかね（笑）。お父さんがずっとそれを見てるんだ。ウチじゃそういうのが当たり前だったんだよ。食事の時にケンカが始まってもみんな気にしないで、自分のお皿を持ってほかの所で食べたりね（笑）。

—家の外でも、自分がグレイシーの人間だって分かるとケンカ売られたりしますよね。

ホドリゴ　学生の頃は「ホントに強いのか？」みたいな目で見る連中がたくさんいたからね。それに、ヘンゾが言うには"グレイシー"って名前には女っぽい響きがあるから、それでひやかしてきたり

今まで一番ハデなケンカ？ 100人で大乱闘したこととかな

「プライド19」での松井大二郎戦。『チェンジマン』の主題歌で入場、ポーズもバッチリ決めたホドリゴは、試合でも終始優勢。上のポジションをキープして松井を出血させ、最後はフロントチョークで絞め落とした。その実力は、やっぱりグレイシーの名に恥じないのである

するんだって。だからケンカを売られることなんてしょっちゅうだったよ。

――で、そういう場合は100％買ってあげるわけですか。

ホドリゴ　もちろん！　売られたケンカは必ず買うし、必ず勝たなきゃダメなんだ。まあ柔術を身に付けていれば、誰とケンカしても子供と闘ってるようなもんさ。そういえば子供の頃、学校で同級生が「弱虫グレイシー」みたいなことを言ってきたことがあったんだ。

　そういう子って、相手が柔術やってるのを知ってて言うんですよね（笑）。

ホドリゴ　そう、わざとね。もちろんブン殴って泣かせてやったけど、その子の友だちが、「なんで泣くんだ？　相手がグレイシーなんだからしょうがないじゃないか」って言ってたんだよ（笑）。

――グレイシーに負けるのは当たり前なんだと（笑）。ちなみにホドリゴさんのケンカ必勝法ってどんなパターンなんですか？

ホドリゴ　まず殴る！　そして自分は殴られない。それで勝てるよ（笑）。

――あ、やっぱり殴る（笑）。柔術の技はあんまり使わないんですか？

ホドリゴ　最後は柔術の技を使うよ。殴ってから寝技に持ち込むんだよ。ボクがパンチを出すと、相手はブロックするでしょ？　そのスキにタックルするんだよ。そうなったらもうこっちのもんさ。

――じゃあ今までで一番ハデなケンカってどんなのでした？

ホドリゴ　一番凄かったのは、リオにある海岸沿いの街でやったやつかな。相手側はけっこう人数が多くて、こっちは2人しかいなかったんだ。「これは危ないかな」って思ってたんだけど、そのうちに味方も増えてきて集団で闘い始めたんだ。で、目の前の相手に馬乗りになって殴って、パッと上を見たらあたり一面で殴り合いしてたんだよねぇ（笑）。

世界中のオタクたちに希望を与えるこの一枚！　ヘンゾ曰く「『スター・ウォーズ』を半年で100回は見る」というホドリゴだが、そんなボンクラでもちゃんと結婚してるのだ

これまでVTをやらなかったのは試合より遊びが好きだったから（笑）

――あちゃ～（笑）。そんな呑気に語ってる場合じゃないでしょ、それは。

ホドリゴ　ストリート中、端から端まで全部ケンカだよ。途中で警官が来たんだけど、やっぱりケンカに巻き込まれちゃってさぁ。

――全体で何人くらいだったんですか？

ホドリゴ　だいたい100人くらいはいたかなぁ。

――100人！

ホドリゴ　ちょうどお正月で、観光客もたくさん来てて、気が付いたら全然関係ない人たちまで殴り合ってんの（笑）。みんな血だらけで、ブーツで手を踏み潰されちゃったヤツもいたし（笑）。

――笑いごとじゃないって！

ホドリゴ　ストリートに面したバーとか、お店を壊してるヤツもいたなぁ。

――そりゃケンカじゃなく暴動ですよ！

ホドリゴ　ボクは最後は車の上に立ってその光景を眺めてたんだけどね（笑）。

　始めた張本人が（笑）。

ホドリゴ　でも、さすがにそこまで大騒ぎになったんで、警察に連行されたよ。ケンカの相手の知り合いが、警察の偉い人だったらしいんだ。

――そこまでやったら、やっぱり裁判とかになりますよね。

ホドリゴ　一晩拘留されて、お説教食らったよ。

――それで終わりですか⁉（笑）。

ホドリゴ　だってブラジルだもん。ケンカよりひどい、大きな犯罪がたくさんあるからね。

――殴り合いくらい大したことないってわけですね。でもハイアン選手みたいに銃で撃たれたりとかはないですよね？

ホドリゴ　うん、1回くらいだよ。

――1回はあるんだ（笑）。

ホドリゴ　ちょうどヒザを悪くして、試合に出られなかった頃なんだけどね。行きたいパーティーがあったんだけど、入場料が凄く高かったんだ。でもそんなにお金払うのはもったいないからさぁ。裏の塀を乗り越えて入ろうとしたんだよ。そしたらちょうど塀の上に乗ったところで、ガードマンに「こっちに降りてきたら撃つぞ」って。

――ケンカより物騒ですね（笑）。

ホドリゴ　逃げようとしたんだけど、友だちの1人が石を投げたんだよ。それがガードマンに当たりそうになってさぁ（笑）。ガードマンもビックリして、反射的に撃っちゃったんだよね。とっさに逃げたから助かったけど、いやぁ～、危なかった、あれは。

――……なんか、危ない話は聞いたら聞いただけ出てきそうなんでこのくらいにしときます（笑）。格闘技の話を聞く時間がなくなっちゃいますよ。

ホドリゴ　まだまだケンカの話はあるよぉ～（笑）。

――アメリカに移り住んだのはいつ頃だったんですか？

ホドリゴ　最初は18歳の時だよ。お父さんがカリフォルニアに道場を構えること

RODRIGO G

『スペクトルマン』のDVDが出るの!? ボクはドクター・ゴリが大好きなんだよ

になったんで、ブラジルとアメリカを行ったり来たりしてたんだ。その後、ニューヨークのヘンゾの道場に入ったのが6年前で、それからはずっとアメリカに住んでるよ。

――ニューヨークに行ったのは、どういう理由だったんですか?

ホドリゴ お父さんがラスベガスにも道場を出したんで、最初はそこに住んでたんだけど、どうも気に入らなくってね。その後ニューヨークのヘンゾの所に行ったら凄く気に入って、すぐにそこに移ることにしたんだ。

――ラスベガスってカジノとかあって楽しそうじゃないですか。ダメだったんですか?

ホドリゴ ボクはあんまりギャンブルは好きじゃないんだよね。得意じゃないし。それよりディスコとかクラブで遊ぶほうが好きなんだ。

――ニューヨークに行ったらケンカもしなくなったって聞いたんですけど、何かあったんですか?

ホドリゴ 実はニューヨークでもケンカはしたんだよ(笑)。で、警察に捕まって、罰として10日間、公園の掃除をさせられたんだよ。

――ああ、アメリカでは刑務所に行く代わりに奉仕作業をさせられる場合があるんですよね。

ホドリゴ ケンカはそれで懲りちゃった。「アメリカでケンカすると大変なことになるんだなぁ」って。

――ブラジルじゃあなんでもなかったのに(笑)。

ホドリゴ うん。それで真面目になって、今は真剣にトレーニングしてるよ。

――試合で言うと、ホドリゴ選手はアブダビ優勝が有名ですけど、組み技の試合で相手の腕を折ったこともあるんですよね? ディン・トーマス戦で。

ホドリゴ 試合の時はアドレナリンがピークになるからね。ボクは〝キムラ〟(アームロック)で極めたんだけど、相手が我慢してなかなかタップしないんだよ。しょうがないから極め続けてたんだけど、最後は「バキッ」て凄い音がして折れちゃったんだよね。

――これまで、バーリ・トゥードの経験は1試合だけですけど、それはなぜなんですか?

ホドリゴ 最初のVTの時はうまくできたし「これはいいな」って思ったんだけど、まだ本格的にやろうって気にはならなかったんだ。今は結婚したこともあって、しっかりプロとしてやっていこうと思ってるよ。それまでは、やっぱり練習不足だったんだよ。VTは好きだけど、遊びもそれ以上に好きだったから(笑)。

――ダハハハー そんなグレイシー初めてですよ(笑)。

ホドリゴ やっぱり練習をちゃんとしないとVTは難しいよね。

――でもケンカの話を聞くと、柔術ルールとかサブミッション・レスリングよりVTのほうが得意そうじゃないですか。

ホドリゴ そうかもね(笑)。これからはノールールで力一杯やっていくよ。

――あと、ホドリゴさんは日本の特撮モノが好きなんですよね?

ホドリゴ そう! ブラジルでもたくさん放送してたんだよ。『チェンジマン』とか『ウルトラマン』、あと『ジャスピオン』も好きなんだ。♪カモン・ボーイ、ツライトキ~(日本語で主題歌を熱唱!)。

――ワハハハー 凄いな~、日本語で歌えるんだ。

ホドリゴ ほかにもたくさん歌えるよ。それと大好きなのが『スペクトルマン』だね。

――スペクトルマン!(笑)。また古いの知ってますねぇ。

ホドリゴ (持参した特撮モノのCDを取り出し)『プライド』でも、この中に入ってる曲で入場しようと思ってるんだけど、どうかな?

――いや、僕はいいと思いますよ(笑)。

ホドリゴ 『チェンジマン』か『スペクトルマン』がいいかなぁ。スペクトルマ~ン! ♪ダンダンダ~ン(番組オープニングをアクションを交えながら再現)。

――ダハハハ~! よく覚えてますね。あっ、じゃあこれ見てくださいよ。映画雑誌の広告なんですけど……。

ホドリゴ ああああっ! 『スペクトルマン』のDVDボックスセットが出るの!? (雑誌を見つつ大興奮)このデカイ猿が悪役なんだよね。で、これがドクター・ゴリ! 大好きなんだよぉ~。

――宇宙猿人ゴリですね(笑)。

ホドリゴ これ、いつ発売? もう買えるの?

――いや、3月下旬発売なんですよ。

ホドリゴ そうかぁ……。じゃあ次に日本に来た時に買うよ。

――これまでに何回か日本に来てますけど、オモチャ買ったりしました?

ホドリゴ そりゃ買うよぉ~! この前は『ウルトラマン』と『ウルトラセブン』のフィギュア買ったんだ。だけど『スペクトルマン』が売ってないんだよな~。

――古い番組だし、マニアックですからね。じゃあ次に日本に来た時は、古いオモチャがたくさん売ってる店を案内しますよ。

ホドリゴ そこ行ったら『スペクトルマン』もあるかな?

――あると思いますよ。一緒に探しましょうか。

ホドリゴ うん、あと『ジャスピオン』も買わなきゃ(笑)。■

筆者が持っていた映画雑誌に、たまたま『スペクトルマン』DVDボックスの広告が。これを見たホドリゴは大興奮!

三代目格闘ビジュアルクイーン

長谷川京子(はせキョー)の超SRS宣言!

第24回

2・24 PRIDE.19 たまアリ大会

2月24日、さいたまスーパーアリーナで開催された今年最初の『プライド』。2カ月ぶり、しかも豪華なカードのラインナップに、はせキョーは大興奮！　お気に入りの、ヒーリングの勝利もうれしかったみたいだゾ！

田村選手への声援の凄さにビックリ それにしても、シウバ選手強すぎ！

2002年初めての「プライド」。久々の試合というだけでドキドキしているのに、今回のカードの豪華さはハンパじゃなかったですよネ!!

その中でも、私が何よりも嬉しかったのがヒーリング選手の出場。毎回、ヘアーチェンジをしてくるヒーリング選手。たまに激しすぎてひっくり返りそうな時もあるけど、私のヒーリング選手LOVE♥な思いは加速する一方って感じです。それに、ボブチャンチン選手との試合ではきっと壮絶な殴り合いをしてくれるハズ、と楽しみにしていたんです。

ところが、最近のボブチャンチン選手、グラウンド技術がうまくなってきたこともあってか、バシバシの打撃合戦が見れなくって……、ちょっと残念でした。ボブチャンチン選手、勝手なことを言ってごめんなさいネ。でも、前回のノゲイラ戦で負けてしまったヒーリング選手は勝つことができたし、ぜひまた、ノゲイラ選手と闘うのを見たいですネ。いま、『プライド』ってミドル級が熱いけれど、ヘビー級のこの2人には大注目です!!

そのノゲイラ選手が今回闘ったエンセン井上選手。久々の復活だったけれど、相変わらず入場曲がなんか優しいというか、一族で参戦しているんだなぁ、皆に愛されているんだなぁ、というのが物凄く伝わってきて、感動してしまいました。

以前、「SRS」で〝今年大注目の男〟というので、山本〝KID〟選手のところに取材に行ったんですが、その時にエンセン選手の奥さんで、KID選手のお姉さんで、レスリングの選手の山本美憂さんとお会いしました。ちゃんとお話をするのは初めてだったんですが、とにかくカワイイッ!! 美憂さんは、女性の私から見てもメチャクチャ可愛らしい方で、大好きになってしまいました。今回のエンセン選手には、もちろんエンセン選手の熱くて折れないハートやファイトスタイルも好きだけど、美憂さんのためにも勝ってほしい!! という思いもあったんです。でも、相手はあのノゲイラ選手。もう、「素晴らしい」としか言えないですよ。次から次へと出てくる技は、動きが滑らかで見とれてしまうほど。結局、エンセン選手は負けちゃいましたが、〝折れない心〟〝大和魂〟を見せてもらいました。これが、本当の最後かと思うと悲しいです。お疲れ様でした。

そして、メインのシウバ選手対田村潔司選手。申し訳ないんですが、今回、田村選手が『プライド』のリングに上がることになるまで、私は田村選手の名前を聞いたことはあったけど、どういう選手なのか、ほとんど無知の状態でした。ただ、初の『プライド』参戦にして、シウバ選手と、しかもタイトルマッチで試合ができるのだから、とにかくタダ者ではないんだなぁとは思いましたが。しかも、会場では田村選手の応援の声が予想以上に多くて、かなりビックリ!!

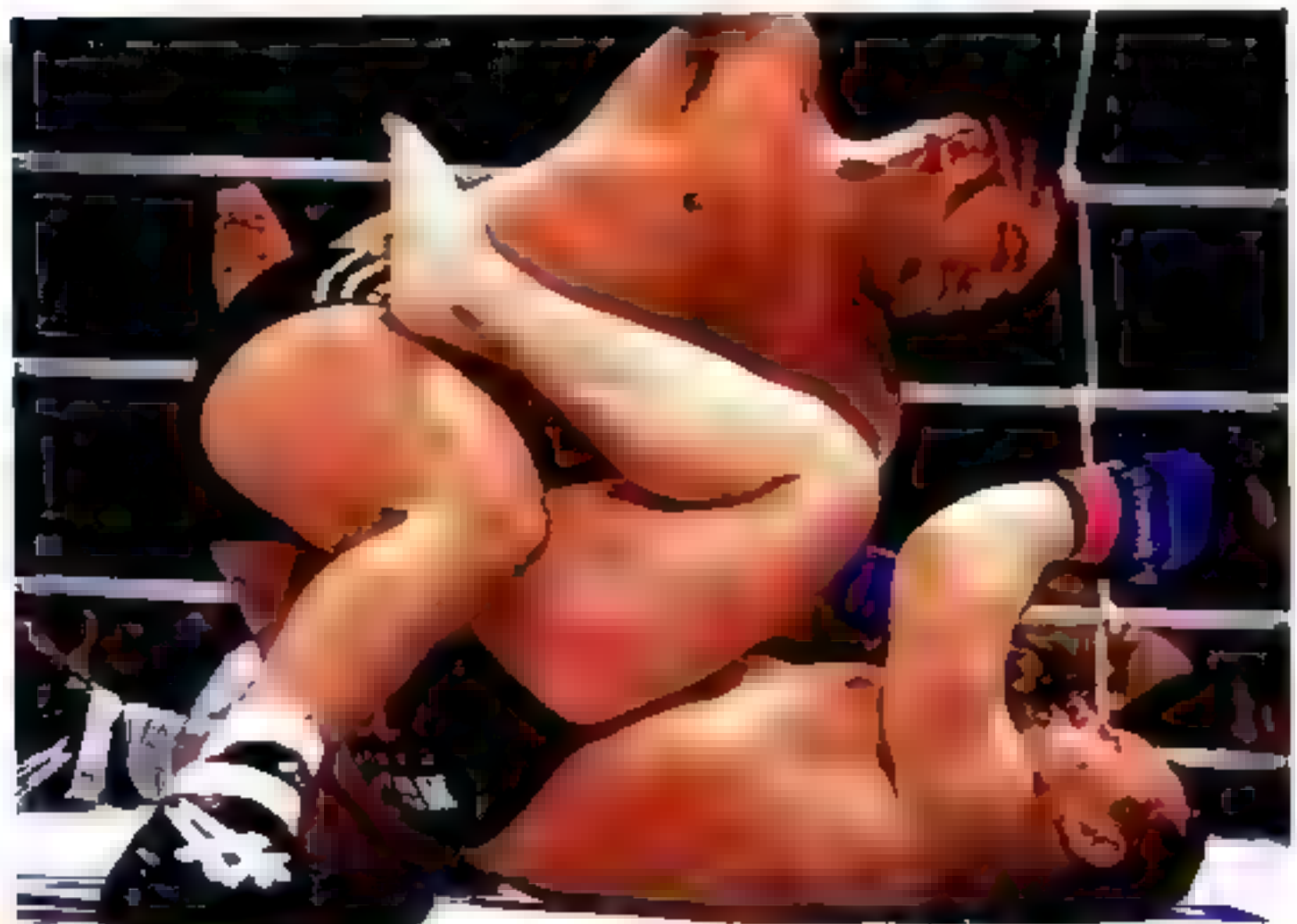
でもやっぱり、波に乗っているシウバ選手を止めることは難しかったわけだけど……、というか、シウバ選手が強すぎるんですよ。試合を重ねるごとに、メキメキと強くなっていて、この先、いったい誰がシウバ選手の勢いを止めるんでしょうね!?

そうそう、シウバ選手、結婚したんですよネ（かなり、遅い情報？）。みんな、私に「悔しいでしょ？」とか、いろいろ言ってくるんですけど（笑）。私は心から祝福してますよ。

おめでとうございます。

今回の「プライド」、本当にこれ以上ないってくらいに豪華なカードがたくさんでした。でも、その分、関係者の方々が言うように、試合のレベルが高すぎて、分かりやすくて楽しめる試合が少なくなってしまっていると、私自身も感じました。そんな試合も、奥が深くて好きなんですけどネ……。

最後に、私もナマのWWF、観たかったデス!!

はみだし はせキョー 長谷川京子（はせがわ・きょうこ）1978年7月22日生まれ。『Can Can』（小学館）専属モデル。TV-CF「Beautylabo（新色篇）」（ホーユー）OA中。TBSドラマ『プリティガール』に続き、4月スタートのドラマ『九龍で会いましょう』（ANB系金曜23:15〜）出演決定

ついにキックボクサーが女子高生にキャーキャー言われる時代がやってきた！

魔裟斗人気、異常沸騰！

取材・文◎橋本宗洋

トークショーは超満員！ 写真集の売り上げ絶好調！ オフィシャルサイトのカキコミ数倍増！

▲トークライブには写真集を撮影した写真家・緒方秀美さんも出席。撮影の裏話も……

◀写真集に加えテーマ曲CDも発売と、今後も魔裟斗の知名度は上がる一方のはず

▶▼トークライブ終了後には原宿で開催されていた写真展の会場も訪れた。やっぱり女の子のファンでギッシリ！ 写真＆サイン責めに合うも、魔裟斗はイヤな顔ひとつせず対応

2月23日、写真集『SILVER WOLF』（アスキーより絶賛発売中）発売記念のトークライブとサイン会を行った魔裟斗。会場は超満員で、女性ファンの多さには驚くばかり

今、魔裟斗の人気がとんでもないことになっている。TBSで放送されたK－1中量級大会が平均13％の視聴率を稼いで大きな話題となったが、それにともなって魔裟斗人気も急上昇。2月23日、池袋パルコで行われた写真集発売記念のトークライブ＆サイン会にも、収容人数の1・5倍のファンが駆け付けた。しかも、前回のトークショーと比べるとその数は倍増しているという。

で、その増えた分というのがことごとく女の子！ それまで格闘技にまったく興味がなかったのに、K－1中量級を見てファンになった娘が多いようだ。魔裟斗のオフィシャルHPでも、大会後にカキコミが数倍増。そのほとんどが女性だとか。関係者は「ほとんどアイドルと同じ扱いですよ（笑）」という。

実際、会場は格闘技関連のイベントとは思えない雰囲気で、制服姿の女子高生も。魔裟斗が登場すると「キャーッ♡」と歓声が響き渡ったのは言うまでもない。沢村忠の時代から四半世紀、ついにキックボクサーが女子高生からキャーキャー言われる時代が来たんだなぁ……。

もちろん、魔裟斗がそれだけの人気を得るために努力してきたのも事実。常に格闘技以外の分野にもアピールしてきたからこそ、今の魔裟斗の魅力があるのだ。写真集も、格闘技マニアより女性層をターゲットにして順調な売り上げを記録している。

さてトークの中身だが、カメラマンの緒方さんを交えての撮影ウラ話などがメイン。大会でヒール化したことについて「本当は全然違う。あれはTVがそういう作りをしてたから」というフォローもあったりした。あれはあれで貴重なキャラだから伸ばしてほしいものだが。

イベント終了後の記者陣による囲み取材では来栖あつことの“熱愛報道”の話題も出たが、本人はまったく気にしていない様子。「なんにもないですよ。でもボクのネタがスキャンダルになるのは、それだけ有名になった証拠だからいいんですよ」と魔裟斗。“有名になること”をとことんポジティブに捉えている。

また、魔裟斗はこの日の夕方、原宿で開催中の写真展会場も訪れた。ここでもやっぱり女の子が殺到＆黄色い声三昧。会場に「ガリガリ君」を食べながら姿を現せば「かわいい……♡」とタメ息。サインや写真をせがまれてもイヤな顔ひとつせず、背が低い娘に合わせて屈んでフレームに収まれば「優しい……♡」とまたタメ息という、まさになんでも通しの素人麻雀状態。こんな取材、今までしたことねぇよ！

はっきり言って、今の状況はバブルに見えなくもない。でももうすぐ、これが当たり前になるはずだ。ジャンルを問わず、しんどい練習やっていい試合してるヤツは、このぐらい人気が出なきゃおかしいんだよ。■

小林聡の試合だけは絶対に見逃しちゃダメだっ！

3・17全日本キック後楽園大会 藤原敏男との師弟コンビでルンピニー王者狩りへ

「K-1中量級より凄えもん見せてやる！」

K－1中量級大会が大成功し、キックボクシングに再び脚光が当たり始めた。しかし、このチャンスをキック界が活かせていないのが現状。そんな中、キックの大本命とも言える男が大勝負に挑むことになった。全日本キックの小林聡が、ムエタイの最高峰ルンピニー・スタジアムの王者ナムサックノーイとノンタイトルながら対戦するのだ。3月6日に行われた公開練習。そこでは、この一戦に向けて常軌を逸した特訓に励む小林と、その師匠・藤原敏男の姿があった。

◆　◆

「なに休んでんだ、このタコ！」

少しでも小林の動きが止まると、藤原会長の容赦ない罵声が飛ぶ。特大ミットで〝武装〟した藤原会長がコーナーへ追い詰める。小林が必死のパンチと蹴りで押し返す。こんな、体力と精神力を根こそぎ奪うような練習が5～6時間も続くのだという。「疲れた時、追い込まれた時に爆発できるようにしないと」と小林。

それが、あの〝鬼の黒崎〟の弟子として、タイ人以外で初のムエタイ王者になった藤原敏男の教えでもあるんだろう。

小林が発しているのは、気合いというレベルじゃなかった。悲鳴のような、断末魔のような。そうだ、手錠マッチの時のアントニオ猪木に似てるかもしれない。「ヒェ～ノ～」（ヨダレ垂らしながら）っていうアレだ。大脳新皮質がなくなってしまったような、本能だけの叫び声。

小林の動きが落ちる。また罵声が浴びせられる。

「やめるなら今のうちやめちまえ！　相手はおまえより強いんだぞ！」

狂気の淵まで追い込まれるような練習

SATOSHI KOBAYASHI FIG

をしなければ勝てない相手と、小林は闘おうとしている。3月17日、全日本キック後楽園大会のメインで小林が対峙するのは、ルンピニー・スタジアムのライト級王者ナムサックノーイ。軽・中量級では立ち技最強と言われるムエタイの最高峰に立つ男だ。

「世界一強い、そう言われるようになりたい」という小林にとって、避けて通れない敵である。もちろん、それだけ手強い。小林自身も「簡単に勝てる相手じゃない。のらりくらりとかわされて、凡戦になる可能性もある」と言う　それでも期待してしまうのは、小林が特別な存在だからだ。去年の小林の活躍ときたら、それこそ神がかり的だった。

　まずは5月、欧州のムエタイキラーと呼ばれるジャン・スカボロスキーを2RKO。9月には現役ラジャダムナン王者のテーパリットとのキック史上に残る打ち合いを制した。さらに11月には世界チャンピオンのオスマン・イギンと対戦1Rに2度のダウンを喫しながら、なんとそのラウンドのうちに逆転KOしてしまった

　ガイ・メッツアー的"難攻不落型"のイギンに「攻めてこないからエサをまかなきゃと思った」という小林だが、いくらなんでも2回ダウンってのはエサをあげすぎだろう。ただし、それでも勝ってしまうのだ、この男は　今の日本キック界で最も"最強"に近く、そして最も身を削ったエンターテインメントを提供してくれるのが小林なのである。

「今度の相手はケタが違うから、イギン戦ほどエサはまけない（笑）。でも違う意味でのエサはあげなきゃいけないでしょうね。リスクは当然、リスクを背負わないKOなんてないんだから」

　小林には"野良犬"という異名がある。誰にも媚びない、誰にもなつかない。そんな生き方をしてきた。団体の分裂に翻弄されたこともある　ジムも最初に入門した所じゃない　大事な試合でポカをやったこともある。それでも今、藤原敏男という師匠を得て、古巣・全日本キックのエースとして生き残っている。その不思議な逞しさが、小林の最大の強みなのかもしれない。

「リスクを背負って、それでも自分に運を引き寄せる自信があるんですよ。これまでだって、どんなことでも乗り越えてきた。オレだから生き残れたんだって自負がある」

　そんな小林にどうしても聞きたいことがあった。K－1中量級大会のことだ。以前から小林は"キック界に住む者"としてK－1中量級をライバル視する発言をしてきた。

「『SRS・DX』は必ずその質問してくると思いましたよ（笑）。いい試合だったし、それに対してどうこうってのはない。でも確実に影響はあるでしょう。見比べられると思いますよ」

　ただ、キック界はK－1から吹いてきた立ち技格闘技への追い風を活かせていないのが現状。

「そう、前と何も変わってない。でも今回の試合で変われると思うんですよ。オレが変えます。キックのほうが……っていうか、オレのほうが（K－1中量級より）凄いんだってところを見せます」

　K－1中量級大会はプロレスラー・村浜武洋や総合格闘家・須藤元気の参戦があって盛り上がった。見事な他流試合の場であり、実に"プロレス的"な空間だった。じゃあキック界は？　いつまでもマイナーで、魔裟斗や小比類巻のようにそこから出なきゃダメなのか？　そうじゃない。小林なら"ジャンルに貴賤はない。ジャンルの中に一流と五流があるのだ"という村松友視氏の言葉が、キックにも当てはまるのだと証明できる。

「絶対……見たら何か感じてくれると思うんですよ」

　当日券は午後4時から発売　凄い試合が見たいなら、何を置いてでも行くべきである

（橋本）

特大のミットを構えた藤原会長が押し込んでくるのを、パンチ、キックで押し返す小林。その逆に劣勢になって、藤原会長が、スキあらば打ち返してくる中でのミット打ちだ。小林が発する叫び声は、とても人間のものとは思えなかった

鬼！

「世界一強い」。そう呼ばれるために、小林は自らを狂気の淵に追い込んでいた

"キック界・伝説の男" 藤原敏男かく語りき

「今の練習の目的は疲れさせること。疲れさせて疲れさせて、疲れた時にキラッと脳裏に何かが浮かぶまでやらなけりゃ。重点的に鍛えてるのは、心と頭。どうしても、気持ちが"あぁ、ダメだ"と思ったら負けだから。気持ちが自分の肉体を縛ってるから、魂が先行しないと身体もついてこない。理屈でどうのこうのじゃなくて、相手の動きによって瞬間、瞬間に臨機応変に対応できるように。そのためには追い込んだ上で、身体が勝手に動くようにしないと。以前より強くなったところ？　ないね（キッパリ）。目一杯、力を出して練習してるように見えるけど、まだ出し切ってないんでね。来週、スピードアップをはかる練習でどこまで出てくるか。技がどうのこうのじゃなくて、動物的な"クソッ！"ていう気持ちが試合で出せればと。だから練習中にほめることはないね。足が短い、顔が悪い、ガードが悪いって。けなすところはいっぱいあるからね（笑）。（相手は）ビデオを見ると後半が強い。3～5Rはどのような体勢でもガンガン前に出てくるし。掴まれたらヤバイだろうなと。ヒザは徹底的に強いね。勝敗？　自分の力を300％くらい出せればいい試合になるし、感動を与えてくれるような試合をすると思うよ。勝ち負けは二の次、三の次。当日、計量の時にテンションが上がってきて、試合開始前で100％以上、試合の時は200％のものが出せるようにならなきゃいけないな」

Orico

番組インフォメーション

3/15、3/22の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは3月5日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜26時15分〜26時45分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

3/15

海外に潜むまだ見ぬ強豪を見逃すな!

『K-1 WORLD GP2002 海外予選シリーズ❶』

3月15日（金）/26:15〜26:45

12月の東京ドームでの決勝戦に向けて、予選トーナメントはもう始まっているぞ！　ということでSRSでは、『K-1 WORLD GP2002』の海外予選の模様を、2週にわたって放送します。3月15日放送分でお届けするのは、2月18日に開催されたオーストラリア・メルボルン大会と、1月25日のフランス・マルセイユ大会、昨年12月1日に開催されたチェコ・プラハ大会の3大会の模様です。まだまだ12月の決勝大会は先の話じゃないかよ〜と、布団に入って休もうとしてるアナタ！　去年の『K-1 WORLG GP』を制したマーク・ハントは海外予選から勝ち上がった選手なのですよ。ということは、海外予選とは言え、いつどこで第2のマーク・ハントが現れるのか、今から注目せずにはいられませんね。なお2月のメルボルン大会には、昨年、惜しくもマーク・ハントに敗れ決勝トーナメント進出を逃したアダム・ワットが出場。一段とパワーアップしたワットにも、ぜひ注目しましょう！

▲ボクシングでは、OPBFクルーザー級チャンピオンでもあったワット。2002年K-1の台風の目になりそうな予感

3/22

海外予選シリーズ第2弾は格闘王国オランダ大会!

『K-1 WORLD GP2002 海外予選シリーズ❷』

3月22日（金）/26:15〜26:45

前回に引き続いての『K-1 WORLD GP2002 海外予選シリーズ』第2弾は、2月24日に行われた海外予選オランダ大会です。この予選トーナメントにはなんと、昨年6月の『K-1 SURVIVAL』仙台大会でレイ・セフォーを破ったレミー・ボンヤスキーが出場。8月に開催されるラスベガスでの世界最終予選進出を賭け、トーナメントに挑んだのですが、まさかの結末で姿を消すことに！　またワンマッチでは、昨年12月の決勝大会でニコラス・ペタスの鼻を破壊したK-1版「戦慄のヒザ小僧」アレクセイ・イグナショフが登場。ノブ・ハヤシと対戦しました。イグナショフ優勢に思われた試合は、判定までもつれ込む大接戦。さらに、今回放送分のSRSでは、3月15日、修斗後楽園ホール大会での、山本"KID"徳郁vsマイク・カルドッソの試合もダイジェストで放送します。K-1海外予選も含め、試合展開が気になる人は、番組でご確認くださいネ。

▲ペタスの鼻を打ち砕いたイグナショフのヒザ蹴り。今年、毒サソリの餌食になるのは誰だ!?

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー「SRS FIGHT CLUB」では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ〜い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・備考
3/14（木）	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション（再）	8:00～10:00	極真会館（緑派）、「ハンガリー・ワールドカップ2001」（01.6.23）
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション（再）	10:00～12:00	極真会館（緑派）、『第18回ウェイト制全日本大会』（01.7.7～8）
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	14:00～16:00	2.10新日本キック協会『ディファ有明大会』を放送予定
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	2.23開催の日本キック連盟『2002年　破壊シリーズ』。再放送3/18・4：00～、3/21・14：00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	O REI DO SHOOTO	21:00～22:00 26:00～27:00	海外で行われた修斗の大会を放送。内容未定。再放送3/15・13:00～、3/18・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	PANCRASE 2001 PROOF TOUR アンコール④。00.12.9青森県武道館大会
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題から、選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
	Jスカイスポーツ1	WWFスマックダウンツアー・ジャパン ～TAJIRIリターンズ！～	25:30～26:30	3.1横浜アリーナ大会をTAJIRIを中心に、解説・小川直也、実況・辻よしなりで放送。再放送3/22・22:00～
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	『K-1 WORLD MAX』最新情報
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	27:00～27:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。再放送3/18と20・27:00～、3/19と21・17:00～
3/15（金）	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	7:00～8:00	3/14を参照。同日再放送12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『USWF14』Part2（99.4.24）から7試合。同内容放送3/23・8:00～
	GAORA	全日本キックボクシング	23:30～25:30	2.15後楽園ホール大会。再放送3/20・23:00～
	フジテレビ	SRS	26:15～26:45	➲P69
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26:20～26:50	3.14後楽園ホール大会
3/16（土）	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『USWF16』PART1（99.5.22）から9試合。同内容放送3/25・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE侍！	16:00～18:00	月1回放送の『プライド』情報満載の話題のバラエティ番組
	GAORA	LADY GO！　女子ボクシング中継	17:00～18:00	➲Pick Up①
	Jスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:00～27:00	『レスリング世界選手権男子フリー＆女子』（01.11.22～25/ブルガリア）、『レスリング世界選手権男子グレコローマン』（01.12.6～9/ギリシャ）。再放送3/18の28:00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	3.14京都市体育館大会
3/17（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	2.16両国国技館大会
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	27:00～28:00	3/14を参照
3/18（月）	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『USWF16』PART2（99.5.22）から5試合）。同内容放送3/26・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	17:00～17:30	3/14を参照。 再放送3/19・21・25・27の27:00～、3/20・26・28の17:00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	19:30～21:30	2.17大阪・梅田ステラホール大会
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	内容未定
3/19（火）	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	WCFレアマテリアル・レビュー（総集編）1
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『PRE-PRIDE 4』直前情報
3/20（水）	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
3/21（木）	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション（再）	8:00～10:00	WK/NETWORK、『GCM CONTENDERS3』（00.7.1）
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション（再）	10:00～12:00	WK/NETWORK、『GCM CONTENDERS4』（00.11.25）
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	➲Pick Up②
	FIGHTING TV SAMURAI!!	O REI DO SHOOTO	21:00～22:00 26:00～27:00	3/14を参照。内容未定。再放送3/22・13:00～、3/25・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22:00～23:00	3/14を参照。同日再放送25:00～
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	➲Pick Up③
	GAORA	週刊格闘JAM！	24:10～24:30	3/14を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	24:30～25:00	3/14を参照
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	『K-1 WORLD MAX』優勝を狙う世界の参加者たち
3/22（金）	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	7:00～8:00	3/14を参照。同日再放送12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールドコンバットファイト（再）	8:00～9:00	『ユーロキックボクシング・クラシックス』（89.11.19&90.11.18）から9試合
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	18:00～20:00	01.9.30横浜文化体育館大会。再放送3/25・22:00～
	フジテレビ	SRS	26:15～26:45	➲P69
	日本テレビ	プロレスリング・ノア中継	26:20～26:50	3.17ディファ有明大会
3/23（土）	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	3.17愛知県体育館大会
3/24（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	3.8新潟市体育館大会
	Jスカイスポーツ2	WWFスマックダウンツアー・ジャパン ～TAJIRIリターンズ！～	20:00～21:00	3/14のJスカイスポーツ1と同内容。再放送3/25・18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	27:00～28:00	3/14を参照
3/25（月）	FIGHTING TV SAMURAI!!	PRIDE王	17:00～17:30	3/14を参照。再放送3/26・27:00～、3/27・17:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／内容未定
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	内容未定

ON THE AIR 3/14～3/28

格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1

「LADY GO!　女子ボクシング中継」

GAORA
3月16日（土）/17:00～18:00

2月3日に北沢タウンホールで開催された女子ボクシング「Fighting Girls pt1」の模様を放送。ライカvs菊川未紀のフェザー級タイトル戦、八島有美vs土田奈緒子のフライ級タイトル戦と、2階級の初代日本王者決定戦が行われたこの大会。女子ボクシングの新たな歴史のスタートを告げるにふさわしい好勝負をじっくりと味わうことができるぞ！（再放送3/23・26:00～）

Pick Up 2

「バトルステーション」

FIGHTING TV SAMURAI!
3月21日（木）/19:00～21:00、23:00～25:00

2月28日と3月14日に北沢タウンホールで開催された修斗2大会を放送。2月28日の大会では、三島☆ド根性ノ助と中井祐樹のブラジリアン柔術エキシビジョンマッチや、星野育蒔vs尾上佳子が行われた。特に星野と尾上の試合は、初の女子によるプロ公式戦となるだけに、見る側がこの試合をどう受け止めたか？　観客の反応にも注目したい！（再放送3/25・4:00～、3/28・14:00～）

Pick Up 3

「パンクラスハイブリッドアワー」

BS朝日
3月21日（木）/24:00～26:00

昨年の10.30後楽園ホール大会と12.1横浜文体大会で行われたパンクラス東京・横浜vsグラバカを、鈴木みのると菊田早苗のコメントを交え振り返る。今回の放送でなんと言っても注目なのが、グラバカの郷野聡寛。10.30のリング上でのマイクアピールから、12月の横浜大会で近藤有己との一騎打ちが実現するまで、ドラマチックに展開した流れは何度見ても熱くなれること必至だ！

Pick Up 4

「格闘王」（終）

TBSテレビ
3月28日（木）/25:50～26:20

これまで「猪木軍vsK-1軍」や「K-1 WORLD MAX」の最新情報を放送してきた「格闘王」。残念ながら今回の放送でひとまず最終回となる。俳優・渡辺いっけい氏の味のある講義をもう聞けなくなるのは寂しい限りだが、TBSでは、月1～2回特番として「K-1 WORLD MAX」の最新情報を特別枠で放送する予定。時間・日にちなど詳細は随時発表されるので、こまめに番組表をチェックせよ！

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
3/26（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	ESP、「SUPER BROWL 16」（00.3.7）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	ESP、「SUPER BROWL 17」（00.4.15）
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	「PRE-PRIDE4」（前編）
3/27（水）	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	毎回、格闘技界の旬な話題を取り上げる
3/28（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	8:00～10:00	GMCコミュニケーション、「THE CONTENDERS M-1」（01.6.10）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:00～12:00	GMCコミュニケーション、「CLUB CONTENDERS Vol.1」（01.8.15）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00	3.15に後楽園ホールで開催の「プロフェッショナル修斗公式戦」
	FIGHTING TV SAMURAI!	O REI DO SHOOTO	21:00～22:00	3/14を参照。内容未定
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	3/14を参照
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	パンクラス2001総集編
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	3/14を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	3/14を参照
	TBSテレビ	格闘王（終）	25:50～26:20	◯Pick Up④

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-000-302
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ・ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎0570-039-888／03-5351-4055
（16：00～21：00）

■Jスカイスポーツ
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO＆DVD
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介❶〉 It's HOT!

『ビヨンド・ザ・マット〈DVD〉』

クロックワークス/108分
4,700円/発売中

WWFの舞台裏を中心に描いた感動のドキュメンタリーが登場！

WWFを中心としたアメリカンプロレスの舞台裏を追ったドキュメンタリー「ビヨンド・ザ・マット」がDVDで登場だ！　企業家として究極のエンターテインメント作りに打ち込むビンス・マクマホン、妻や子供に囲まれるテリー・ファンクや、スターになった代償として家族を失ったジェイク・ロバーツなど、リング上では見られない人間模様が満載。しかも、ディレクターズカット版である本作品には、劇場でカットされた約5分間の映像が追加されている。テリーとロン・ハワードプロデューサーとの対談など特典映像（詳しくはhttp://klockworx.com）も充実。プロレスに偏見を持ってる人にもぜひ見てもらいたい作品だ！

RENTAL RANKING (2/12～2/28調べ)

1. 『アブダビ・コンバット2001』 クエスト/90分
2. 『PRIDE.18』 メディアファクトリー/120分
3. 『K-1 WORLD GP2001 FINAL IN TOKYO DOME』 ポニーキャニオン/137分
4. 『修斗BEST BOUTS 2001』 クエスト/174分
5. 『2001全世界ウェイト制空手道選手権大会』 メディアエイト/90分

1位 『アブダビ・コンバット2001』
『プライド20』の予習はこのビデオで！

2001年にアブダビで開催された組み技の祭典『アブダビ・コンバット』の全6階級の決勝戦が収録されたビデオ。88キロ以下級には『プライド20』への出場が決定している菊田早苗が出場。大会前に、ぜひこのビデオで菊田の強さを予習したい！

〈新作紹介❷〉 It's HOT!

『修斗ウェルター級チャンピオンシップ 五味隆典vs佐藤ルミナ〈DVD〉』

クエスト/90分
5,600円/発売中

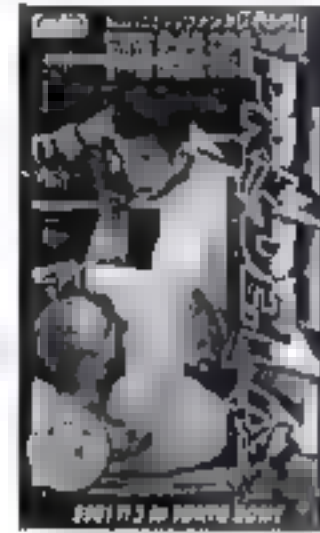
新世代の旗手・五味と激突したルミナの闘いぶりに注目！

昨年12月16日に開催された修斗・東京ベイNKホール大会を、メインの五味隆典vs佐藤ルミナを中心に収録したのがこのDVD。ウェルター級王座が賭けられたこの試合は、台頭する新世代の旗手と修斗のカリスマが真っ向から激突した試合でもある。試合後、ルミナがリング上で見せた表情からは、1つの時代の節目が感じられるはず。またその他にも今大会では、桜井"マッハ"速人や、三島☆ド根性ノ助、アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラらが登場。まさに修斗のオールスター戦とも言える内容になっているぞ！

SELL RANKING (2/12～2/28調べ)

1. 『PRIDE.18』 メディアファクトリー/120分 9,500円
2. 『PRIDE.17』 メディアファクトリー/120分 9,500円
3. 『K-1 WORLD GP2001 FINAL IN TOKYO DOME』 ポニーキャニオン/137分 6,600円
4. 『格闘空手大道塾 実戦組手編～北斗旗への道Ⅱ～〈DVD〉』 クエスト/81分 5,600円
5. 『ノヴァ・ウニオン柔術 上巻〈DVD〉』 クエスト/83分 5,600円

2位 『PRIDE.17』
シウバに挑むサクの雄姿に注目！

11月3日に東京ドームで行われた『プライド17』の全9試合を収録したビデオ。桜庭和志と田村潔司の実力を比較する上でも、本作品に収録されている『プライド』ミドル級チャンピオンシップは何度でも見直したい！

BOOK INFORMAITON

『護身　最強のリアルテクニック』

佐山聡著/日本文芸社
本体価格　1,200円/発売中

佐山聡直伝の護身書登場！

初代タイガーマスクこと佐山聡氏による『護身　最強のリアルテクニック』が出たぞ！「鬼畜がウヨウヨしている危険地帯と化した現在の日本において、一般人でもあらゆる暴漢に対応できる自己防衛術を身につけるのは必須の状況となりつつある」と佐山氏。本書には、拳銃やナイフを持った暴漢にいかに対処するかなどが記されており、護身術を学ぶにはまさに最適の書と言えよう！

プロレス＆格闘技専門ビデオショップ 『チャンピオン』

東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
☎03-3221-6237

▲1万本以上のプロレス＆格闘技ビデオを取り揃えてある『チャンピオン』。3月31日で大阪店は閉店するが、東京店に関しては現体制を刷新し継続していく方向で検討中。詳細は追って発表される

チャンピオン 丸野大樹マネージャー

「私事で恐縮ですが、3月末でマネージャー業務を離れることになりました。[illegible]今までありがとうございました。また、どこかでお会いできればと思います」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介！

《新作紹介》 It's HOT!

『グレート・アントニオTシャツ2002』
グレート・アントニオ/3,500円（税別）

大型バス4台を引っ張った"あの男"が復活！

「おっ、このレスラーは！」と思ったアナタは、かなりコアなプロレスファン！　かつて力道山やアントニオ猪木と死闘を繰り広げた密林王、グレート・アントニオがプリントされた「グレート・アントニオTシャツ2002」が出たぞ！　イラストは本誌でもおなじみゴキータ！

《おすすめグッズ》 Recommend

『オバチャンチンTシャツ』
グレート・アントニオ/3,800円（税別）

オバチャンチンもお気に入り！

ボブチャンチンのマネージャー"オバチャンチン"と、過去彼女に魅惑された旦那4人衆（想像画）がプリントされたTシャツが大好評発売中。『プライド19』でご本人にTシャツを渡したところ、「イッツ、ビューティフル！」とさっそく着用し、大変ご満悦の様子でした！

グレート・アントニオ
西山千尋店長

「一時期、在庫切れで入手困難だった「ファスティング・ダイエット」を、大量に入荷しました。常時お買い求めいただけますので、ご来店をお待ちしております」

グレート・アントニオ
東京都千代田区神田錦町3-14-12神田NSビル1F
☎03-3462-1001
通信販売受付　☎03-3295-4450 or 0570-007800
ホームページアドレス http://www.great-antonio.jp
営業時間/11:00～20:00（月曜定休）
通信販売受付/10:00～18:00（月～土曜）

GOODS RANKING (2/15～2/28)

1. 『ファスティング・ダイエット』 杏林予防医学研究所/18,000円（税別）
2. RINGSアディオス・アミーゴスTシャツ グレート・アントニオ&ダブルクロス/3,800円（税別）
3. 『田村潔司「U」Tシャツ』 ダブルクロス/3,800円（税別）
4. 『オバチャンチンTシャツ』 グレート・アントニオ/3,800円（税別）
5. 『ボボ・ブラジルTシャツ』 グレート・アントニオ/3,000円（税別）

1位 『ファスティング・ダイエット』

ダイエット&肉体改造の革命品！

『プライド19』からメインキャスターになった小池栄子さんもお気に入りの「ファスティング・ダイエット」。脂肪を燃焼させるマグネシウムが豊富に含まれているので、肉体改造に最適！

VIDEO & DVD INFORMAITON

拳、肘、ヒザ、そしてKO！　これぞシュルトの打撃！

福岡初上陸！『PRIDE.18』がビデオ&DVDで登場！

高山善廣vsセーム・シュルトの摩天楼対決が行われた「プライド18」が、ビデオ&DVDになって登場だ！　この作品でなんと言っても注目したいのが、シュルトの打撃。見る見るうちに高山の顔をボコボコに変形させていくパンチやヒザの破壊力は、まさに恐怖そのものだ。またその他にも、アレクサンダー大塚久々の「プライド」マット登場となったヴァンダレイ・シウバ戦、ジェレミー・ホーンvs小路晃、山本憲尚vsヤン"ザ・ジャイアント"ノルキヤなど、全8試合の激闘をバックステージでの様子や試合後のインタビューを交えて収録。なお「毎回、どの映像にするか悩まされる」（広報）という今回のDVD特典映像は、試合前に会場前の駐車場で行われた猪木軍の決起集会。「プライド」初上陸の地・福岡で繰り広げられた熱いバトルをとくと味わえ！

▲シュルトのパンチで高山の顔は無惨に腫れ上がった

▲山本の試合後のマイクにも注目！

◆タイトル/『PRIDE.18 in MARINE MESSE FUKUOKA』
◆価格/ビデオ9,500円、DVD4,800円/発売中
◆収録時間/ビデオ120分、DVD130分
◆発売元/メディアファクトリー、フジテレビ映像企画部
◆お問い合わせ/メディアファクトリーカスタマーサポートセンター
☎03-5469-4880　月～金曜10:00～18:00（祝日を除く）

Et cetra

近藤＆美濃輪のイベント大盛況！気になる発言も飛び出したぞ！

2月3日（日）にP's LAB大阪で、近藤有己＆美濃輪育久を招きイベントが開催された。内容は両選手による技術解説を交えながら、1月27日に開催された後楽園ホール大会を上映するといったもの。佐々木有生の「美濃輪さん、近藤さんとやりたい」という勝利者インタビュー映像が流れると、近藤は「興味がある。ぜひやってみたい」とコメント。一方の美濃輪は「今はミルコのことしか頭にないから」と、改めてミルコ・クロコップ戦への熱い思いを語るなど注目発言も飛び出し、参加者はみな満足の様子だった。

▲最後は近藤＆美濃輪両選手を囲んでの記念撮影

P's LAB大阪アルバイト募集！

冨宅飛駈、稲垣克臣らが在籍するP's LAB大阪では、現在、若干名のアルバイトを募集している。仕事内容は、主にジムの受付や商品販売など。いつも観客席から応援してるキミ、今度は選手と一緒になってパンクラスを盛り上げよう！

◆勤務地/大阪市浪速区大国1-5-4 MKビル（地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町」駅より徒歩1分）
◆勤務時間/月～土曜15:00～22:00、日曜12:00～19:00
◆休日/水曜日
◆仕事内容/P's LAB受付、商品販売など
◆採用人数/若干名
◆給与/時給800円以上（交通費支給）
◆条件/①年齢、性別不問②即勤務可能な人③週3日以上勤務できる人
◆応募方法/電話にて問い合わせ後、履歴書をP's LAB大阪に持参
◆お問い合わせ/P's LAB大阪　篠原　☎06-6649-8530

大会結果

【第4回関東テコンドー選手権大会】
※2月3日（日）府中市立総合体育館第1武道場にて開催
◆トゥル（型）
・男子の部/優勝:船水健二（荒川）準優勝:姜昇利（荒川）
・女子の部/優勝:夫史江（朝大）準優勝:澤田光代（府中）
◆マッソギ（組み手）
・マイクロ級/優勝:石塚力泰（調布）準優勝:船水健二（荒川）
・ライト級/優勝:朴ソンファ（荒川）準優勝:久保田裕彰（荒川）
・ミドル級/優勝:蘇乗秀（府中）準優勝:姜昇利（荒川）
・ヘビー級/優勝:寺島亮介（荒川）準優勝:樋本哉（千葉）
・女子ライト級/優勝:澤田光代（府中）　準優勝:東正子（荒川）

【第2回ライトアマチュアシュートボクシング選手権神奈川大会】
※2月10日（日）大和市大和スポーツセンターにて開催
◆軽量級（57kg以下）/優勝:菅原正臣（子へびクラブ）
　準優勝:正城悠樹（クロスワンジム湘南）
◆中量級（67kg以下）/優勝:松原修平（湘南ジム）
　準優勝:山野正樹（J-NET）
◆重量級（67kg以上）/優勝:小山雄太（湘南ジム）
　準優勝:大塚信祐（フリー）
◆ベストファイト賞/小山雄太（湘南ジム）
◆敢闘賞/小山敦也（湘南ジム）

プロレス＆格闘技図書館「闘道館」リニューアルオープン

3月で開館1周年を迎える「闘道館」が、3月21日（木）にリニューアルオープン。取り揃えてあるプロレス＆格闘技関係の古書やビデオ、DVDが、さらにパワーアップするぞ。また3月23日（土）には、ターザン山本氏によるトークライブ「第7回自画自賛の会」を開催。まだ同館に行ったことがない人は、ぜひこの機会に足を運んでみよう！　豊富な資料に驚くはずだ！

【ターザン山本トークライブ「第7回自画自賛の会」】
◆日時/3月23日（土）19:00～
◆場所/闘道館（JR総武線「水道橋」駅から徒歩3分）
◆料金/1,500円（ワンドリンク付き、前売り・当日券とも）
◆お問い合わせ/闘道館　☎03-3512-2080
HPアドレス…http://toudoukan.hoops.livedoor.com/

中井祐樹がブラジリアン柔術セミナーを開催！

日本におけるブラジリアン柔術の第一人者、中井祐樹が3月30日に岐阜でブラジリアン柔術セミナーを開催するぞ！内容は初級者から中級者向け。技術指導を2時間行ったあと、1時間の合同スパーリングを行う予定だ。この機会を利用して寝技の達人を目指せ！

◆日時/3月30日（土）15:00～18:00
◆場所/岐阜・ハートフルスクエアG柔道場（JR「岐阜」駅から徒歩1分）
◆受講料/5,000円（柔術連盟加盟道場選手4,000円）
◆申し込み方法/当日会場で受付
※なお、当日は柔術衣もしくは柔道着を持参のこと
◆お問い合わせ/パレストラ岐阜代表　清水　☎090-8866-4625

出場選手募集

【京都BJJ3初陣白帯大会】
◆日時/4月7日（日）11:00～
◆試合会場/PUREBRED京都（阪急「河原町」駅から徒歩7分、地下鉄「四条」駅から徒歩6分）
◆試合形式/ブラジリアン柔術ルールに則った体重別・男女別のワンマッチ制
◆階級/ブラジリアン柔術公式階級
◆出場資格/ブラジリアン柔術白帯の選手のみ
◆出場料/一般3,000円、BJJ会員2,000円
◆申し込み方法/電話にて参加申込用紙を取り寄せ、出場料を同封の上、現金書留にて下記の宛先まで4月1日（月）必着で申し込み
〒604-8073　京都市中京区六角通柳馬場東入り大黒町72-1 アリストビル6F
※また大会終了後、ブラジリアン柔術黒帯の吉岡大による「ベーシック柔術セミナー」を開催する。参加希望者は、上記宛先までセミナー料3,000円を同封の上、現金書留にて応募。なお、受付は当日会場でも行う。
◆お問い合わせ/PUREBRED京都　☎075-254-7777

【第3回新空手道京都大会】
◆日時/4月14日（日）9:30～
◆試合会場/京都・岡崎武道センター旧武徳殿
◆試合形式及び階級/K-2トーナメント…60kg以下・65kg以下・70kg以下・70kg以上、K-3トーナメント…60kg以下・70kg以下・70kg以上、K-4トーナメント（小学生の部）…学年別男女混合、K-2・K-3ワンマッチ
◆出場資格/各クラスで異なるので電話にて問い合わせ
◆出場料/K-2トーナメント…加盟道場選手7,500円／非加盟道場及び個人参加9,000円、K-3トーナメント…加盟道場選手7,000円／非加盟道場及び個人参加8,000円、K-4トーナメント・K-2・K-3ワンマッチ…加盟道場選手6,000円／非加盟道場及び個人参加7,000円
◆申し込み方法/電話にて参加申込用紙を取り寄せ、出場料を同封の上、下記の宛先まで3月29日（金）必着で申し込み
〒602-8288　京都市上京区中立売通千本東入田丸町キャピタルハイツB1F
◆お問い合わせ/全日本新空手道連盟・健生館　☎075-415-8820

【オープントーナメント 実戦・リアル合気道選手権大会5】
◆日時/4月14日（日）11:00～
◆試合会場/八王子クリエイトホール（JR中央線「八王子」駅、京王線「京王八王子」駅より徒歩4分）
◆種目/①階級別トーナメント②ワンマッチ③デモンストレーション（1人もしくは2人で、2分間の合気道のデモンストレーションを行うもの）
◆階級/大会当日、体重の軽い選手順に、軽量級、中量級、重量級、無差別の各階級に分ける
◆出場資格/性別、年齢問わず
◆出場料/トーナメント・ワンマッチ…7,000円、デモンストレーション（2名の場合も）…8,000円
◆申し込み方法/住所、氏名、性別、年齢、電話番号、身長、体重と出場希望種目を明記し、出場料を同封の上、現金書留にて3月20日（水）必着で申し込み
〒193-0821　東京都八王子市川町128-280
◆お問い合わせ/合気道S.A.　櫻井　☎0426-51-8418

【第2回高田道場サブミッションレスリング大会】
◆日時/4月14日（日）13:00～
◆試合会場/高田道場B1F（東急目黒線「武蔵小山」駅から徒歩5分）
◆試合形式/体重の近い者同士によるワンマッチ
◆出場資格/高校生以上の頭部障害及び感染症のない健康な男子
◆出場料/2,500円（前回参加者は1,500円）
◆申し込み方法/電話にて参加申込用紙を取り寄せ、下記の宛先まで4月8日（月）必着で申し込み
〒142-0062　東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山 高田道場内
◆お問い合わせ/高田道場　☎03-5749-5030

【第8回全日本青少年空手道選手権大会】
◆日時/4月28日（日）、29日（月・祝）9:30～
◆試合会場/戸田市スポーツセンター（JR埼京線「戸田」駅から徒歩7分）
◆試合形式/幼年の部…男女混合トーナメント、小学生の部…学年別男女混合トーナメント、中学生の部…男女別ウェイト制トーナメント、高校生の部…男女別ウェイト制トーナメント
◆出場資格/幼年、小学、中学、高校生の男女
◆出場料/10,000円（保険料込み）
◆申し込み方法/参加申込用紙に必要事項を記入し、出場料を同封の上、現金書留にて下記の宛先まで3月25日（月）必着で申し込み
〒332-0034　埼玉県川口市並木3-6-19　大会事務局
◆お問い合わせ/極真会館埼玉支部　盧山道場　☎048-256-8255

【第17回関西グローブ空手交流大会】
◆日時/4月28日（日）9:30～
◆試合会場/大阪府立体育会館柔道場（地下鉄・近鉄・南海線「なんば」駅から徒歩5分）
◆試合形式/トーナメント戦…階級別トーナメント、新人戦・レディースマッチ…ワンマッチ
◆階級/55kg級、62kg級、69kg級、69kg超級
◆出場資格/高校生以上の男女
◆出場料/トーナメント戦7,000円、新人戦・レディースマッチ5,000円
◆申し込み方法/電話にて参加申込書を取り寄せ、写真1枚と出場料を同封の上、現金書留にて下記の宛先まで4月20日（土）必着で申し込み
〒531-0063　大阪市北区長柄東2-1-21-101
格闘スポーツスクールレックスジャパン内「第17回関西グローブ空手交流大会」事務局
◆お問い合わせ/大会事務局　☎06-6351-7994

GOODS & TICKET

ショップガイド

主要チケット発売所

チケットぴあ	03-5237-9999
チケットセゾン	03-3250-9999
ローソンチケット	03-3569-9900
CNプレイガイド	03-5802-9999
オデッセー	03-3408-0331
書泉ブックマート	03-3294-0011
後楽園ホール	03-5800-9999
渋谷東急文化チケットセンター	03-3406-1513
レッスル渋谷店	03-3464-0078
レッスル池袋店	03-3989-0056
板橋大山アメリカン	03-3962-6443
チャンピオン	03-3221-6237
フィットネスショップ格闘技	03-3265-4646

格闘技オフィシャルホームページ

- K-1 http://www.k-1.co.jp/
- UFO http://www.ufojp.co.jp/
- 極真会館（松井派） http://www.kyokushin.co.jp/
- リングス http://www.rings.co.jp/
- アントニオ猪木 http://www.inokiism.com/
- 大道塾 http://www.daidojuku.com/
- パンクラス http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
- UFC http://www.ufc.tv/index1.asp
- 怪獣王国 http://www.monsterkingdom.com/
- シュートボクシング http://www.shootboxing.org/
- 日本武道伝骨法會 http://www9.big.or.jp/~koppo/
- 修斗 http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html
- 新日本キックボクシング協会 http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
- 全日本キックボクシング連盟 http://www.aj-kick.co.jp/
- J-NETWORK http://www.kickboxing.co.jp/
- PRIDE http://www.so-net.ne.jp/pride/
- 高田道場 http://www.takada-dojo.com/ http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
- 聖拳道 http://www.seiken-do.com/
- 全日本新空手道連盟 http://www.shinkarate.net/

宇月田麻裕の北斗占い

Mahiro Usukita

3/14～3/27

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の1つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の1つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

ホクトホンミョウジョウ
北斗本命星早見表

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。

貪狼（タンロウ）　社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人

貪狼星

全体運
ビビッと来るような出会いが。トレーニング方法、目標、人間関係……、あなたが探していた「これだ！」と思える瞬間が到来。今後の生活に影響が出る可能性が高いので、ボーっとしていないで、よ～くアンテナを張り巡らせていて。

恋愛運
カップルは決断の時。交際を公表したりするチャンス。フリーの人は、あなたの周囲をよ～く見回してみよう。きっとあなたの好みの恋人候補がいるハズ

勝負運
人任せはダメ。自己主張すると勝運アップ。

健康運
ポジティブに生活することがポイント。

金運
得意なカテゴリーで副収入のチャンスあり。

★ラッキーカラー★
ブラウン

★ラッキーアイテム★
お財布

★ラッキースポット★
フィットネスクラブ

巨門星

全体運
外部からの期待が高まる時。アクティブに行動でき、フリーダムになれるものの、あなた自身の責任が重くなりそう。浅はかな行動は控えたほうが良さそう。プラスになるような言動をしていくことが、運気アップのポイント。

恋愛運
リベンジ運あり。別れた恋人やフラれた相手とタイミングが合う時。ちょっとしたキッカケで愛が再燃する期待。カップルは今までと違う交際パターンを。

勝負運
課題を決めてチャレンジしていくと効果あり。

健康運
遊び過ぎて睡眠不足にならないよう注意。

金運
ネットで金運UPのヒントになる情報あり。

★ラッキーカラー★
ライトピンク

★ラッキーアイテム★
フィギュア

★ラッキースポット★
ファーストフード店

禄存星

全体運
徐々に運気はダウン。試合や試験がある人は、一発狙いで勝負を賭けるのはキケン。地道にいってこそ、あなたの個性が光るというもの。ちょっとマニアックと思わせるくらい熱心にやっている姿を見せると、感動を与えられそう。

恋愛運
出会う人は、あなたにとって頼りない存在だったり、役不足の感じが。ちょっと様子見したほうが賢明。カップルは、依存する気持ちが大き過ぎるとNG。

勝負運
筋トレをキッチリやって体作りをするとOK。

健康運
リズムのある生活をすることで健康キープ。

金運
新しい出会いを大切にすると金運UP。

★ラッキーカラー★
モノトーン

★ラッキーアイテム★
インターネット

★ラッキースポット★
インターネットカフェ

文曲星

全体運
「コントロール」がキーワードになる時。体調を崩したり、思惑がハズれやすい時なので、ムリな減量をしたり、ハードなトレーニングは禁物。体と相談しながらやっていくことがポイント。何かあったら貪狼の知人を頼って。

恋愛運
カップルは、ライバルの存在に要注意。知らない間に略奪されていた、なんてことがないように。フリーは、ハズせない条件を持っていると失敗ないかも。

勝負運
よく考えてから勝負すると危機を脱せそう。

健康運
マスク着用などインフルエンザ予防をして。

金運
大切だと思ったことはメモ書きしておこう。

★ラッキーカラー★
ライトパープル

★ラッキーアイテム★
ハーブ

★ラッキースポット★
銀行

廉貞星

全体運
土から芽が出るように「new yourself」に向けて、どんどん成長できるチャンス！　好奇心が旺盛なので、様々なことに関心が。格闘技にかかわらず、いろんなことにチャレンジしてみる価値あり。韓国語などいかが？

恋愛運
あなたを応援してくれた人や年上の尊敬していた人が、恋愛対象になる予感。スポーツ運がアップしているので、スポーツを絡めた爽やかデートがイケそう。

勝負運
目標の人のマネをしてみるとグッド。

健康運
エネルギーが充実しているので健康良好。

金運
引き出しの中を整理するとラッキーあり。

★ラッキーカラー★
オレンジ

★ラッキーアイテム★
香りのグッズ

★ラッキースポット★
スポーツフィールド

武曲星

全体運
凶兆星が微笑んでいます。何かにズボっとハマって身動きとれなくなりそう。それがラッキーと出るか、アンラッキーと出るかはあなた次第。凶兆星は、そんなあなたを見てゲームを楽しんでいるかのよう。結果を出せたらバンザイ！

恋愛運
カップルはウェットな交際になる暗示。フリーは、利害関係、駆け引き…、純粋な気持ちが濁る可能性が。あなたが一番幸せになれそうな恋をセレクトして。

勝負運
時間厳守が勝運をUPさせるポイント。

健康運
花粉症の人は要注意。風邪とミックスしそう。

金運
情報誌を読んでみて。金運UPのヒントあり。

★ラッキーカラー★
ライトブルー

★ラッキーアイテム★
カメラ

★ラッキースポット★
カフェ

破軍星

全体運
吉兆星が輝いています。社交運がUPしているので、あなたのキャラをみんなにアピールするチャンス！　とくにビジュアルを意識すると、人気も上々の暗示。格闘技も良いけど、たまにはファッションにこだわりを持っても良いかも。

恋愛運
カップルは安定期。飛び切りのオシャレをして、彼女のハートをトキメかせて。恋人募集中のあなたは、友達の紹介が一番！　カップリングの確率大。

勝負運
西の方角に向かうと勝利に役立つ情報あり。

健康運
無理をしなければ健康キープできる時。

金運
株や貯蓄の狙い目で投資してみるとグッド。

★ラッキーカラー★
シルバー

★ラッキーアイテム★
ジャケット

★ラッキースポット★
ファッションビル

宇月田麻裕プロフィル
マ ディレクターとして、ハッピネスファクトリ を主宰 独自の占術「北斗占い」を中心に タロットをはじめ西洋 東洋の占いをオールマイティに使う。TBS「ワンダフ…」出演をはじめ … 活躍中。URL http://www.happiness-f.com

立ち技番長 格闘コラム 連載第66回

「正道の練習はヌルかった」by 小比類巻
この発言にジャパン勢は奮起できるか？

とにかく、何を聞いても刺激的な答えが返ってくる。前号の小比類巻貴之インタビューは、作っていて本当にやりがいのある記事だった。ただ、ちょっと気になったのは正道会館総本部（プロ部門）での練習の話だ。

青森県出身の小比類巻が、上京してきて最初に入ったジムはJネットワークのアクティブJ。その後チーム・ドラゴンに移籍して正道の東京道場を間借りする形でトレーニング、さらに一昨年からは、チーム・ドラゴン所属のまま大阪に部屋を借りて正道総本部での練習を始めた。全てはより激しい練習環境、よりハードなスパーリング相手を求めてのこと。だが、小比類巻はそこでも満足できなかったというのだ。曰く――。

「自分は頑張ってるつもりでいたけど、頑張ってない人もいた」

「ああいう環境にいるのは生ヌルイと思った」

「みんな『科学的』って言って、楽して強くなろうとしてる」

……はっきり言って、掲載するのをためらうような内容だった。だって正道総本部といえば、おそらく日本でも最高の練習環境のはず。これほどレベルの高い選手が揃った道場・ジムはそうないだろう。優秀なコーチがいる。レベルの高いスパーリングパートナーもたくさんいる。不満の持ちようがないし、やろうと思えばいくらでも充実した練習ができる。そう思ったからこそ、小比類巻だって大阪に引っ越したんじゃないか。それを「生ヌルイ」だって？

たぶん、これを読んだら正道の選手たちは激怒するだろう。K―1の会場で会って文句でも言われたらヤだなぁ。そう思いながらもあえて掲載した。それは、小比類巻の言うことがひとつの問題提起になるんじゃないかと感じたからだ。

かつて佐竹、角田、後川、金と名選手を抱え〝常勝軍団〟と言われた正道会館。彼らを育て上げたのは、もちろん〝常勝・石井和義〟こと石井館長だ。K―1を立ち上げてからはビジネス面で多忙を極め、あまり道場にも顔を出せないでいる館長だが、最近は「K―1のオフィスの近くに道場を作ろうかなと思ってます」とことあるごとに言っている。

「やっぱり、僕が直接、教えなきゃダメかなと」

武蔵、中迫らK―1ジャパン勢には、師匠である石井館長自身も歯がゆさを感じているのだ。ジャパンの選手たちはたしかにうまい試合をする。テクニックという面では、まさに日本最高峰だろう。だけど、それでどれだけの結果が出せたのか。「K―1ジャパン・シリーズ」が始まって4年にもなるのに、いまだ世界の壁を崩すどころか近付けてもいない。いや、近付けたか。でも5ミリぐらいでしょ？

試合内容そのものも、どうにも膠着したものばかりだ。勝っても負けても、どこか見ていてスッキリしない試合が多いのである。今のジャパン勢に足りないのは、覇気というか殺気というか、そういう目に見えない――だけどその有無が観客にははっきり伝わる――ものだろう。そして、それをビンビン感じさせてくれたのが、中量級大会に出た選手たち、とりわけ小比類巻だった。

うまいけど勝てない、面白味が欠けてきた。そんな感じがするのは、K―1での極真ブラジル勢も一緒だ。モーリス・スミスのジムでグローブに慣れ、レイ・セフォーとボクシングテクニックを磨いて技術的にはレベルアップしたものの、それで飛躍的に勝てるようになったわけじゃない。逆に試合から迫力が失せているようにも見える。

以前は、磯部師範という個性的な〝スポークスマン〟が、極真ブラジルの幻想を盛り上げてくれていた。「数見が相手でも『技有り』を取れる技を用意してきた」とか「勝つ可能性は1万%！」とか。練習方法も、全身に固いチューブを付けてシャドーしたり、重たいサンドバックを滑車で吊るし、道場の端から端まで蹴るといった独特なもの。そうやって鍛えられてきたかつてのフィリォやグラウベは、なんとも言えないムードを醸し出して魅力的だった。彼らの凄みが薄れてきたことと、磯部師範があまり表に出てこなくなったことには（その代わりがモーリスやセフォーなんだろうが）、大きな関連があるのではないか。

石井館長が手がけていないジャパン勢と、磯部師範から距離を置いた極真ブラジル勢。その象徴が、3・3名古屋大会での武蔵VSグラウベの凡戦だった。武蔵もあんな試合しといて判定に首ひねってる場合じゃないだろう。翻って今の小比類巻には、黒崎健時という100%信じ切れる師匠がいる。その差が全てとは言わないけれど、でもかなり大きいんじゃないだろうか。

小比類巻は、これからいよいよ本格的な黒崎流の指導を受けることになる。150キロの特製リュックを担いで10キロ歩いたり、「小便チビるまで」サンドバッグを叩いたり、といった非合理的な特訓。そこには〝これを乗り越えたらメチャクチャ凄いファイターになるんじゃないか〟という幻想がある。

ただ、リスクが大きいのも確か。人とは違った練習をして、それで結果を残せなかったら「それ見たことか」と言われるのは間違いない。「やっぱり普通のトレーニングをやってりゃいいんだよ」と。

だから、武蔵や中迫たちが小比類巻の発言に怒るだけじゃなく刺激を受けて発奮材料にできるかどうかが今後のカギだ。

「ふざけんな！　オレたちのやってることは絶対に正しいんだ」

そんな気持ちをリングで叩き付けることができれば、ジャパン勢の試合も変わってくるはずだ。K―1ジャパンVS中量級。あるいは正道総本部VS小比類巻。そういった図式、間接的なイデオロギー対決の構図ができ上がったら、K―1は手がつけられないくらい面白くなる。

（本誌立ち技番長・橋本）

ABNORMAL★MOGUTAN

あぶもぐ 大阪場所 三日目

親方◎小松モグタン

3月1日にWWFに行って、ロック様がピープルズ・エルボーにいく瞬間投げたサポーターをゲットしましたよぉぉぉ！ 今日は、そのサポーターを着けながら書いているぞ！ おい、『SRS・DX』の読者様、モグ様の妙技を味わいやがれー！

『THE BEST』にはガッカリ。コンバットレスリングみたいな形式を期待してしまったので、なおさら落ち込む。DSEには誠実な勝負と多少の笑いとともに、これからは総合格闘技のすそ野を広げるような社会性を期待したいと思う。とりまきの愚痴ですいません。
(星野徹・東京都八王子・25歳)
◆Wooooo！ ジョー・サンはレベルが高すぎて、たしかにすそ野は広がらないな。でも、ジョー・サンのTバックのケツには十分社会性があるよ！ Wooooo！

僕には大日本プロレスで伊東竜二選手が一番強く見えます。『THE BEST』出場希望。
(渡辺弘幸・愛知県名古屋市・33歳)
◆Wooooo！ FMWに続いて大日本プロレスからの参戦は楽しみ。グレート小鹿社長も参戦してくれないかなぁ。Wooooo！

「面白かった」と言っていいのか分かりませんが、リングス最終興行の記事が良かったです。特にボンチョ姿の金原を〝格闘ホームレス〟と表現したところに感心しました。実際Uインターとキングダムの末期はそれに近い状態だったかもしれませんし。ちなみに2月27日放送の読売テレビ「松本紳助」で金原選手からの手紙が紹介され、ダウンタウン松本さんが喜んでいました。内容はお金で〝タイソンVS金原〟を実現させてくださいというバブリーなものでした。
(春名義行・兵庫県明石市・35歳)
◆Wooooo！ 〝格闘ホームレス〟がバブリーになるところを見せてくれ！ Wooooo！

(真杉哲也・東京都東久留米市・?歳)
◆手の込んだ作品ありがとう！
カラーで見せられないのか残念……

消防署の若い人たちと一緒に、『K―1ワールドMAX』を夜テレビで観戦してました。自分的に須藤元気選手のファンなので楽しみにしていました。バックブローが決まった時は、大声を出してしまい上司に怒られました。決勝戦が始まろうという時に、出動がかかってしまい見られなくて残念でした。『SRS・DX』を読んで細かく分かったので、助かりました。今後も今までどおり詳しく特集等、お願いします。
(町田陽弘・群馬県勢多郡・27歳)
◆Wooooo！ 須藤元気のバックブローで勃ったか？ 濡れたのか？ どっちだ！ 深夜の出動、お疲れ様です！ Wooooo！

『K―1ワールドMAX』は、まったくもって期待していなかったので本当に予想外で面白かった。やっぱりなんと言っても須藤選手と村浜選手。奇抜な動きの須藤選手にガ然テレビに釘付けにされました。村浜選手の何にでも挑戦するスピリッツには頭が下がります。小川選手に爪のアカでも煎じて飲ませたい。ジョー・サンって写真で見る限り、もの凄いキャラクターですね。というかプロレスでしょう、これは。強ければいいけど、秒殺されているし、出るところ間違えてる。それから、気持ち悪いから写真をあんまり大きくしないでください。
(上條信彦・福岡県田川市・31歳)
◆Wooooo！ ジョー・サンを気持ち悪いと言う前に、次はシウバとやらせろというジョー・サンの根性も評価してやってくれ。2カ月あれば勝てると言っているぞ！ Woooo！

石井館長の試合総括は、興奮している様がとても伝わってきて良かったあー！ こんなに細かく載ってたのは『SRS・DX』のみ。おまけに字の細かさも凄かったぁ！ ところで、なんで魔裟斗のインタビューが全然タップリ載ってないわけ？ 小比類巻のやつ読んでも面白くないでしょう？ レポートの順もおかしいし、魔裟斗VS後藤、魔裟斗VS村浜が。
(小塚義峰・愛知県名古屋市・31歳)
◆Wooooo！ 魔裟斗で勃ったか？ 濡れたか？ どっちだ！ Wooooo！

エリクソンはまた大人気ない勝ちっぷりでしたネ！ カタルフォはいいキャラなので、また出てほしい！ ブラビも地味で強いですネ！ ホドリゴは入場でやられました！ これからが楽しみです。ニュートンVSペレは本当に面白かった。ヒーリング、ボブチャンチンはかみ合いませんでしたね。これからのボブチャンチンが心配です。そしてドン・フライVSシャムロックは技術うんぬんより男の意地の張り合いでしたね。最後は映画のワンシーンみたいで2人とも格好良かった!! ノゲイラは強過ぎでしたね！ エンセンはスミマセン……のマイクだけでやめとけば良かったのに。長すぎでムカつきました。田村にはやっぱり厳しい結果になってしまいましたね。次回のパンクラスの人たちに期待してみます。それでは！
(渡辺淳也・新潟県柏崎市・19歳)
◆Wooooo！ 全試合のご感想、長々とありがとう！ Wooooo！

田村にはやっぱり厳しい結果になってしまいましたね！ 次回は金原VSシウバを希望します！ あとはパンクラス陣に期待！ それにしても石井館長には感心しますね。出し惜しみしないのが凄いですね!! 小川は相変わらず破壊王劇場してますね……。彼のビジョンはまったく見えないですね……。「プライド」はこのままだと以前のK―1化しませんかね～。
(渡辺拓也・新潟県柏崎市・29歳)
◆Wooooo！ どうでもいいけど、上のヤツと兄弟だろう！ 小川は破壊王の手の平で完全に転がされていますよぉぉ！ Wooooo！

(やざま優作・東京都小平市・29歳)
◆漫画家・やざま優作さん、久々の登場です

(小川徹・埼玉県八潮市・16歳)
◆もう一発田村！

田村VSシウバ戦で田村が負けて、「顔面血塗れのバイオレンスを見て興奮する客はバカだと思う」との発言に関して、自分はそれなら「プライド」に出るなと思った。自分としては桜庭に期待している。シウバに勝ってほしい。エンセンの英語のスピーチに対しての観客のブーイング。自分としてはエンセンを見れるだけで幸せでブーイングなんてとんでもないです。
(池田勝士・東京都狛江市・?歳)
◆Wooooo！ 「バカ」だと思っている客に血塗れの顔面を見せているんだから、田村は最高ですよ。お客さんをやっぱりバカにしているんですよぉぉ。悔しかったら、田村で濡れてみろ！ それより、エンセンで勃ったか？ それとも濡れたか？ Wooooo！

相変わらずTシャツはカッコEじゃねぇですか。白Tだけでなく、赤とか緑とか黄色モデルのTシャツ色違いも出していただきたい。あとスマンけど、あと一声のプライスダウンを。
(中内龍・大阪府大阪市・28歳)
◆Wooooo！ 「カッコE」って表現もカッコいいぞ！ Wooooo！

あて先

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町
3-14-12神田NSビル8F
SRS・DX編集部「あぶもぐ」係

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！ 強烈なぶちかましをお待ちしております。

世界初!? 現役中学生バーリ・トゥーダー誕生！

Gacktが好きです！押忍！

▲中学校卒業記念試合を勝利で飾ったEika

★第1試合（SGGライト級公式ルール、5分3R）
○Eika（2R2分50秒、スリーパーホールド）ナナチャンチン●
〈拳士館〉　〈チーム南部〉

撮影◎吉澤晃

毎回、話題には事欠かない「スマックガール」。今回もいろんな意味で衝撃的な大会となった。

第1試合には、おそらく世界の格闘技界でも初であろう、15歳現役女子中学生が総合格闘家デビューを果たしたのだ！　道徳的に「客寄せパンダにしてんじゃねぇよ！」などと思うかもしれないが、芸能界も低年齢化が進み、「モーニング娘。」のメンバーは中学生ばかりという現代。岩崎恭子ちゃんが14歳で金メダルを獲ったあの日から時代は変わっていたのだ！

これまで、ルックスと話題性重視で選手を集めてきた篠代表のことだから「いよいよ本物のコギャル、マゴギャルを連れてくるの？」と思っていたら、とんでもない。Ｅｉｋａちゃんはまるで昭和30年代のニュース映像に出てくる〝集団就職で地方から連れてこられた中学生〟を思わせるような、今どき珍しい素朴な少女だった。おそらくひと回りも年が違うであろう、対戦相手のナナチャンチンのほうがよっぽどコギャルっぽい。

Ｅｉｋａちゃんは、空手家の父を持ち、幼少から空手を始め、数々の大会で優勝を収めてきたという経歴の持ち主。試合では、打撃のみならず、グラウンドでもナナチャンチンを圧倒し、最後はパワー溢れるスリーパーでタップを奪った。今後のスキルアップはもちろん、プロとして

の風格、レディーの魅力をいかに身

現役中学生Eikaと対戦したのは、年齢不詳のナナチャンチン。年齢はひと回り以上（？）離れているかもしれないが、身長はナナチャンチンのほうがやや低い

▼試合後、隅で人知れず涙するナナチャンチン

好試合が続く中、事件は最後に起きた！

◀メインは、レスリングの実力者・辻結花（左）と、キャバクラ嬢・篠原光（右・チーム南部）という両極端な2人の対戦。星野育蒔を倒した辻を相手に篠原がどんな試合を見せるのかが注目されたが

▶この日、篠原は40℃近くの熱があり、セコンドの意向でゴング直後のタオル投入で試合終了となった。「プライドGP2000決勝戦」での藤田和之VSマーク・コールマンを彷彿させる

◀名古屋で行われたDEEPの記者会見から急遽駆けつけた横井宏考（リングス）をセコンドにつけた辻だったが、思わぬ展開に[illegible]目には涙が

篠代表のコメント

「試合ギリギリまで、篠原は出る意志があったのですが、熱が下がらず試合をできる状況ではなかったので、セコンドと主催者側としても試合をさせることができないと思い、タオル投入での試合終了としました。止め方を含めてこちらに落ち度があったと思います。本当に申し訳ありません」

▲篠代表は「うちのリングは殺し合いではないので、無理をして試合をさせるわけにはいきません」と、UWF時代の前田日明を思わせるコメントで弁解したが、客席からは罵声が飛び交った

Eikaのコメント

「緊張しました。勝てると思っていなかったので、嬉しいです。押忍！　グラウンドの練習も普段からしていました。ナナチャンチンさんの蹴りはあまり痛くなかったです。中学校では、普通の子よりちょっと変な女の子です。好きな男性のタイプはGacktさんです。今度出る時は高校生なので、またよろしくお願いします！」

▲デビュー以来、5戦5敗中のナナチャンチンだが、フロントチョークを極めかけるなど、初勝利を予感させる場面もあった

無敗の女王しなし、連勝記録更新！　TAKAみちのくも来場！

▲前日のWWF横浜大会でジョー船木のマネージャーを務めたTAKAみちのくが来場。篠代表との掛け合いで会場を沸かせた

▲この日のベストバウトは、第6試合のしなしさとこ（GIRL FIGHT ACC）VS瀧本美咲（禅道会）の一戦。鼻血を出しながら華麗なサブミッションを見せ、1R4分32秒、腕ひしぎ十字固めで勝利した

の風格、レディーの魅力をいかに身に付けていくのか？　そんな部分まで成長が楽しみな〝ときめきメモリアル〟系ファイターだ。

このオープニングマッチの後も、前回の反省点を踏まえ、進行もスムーズになり、好試合が続出。篠代表のマイクも冴え、イベントとしての進化を感じさせられた。しかし、最後の最後に「今回は原稿もサラサラ書けるわ」と思っていた私の腕をガッ！　と後ろ手に押さえ込むようなドンデン返しが待っていたのだ。

オープニングで流された煽り映像も手伝って、期待の高まったメインの辻結花VS篠原光が、篠原の体調不良のため、ゴング直後のタオル投入で試合終了。客席は呆然、辻は涙を流し、篠原はセコンドに押さえられ、と何がなんだか分からない状況に。すぐに篠代表がリングに上がり説明（写真説明・参照）がなされたが、会場は怒号に包まれてしまった。

今までの『スマックガール』は、いい意味でも悪い意味でもアバウトなところがあり、それが客にとっては居心地良く、選手にとってはやや不安という状況があった。そのアバウトなところが影響してかは分からないが、選手の口から「いずれは修斗にも」という言葉が多く聞かれた。

しかし、15年以上の歴史を誇る修斗においても、女子の修斗公式戦は先日やっと組まれたばかり。女子だけの修斗の大会が定期的に開かれるには、まだ数年かかるだろう。それを1年以上も前から、女子の試合だけで定期的に大会を行い、選手を発掘してきたのは、全て篠代表なのだ。女子総合格闘技の未来に夢を賭けるなら、今しばらく『スマックガール』を見守ってほしい。

（沖崎）

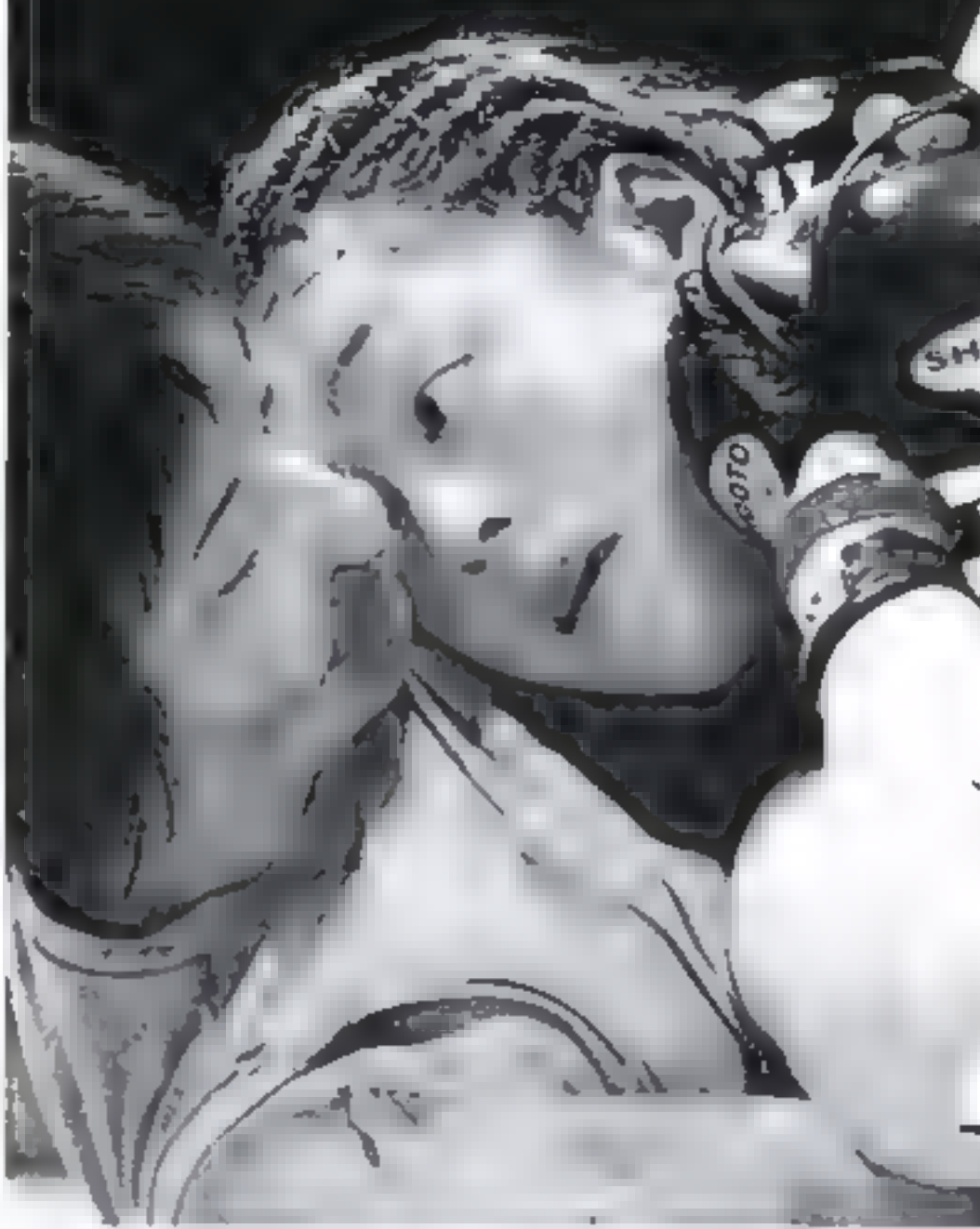
初の女子プロ修斗公式戦！グラウンド顔面パンチが〝キラー〟マァ☆ティンを引き出した！

撮影◎吉澤晃

この冷酷な表情！いったいどうしたんだ!?

たとえ相手の顔が腫れ上がろうとも、スキがあらば容赦なくパンチを打ち込むマァ☆ティン

▲2R。尾上はタックルに来たマァ☆ティンを捕らえ反撃開始！　と思われたが、首を抜かれてしまった

▲マウントでマァ☆ティンがパンチを連打。秋山賢治も所属する禅道会で練習に励んできた尾上だったが、セコンドからタオルが投入され、試合を止められた

★第1試合/女子フェザー級5分2R
○星野育蒔（2R4分38秒、TKO勝ち）尾上佳子●
〈米里倶人満〉　〈禅道会松本支部〉
※セコンドからのタオル投入

マァ☆ティンのコメント

「うがぁ〜、顔面殴るの楽しいぃぃ！　もっともっと闘いたかった、うん！　だけど顔面パンチに頼ってばっかりじゃアカン。これからいろんな技術をいっぱいいっぱい身に付けなきゃ。もっと練習していろんな人と闘いたい！　辻（結花）さんともやりたい。相手のリーチ長いんで、今日は、必要以上にビビってしまった。あぁ〜！　満足してへん。今日は62点。ちなみに髪型は、前髪が邪魔だったから切った。でも失敗した。恥ずかしい……。それで編んでみました」

初めて味わう技に中井驚愕!?

▶左ヒザ外側半月板損傷によりマモルと闘う予定だったABKZが欠場。代替カードとして、中井祐樹と三島☆ド根性ノ助によるブラジリアン柔術エキシビジョンマッチ（5分）が行われた。中井がパスガードやスイープを決めれば、三島はジャイアントスイングで反撃するなど、お互いがらしさを爆発。あっという間に5分が過ぎ去り、客席からは「延長〜」の声も！

▲メインでは、村濱天晴〈WILD PHOENIX〉がパレストラ東京の鈴木洋平と対戦。「弟（武洋）の活躍に触発された」と言う村濱は、裸絞めやアンクルを極めにいくなどグラウンドで終始優位に立ち、判定3-0で勝利。クラスAを目指す村濱は試合後、「次は中山（巧）さんと闘いたい」と熱くコメントした

大注目の女子によるプロ修斗公式戦が動き出した。〝総合の元祖〟が、ついに女子にも本腰を入れてきたのだ。今後はマーロス・クーネンや久保田有希の参戦も決定しており、女子総合格闘技の新たな流れを生むのは必至。まずはマァ☆ティンこと星野育蒔と、女子総合2戦2勝、禅道会のホープ・尾上佳子によってその歴史の扉は開かれた。

「スマックガール」や『アックス』と女子プロ修斗の大きな違いは、グラウンドでの顔面攻撃があること。このルールの違いが、マァ☆ティンの新たな一面を引き出した。〝キラー〟と化したマァ☆ティンは、冷たい表情で尾上を上から抑え、顔面を殴り続けた。プロの選手とはいえ女の子がここまでやるのか……と思わず引いてしまったが、今大会のプロモーター・若林太郎氏は言う。

「女の子ではありません。選手です！　ルールを変えるつもりはないし、逆に今日の2人の試合で、女子のプロ修斗に光が見えました！」

そんな若林氏でさえ「写真は控えてほしい」と言うくらい、尾上の顔はボコボコだった。だがその尾上本人も、「悔しい。まだいけると思ってたのに。もっとムチャクチャ練習して強くなって、修斗のルールでも闘えるようになりたい！」と前向きだ。

女の子ではなく選手……。なるほど。強くなりたい気持ちに、男子も女子も違いなどないのだ。（渡部）

ニュージャパンキック
DREAM RUSH Ⅱ
3.3★後楽園ホール

『いつまでも挑戦者』立嶋篤史にも新天地（ニュージャパンキック）の水はやはり苦かった……

移籍第一戦、格下・外山にダウン喫す 微差の判定負けも本人は納得顔？

外山のコメント

「（ダウンを奪った時は）いけるって感じだったんですけど、リキんじゃって、詰められなかったです。KOするとずっと思ってたんで、それができなかったからデキは0点。プレッシャーも感じなかったけど、練習不足です。もっと練習します。（立嶋の）ローはちょっと効いちゃいましたね。でも、それほどじゃなかったです」

立嶋のコメント

「しょうがないです。悔しかったら、また頑張ればいいことですから。判定？　10人中10人が知っていることだからもういいですよ。終わったことをグチャグチャ言うのは嫌いです。8カ月間、我慢してきたものがあるけど、そういうのは勝って言える立場になってから言います。とにかく僕はマイナスからのスタートですから」

★第5試合（3分5R）
○外山繁幸（5R判定2-0）立嶋篤史●
〈上州松井ジム〉　〈ASSHI-PROJECT〉
※採点…48-47、48-48、49-47。立嶋は2Rに右ストレートでダウン

▶2R、外山の右パンチで立嶋は大きく足を跳ね上げて倒れ込む。このダウンが勝敗を分けることになった

▶メインに出場したエース・桜井洋平は孫悟空丸山と対戦。ムエタイ戦士には苦闘続きだった桜井だが、日本人相手にはさすがに強い。1Rと3Rにダウンを奪うなど力で孫悟空を圧倒

▲立嶋のシャープな右ローがヒット。終盤戦は明らかな立嶋ペースで、少なくとも失点は挽回したと思えたが

◀外山の思い切りのいい右ストレート。若い外山はオールド・グレートの前でも臆することはなかった

もはや、日本キック界の先頭に立っていた時代とは違う。立嶋の登場は、3回戦の頭から数えて4番目。剣術の真っ向上段袈裟斬りに見立て、両手を振り落とす、試合前の独特のパフォーマンスも、リング・アナウンサーは平気でさえぎってしまった。そして、ただの前座試合でも、立嶋は勝てなかったのだ。

だが、立嶋はこの新たな戦場NJKFのリングを、実に心地良かったのだと言う。ファイトマネーは自ら申し出て最低額。全てチケットでもらい、友人たちに買ってもらったが売り切れ。あとは自腹で買い足さなければならなかった。そんなみんなの懸命の応援が胸に染み入った。

正直なところ、判定負けという結果は、立嶋に対して厳しすぎると思えた。高卒後、ずっと勤めてきた会社を辞めて、この試合にかけた外山だが、ここまで4勝5敗。かつてタイのトップと伍して闘った立嶋は手軽にあしらって当然の相手だ。ところが2R、不用意に右ストレートを食ってダウンしてしまう。これが痛かった。その後はタイミングのいいローを決め、さらにヒジで外山の顔面、頭部を3箇所も切り裂いた。この反撃が判定に反映されなかったのは、不運と言うしかない。

ただし、もう往時の力がないのも明らかだ。それでも、立嶋はまだ挑戦すると言う。いったい彼の満足はどこにあるのだろう……。（宮崎）

SRS·DX Editor's Talk

編集部トーク 裏事情

いまだ消えぬ、ヒクソン出陣の噂

A　石井館長が3月5日、K—1ジャパン広島大会のプロモーションで記者に囲まれて「夏に横浜国際スタジアムで、『プライド』を巻き込んで10万人規模の大会を開きたい」と言ってたみたいだけど、本当なの？

B　いや、あれは館長が思いつきで言ったみたいで、確認したところ、まだ何もそんな予定はない。だいたい横浜国際スタジアムは7月、8月の土・日は全部スケジュールが詰まっていて、会場は取れないはずだよ。ただ、石井館長が宣言したように、今後は猪木軍だけでなく『プライド』との対抗戦が始まる可能性は大いにある。早ければ次の『プライド』でミルコVSシウバが本当に実現するかもしれないし、K—1のリングに『プライド』戦士が上がってくるかもしれない。両ジャンルは、それほど密接になりつつあるからね。

C　そうなれば、桜庭VSミルコなんて目も出てきますよね。そう言えば、石井館長は小川VSヒクソン、小川VSホイスなんて動きもあると言ってましたけど。

B　ヒクソンに関しては、たしかにいろいろな情報が今でも出ている。新日本の30周年記念・東京ドーム大会（5月）にゲストで呼ばれるんじゃないかって噂もあるからね。小川戦にしても、『プライド』とは完全に別ルート。ただ、ヒクソンに関してはいつも噂が先行するから、正式発表があるまでなんとも言えないんだけどさ。

A　去年は映画に出演するという話もあったけど、結局それもまだ実現していない。その映画の話が秋からスタートするっていう噂もあるので、もしかしたら今年もファイトはしないんじゃないかな。

C　ところで、パンクラスの『プライド』参戦はどうなったんですか？

B　うん。あれは近藤有己が『プレミアム・チャレンジ』というイベントに出るんで、出るとしたら菊田早苗、美濃輪育久あたりになるんだろうけど、本誌の締め切り時点ではまだカードは発表されていない。やっぱりパンクラス勢がK—1との闘いを望んでいるけど、石井館長にその気がないみたいだからね。『やるんだったら、K—1のリングでK—1のルールで』みたいなことを言ってるらしいよ。

A　本誌が出る頃にはもう決定しているかもしれないけど、そうなると純『プライド』戦士とパンクラス勢の闘いになるね。パンクラスは総合格闘技のベースがしっかりしているし、他流試合も経験しているんで、『プライド』のファイターと比べてどこまで強いかだけでも興味深いんだけど。

C　そのパンクラスですけど、4月からテレビ東京でレギュラー番組を持つことが決定となりました。相変わらず尾崎社長は頑張ってますよね（笑）。その意味でも、4月の『プライド20』は大きなチャンスなんですけど。

A　ところで、田村潔司はその後はどうしているの？

B　いや、親しい記者とも会っていないし、まだ誰とも会っていないらしいね。田村の次も凄く気になるけど、やっぱり『プライド』で復帰、再生するしかないと思うんだけどなぁ。本当に田村にとって大切なのは、シウバに負けた次だと思うんだけど、田村らしい動きに注目したいね。

A　田村が『プライド』に出て分かったことは、まだまだ『UWF』という3文字は生きているということ。『プライド』でも、猪木軍以外のプロレスラーって、高田にしろ、桜庭にしろ、高山にしろ、みんなUWFの幻想があるからね。その意味でも、田村の復活で猪木軍VSK—1ならぬ、UWF VS K—1なんてのもできちゃうわけだから、重要だよ。

A　まあ、だけど石井館長の弾け方を見てもそうだけど、まだまだ格闘技界は大きなクロスをしそうだね。そのキーワードとなるのは、やっぱり『他流試合』だと思う。その構造をいくつ作れるかが、『プライド』の鍵を握っていくんじゃないかな。■

▶田村がどういう形で公に姿を見せるのかは、非常に気になる？

◎よく「今回の試合で、○○選手は上がった」とか「下がった」と言われるが、その全ての基準は"勝ちっぷり"と"負けっぷり"にある。格闘技であるから強くなることは大切だが、プロとして問われるのはその部分だ。たとえば、猪木祭りでシリル・アビディはドン・フライに敗れたが、あの負けっぷりは他の引き分けたどのK—1ファイターよりも評価が上がった。一方、武蔵はいつも勝っても負けても、評価されない。つまり、武蔵の場合は大きな勝ちも大きな負けも表現できないから、人々の記憶に強烈に残らないのだ。小さな勝ち、小さな負けを繰り返している限り、プロのファイターとしての評価は一向に上がらない。やる側がプロとして気にとめておかなければならないのは、その部分だろう。K—1で言えば、アンディ・フグやジェロム・レ・バンナ。『プライド』で言えば、桜庭和志や安田忠夫など、大きな勝ちと大きな負けを繰り返すことができる選手だからこそ、ドラマチックであるし、スター選手でいられるのだと思う。その意味で気になるのが田村潔司だ。田村はパトリック・スミス戦で大きな勝ちを掴んだが、今回のヴァンダレイ・シウバ戦で絶望的な大きな負け方をした。あれほど田村の良さが出なくなるとは、正直思わなかったほどだ。でも、大きな負け方をできるというのは、一種の才能である。それをどうドラマ化していくかは、今後の田村次第だろう。もう一度言っておくが、プロとしていい選手と呼ばれるのは、大きな勝ちと大きな負けができる選手だ。極論を言ってしまうと、勝ち負けよりも記憶に残るかどうかだ。（谷川）

SRS·DX

次号の発売日は3月28日（木）です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8886
発行人：柳沢忠之　編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su-plex、岩村唯是、溝口真穂、野尻雅友、小林善夫

殴られたら殴り返す！ これぞ男と男、拳のキャッチボールね♥

この日一番の打撃戦を見せたベル&セフォー！

本戦●ボクサー同士の対決は、激しい殴り合いに！！セフォーは得意の「ニャ～」やノーガード戦法でベルナルドをビビらせまくった！

▲ベルナルドもいつになく厳しい表情で入場

▲いつもの陽気なダンスもなく、入場曲も変えていたセフォー

◀1Rから激しい殴り合いをする両者。はじめにダウンを奪ったのはベルナルドの右ストレート！

強烈な右アッパー!!

捨て身のノーガードから……

◀▲2Rに入ると、今度はセフォーがノーガード戦法でベルを追い込みはじめる。両者とも見合う、こんな妙な場面も。ここからセフォーの得意な右アッパーが炸裂！

ブンブンと空を切り裂くフック、アッパー、ストレート……。あぁ、見慣れてたはずの2人に、こんなに心を乱されるなんて……♥

今大会イチのパンチ合戦で名古屋っ子の大歓声を浴びたのは、なんと昨年のGP決勝戦には出られなかったベルナルドとセフォー。

「昨年のGPを見ていて、なぜ俺はあのリングの上にいないんだと思ったんだ」と試合後のセフォーは悔しそうに語った。それもそのはず、昨年、セフォーはハントとのノーガードでのド突き合いに勝利したものの、ケガで肝心の決勝戦には出られなかった。その代役のハント（しかもセフォーと同じニュージーランド人）が、目の前で40万ドルというビッグマネーを手にしたのだから！

その上、大晦日の『猪木軍VS K－1』の対抗戦に出場するためにホイスから特別コーチをしてもらったが、あと1週間という時に「腹直筋不全断裂」で全治60日と診断され、やむなく欠場。私だってセフォーのアームロック、楽しみにしてたのに……。

また一方のベルナルドも、昨年は散々だった。バンナと激しい打ち合いの末、KOしたと思ったらノーコンテストが下ってしまう。そして敗者復活を賭けたアダム・ワット戦ではまさかのKO負け。年末の猪木祭りでは髙田延彦と対戦し、ある種、不思議な空間を作り出すことに成功したが、勝つことはできなかった。

しかし、今日は2人とも入場からして違っていた。いつも陽気に踊りながら出てくる、あのファンキー野郎のセフォーも、「お前は子

セフォーのコメント

「いい試合ができて、とても気持ちがいいよ！ 身体の節々は痛むけどね。マイクはオフェンスもディフェンスも凄く良かったよ。最初のダウンはダメージというよりも頭にきたね。（腰の具合は？）腰は大丈夫。お腹の筋を痛めたんだ。（これからＶＴの試合は出る？）機会があればぜひ出たいね。ホイスとも気が合うし、続けていきたい。（ノーガードは）べつに作戦ではないけど、今年は勝つためにはなんでもやる。昨年のＧＰでは蚊帳の外だったからね。ノーガードからの右アッパーは、練習でよくやるんだ」

ベルナルドのコメント

「ハッキリ言ってドローだと思ったが、結果は受け入れるよ。お互いに楽しんでいい試合ができた。ファンも楽しめたと思うよ。ダメージは特にないけど、パンチを受けた左右の耳が腫れてしまった。最後の2Rは、自分のほうがリードしていたと思う。反省点？　勝てなかったことです」

▶最初は固かったセフォーも、ベルナルドと気持ちのいい殴り合いができて、この笑顔！　切った左まぶたは4針縫ったとのこと

▲「殴って来いよ！」と言わんばかりに、顔を突き出すセフォー。何発もらってもこの調子で、ベルもタジタジ

▲そして終了のゴング。力の限り最後まで闘い抜いた両者は、お互いの健闘を讃え抱き合った。判定の結果はセフォーへ

▲5Rにもなると、このとおり殴られても嬉しそうに笑っちゃうセフォー。マゾ疑惑発覚か？

★第5試合/（Ｋ－１ルール・3分5R）

○レイ・セフォー（5R判定3−0）マイク・ベルナルド●

〈ニュージーランド/アメリカンプレゼントボクシングジム〉　〈南アフリカ/スティーブズジム〉

※採点…48−47、48−47、48−46。セフォーは1Rにベルナルドの右ストレートでダウン1、ベルナルドは3Rにセフォーの右アッパーでダウン1、パンチの連打でダウン2あり。2Rにセフォーの左目のドクターチェックのため一時中断あり

安かっ!?」と言いたくなるほど思い詰めた表情。つい先日まで彼女とラブラブだったのに、何かあったのかしら？　そして、対するベルナルドも、前日の会見の時からニコリともしなかった。

意外にも初対決。実力はあるのに恵まれない男たち。だからこそあんなに激しく、己の不運を吹き飛ばすかのごとく闘ったのだ。

1Rから2人の大振りパンチがブンブン飛び交う。当たろうが当たるまいが、とにかく腕をブン回して殴り合う両者。最初のダウンを奪ったのはベルナルドだったが、次のダウンはセフォー。ベルナルドの左ストレートに合わせて、セフォーがノーガードからの右アッパーを決めると、観客は一気にヒートアップ！　4・5Rになるとセフォーは「もっと殴れよ！」と顔を前に突き出して何度も挑発！　ベルナルドが強烈な右フックを見舞えば「ナイスパンチ！」とばかりに「ニヤ〜」。マゾっ気も全開のセフォーの闘いぶりに、ベルナルドもかなり気味悪そう。

命をすり減らすような男と男の殴り合い。見ているこっちの寿命が縮みそうよ！　同じボクシング畑の人間だからこそ、負けられない意地もあったんでしょう。拳と拳で、2人だけの言語で語り合っているようだわ。

そして、試合終了のゴングが鳴った瞬間、どちらともなく抱き合って「チュッ！」とキスまでしてしまった。最後まで力の限り闘い抜いた2人の間に、何かが産まれたのね!?　友情？　それとも愛情？　あぁ、女の私には一生分からないものなのね……。（日比）

金的パワーで大爆発！ 他流試合でプチ変身！ 今年のノルキヤ、どうよっ!?

第2試合に登場した僕らの大巨人・ノルキヤ！　コーナーポストにドスンドスンと駆け上がって、勝利の雄叫び「ウガー!!」。ショートスパッツも似合ってるよっ！

ノルキヤのコメント

「勝てて嬉しい！　ユルゲンは、1Rでの僕の攻撃にも耐えていて、思ったよりタフだった。2Rで運良く自分の右アッパーが入って、仕留めることができた。（金的は？）どう考えても、ローブローだよ！　あれをダウンにとられたことに怒って、それが原動力になって爆発したんだ。今後は、館長に言われれば、総合でもプロレスでもなんでもやるよ」

クルトのコメント

「今日の試合は自分自身、とても不満です。でも、体格差は影響ないと思う。ノルキヤ選手のパンチは凄く重かった。ちょっとラッキーパンチをもらってしまって、自分にとっては不本意なことなんですけど、早く試合が終わってしまった。今後もK－1は続けていきたい」

▲しかし、金的をもらった怒りでノルキヤ大爆発！　クルトに突進していく後ろ姿に、観客も思わず「ガンバレ～ッ！」

★第2試合/（K－1ルール・3分5R）

○ヤン“ザ・ジャイアント”ノルキヤ（2R1分38秒、KO勝ち）ユルゲン・クルト●

〈南アフリカ/スティーブズジム〉　〈スウェーデン/ヴァレンテュナ・ボクシング・キャンプ〉

※左ストレート。ノルキヤは1Rにクルトの左ヒザ蹴りによりダウン1、クルトは1Rにノルキヤの金的攻撃により注意1あり

▲1R中盤、クルトの左ヒザ蹴りがノルキヤの金的を直撃！　そのままクルトに攻め込まれ、ダウン1となってしまった可哀想なノルキヤ……

▲1R前半は、約45キロも軽いクルトに押されっぱなしのノルキヤ

あぁ、ノルキヤ！　あんたってなんて素晴らしいの！　惚れ直しちゃったじゃない!!

K－1開幕戦の第2試合、ノルキヤはなんと総合用のショートスパッツ姿で登場。

そう、初めてノルキヤのショートスパッツ姿を見たのは、昨年8月のグッドリッジ戦だったわね。館長のロレックス欲しさに必死で突進したにもかかわらず、腕ひしぎで極められちゃったけど。この時は初めての他流試合だからしょうがないとしても、その後の山本憲久戦でも、まったく同じ腕ひしぎで極められたよね！　しかも超スローモーションで！　そんな進歩のなさっぷりに、私も呆れるというより笑っちゃったわ。

でも、今日のノルキヤは入場でも雄叫びをあげたり、ファンサービスも満点！　相手のクルトは無口で地味なキャラだけど実力はピカイチ。パンチで攻め込むノルキヤに対して、ローやヒザ蹴りで応戦してくる。そしてノルキヤの金的にクルトのヒザ蹴りが「コチーン－」。悶絶するノルキヤを一気に攻め立ててダウンを奪ったクルト。

ここから怒りのノルキヤ、大逆襲劇が開幕！　ドスンドスンとクルトを追いかけ回してあっという間に形勢逆転！　最後は左ストレート一発でKO！　観客の大声援に応えようと、コーナーポストでまた雄叫びあげちゃって、ファンは大喝采!!　ミルコほどじゃないけど、他流試合でプチ変身して帰ってきた新・ノルキヤだった。

あぁ、あんな子分を連れて歩けたら楽しそう……。館長！　ノルキヤを私にください！　（日比）

倒しにいかない武蔵。この日、一番のダレた試合であったのに、試合後の控室では不満タラタラだった

衝撃！　試合後の武蔵はこの表情「え？　俺の勝ちだろ？」

★第3試合/（K−1ルール・3分5R）

△グラウベ・フェイトーザ（5R判定0−0、ドロー）武蔵△

〈ブラジル/極真会館〉　〈日本/正道会館〉

※採点…50−50、49−49、50−50

なぜ自分の勝ちだと思えるのか、不思議でならない。というよりも、そもそもこんな試合をして勝って嬉しいのかが問題だ

◀結構、見合ってることが多い両者だった

◀パンチをスウェーでかわす武蔵。防御テクニックには文句ないのだが、なぜ一気に攻めないんだ

▶グラウベのブラジリアンキックは2度ほど武蔵の脇を捕らえるが、ダウンを奪うまではいかなかった

スピーディーな動きの割りには相手を倒さないのが見ていて、もどかしい武蔵流・格闘スタイル。この日はなんだか変な方向に進歩し始めていたのであった。

まず試合に関しては、エキサイティングなところなど何一つなかった、いつもどおりのものである。素早いパンチ＆蹴りをビシビシと繰り出し、だけど畳み掛けずに距離を取るというスタイルを延々5R続けていただけだ。また、5R終了のゴングと同時に右手を高々と上げ、満足気に勝利をアピールするのもこれまでどおり。

明らかにドローもしくはグラウベの判定勝ちのような気がするのだが、本人は勝ったと思い込んでる辺りまでは、まだまだ旧・武蔵流のままだったと言えよう。

では、どこからが新・武蔵流かと言えば、それは試合後の共同記者会見で披露されていたのである。

開口一番、「いや、ドローと思ってないです。向こうは、手数は出してきたと思うんですけど、ダメージを与えていたのは自分の攻撃だと思うし、的確に入れていたのも自分だと思うんで」と意味不明なことを言い出して、記者陣に精神的ダメージを的確に与える武蔵。

〝反省点はありますか〟という質問には、「特に反省点というほどのものはないですけど、なんでドローだったのかをこれからちょっと考えようかなと。ただ、判定に対しては納得してないです」だ。

同じ時間、同じ言語を共有していながら、武蔵はこの世界にいない感じすらしてしまう名言の数々だろう。

武蔵流、悪化してます。

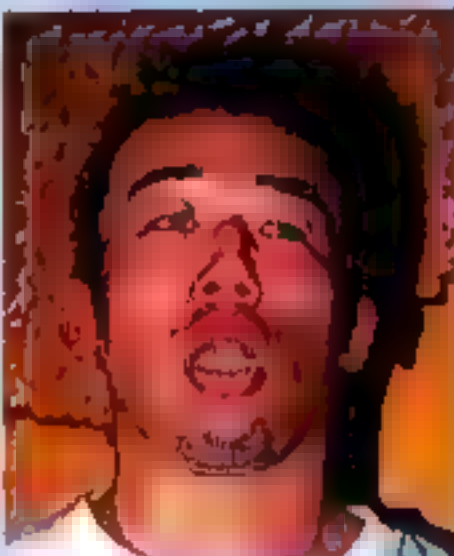
しかも、ムッとしてるんだよ、

「今日の試合で特に反省点はない！」（武蔵）

K－1 vs 極真という他流試合だったはずなのに……

グラウベのコメント

「武蔵は非常に落ち着いていて、いい選手でした。結果に対しては嬉しいものではありません。（勝ってると思いましたか）今回のような試合では自分が勝ってると考えるのは難しいと思います。もちろん決定的な何かをやっていた場合なら別ですが、今日の試合では難しかったと思います。自分としてはもう少しパンチを多く出すべきだったと思います」

武蔵のコメント

「いや、ドローとは思ってないです。向こうは、手数は出してきたと思うんですけど、ダメージを与えていたのは自分の攻撃だと思うし、的確に入れていたのも自分だと思うんで。まあ、相手の攻撃も全部見えたし。（反省点はありますか）特に反省点というほどのものはないですけど、まあ、なんでドローだったのかをこれからちょっと考えようかなと。まあ、納得してないってほうが大きいですけど。左ミドルも当たったし、パンチも当たったし、ローキックも嫌がってたし、全ての攻撃が当たってたと思うし、嫌がってたと思うんで。もっと的確に倒していきたいなと」

▲道衣を着て出場してきたグラウベ。極真の看板を背負ってリングに向かう

▲昨年のジャパンGPでニコラスに負けた武蔵にとって、対極真戦は負けられない試合だったはず

▲これが華麗な武蔵の防御。型として完成された素晴らしさだ。その後の攻撃がどうにもないのがまったく残念なくらい天下一品である

▶5Rには後ろ回し蹴りまで繰り出して、積極性をアピールしようとした武蔵。だが、KOしなきゃダメなのだ

◀見事なボディブロー。これだけの技術があるのになぜ倒さないのだろうか

▶打撃戦になりかけるとクリンチし、また距離を取って打ち合うばかりの2人

しかも、ムッとしてるんだよ、この人。怒りたいのはあんな試合を見させられたお客さんのほうだと思うのだが、武蔵本人はジャッジに対してちょっと逆ギレ気味なのだ。あるいは時折、小首を傾げて不満気のご様子。まあ、見ていて飽きない。闘うところさえ見せなければ、ホントに面白いのが武蔵というファイターなのだ。

だが、共同会見はバックステージで行っており、観客は見ることができない。これではやっぱりプロとして失格だ。残念ながら。面白い見せ物なのに。ということで、そろそろ断言します。

武蔵という男は傲慢なのである。自分のテクニックにホレ、それを出している自分にホレている。その自己中心的で自分勝手で客観性皆無なナルシストぶりには心底頭が下がる。

武蔵は趣味でリングに上がっているわけじゃない。観客にファイトを見せることを仕事としている人間なのだ。観客が望むもの、望み以上のものを提供するのが、彼の仕事そのものだろう。

ガムシャラなところを見せたくないというのは勝手だが、それでK－1で勝てるわけがないし、実際、勝ってない。相手を倒すために身に付けたはずの技術なのに、倒すこともできなければ勝つこともできない。この現状をそろそろ真正面から受け止めたほうがいいだろう。言い訳ももう通用しないし、逆ギレしても理解されない。

キレるのはリングの中。ここぞというチャンスでブチっとキレる武蔵の姿をもうそろそろ見せてくれてもいいだろう。　（ブチ）

バンナ様の妙技に10,000人の観客が総シビレ!

〝最強のかませ犬〟返上へバンナが変身?

久々の勝利にコーナーに上って雄叫びを上げるバンナ。次は5月25日に地元フランスで昨年のグランプリで敗れたハントへのリベンジ戦が控えている

★第4試合/(K−1ルール・3分5R)
○ジェロム・レ・バンナ(1R1分42秒、KO勝ち)天田ヒロミ●
〈フランス/ボーアボエル&トサジム〉 〈日本/フリー〉
※右ストレート。天田は1Rにバンナの左ハイキックでダウン1あり

昨年、グランプリ決勝トーナメントの1回戦で、マーク・ハントに敗れ、『猪木祭り』では安田忠夫に敗れてしまったジェロム・レ・バンナ。常にK−1の話題の中心にいて、衝撃的なKOシーンを見せてくれるバンナだが、ここ一番の勝負所では、あまりにも弱い。

バンナに勝った選手は、ハントにしろ安田にしろ、一躍スターになっていく。「俺が触れたものは全て金になる」とバンナは言っていたが、バンナ自身が負けてばかりいたら、〝かませ犬〟になってしまう。それも強さだけは保証付きの、〝最強のかませ犬〟——それが、今のバンナのイメージだ。

しかし、いくら〝最強〟が付くとは言え、かませ犬はかませ犬。当然、いつまでもかませ犬が主役の座に座っていられるほど、K−1は甘い場所ではない。K−1ワールドGPシリーズの開幕戦となった名古屋大会の主役は、昨年のグランプリ王者のハントとプロレスハンターのミルコ。その2人が一騎打ちを行うことで、今回バンナは脇役に回されることになった。

昨年の今頃は、一昨年のグランプリに病気で欠場してしまったことを棚に上げ、「俺が参加しなかったから、グランプリは面白くなかった」とうそぶいていたものだが、今年はまったく威勢のいい言葉が聞こえてこなかった。

逆に威勢が良かったのが、対戦相手の天田ヒロミだ。1月のK−1ジャパンで、ようやくケガから復帰。しかも、その復帰戦でバンナに勝った安田をKOしたレネ・ローゼに完璧なKO勝ちをしたのだから、意気は上がるばかり。「バ

アルゼ
K-1 WORLD GP 2002 in名古屋

3・3★名古屋市総合体育館レインボーホール

▶リングに上がりバンナと向かい合った天田は、バンナが意外に小さく見えたと語っていたが……

◀赤いマントを身に纏い、豪華なムードで入場してきたバンナ。相変わらず貫禄十分だ

予想外のハイキック! バンナ様の妙技を味わいやがれ!

バンナの強烈なハイキックで、天田がダウン。天田は、バンナのハイキックをまるで予想していなかったようで、モロに顔面に食らってしまった

バンナのコメント

「非常に良かった。(ハイキックは意外だったが?) 新しくトレーナーになったステファンの指示だ。戦略も練習の内容も全体的に凄く変えた。もっとタイスタイルを取り入れたんだ。去年までのパンチだけの闘いよりも、もっとバリエーションに富んだタクティクスをこれから見せたいと思う。5月のハント戦はとにかくリベンジ戦だ。とにかく全てのことは5月のパリの試合を見てくれ」

天田のコメント

「バンナはもっと大きいかと思ったんですけど、リングで向き合った時は小さく見えたんで、いけるんじゃないかと思いました。一応、1R目はチェックしようかなと思って、パンチとローをどうにかしようと思ってて、ハイキックを忘れていたんですけど (笑)。自分から仕掛けるつもりだったんですけど。今からいこうかなぁと思った矢先に食らっちゃったんで、僕のボンミスですね。体調がいい時ってこんなもんなんですかね (笑)」

大嫌いな母国・フランスでハントへリベンジだ!

▲新しいトレーナーを付けたバンナは、試合後、今までよりもバリエーションに富んだ闘いを見せると宣言した

▲なんとか起き上がってきた天田だったが、バンナにコーナーに追い詰められ、強烈な右ストレートを食らいKO負け。1月のK－1ジャパン静岡大会でレネ・ローゼを破った勢いは、あっさりとストップしてしまった

ンナの弱点を見つけた」と豪語して憚らず、今にもガウンの背中に書かれている〝天下統一〟を実現せんばかりの勢いで、名古屋に乗り込んできたのだ。

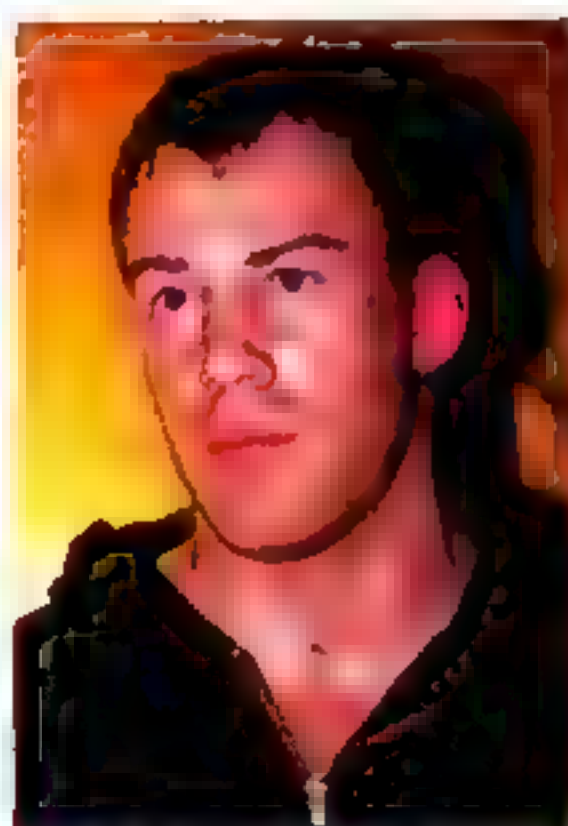
天田の勢いは、「バンナが小さく見えた」と豪語するほどで、体調も良かった。ただ、試合はあまりにあっけなく終わってしまった。天田の勢いはリングで向かい合った時まで。あとは何もできずにKO負けである。

天田の勢いを止めたのは、バンナのハイキックだ。誰もが予想もしていなかったこのハイキックは、まさしく妙技。先頃日本に来たWWFのロック様風に言うならば、「バンナ様の妙技を味わいな」という一発である。トレーナーを新しく変えたことで、パンチをブンブン振り回すファイトスタイルから、もっとバリエーションに富んだ闘い方を見せると試合後に語っていたが、そのニュースタイルの一番最初の犠牲者が天田だった。昨年後半、敗戦続きだったバンナに、遂に完全復活の兆しが見えてきた。

天田には気の毒だが、今回ばかりはバンナのかませ犬になってしまった。試合後の天田は「パンチも遅く見えた」などと、まるで勝ったかのような口振りだったが、完璧な負けは負け。逆に勝ったバンナは、さすがにK－1の顔というところを見せて、超満員の観客をシビレさせた。これで5月にバンナ自身が「大嫌い」という母国フランスで行われるハント戦に勝利し、〝最強のかませ犬〟を返上すれば、正真正銘K－1の〝ピープルズ・チャンピオン〟になれる!

（小松）

この男の可能性は◎！ マーティン・ホルム K－1初見参！

▶昨年のデンマーク地区予選の優勝候補筆頭だったマーティン・ホルム（ケガのため欠場）が、遂にK－1初参戦を果たし、いきなりのKOデビューを飾った

▲ホルムは試合後、初参戦のK－1に関して「また出たい」と語った。K－1にまた若くて強いファイターが登場した

▶相手のヨッキ・オビは久々3度目のK－1参戦だったが、ホルムの強烈なパンチ1発でこんな姿に……。ホルムよりも10キロも体重が重かったのだが……

▲ムエタイスタイルの選手だが、勝負を決めたのはこの左ストレート。強烈だった

★第1試合/（K－1ルール・3分5R）

○マーティン・ホルム（1R1分38秒、KO勝ち）ヨッキ・オビ●

〈スウェーデン/ヴァレンテュナ・ボクシング・キャンプ〉　〈ナミビア/アフリカンウォーリアーズジム〉

※左ストレート

昨年K－1では、マーク・ハントやアレクセイ・イグナショフなど、若い世代が大活躍をしたわけだが、まだまだ世界には若くて強い力がゴロゴロしている。このスウェーデンから来たマーティン・ホルムもその一人。昨年行われたK－1ワールドGPのデンマーク予選に出場する予定で、優勝候補として名前を挙げられていたにもかかわらず、ケガで欠場せざるを得なかった。そのために、今回がK－1初参戦。まだ見ぬ強豪として、満を持しての登場である。その実力は、前評判どおりで、10キロの体重差のあるヨッキ・オビをまったく寄せ付けず、たった一発の左ストレートでKO。CSで放送された生中継では、石井館長が解説する間もなく試合終了という、アッという間の出来事だった。しかし、短い試合時間の中で見せた蹴りの鋭さなどは、まだ見ぬ強豪をアピールするには十分の素晴らしいもの。K－1の明るい未来を見せてくれる男が、また一人出現した。　（小松）

視聴率16・3％！ K－1、10年目も絶好調！

▲今年で10年目に突入したK－1は、K－1ガールズも10代目。華やかにリング上を演出した

▲グラウベが出場したとあって、極真の郷田勇三最高顧問、磯部清次師範、野地竜太、ニコラス・ペタスも応援に来ていた

▲[illegible]野ちゃんとはせキョーの2人は司会として活躍していた

▶昨年の[illegible]月以来の名古屋大会は、観衆10，000人超満員の大盛況となった

石井館長、WWFにJUST BRING IT！

▶大会終了後、全選手と石井館長がリング上に集合。[illegible]が挨拶、最後に挨拶した石井館長は、[illegible]そして猪木、さらにはWWF[illegible]まで宣戦布告をした

アルゼ K-1 WORLD GP 2002 in名古屋

3・3★名古屋市総合体育館レインボーホール

3・3K－1名古屋大会一夜明け会見

ジェロム謎の大暴走！

「フランスという国が嫌い！どこでやっても俺は俺！」

5・25K－1フランス初上陸のメインで実現！

マーク・ハント VS ジェロム・レ・バンナ

▲5・25K－1フランス大会のメインで激突するジェロムとハント。会見中は並んで座っていたが、会話はなし

――昨日の試合の感想から。

セフォー 昨日は本当に最高だった。以前、記者会見でも話したけど、試合で勝つことが目的で、実際に勝てて嬉しい気持ちだ。次の試合をまた楽しみにしているよ。

――ベルナルド選手と闘ってみてどうでしたか？

セフォー マイクは素晴らしいファイターだし、トップファイターの1人だ。これまで10年間トップファイターとして名を轟かせたファイターであるし、僕自身もマイクが強いファイターであることを理解している。このような素晴らしい機会を与えてもらい、彼とファイトできたことを嬉しく思ったし、実際に闘ってマイクの強さも実感できたよ。僕はマイクのことをファイターとしてとても尊敬している。そして、マイク以外のファイターでも、対戦する相手を尊敬して向かっているつもりだ。これからもいろんなファイターと対戦できればと思ってるよ。

――今年の目標は？

セフォー 全員をKOすることだね。

――今年のワールドGPで優勝する自信は？

セフォー もちろん、全員をノックアウトするんだから、その結果は当然分かるだろ？

――ボクシングの試合はやらないんですか？

セフォー 帰国して5～6週間後にボクシングの試合が予定されているんだ。もし、フランスで試合が組まれなければ、アメリカでボクシングの試合をすると思う。

――ケガの具合（左目尻）はいかがですか？

セフォー なんのケガ？（笑）。フフフフ、ダイジョウブデス。

――縫ったんですか？

セフォー イエスッ！ 45000針ほどね。ジョークッ！（笑）。4針ほど縫った。

――去年ボクシングの試合をして負けたと思いますが、それからボクシングの試合はしてないんですか？

セフォー してないよ。その後、グランプリに出るための準備をしてたからね。去年の反省点として、ファイターとして試合をやりすぎた部分があったと思う。僕のゴールはグランプリで優勝することなので、そこに集中しながらタイミングが合えば、ボクシングの試合もやってみたいね。

――VTの練習はこれからも続けますか？

セフォー 去年もホイス・グレイシーといい練習ができた。時間が許す限りトライしていきたいと思ってる。

――昨日は残念な結果でしたね。

ハント 昨日は勝利を得ることができなかったね。これからは1つでも多く勝ちたい。

――一夜明けてのダメージは？

ハント 青あざが少しあるくらい。

――ハイキックは効きましたか？

ハント もちろん見たとおりやられてしまったんだけど、威力はあったんじゃないかな。

――去年のGPチャンピオンとして、昨日の負けはどう受け止めてますか？

ハント やるだけのことをやって勝てなかったからなんとも言うことはできない。もちろん、勝つつもりで闘ってたよ。

――今後強化していきたいところは？

ハント もっとトレーニングをしないと。それは量的にね。前回の試合から1カ月と短い期間しかなかったけど、これからもっとトレーニングに時間をかけてやっていきたい。

――ジェロム選手、昨日の試合の感想は？

ジェロム 何も印象はない！

――他の試合についての感想は？

ジェロム まったくない。

――5月に向けてハントの弱点は見つかりましたか？

ジェロム ウィ（＝はい）。

――昨日のハント選手の試合の感想は？

ジェロム 何もない。自分の仕事をして、5月はその仕事の結果を見せるよ。

――今回自分自身で大きく変わった部分は？

ジェロム 自分自身が強くなって闘いたいと思った。だから、相手に対してどうのこうのというのはない。自分自身を変えただけだ。

――自分自身を変えた結果、天田戦ではどういう成果があったのか？

ジェロム 一番出たのは精神面。テクニック的にも改善したが、精神面で自分がこれまで弱かった部分を克服した結果が試合で出たと思う。練習も投げやりにやらずに、ミーティングを重ね、自分自身の精神を変えていった。

――これまでは対戦相手に対して挑発するところなどが、ファンの間ではウケていましたが、これからはそういう挑発的なことは一切言わないんですか？

ジェロム 今までも相手に対して挑発的なことを言ってたつもりはなくて、自分の戦意を高めるために言ってただけだ。それはこれからも変わらない。たしかに言い方とか言葉遣いは丁寧じゃないけど、それをマスコミもうまく利用してたんじゃないのか。そういう部分では、ムカっと来たこともある。俺はあくまでも自分自身の戦意を高めるために言ってるだけだ。言ってることが紙面に載った時に別の効果があるのかもしれないが、俺自身の中では言ってることとやってることはイコールになってるんだ。

――5月は地元のフランス大会ですが、日本でやるのと地元でやるのでは気持ち的に違いますか？

ジェロム 一つ言えることはジェロムっていうのは1人しかいないってことだ。どこでやっても俺は俺だ。だけど、俺はフランスが嫌いだ。俺は日本が主戦場だと思ってる。だから、今回はたまたまフランスでやるだけだ。フランス人の観衆には関心がない。とにかくフランスは嫌いだっ！ ケツを蹴り飛ばしたいくらいだ。×××××な国だ。

――……。日本のファンはあまり真面目になってほしくないと思いますが。

ジェロム じゃあ、日本のファンは何を望んでいるんだよっ。

――……次のハント戦に向けて磨きをかけるところはありますか？

ジェロム ゴールは勝つこと。自分の変化はいい感じできているから、このまま続けていきたい。

――フランスで試合をやって、日本で試合をする時のような声援を受けてみたいと思わないですか？

ジェロム フランスは嫌いだけども、観衆については興味はある。ただ、いろんなこれまでの経験からフランスという国土が嫌いなんだっ！ ウケたいとかそういうのは関係ない。とにかく言えるのは、（フランスは）非常にジェラシーの強い国だということだ。

――石井館長はかつてアンディがスイスでやっていたように、フランスでジェロム選手を中心にしてK－1を定着させたいと思っていますが、それはどう思いますか？

ジェロム もう一度言うが、俺はフランスという国が嫌いなんだ。でもフランスの観衆については話が別で、俺自身がフランスを背負ってどうのこうのと言うつもりはない。もちろん、フランスという国自体は格闘技が盛んで、K－1に対しても話題になっているし、K－1をパリでやることも長い間望まれていたことだから、そういったものに対してマスター・イシイが言ったように、アンディがスイスでK－1を繁栄させたように、俺も同じような考えで、K－1や格闘技をフランスに根付かせたいとは思っている。■

▲当初は、ミルコ、ハント、ジェロム、セフォーが会見出席者となっていたが、ミルコは頭痛のため急きょ会見をキャンセルした

リングス・ジャパン出場！
滑川康仁、横井宏考、そして
最強最後の新人・和田良覚デビュー!!

ズラリと並んだ日本人出場選手たち。ラウンドガールも一新、露出が増えた！

3・30『DEEP2001』名古屋大会全カード発表！

3・30『DEEP2001』全対戦カード

12	謙吾（パンクラスism）	VS	ドス・カラスJr（AAA）
11	村浜武洋（大阪プロレス）	VS	ジョン・ホーキ（ノヴァ・ウニオン）
10	近藤有己（パンクラスism）	VS	キック・ボクサー（AAA）
9	佐々木有生（パンクラスGRABAKA）	VS	グスタボ・シム（ファスVTシステム）
8	坂田亘（EVOLUTION）	VS	トロ・イリソン（KARATEスタジオ）
7	鈴木みのる（パンクラスism）	VS	エル・ソラール（CMLL）
6	滑川康仁（リングス・ジャパン）	VS	渡辺大介（パンクラスism）
5	横井宏考（リングス・ジャパン）	VS	メモ・ディアス（CMLL）
4	和田良覚（リングス・ジャパン）	VS	アステカ（プロレスリング華☆激）
3	秋山賢治（禅道会）	VS	長南亮（U-FILE CAMP）
2	"ランバー"ソムデート吉沢（M16ジム）	VS	砂辺光久（ハイブリッド・レスリング武藤）
1	土居龍晴（T3）	VS	佐々木恭介（U-FILE CAMP）

※その他、フューチャーファイト4試合を予定

▶マニア好みから飛び道具まで、今回も意表を突くカードで勝負してきた佐伯繁代表。「いかにもDEEPらしいカードを揃えました！」と満足げ。全16試合と長丁場が予想されるが「新幹線の終電には間に合わせます！」とこちらも自信たっぷり（16：30試合開始）

3月2日（土）、名古屋のCLUB OZONで記者会見が行われ、3・30「DEEP2001 4th IMPACT in NAGOYA」（愛知県体育館）の全カードが発表された。3・3K－1の前日、マスコミ陣の名古屋入りを見計らっての絶妙なタイミングでの会見だったわけだが、そのカード編成は驚愕の一語！ルチャVS日本5対5マッチに加え、なんと滑川康仁、横井宏考、そして和田良覚の3人が“リングス・ジャパン”として出場することが決定した！ Uインター、リングスでレフェリーを務めながら、道場最強説が唱えられてきた和田良覚、39歳にしての選手デビューは、まさに佐伯代表が予告していた“爆弾”だ。そのほか滑川VS渡辺大介のリングスVSパンクラス対決、横井はメヒコのレスリング王メモ・ディアスと対戦と、DEEPならではの好カードがズラリと揃ったラインナップとなっている。また今後は6月9日にディファ有明大会、9月に首都圏でミドル級トーナメント、12月には後楽園ホールでの興行も予定されている。

滑川
渡辺大介

リングスVSパンクラスも実現だ！

リングス最強の秘密兵器が遂にベールを脱ぐ!!

▲高阪からはインサイドガードでの攻防を伝授される

▲横井が実験台になり、高阪、滑川が教えるという豪華な指導風景

▲滑川相手にスパーリング。強くないわけがないのだ！

どうだ、この筋肉！この胸毛!!

リングス選手を取材すると必ず聞かされる話が「実は和田さんが一番強いんです」という和田最強伝説であった。本人は絶対に否定するが、金原にしろ、横井にしろ、全員が口を揃えるのだ、「和田さんこそが最強」だと。そんな和田レフェリーが遂にバーリ・トゥードに挑戦することが決定した。3月30日、「DEEP2001」において、プロレス団体「華激」のアステカと対戦する。39歳にしてバーリ・トゥードにデビューする男の本音に迫ってみた。

聞き手○中村カタブツ君（ブチ）

トンパチレフェリー 和田良覚（39歳）、VTに出陣!!!

——さて、3月30日の「DEEP」で、いよいよ和田良覚最強伝説の幕が開くわけですが（笑）。

和田 もう勘弁してくださいよぉ、本当に勘弁していただきたいです、お願いしますよぉ（笑）。

——何を言ってるんですか、和田さんの強さはいたるところで聞いてますよ。例えば、金原さんは「力は日本マット界一」と断言してますからね（笑）。

和田 んなわけないじゃないですかぁ、モォ！　金原選手にしても髙阪選手にしても他の選手にしてもみんなイジってくれるんですよ。遊ばれてなんぼ、笑われてなんぼなんですよぉ（汗）。

それは実力があるからでしょ？（笑）。

和田 ないですよぉ。勘弁してくださぁいよぉ。僕は楽しくやれればいいんですからぁ。

——でも、楽しくやるわりには気付くと新弟子がみんな破壊されていたと（笑）。

和田 んなことない！（汗）。違うんです、金原選手は面白おかしく言ってるだけですよォ。みんなそうなんですからぁ。口裏を合わせてるんでぇぇ。

横井 僕も何度も極められてますよ。5分間に4回極められたこともありますよぉ（微笑）。

和田 ないないないない！　ないでしょ、そんなコトォー、もう勘弁してぇ～（必死）。

——くくく（笑）。Uインター時代にはスパーリングではありますが、桜庭さんすら極めたことがあるという猛者じゃないですか（笑）。

和田 ち、ち、違うんです!!　だ、だから虚像と実像ですよぉぉ（必死）。

横井 こういう謙虚な方なんです（微笑）。

和田 違うってェエ！（汗）。（早口で）

最強伝説は本当だった!! 横井から一本奪取!!

こうやってみんな遊ぶんです。だから、話がおっきく、おっきく、おっきく！　僕、分かってますから自分のこと分かってますから、分かってますからぁ！

──たしかに謙虚ですね（笑）。

和田　だぁぁぁ、勘弁してくださいよぉぉ！！！！　ホントにぃ（涙目）。なんでもしますから許してくださ〜い。もう僕、そっちのプレッシャーで胃が痛くなってるんですよぉぉぉ。

──やる前から（笑）。ということで今日は和田良覚39歳の強さを検証していくわけですが、まず肩書き的にはレフェリー兼トレーナーということでよろしいんですか。

和田　そうですね。ただ、僕としてはトレーナーという意識が強いですね。

──この業界に入ったのはUインターからで、キングダム、リングスを経験、常に金原さんとともにやってきた感じですね。

和田　彼とはホントに長いですからね。よく喧嘩もしましたし。ホントにつまんないことで喧嘩してるんですよ。それで向こうが「大人げない」って言ってきたり（笑）。

──言い返したり（笑）。

和田　そうですね（笑）。でも、彼はホントに気持ちがキレイな選手で、この話にしてもいろいろやってくれて。それに金原選手が「和田さんやってみなよ、大変だから。選手の気持ちが分かるから」って言われたのも出るきっかけになったんですよ。

──つまり、金原さんにうまく乗せられたんですね（笑）。

和田　ワハハハ！　彼とは腐れ縁ですからね（笑）。

──それでほぼ10年（笑）。インター時代の金原さんはどんな選手だったんですか。

和田　強かったですね、入った頃から。ほかの諸先輩もそう思ったんじゃないですか。飲み込みが早いですし、頭がいいですしね。ボクシングでもレスリングでもほかの分野のエキスパートの人と対等に話せるんですよ。技術論だったら彼がナンバーワンじゃないですかね。客観的に言ってですよ。僕なんかボロ雑巾のようにされてましたからねぇ、みんなから。インターの時によく思ったのは髙田さんが大将じゃなかったら、僕は逃げてますね。

──あのぉ、なんでトレーナーが逃げないといけないんですか（笑）。どういうことですか、いったい（笑）。

和田　いやぁ、それがこの業界の不思議なところで（笑）。でも、結果的にあの苦しかった経験を積んだから今の自分があるわけで。

──ということは新弟子時代を経験してるようなもんなんですね。

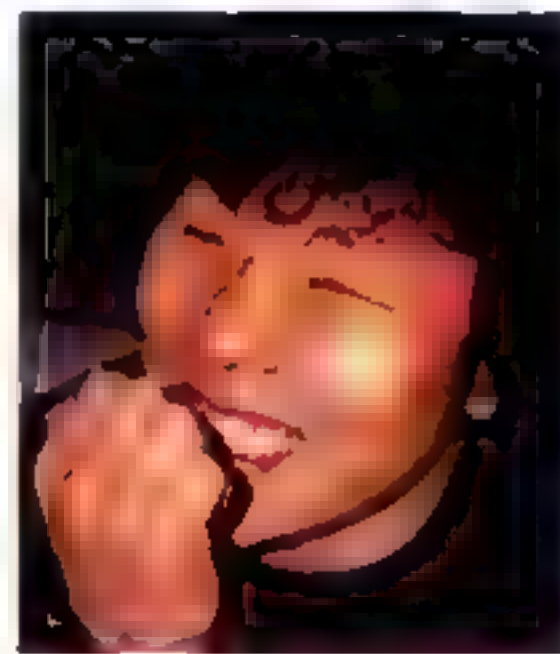
和田　新弟子の場合は練習以外でいろいろキツイですから。

──その時に一番ギュウギュウいわしてくれた方はどなただったんですか。

和田　皆さんですね。でも、宮戸さんには鍛えられましたね（笑）。だから、そういった意味じゃ心の部分も宮戸さんには鍛えられましたね。受け身もやりましたしね（笑）。

──受け身までやってたんですか、トレーナーなのに（笑）。宮戸さんにはどんなことを教わったんですか。

和田　この業界の掟とは言わないですけど、なんていうんだろう。しきたりを教わりましたね。

検証　和田最強伝説

金原弘光

「力は日本マット界一ですね（笑）。テイクダウンとるのは難しいですよ。桜庭にしてもそうですけど、新弟子はみんな1度はタップを奪われてますよ！　また食欲もマット界一で、Uインターの頃は新弟子の分までちゃんこを食べて宮戸さんからごはんは1杯っていう制限を出されていました（笑）。ただ、スタミナがないからなぁ、3分間は最強なんですけどね（笑）。セコンドには僕とTKが付きますよ」

髙阪剛

「僕も極められることもあるんですよ。やっぱり和田さんの形っていうのがあるし、そこに入ったら強いですよね。力が強いのはもちろんなんですけど、細かい技術も知っておられるし、一生懸命練習してますから。もう、そのままの和田さんを出したら大丈夫かなって思ってますね」

桜庭和志

「和田さんがデビューするのは、僕もそそのかしたからってのもあるんですよ。『試合したほうがいいですよ』って（笑）。でも、和田さん強いですよ。力も強いし。2〜3分だったら最強ですよ。僕の新弟子検査のスパーリング相手でもありますし。メッセージ？　年中、涼しいですけども、試合をして温かくなってください。頭も（笑）。そして、僕も温かくなりたいですね、懐が（笑）。こっつあんです」

この苦しげな顔、顔、顔！
スタミナなしか？
頑張れ、オヤジ魂!!

―そう言えば、インター時代の和田さんは新弟子の分までちゃんこを食って、宮戸さんからお代わり禁止令を食らったそうですね（笑）。

和田　そんなに食べませんよ、まいったなぁもう（笑）。ただ、そういうことはあったと思います（笑）。

―そうやって選手以上に強くなろうとしてたから今があるんですかね（笑）。

和田　いやいやいやいや、もう止めて！

―ただ、選手的なこともかなりこなしていたってわけですよね。

和田　毎日毎日ってわけでもないですけどね。でも、最初の時はドキドキしてましたよ、スパーリングで。やだなぁ、やだなぁ、ツライなぁって（笑）。若い人たちにボロボロにされて、なんか男としても情けないし。

―悔しいし（笑）。

和田　ホントですよぉ。だから、そういう意味で心も身体も強くしていただいたって思いますね。ちくしょう、クソーッとかもありましたけど、やっぱり今思うとありがたいなって思いますよ（笑）。それがあったから多少でも自分に自信が持てるようになったんですよ。

　当時の桜庭さんはどんな選手だったんですか。

和田　一番覚えているのは、入りたての頃に髙田さんたちとお酒を飲みにいったんですよ。そしたら、当時入りたての桜庭選手が「俺は喧嘩じゃ負けないッスから」って始まって（笑）。

―絡んだんですか！（笑）。カッコイイですね（笑）。

和田　彼はヘラヘラしてますけど、気持ち強いですよぉ。彼とも家族ぐるみで仲良くしてもらってますね。やっぱり強かったですよ、昔から。

―田村さんは？

和田　肉体的にも精神的にも強かったですね。トレーナーの目から見て理想の選手は誰かって言ったらミドル級は田村さんです。ヘビー級は髙田さんですね。身体能力は理想ですね。

―マスクもいいですしね。

和田　それは当たり前！　男の目から見ても男前過ぎます！　天は二物を与えすぎってホントに（笑）。

―そういう人たちと揉まれてきたわけですから、自然と強くなりますよね。

和田　そんな比べモノにならないですよ、僕なんか！　凄い世界なんですから。

―その凄い世界に39歳になって踏み込もうと思ったのはなんだったんですか。

和田　少なからず、自分の力量を試したいっていう本音の部分もありますしね。で、いま会社がこういう状況でもありますし、なんていうか生活の糧じゃないですけど、少しでも足しになればっていう気持ちもね。

―裸一貫で稼ぐ！　男ですね！

和田　正直に言うとそれが一番なんですね。でも、やるからにはプロのリングですし、一本取りにいくか、KOするか、そういう意識でやらなきゃいけないと思ってますから。アグレッシブにいかなきゃいけないっていうのは前田さん、宮戸さんたちからも言われてたことですし。そういうつもりで上がります。

―リングス・ジャパン所属ですし、リングスファンも期待してますからね（笑）。

和田　ホントにプレッシャーだらけですけど頑張ります（笑）。でも、まだなんか違和感があるんですよね、この前の記者会見の時も和田選手って言われた時にもの凄い戸惑うやら恥ずかしいやらで。なんか今でも抵抗がありますね。大それたねぇ（笑）。

―でも、リングス・ジャパンの秘密兵器なんですけどね（笑）。

前田日明

「でも今回の相手はプロレスラーだからね、なんかインディー系の。試合以前の問題で、ビビらせたら勝つよ。スパーリングはやっているよ、エッチラオッチラ（笑）」（3月9日の山崎一夫とのトークライブより）

滑川康仁

「和田さんは最強ですよ！　前田道場でも和田さんは3分だけは最強でしたから。でも3分超えると、腹のでっかいオッサンに変わっちゃうんですよ（笑）。僕なんかも試合前にスパーリングやろうって和田さんに言われて、壊されかけたこともありますよ（笑）。僕もいろんな技を教えてもらいました。新人で和田さんを極めてたのは横井くらいじゃないですかね。あとはもう、スタミナだけですね」

横井宏考

「和田さんは力は強いし、技術もあるんで、僕なんてスタンドでもグラウンドでも歯が立ちませんから。ホント最強ですよ。スタミナに難があるだけで。アームロックだとか、ネックロック、スリーパー、フェイスロックとかなんでもできるし、立ち技のパンチもうまいし、早いんですよ。だから、アステカ選手でしたっけ？　ホントかわいそうだなぁ～と思って。僕も和田さんの試合が一番楽しみなんです！」

伊藤博之

「和田さんには肩を壊されました（涙）。今、治療してます（涙）。力だけじゃなくて骨も丈夫で、ムエタイコーチのエディさんのスネもローキックをカットして破壊してました。和田さんは本当に最強です（涙&涙）」

最強じゃないですよぉぉぉ!!
でも、子供にいいとこ見せたいなぁ（笑）

和田　勘弁してくださぁい！　笑ってください、僕の試合は。ごめんなさぁ～い（必死）。

だけど、39歳の男がどんな試合を見せてくれるのかっていうのは凄い楽しみなんですよ。

和田　だから、今リストラとか多いじゃないですか。それで39歳でこうやって恥をさらすことで少しでも元気になってくれる人がいればいいかなって思うんですよ。あとは子供たちにね、お父さんは頑張ってるところも見せたいし。でも、負けたら軽蔑されるな、とか複雑な気持ちがいろいろあるんですよ（笑）。

――だからもう無条件で応援したくなるんですよね。コクがあるんですよ。お子さんとかは会場に来られるんですか。

和田　上のお兄ちゃんなんかはお父さんが殴られてボコボコになるところは見たくないって言ってるし。「大丈夫なの父さん、技あるの？」とか言ってくるしね。（笑）。

――心配なんですね。

和田　でも、いいところを見せたいなって気持ちもありますよ。だから、いろんな気持ちが入り交じってるんで。ただ、決して浮かれた気持ちでやってるわけではないですから。

――それはさっきのただごとじゃない練習を見せていただいてよく分かります。ただ、相手のアステカ選手も気合いが入ってると思うんですよね。

和田　そうですよね。団体を率いてらっしゃる方で僕のような者との試合を受けていただいてホントにありがたいと思ってます。アステカ選手にしてみたら、ふざけるなって感じだと思うんですよ。だから、もう胸を借りるつもりでやらせてもらうだけです。

――どんな選手かご存知ですか。

和田　気持ちが強い選手で喧嘩屋で。シュートボクシングもやってたんですよね。ヤバイなっていう。僕、ホント、チキンですからね……。間違いなく当日は緊張するだろうし、頭が真っ白になるかもしれないですね。でも、やる以上は、やるかやられるかでいきます。それはもうそのつもりです。フルパワーでいきます。

――腹はくくっていると。今はよく寝れてますか。

和田　いやぁ、それが子供が朝早いんで起こされるんです（笑）。

――大変ですねぇ、お父さんは（笑）。

和田　でも、全部自分のわがままですから。出場することを許していただいた前田さんにもホントに感謝してます。

――前田さんはなんて言ってたんですか。

和田　最初、レフェリーで出るんだと思ったみたいですね（笑）。で、「選手です」って言ったら「は？　甘くないぞ」って。それから選手や関係者からいろいろ連絡いただきました。みんな心配してくれてますね。

――じゃあ、髙田さんとかから連絡もあったんですね。

和田　っていうか、ちゃんと契約書にサインした時点で前田さんと髙田さんと藤原敏男先生に連絡させていただきました。おこがましかったですけど。

――髙田さんはなんて？

和田　最初、電話した時に「どこの和田？　バーリ・トゥードをやるとか、やらないとか言ってる人？（笑）」とかって言われてしまって「勘弁してください」って（笑）。藤原先生はびっくりしてました。そしてありがたいことに「ウチに練習おいでよ」って言っていただいて。でも、それは殺されちゃうと思いましたんで。はい（笑）。髙田さんからは「家族に心配かけちゃいけないよ」って。

――そうですよね。そう言えば奥さんは止めたりしなかったんですか。

和田　いえ、最後かもしれないんだから、自分のやりたいようにやったらって。年下なのに姉さん女房っていうかねぇ（笑）。そう言ったら「私はババアってこと？」って怒られました（笑）。

――いい奥さんですね（笑）。

和田　僕は年下の金原選手や髙阪選手にもお世話になってばかりで、なんか情けない人間で。でも、しょうがないやって（笑）。

――もう、ますます応援したくなりますよ！　つくづくレフェリートンパチという（笑）。

和田　いやぁ、僕なんか、「ツルピカハゲチャビンがなんかやってるよ」って笑ってくれればいいです（笑）。

――でも、勝負する時は勝負するじゃないですか。期待してます（笑）。■

和田良覚も出没するTKのG－スクエア！

今回、取材でお邪魔させてもらったのは、ケビン山崎さんの『TOTAL　WORKOUT』というジム。その中で、TKが「G－スクエア」という総合格闘技のクラスを開講している。TK曰く、この「G－スクエア」のセールスポイントは、上下関係がなく、下の者でも上の者が忘れてしまった基本的な技術のアドバイスを気軽にできるという、フランクな雰囲気だそうである。アメリカ流の指導の仕方を吸収してきたTKの教え方は抜群。さっそく入会しよう！

◆場所/東京都港区三田4-7-24
TOTAL WORKOUT GYM内
（地下鉄南北線・都営三田線　白金高輪駅2番出口）
◆入会金/10,000円　月会費/10,000円
◆定員/60人
◆練習日/月曜日、水曜日、金曜日　18：00～20：00
◆原則として16歳以上のみ
◆塾長/髙阪剛
◆お問い合わせ/「総合格闘技塾G-スクエア」
☎03-3280-2030

このポーズは自分のシンボルマークであるライオンのポーズだとか

3・30「DEEP2001」出場決定！

噂の"かわいい怪物"

横井宏考インタビュー

昨年、8月にリングスでデビューして以来、新人離れした貫禄と強さで、"怪物"と呼ばれる横井宏考。試合では"怪物"と呼ばれる横井だが、女性たちの間からはやたらと「かわいい」との評判だ。3月30日に、和田良覚、滑川康仁とともにリングス・ジャパン所属選手として、「DEEP2001」に出場する横井に話を聞いてみた。

聞き手◎小松伸太郎

――この前の「DEEP」の記者会見に[illegible]、うちの編集部の女性陣から、ムチャクチャ人気があるんですよ（笑）。「横井君、かわいい」って（笑）。

横井 本当ですか、よろしく言っといてください（笑）。

――結構、年上の女性から、モテるんじゃないですか？（笑）

横井 年上のほうから――ありますね。

――モテるほうですもんね。

横井 モテないですよ。僕なんて絶対に「付き合ってください」と言っておいてください（笑）。

――言っておきます（笑）。まあ、それはさておいて、まずリングスが活動休止するって聞いた時はどうだったんですか？

横井 もう、真っ白になりましたね。「これからどうすればいいんだ!」って思って。でもとりあえず、2月の大会は絶対に勝とうと。勝てば、それからでも考えられるし、勝てばその後が付いてくると思うし、やっぱりプロなんで、試合に集中できなけりゃ、試合を見てもらうお客さんに悪いかなぁと思って

――なるほど。それで「DEEP」のオファーっていつ頃来たんですか？

横井 最後の試合後ですね。

――オファーが来て、すぐ出ようと思ったんですか？

横井 そうですね。試合後ケガがなかったんで。ケガがあったら考えたと思うんですけど、ケガがなかったんで。それに試合もやりたかったし。

――相手がメモ・ディアスっていうルチャの選手なんですけど。

横井 でもルチャの選手じゃないじゃないですか――

――アマレスのコーチもやっているんですよね。

横井 ビッグ[illegible]と、オリンピックに出たこともあるとは聞いていたんですけど、「世界選手権で優勝した」とか[illegible]そんなこと知[illegible]

――カレリンと闘ったこともあるっていう（笑）。

横井 はい。ダ[illegible]に勝ったこともあるって（笑）。だんだん、尾ひれっていうか、噂が大きくなってきている（笑）。

――でも年は結構上ですからね。

横井 はい。

――それと今回は、日本VSルチャの対抗戦という形ですからね。リングスがそのままだったら、こういうことはなかなかあり得なかったと思うんですよ。

横井 はい、刺激的っていうか。でも、どう考えてもルチャじゃないんですよね（笑）。プロレスもやってないし、ルチャじゃねえだろうって（笑）。

――でも、リングスの時とは、試合に臨む気持ちが違うんじゃないですか？

横井 いや、僕はもう試合は楽しんでやりたいと思っているんで。負けても自分の持っているものを出せればいいと思っていますし。

――でも、今度は一試合一試合に生活がかかってくるわけじゃないですか？

横井 僕は、負けても価値が下がらない試合をすればいいだけなんで。動いて動いて、感動する試合を。一番目立ちたいですね。光り輝きたいですね。勝っても負けても一本狙っていきたいですね。目立ちたがり屋なんで。

――それはよく分かります（笑）。さっきの写真撮影でもいろいろ注文付けて[illegible]ましたもんね。その[illegible]も目立ちますけどどうしたんですか[illegible]

▶現在は、TKがクラスを持っている「TOTAL WORKOUT」で練習を行っている横井。今後、TKとチームを組んでいくとのこと。ケビン山崎さんが経営するこのジムには、格闘家の他にも、有名スポーツ選手が通ってくることで有名！

横井　前から入れたいなぁと思ってたんですけど、やっぱり、リングスがなくなって自分が踏ん切りつけるのにいいかなぁと思って。

――前田さんがいたら、できないですもんね（笑）。

横井　はい（笑）。いろいろ意味もこもっているんですよね。日本が中心に来ているんですよ、この地球は。

――あ、本当だ。

横井　だから、日本が世界を獲るみたいな感じで。僕の頭の中では、海外の外国人を倒すために、日本人は一つにまとまらないといけないっていうのがあるんですよ。

――外国人が標的なんですか。

横井　外国人しか考えてないです。日本人とはやりたくないです。僕が言うのもおかしいんですけど、外国人と渡り合うには、日本がまとまって、切磋琢磨しなきゃいけないと思うんです。

――リングスなんか特に強い外国人選手がたくさんいましたもんね。他団体見ても、リングスは外国人だらけ、[illegible]見て、やっぱり悔しいというか。

横井　悔しいですね。日本人が負けるのが一番悔しいです。海外の試合を見ても、いっつも日本人ばかり応援しますからね。

――なるほど。それでそのライオンはなんなんですか？

横井　ライオンは力の象徴みたいな感じなんですよ。自分のシンボルマークです。ライオンが凄い好きなんですよ。

――へぇ～、ライオンが。なんで好きなんですか？

横井　百獣の王だし。昔っから、エチオピアとかでライオンって凄い聖なるものとして崇めているじゃないですか？

――そうなんですか。

横井　あとナスカの思想でもライオンって神聖なものだし。

――凄い詳しいなあ～。どこで、そんな知識を仕入れたんですか？

横井　元々、音楽とか神様系とか好きなんで、そういう本とかも好きだし。

――はぁ、音楽と神様は繋がっているんですか。

横井　僕は音楽しか趣味がないんで。遊びに行くとしてもクラブだし。

――そこで、女の子を物色しているわけですか？（笑）

横井　いやいや、僕はほとんど踊っているだけですね（笑）。ホント、音楽ぐらいしか趣味がないもんで。

――ホントですか？（笑）でも、形としてはリングス・ジャパン所属ですけど、フリー第一戦ですからね。目立ちたがり屋の横井さんとしては、入場の時とか何か考えているんでしょう？

横井　まあ、僕はレゲエが売りなんで……うーん。女の子でもいっぱいはべらかして行きますかね（笑）。

――そうやって、お客さんから、いっぱいブーイングを浴びてください（笑）。

横井　インターバルの時に、マウスピース取って、女の子の口に入れて（笑）。試合が始まったら、女の子の口からそのまま自分の口に入れてもらって（笑）。

――ワッハハハハ。それじゃあ変態じゃないですか（笑）。

横井　マッサージも女の子にしてもらって。まあ、それも面白いですけど……。やっぱり試合を見てもらいたいし。

――変態話じゃなくて、急に真面目にならないでくださいよ（笑）。「かわいい」と言われるのは秘訣があるんですか？

横井　ないですよ（笑）。べつに計算してやっているわけじゃないです（笑）。

――昔から、結構「かわいい」って言われるタイプなんですか？

横井　「かわいい」っていうか、子供っぽいって言われますよね。考え方とかが。「あんまり悩みないでしょう？」って。

――悩みはなさそうですもんね。

横井　よく、みんなから「ポジティブすぎだろう」って言われるんですよ。「幸せなヤツ」って。リングスのこともそうですけど、やっぱりいつまでも昔のことに引きずられてもね。僕は常に前を前を見ていたいんで。過去を見るよりも。でも、彼女の過去は見たい……や、それもないな。彼女募集中なんですよ。

――なんですか、いきなり（笑）。女に飢えているんですか（笑）。どんな女性がいいんですか？

横井　月のモノがあれば（笑）。年齢は問いません。ステキな方。私を癒してくれる方。癒されたいんですよ。

――癒し系の女性[illegible]

横井　でも、[illegible]んですよ。

――ちょっと[illegible]

横井　優香とかじゃないんですよ。僕の最高の癒し系は由紀さおりと安田祥子なんですよ。あの歌は癒されますよね。紅白見ても、由紀さおりと安田祥子を見てますからね。あと和田アキ子とか。好きとかに年齢は関係ないじゃないですか？

――本当に年上好きなんですか（笑）。クラブとかでよく年上のお姉さんから声を掛けられるんじゃないですか？

横井　この前、オカマの人に、手を握られて、「お兄さん、ノン気？」って聞かれましたよ（笑）。

――オカマの方からもモテるんですか（笑）。じゃあ、そのオカマのお姉さんのためにも、今度の試合頑張ってください（笑）。■

オカマの人に、手を握られて、「お兄さん、ノン気？」って聞かれましたよ（笑）

◀これが、横井が入れた刺青。ライオンに囲まれた地球の絵が彫ってある

鈴木みのると対戦決定！

“太陽仮面”が語るルチャと“セメント”

エル・ソラール

interview

初代タイガーマスク
『ティグレとはもう一度、バレ・トドで闘いたい！』

ルチャVS日本の5対5マッチで鈴木みのるとの対戦が決まったエル・ソラール。昭和・新日本に初来日、初代タイガーとも闘った47歳のソラールが、今なぜあえてVTをやるのか？　その無鉄砲さがルチャ、そして『DEEP』の面白さなわけだが、実はこのソラール、メキシコのゴッチ的存在に教えを受けた“シュート派”なのだ。

構成◎橋本宗洋

——ボクが小学校の時にTVで見ていたソラール選手がバーリ・トゥードをやるというので、凄く驚いています。今回出場を決意した理由を教えてもらえますか？

ソラール　セニョール・サエキ（佐伯代表）は信頼できるプロモーターであり、とてもユニークな人物でもある。その人柄に惹かれたことが大きいね。それに最近、『DEEP2001』のことがメヒコでは大変な話題になっているから、その好奇心もある。そしてなんと言っても、バレ・トド（VT）のスリルを味わいたいんだよ。

——『DEEP』ではドス・カラスJr選手とカネック選手が勝っていますが、2人の試合は見ましたか？

ソラール　もちろん見たよ。ドスJrはプロレスラーとして、スープレックスで勝つという、どんな選手もやっていないようなことをやってくれた。本当に素晴らしいね。カネックも、少し準備期間が足りなかったようだが、その中で最高の結果を出したと思う。彼らはルチャの誇りだよ。

——今回の出場は、ドスJr選手とカネック選手に影響された部分も大きいんじゃないですか？

ソラール　いや、決してそんなことはない。彼らの活躍は認めるが、私は私なんだよ。私がバレ・トドをやるのはスリルと好奇心のためだ。

——今、ルチャドールの間でVT熱が非常に高まっているという話をよく聞くんですけども、その理由はなんだと思いますか？

ソラール　理由は分からないけど、バレ・トドをやりたがっている選手が増えているのは確かだね。今日も控室でビジャノ4号が『自分も『DEEP』にぜひ出てみたい』って言ってたよ。

——ソラール選手は今年47歳ですけども、その年齢はかなりビハインドになりませんか？

ソラール　それは違うと思うね。現に私は若い頃よりコンディションがいいくらいなんだ。それに若い選手にはないものを持っているしね。

——というのは？

ソラール　経験だよ。これはばかりは長い年月を経ないと手に入れることができないものだ。ファイトも恋愛も、今が華だよ（笑）。

——アハハハハ！　いいですねぇ〜。ところで日本に来るのは何カ月ぶりですか？

ソラール　去年の11月に行ったたから、4カ月ぶりだね。もちろん、バレ・トドの試合をしに行くのは初めてだけども。

——日本での試合で特に印象に残ってい

るのは誰との試合ですか？
とはもう一度対戦してみたいね。それも
ですか？
うよ

EL SOLAR INTERVIEW

ルチャドールにとって最も大切なのはアマレスとセメントの強さなんだよ

るのは誰との試合ですか？
ソラール どれも印象深いものばかりで、全部覚えているよ。ただ一つ挙げるとするなら、やはりティグレとの試合になるだろうね。
――ティグレ……（初代）タイガーマスクですね。あの試合はボクもTVで見ました。
ソラール あれが私の初めての日本遠征だったんだ。
あの試合は、とても不可解な終わり方でしたよね、あなたが肩を負傷して。あの時、実際にはリングで何が起こったんですか？ リング外でのもめ事があったって噂もあるんですが。
ソラール ……ティグレとは何の前触れもなく、いきなりリングで向かい合うことになったんだ。だから試合が非常にギクシャクしたものになった。自然とセメント的なものになって、お互い感情的になってしまったんだ――。できれば、彼とはもう1度対戦してみたいね。それもバレ・トドで。
――佐山さんとVTですか！
ソラール 彼は今、何をしてるんだろう。もう引退してしまったのかい？
――プロレスラーを辞めた後はシューティングという総合格闘技を作って、今は掣圏道という武道をやってるんです。最近まで、時々はプロレスのリングにも上がってましたけど。去年の夏は選挙にも立候補したんですよ。
ソラール なに、政治家を目指しているのか？
――でも初代タイガーVSソラールのVTって見たいなあ。VTは今、世界中で流行してますけど、メキシコのファンにも浸透してるんですか？
ソラール 正直なところ、これからといった感じじゃないかな。でも「DEEP」はかなり浸透しているし、もっと広まっていくと思うよ。
――VTファイターで知っている選手はいますか？
ソラール あまりたくさんの選手は知らないんだ。やはり「DEEP」に出ている選手が多いね。パウロ・フィリヨ、ムラハマ、それとヒクソン・グレイシーは別格だろう。[illegible]手だと思う。
――もしかして闘ってみたいとか？
ソラール チャンスがあればね（笑）。
――かなり昔から、メキシコでもVTの大会が行われていたそうですけど、どんな大会だったんですか？
ソラール その頃の大会はあまり大きな規模じゃなく、アマチュア的なものだった気がする。リッキー・ロメロという選手はとても強かったね。メヒコでのバレ・トドは、これから「DEEP」によってルールやシステムが整備されていくんじゃないかと思うね。
――では今はVTの大会はどのくらいのペースで開かれてるんでしょうか？ ルチャドールも出たりするんですか？
ソラール 2カ月か3カ月に1回はTVでもやっているよ。「DEEP」のメキシコ大会が開催されることになれば、今よりもっとたくさんのルチャドールが喜んで出ると思う。
――ルチャドールは、特に若い頃にVTの経験を積むらしいですね。ソラール選手もやったことがある？
ソラール もちろんさ。もう数え切れないくらいやってきたよ。
――結果は？
ソラール 一度も負けたことはないね。
――おお！ [illegible]ある意味、今回の「DEEP」出場も特別なことではないと？ [illegible]日本では、プロレスラーがVTの試合に出る時は、[illegible]もと別物とか[illegible]で、勇気とか、覚悟とか[illegible]た言葉が付き物なんですけど[illegible]
ソラール ルチャドールは、そんなことは関係ない[illegible]ルチャであろうとバレ・トドであろうと、闘いにおけるス[illegible]ルという面では同じことじゃないかと思うよ。
――ああ、やっぱり肝の据わり方が違うんですかねえ。そういえばルチャにはプロテストがあって、セメントの強さを見る試験もあるらしいですね。
ソラール そう。内容としてはアマレス、インテルコレヒアル（セメント）、ルチャ・リブレ、コンディショニング、フィジカルコンタクト、それに空中戦など、細かい試験があるんだよ。
――日本でのイメージからすると、「ルチャ＝楽しいプロレス」という感じで、あんまり格闘技とかセメントとか関係ないような感じがしてたんですが、それは違うんですね。ルチャドールとしての人気や評価には、セメントの強さも関係あるんですか、やっぱり。
ソラール セメントができないルチャドールは、決して評価されることがないだろうね。本来、ルチャドールにとってはまずセメントの強さありきなんだよ。セメントができるようになって初めて、リング上で見せるルチャの動きを学ぶ段階に行けるんだ
――素晴らしいですよ、それは！ いや[illegible]、ストロングスタイルって、メキシコに残ってたんですねえ。
ソラール ルチャのプロライセンスでも、意外かもしれないが重要視されているのはアマレスの技術とセメントなんだよ。派手な動きはあくまでその後だ
――ルチャのリングでセメントの試合になることもあるんですか？

◀佐伯代表と同席して出場契約書にサインするソラール。後ろにいるのはルチャ・リブレ協会のエル・ファンタスマ会長。「年齢もあるんでソラールを出すのはやめようと思ったんですけど、目が訴えかけてきたんですよ（笑）」と佐伯代表

…C、日本でもPPV生中継!!

DEEP 2001 3・30 名古屋大会 最新情報

EL SOLAR INTERVIEW

▲試合へ向けてスパーリングに余念がないソラール。ルチャとガチンコは決してかけ離れたものではない

ソラール それは私も20回くらい経験がある。多いのはやはり地方のレスラーやアメリカ人、パナマ人といった外国の選手だね。

――ああ、外国の選手ほどもめ事があるんでしょうね。それに制裁を与えるというか。

ソラール まあ、あまり大きな声では言えないけどもね。たしかにそういうことはあるよ。

――控室でもケンカがよくあって、中には刃物や銃が出てくることもあるとか。

ソラール そうなんだ。地方の会場が多いんだけども、中でもピスタ・レボリューションという会場の控室はナイフやピストルが出てくるんだよ。殴り合いなんかはしょっちゅうだし。でも他のレスラーが止めるから、そう大ごとにはならないけどね。

――それだけ物騒なら、セメントの強さも重要になりますよね（笑）。

ソラール そう、メヒコじゃ強くなければ生きていけないのさ。

――ルチャでセメントが強い選手というと誰ですか？

ソラール 古くはフランコ・コロンボという選手。それから有名どころではブルーパンテル、ビジャノス、ブラソ・デ・プラタ、それとショッカーも強いね。

――ソラール選手の、ルチャ・リブレ以外での格闘技経験には何がありますか？

ソラール ルチャ・オリンピコ（アマレス）をやってたね。

――あなたの師匠のディアブロ・ベラスコという人は、メキシコのカール・ゴッチというか、シュートスタイルが得意だったんですよね？

ソラール そう、ディアブロというマエストロ（先生）がいたから、私はここまでになれたんだ。あんなに強くて厳しい先生は他にいないね。後にも先にもまったく歯が立たなかったよ。

――どんな練習だったんですか？

ソラール とにかくレスリングとセメントの闘い方をみっちりと仕込まれた。中でもトンプリ、マロマ、クェ[illegible]エチョンという4種類のトレーニングがハードで、それだけで2～3時間かかったよ。

――じゃあその基礎は、今回の試合でも役に立ちそうですね。

ソラール もちろんだ。闘いの準備は万全だ。いろいろと考えていることはあるよ。

――というと作戦はもう立てている？

ソラール だけど今はシークレット（秘密）だよ。

――分かりました。ところで今回のルチャ軍団「ロス・グラディアドーレス」は、EMLLとAAAという普段は敵対している団体の連合チームですよね。よくそんなことが可能だと、ルチャ通の人は驚いてるみたいです。

ソラール そうだろうね。でもバレ・トドは個人の闘い。ルチャとは違って、ある意味で孤独なものなんだ。だから普段のことは忘れて、チームとしてはメキシコ代表として団結してるんだ。みんなで力を合わせて、今度の大会に向けて頑張ってるよ。

――この雑誌でも最近「ジャベ（ルチャ式関節技）」の取材をしてきたんですが、VTでもジャベを使えますか？

ソラール バレ・トドでジャベを使うのはたしかに難しいと思う。しかしジャベはメヒコの誇りでもあり、決して不可能なことじゃない。相手が守りに徹するようなことがなければ、できると思うね。

――ソラール選手はどんなジャベが得意なんですか？

ソラール [illegible]という技だよ。今度の試合でも披露できると[illegible]ね。

――相手の鈴木みのる選手のことは知っていますか？ ビデオは見ましたか？

ソラール いや、知らないし、あえてビデオも見ないつもりだ。自分の持っているものさえ出せれば勝てると思っているからね。

――じゃあ一つだけ情報を。鈴木選手はかつてのアントニオ猪木さんの弟子なんですよ。

ソラール そうなのか！ じゃあかなり手強い相手と思っていたほうがいいね。イノキさんの弟子はみんなハートもテクニックもあるから。

――どんな展開になると思いますか？

ソラール まったく分からないけど、とにかく激しくていい試合がしたいね。

――では最後に、日本のファンにメッセージをお願いします。

ソラール いつも日本に行くと大勢のファンが応援してくれて、とても感謝しているよ。今回はバレ・トドでの試合だけど、ルチャのファンを悲しませない結果を出すように頑張ろうと思っている。みなさん、ぜひ会場に来て、私の試合を見てほしい。たくさんのファンが集まれば、セニョール・サエキのとびきりのホクホク顔も見られるからね（笑）■

バレ・トドでジャベを使うのは決して不可能なことじゃない

PROFILE

エル・ソラール
EL SOLAR

1955年5月25日、メキシコ・ハリスコ州出身。名門ディアブロ・ベラスコ道場で雑用係をしながらルチャを習得した苦労人。日本でも"太陽仮面"のニックネームで人気に。特に初来日の81年9月23日、田園コロシアムで行われた初代タイガーマスク戦はあまりにも有名。メキシコでは「ナショナル世界タイトル」も奪取。昨年8月の「DEEP」に出場したカトー・クン・リーとは親友であり、今回は念願かなってのVT出陣となる。

UFC、日本でもPPV生中継!

WOWOWが独占放送権獲得

格闘技TV戦争の行方はどうなる!?

5月5日には5時間特番も!

ついにVTの元祖、UFCのオクタゴン・ファイトが定期放送。しかも5月からは生中継だ!

▲3月8日に行われた記者会見。左からWOWOWの崎山修・プロデュース局スポーツ部課長、内藤敏雄・同取締役編成局長、マッハ、坂本一弘修斗協会会長。「グループ全体でUFCを盛り上げていきたい」(内藤氏)と、今回の放送開始にかなり力が入っている。独占放送権獲得には、これまでWOWOWがマイク・タイソンをはじめとした海外のボクシング中継を長年、手掛けてきたことも大きかったとか

リングスの放送が打ち切られたと思いきや、すぐさまUFCの独占放送権を獲得してファン・関係者を驚かせたWOWOWが、3月8日に記者会見を行った。これはUFC中継「UFC―究極格闘技―」の放送概要発表と3・22「UFC36」に出場する桜井"マッハ"速人の参戦直前会見で、マッハのほか日本修斗協会の坂本一弘会長、WOWOWの内藤敏雄取締役編成局長、崎山修プロデュース局スポーツ部課長も出席。

視聴者から反響、問い合わせが殺到しているというWOWOW。実際、かなり力を入れた形での放送となる。放送開始はマッハ出場の3・22ラスベガス大会で、4月14日午後6時～8時に録画中継。そして今回の発表の目玉は、「UFC37」からのPPV生中継の決定だ。

「UFC37」は5月10日(日本時間11日)、ルイジアナ州での開催が予定されているが、現地で放送されている映像をそのまま日本でも生中継(日本語実況なし)することになる。これは4月1日からサービス開始となる、スカパーに続く新たなCSデジタル波「プラットワン」内のチャンネル「CS―WOWOW」での放送で、視聴料は『プライド』と同じ2000円。さらに生中継の翌日には、日本語実況つきバージョンを従来のBSチャンネルで中継する(翌週にもリピートあり)。

また5月5日には、午後3時～8時のなんと5時間にわたって、「UFC30～35」の名勝負集もオンエア。現地取材を敢行、注目選手のインタビューも交えた「これを見ればUFCの全てが分かる」(崎山氏)注目のプログラムだ。

これまで格闘技イベントのPPVといえば「プライド」が有名。今回のUFCのPPVはスカパーVS新興プラットワンという側面でも気になるところ。生中継でもCSでのK―1中継、テレビ朝日での新日本ドーム大会などがあり、これらの強力な番組群にWOWOW、そしてUFCがどこまで食い込めるか。以前からファンのニーズが高かったUFCだけに、大きな注目を集めそうだ。■

▲UFC初参戦でマット・ヒューズとのウェルター級タイトル戦が決まったマッハ。会見では「ま、一言で言うと"頑張ります"。相手のイメージは"牛"なんで、自分は"犬"で闘います。特にワクワクはしてないですね。普通に、はい」とコメント

◀解説を務めるのは中井祐樹。実況はリングス中継でもおなじみだった高柳謙一氏だ

UFC主催「ズッファ社」ダナ・ホワイト社長からのメッセージ

「私たちアルティメット・ファイティング・チャンピオンシップは、WOWOWのみなさんとともに仕事ができることを大変光栄に思っております。日本はMMA、いわゆる総合格闘技のリーディング・マーケットであり、日本のファンは世界で最も格闘技に精通しているということも私たちはよく知っております。UFCの国際的なブランド力をさらに高めていくためにも、両者の良好なビジネスパートナーシップが末永く続くことを願ってやみません」

「UFC―究極格闘技―」4、5月の放送予定

★4月14日(日) 18:00～20:00
3・22「UFC36 Worlds Collide」

★5月5日(日・祝) 15:00～20:00
「UFC―究極格闘技―スペシャル 2001～2002ベストバウト5時間一挙放送」

★5月11日(土) 衛星生中継
5・10(現地時間)「UFC37」
※プラットワン「CS―WOWOW」でPPV

★5月12日(日) 22:00～24:00
5・10「UFC37」

前田日明VS山崎一夫トークライブ！ in 横浜BAY HALL

リングス活動休止後初めて、前田日明が姿を見せた！

リングス活動休止後、動向が注目されていた前田日明が、かつてのUWFの同志である山崎一夫のトークライブに姿を現した。山崎が引退して以来、久々に顔を合わせた2人だが、新日本プロレス時代の思い出話などで、トークは大いに盛り上がった。ここでは、トークライブの模様をほんの一部だがお送りする。

撮影◎山口日佐夫　取材&構成◎小松伸太郎

〜UWFのテーマにのって山崎一夫が登場〜

山崎 こんにちわ。たくさんいらっしゃってますね。え〜、本日のゲスト。今日は記念すべき第1回、みなさん歴史の証人になるわけです。マスコミの方もいらっしゃっているようですが、東スポの方がいらっしゃったら一番後ろのほうに。特に深い意味はないんですけど（笑）。え〜、本日のスペシャルゲスト、リングス代表前田日明さんです。

〜キャプチュードにのって前田日明が登場〜

山崎 お久しぶりです。

前田 お久しぶりです。なんか整体師やっているくせに、腰の悪そうな歩き方してんね。

山崎 人のをほぐすばっかりなんで。時々自分でも何が本業なのか分からなくなっているんですけど。リングスの代表でいいんですよね？ 今、ちょっとお休みしているだけで。

前田 リングス代表、元UWF選手、元新日本プロレス選手みたいなもん。

山崎 みたいな。前田さんが、「●●みたいな？」なんて言うとは思いませんでしたけど。僕の引退の時以来ですよね？

前田 はい。

山崎 そうですね。で、今日、掃き溜め二人で心許ないんで、お話に参加していただくお手伝いの方、山本しおりさんです。掃き溜めに咲いた一輪の白いバラ。

山本 何をお手伝いできるか分からないんですけども、よろしくお願いします。

山崎 側にいていただければ。え〜、なんの話から始めましょうか？

前田 なんでもいいよ。（と、キョロキョロ何かを探し始める）

山崎 どうしたんですか？ あ、葉巻。葉巻いまだにやっている？

前田 そう、オッパイと葉巻は吸わないとね。

〜場内爆笑〜

前田 死んだおじいさんの遺言で、「男の子はね、体に悪いことをしちゃいけない。タバコはね、ケミカルだからダメだよ。ナチュラル指向の自然100％のものにしなきゃだめだ。だから、吸うのはオッパイと葉巻だけにしなさい」って。「はい、おじいさん！」。

山崎 ええ、今日はトークライブで良かったなぁと思います（笑）。

山本 やっと用意もできたことなので、お二人の出会いをちょっとうかがいたいと思うんですけど、どういう形でどこで出会ったんでしょうか？

前田 あのう俺が（新日本プロレスの）寮長をやっている時に、彼は高校生だったのね。ある日、日曜日ね、パッと見たらね、道場でドッタンバッタンやっているの。高校生が、ワイワイ騒いでいるんだよ。「お前ら何やってんだ！」って言ったら、「い、いや、山本（小鉄）さんに練習していいって言われたんで」って。

山本 それが一番最初の？

山崎 こんな饒舌な言い方じゃなくて、下からこうやって、「お前謝るんか、俺と勝負するんか、どっちや！」って。

〜場内爆笑〜

山本 迫力が凄かったんじゃないですか？

山崎 もうね、今よりは細身の感じでしたけど、ずっと空手やってきている人ですし、おっかなかったですよ、やっぱり。

山本 じゃあ、同じ舞台でトークライブするとは思わなかったんじゃないですか？

山崎 思わなかったですけど、とりあえ

前田 （胸を指しながら）ここなんて言

脱いだら凄いんでしょ？

ずトークライブを今回する時に、記念すべき第1回のゲストは誰にするべきかと。これは前田さんをおいて他にいないじゃないですか。

〜場内拍手〜

山崎 それで、僕が入門するんで、姉貴の車で荷物を運んでもらって、僕が部屋で布団とか着替えを開けている時に、姉貴が合宿所の前の所で、「よろしくお願いします」って言ったら、前田さんがバーッと走ってきて、「お姉さん、お茶飲みに行きませんか！」って（笑）。いきなりですね、人の姉貴をナンパしたという寮長。

山本 本当なんですか？

前田 お姉さん、凄い美人なの。

山崎 覚えているんですか？

前田 覚えてる。こういうような髪型で。「JJ」って感じね。

山崎 「JJ」（笑）。

山本 ちょっと意外な一面を見たという感じですよね。

山崎 アッ！ もう一つ！ 道場出て、角の所の……。

前田 チェルシー。

山崎 チェルシーのエミコちゃんでしたっけ？ もう用もないのに、練習が終わると、前田さんに毎日、必ず連れて行かれるんですよ。べつに何を話すわけじゃないんですよね。

山本 毎日ですか？

前田 毎日。毎日行ったね。俺が勝手に作ったメニューで、レモンロックってあるんですよ。レモンの汁をグラスに搾ってもらって、それに氷入れて。

山崎 僕なんかね、ソーダ水かなんかですよ、毎日。

山本 付いていったっていう感じなんですか？

山崎 連れて行かれた。拉致監禁ですね。そこのマスターに騙されて英語の教材買わされたんですよね。

前田 そうそう。

〜場内爆笑〜

山崎 お金戻ってこなかったでしょう。前田さんに「買え買え」って言われて。そう言えば、前田さんはどこで英語を？

前田 イギリスで。

山崎 イギリス仕込みですよ。

山本 それはちょっとカッコイイですよね。ステキですよね。

死んだおじいさんの遺言で、「吸うのはオッパイと葉巻だけにしなさい」って（前田）
ええ、今日はトークライブで良かったなぁと思います（笑）（山崎）

前田 （胸を指しながら）ここなんて言うの？ 「ボトム」（笑）。

山崎 こんな人なんです（笑）。で、銀座はいつ飲みに連れて行ってくれるんですか？

前田 いつでもいいよ。

山崎 こういうふうに言う時は、ダメなんです（笑）。自分の治療院にも1回電話があってね、「腰もう、ダメだ」って。「じゃあ、時間決まったら電話してください」って言ったら、「ダメだ、行けなかった」ってそれっきり（笑）。

山本 じゃあ、今でも行かれてないんですか？ でも山崎さんは勉強されて、治療院を開業なさって、体のことお分かりだと思うんですけど、そういうのを知ったうえで選手のことを考えるとかえって恐くなることってありませんか？

山崎 僕もそうですけど、前田さんも体のことは詳しいですよね。（山本しおりさんを指しながら）どうですか、こういう感じ？

前田 う〜ん。ちょっとね、オッパイとお尻とちっちゃいかな。

山崎 出ましたよ、皆さん（笑）。でも、脱いだら凄いんでしょ？

山本 そうですよ、意外と凄いかもしれないですよ。

前田 （お腹のあたりを指しながら）脱いだら、この辺まで毛が生えているんじゃないの？ 前にあったんですよ。脱いだら凄いって言われて、たしかにオッパイは大きかったんだけど、この辺まで毛が生えていて、「ヒエー」って（笑）。北京原人の来襲みたいな感じ。

山崎 脱いだら、北京原人ですか。って言うか、前田さんのそっち系の話多いですからね。血みどろ事件。酔っぱらって、翌朝起きて、歯を磨こうと思ったら、へそからしたが真っ赤なんです。

山本 え、なんだったんですか？

山崎 ね！ そういう女性のたまたま当たりの日。

〜場内爆笑〜

山本 じゃあ、ちょっとまた選手の頃の話に戻って。

前田 デビュー間近だったんですよ。藤原さんが来て神妙な顔して、「お前はもう逃げないと思うから話すよ。デビューする前にどうしてもくぐり抜けなきゃいけ

ない儀式があるんだ。実は、お前掘られなきゃいけないんだ」。「掘るってなんすか？」って。

山崎　18ぐらいの子供ですからね、まだ分からないんですよ。

前田　で、藤原さんが「好きなヤツでいいから、お尻を出せ」って。「ウソでしょう！」って言ったら、「そんなことない。実はアントニオ猪木と坂口征二と山本小鉄は三角関係なんだ」って。

〜場内爆笑〜

前田　でね、「ストロング小林さんが、藤波さんを狙っている」って（笑）。ちょうど猪木さんがそこを通りかかって、藤原さんが猪木さんを見て、「社長そうですよね、例の儀式」って。それはプロレス界の伝統的なからかいだったの。で猪木さんも分かっているから、「そうだよぉ、藤原のケツはよく締まって良かった」って。

〜場内大爆笑〜

前田　で、ある日、洗濯から戻ってきて玄関を開けて、パッと見たら「マコっちゃん」、「アキちゃん」ってなんか妙な声が聞こえるんだよね。それでパッと見たら、藤原さんがパンツを半分脱いで、荒川さんが四つん這いになっているんだよ。それで目が合ってさ、「お前男だったら、覚悟を決めろ」と言われて。「まあ……、いいや」と思って（笑）。

山崎　いいやと思うところが普通の人と違いますよね。

前田　で、「どっちがいい」って言うから、「じゃあ、藤原さんで」って。

〜場内大爆笑〜

山崎　それをまた自分が被害にあったもんだから、髙田さんにやったんですよ。前田さんとヒロ斉藤さんと。

前田　髙田はね、俺でいいって言ってくれたんだよ（笑）。

髙田はね、俺でいいって言ってくれたんだよ（笑）（前田）
そんな嬉しそうに言わなくても（笑）（山崎）

〜場内大爆笑〜

山崎　そんな嬉しそうに言わなくても（笑）。まあ、やっぱり皆さん気にしているのは、今後のリングスですね。

前田　年末っていう面白い時期にこういうことになったんで、時間はたっぷりあるんですよね。こんなことすることによって日本のスポーツ界全体が凄い変わるのかっていうのを思いついたんですよ。

山崎　また一回りも二回りも大きくなったリングスを見られるんじゃないかと思うんですけど、今までとまた違う前田さんを見せてくれると思いますから、前田さんのご活躍を期待して、今日はこれで終わりますが、よろしいでしょうか？

山本　最後に前田さんのほうから一言。

前田　坂本龍馬が今の俺にピッタリの言葉を言っているんだよね。「世の人は、我が成すことを言わば、言え。我が成すことは我のみぞ知る」。それを励みの言葉として頑張りたいと思います。

〜場内拍手〜■

▶トークライブ終了後、山ちゃんTシャツを買った人を対象としてサイン会が開かれた。前田も山ちゃんTシャツにサインをしていた。なぜだ？

トークライブ後の前田のコメント

――選手たちはどうするんですか？

前田　選手のブッキングをやっているからね。ネットワーク内とネットワーク外と。

――ロシアの選手はアメリカに？

前田　まあ、日本もアメリカも両方だね。「プライド」はない！　●●●の片棒は担がない。

――やっぱり限定されてしまいます？　「DEEP」とか。

前田　そうね、「一撃」とか。今度松井館長と会って話したいと思います。結局、極真が最強とかを目指しているからね。総合格闘技でやりたいっていう選手がいるんで。それで協力できることがあったら、技術的なことでも、選手の貸し借りとか招聘にしても。アメリカも行くんだけど、鉄砲振り回して人を脅そうとするヤツがいるんで、ちょっと技術がいりますけどね。

――チャンピオンって、そのまま残っている形でいいんですか？

前田　残っているよ。ネットワークも残っているしね。で、みんな自分たちで興行やっているから。バルト三国は新たに認可したんだけど、リングス協会作りたいからって言うからね。視察とかもね、近々行くよ。いずれにしても年内はちょっと回ったりしないと。

――新しいリングスなんですけど、興行が先なんですか？　それともまた別の？

前田　興行は様子を見ながら、徐々にだね。年内の興行は、今のところ考えてないね。

――新しい行動を起こすにあたって、現在のリングスの会社をそのまま使うんですか？

前田　そのまま使うよ。そのまま使うけど、社名はちょっと変わるけどね。

――あとは田村選手の試合については？

前田　それはさっき言ったことに全部集約される話で。興行の鉄則で、自分の国の選手っていうのをある程度マッチメイクでいろんなことを考えて大事にしていかないと、競技っていうのは衰退する。10カ月のブランクというのを、その意味を全然分かってない人がマッチメイクしているんで、それはちょっといかがなものかなぁと。でも、素人がやっているからしょうがないでしょう。

――試合はご覧になりましたか？

前田　見てないけど、聞いた話によると、ああもう、案の定だなぁって。反応が遅いし、スピードがないような。

――田村さんから報告とかありました？

前田　試合前にちょっと電話で話した。

――試合後は何か話されましたか？

前田　相手がどうのって言っても、ちょっとかわいそうだし。それはもう。

――田村さんがアマチュアの大会を開催するみたいですけど、リングスとしては？

前田　リングス自体はアマチュアの世界大会とかが、一番最初に来るんじゃない。プロの興行の前に。世界大会をやろうかっていう直前に休止になったからね。

――あと、新日本のドームというのもあるんですけども、招待って形で？

前田　それは未定。なんかうちが信頼していた部分でやっていたんだけど、あとで考えてみたらちょっとなんか話がおかしいなって感じているんで。

――試合については、シュートボクシングと「プレミアム・チャレンジ」にリングスの選手が出るという話があるんですけど。

前田　シュートボクシングって資金があんまりないんでね。いろんな選手オファーして出したいんだけど、やっぱり現状で言うと、リングスが今までネットワークの管理料が入った部分で、少々安くても無理を言って引っ張って来れたんだけど、それがないからね。

――5月のNKホールでやる「プレミアム・チャレンジ」は？

前田　いろいろオファーしてみて、話は少しは進んでいるからね。出るね、何人かは。

――やっぱりロシアの選手とかも試合に出たいから、オファーしてくれとかって来ますか？

前田　してくれとか、してくれないっていう問題じゃなくて、責任の問題だからね。自分がこういう世界に入れといて、自分になんかあって、万歳しちゃって、あとは知らねぇよなんて、できないからさ。やっぱりちゃんとやることやんないといけないし。■

自分がこういう世界に入れといて、あとは知らねぇよなんて、できないからさ

猪木、12日の記者会見を前に謎の沈黙

「ンムッフフフフ（笑）」

3・10 猪木緊急帰国 気になる世界戦略とは？

「この次に帰って来た時は、世界が猪木を追っかけ回す状況になるよ。ンムッフフフフ」と意味深なメッセージを残し、2月下旬にパラオへ飛び立った猪木が、3月10日、日本に帰国した。新日本プロレス離脱騒動、そして蝶野正洋に現場監督が委任されてから約1カ月。蝶野新体制で動いている新日本をどう見ているのか？ また先日大成功を収めたWWFの興行は猪木の目にどう映ったのか？ そして、猪木が残した謎のメッセージの意味とは？ 成田空港をあとにしようとする猪木を記者陣が取り囲み、次々と質問をぶつけてみたが……。

――今回はどれくらい滞在される予定なんですか。

猪木 12日に記者会見やるんでね、それ次第で――まだ予定のほうはなんとも言えないなあ。

――3月21日に新日本プロレスの東京体育館大会がありますけど、それに蝶野選手がぜひ猪木さんに来てもらいたいと言ってますが。

猪木 まぁ、時間があればな。これも12日の記者会見次第になるな。

――時間がつけば行かれるんですか？

猪木 んー、まぁ、時間がつけばね。

――猪木さんがいない間にですね、蝶野新体制のもと、5月2日の新日本30周年記念東京ドーム大会に小川直也選手と橋本真也選手がリングに上がるのでは、という話が出てますが。

猪木 まぁ、好きにやればいいよ。ある意味ではみんな萎縮してたものを思いっきり表に出してさ、思ってたことやりゃいいよ。そりゃいろんなことがあるかもしれないけど、彼の世代だったらそれが可能だったりするんだろうしさ。

――猪木さんは、5月2日の新日本プロレス30周年記念大会には、全面的に協力されるのですか？

猪木 んー、ま、要するにさ、根本的な部分というか、蝶野なんかもそれはたしかに経験の中ではものが一部言えるけど、まだまだ足りない面もあるわけだよね。いろんな興行であるとか、切符をどうするかとか。もっと言えば、テレビのプロレス中継復興を含めてこれから考えなきゃいけない。前から言ってるけど、それが今まではなかなか実現しなかった部分もあるんでね。そういう意味でも、アドバイスはしますよ。ただオレには、もう関わってる暇がね〜んだよ（笑）。

――12日の記者会見にはぜひ来てくださいよ。世界中が来ますよ。それ、全部ね。

――具体的に記者会見では、どういったことを発表されるんですか？

猪木 ンムッフフフフフ（笑）。それは12日発表しますよ。それこそ世界中を走り回らなければならない状況になっちゃうでしょうね。ハッハッハッハッハ。ま、新日本に関して何度も言ってるようだけど、ホントに今回の一連の騒動は新日本にとっていい機会なわけだしさ。いろんな部分で、今の国会と一緒でさ、なかなか改革が進まなかったけど、これで少しはいろんな部分で動き出すんじゃないの。

――その新日本プロレスが5月2日の東京ドーム大会に、各団体に試合を提供してくれということで、新聞とかメディアを通じて試合を公募するということを先週会見して発表したんですが、そういうアイデアについてはどうですか？

猪木 かつてニューヨークのリングに上がることが一つの憧れの時代があったけど、それと同じようにね、新日本のリングに上がれることが憧れであったり、逆に言えば新日本の中にいる人間がそのありがたさを分かんないで、外にいる人間のほうがよく分かってたりするんでね。だから、それもいいんじゃない。常識破りというか、常識的なことじゃつまんないから、もっと面白いこと考えてくれりゃいいよ。

――永島勝司取締役企画宣伝部長が新日本を退社されたんですが、そのことについては。

猪木 べつにコメントはないねぇ。あの一連のずっと流れの中で、一番いい形で退社して、それ以外になるともうちょっとややこしい問題になるだろうから、それはそれでいいんじゃないですか。

――WWFの成功っていうのは気になられます？ かなりの大成功でしたが。

猪木 だから1回は成功するよって言ったじゃない。1回は。今、日本のファンの流れも変わってきてるというか……。そういう意味で、ファンをもとへ戻すためにも新日本として、原点に帰るものをもう一度キチンと打ち出さなければならない。アレもコレも、みんなお客さんから見たら同じプロレスでしょ。WWFにしろさ。その違いっていうのは……。まぁ、それは今回日本にいる間に話しますよ。それよりも記者会見に期待していてください。さまぁみろっ！ってことになりますから。ンムッフフフフ（笑）」

と言い残し、猪木は車で成田空港をあとにした。■

パンクラス近藤、新たな舞台へ

5・6NK『プレミアム・チャレンジ』は新機軸満載のリアル『死亡遊戯』か!?

取材・構成◎橋本宗洋

こんな選手も出場……？

▶5・6『プレミアム・チャレンジ』に出場が決定したパンクラスの近藤有己と石井大輔。2月27日の記者会見では、それぞれ「自分を食って名を上げてやろうという選手と闘いたい。ヒジありルールも楽しみ」（近藤）、「殴り合いができる相手とやりたい」（石井）と抱負を語った

『PREMIUM CHALLENGE』概要

- 強者の象徴「プレミアム」を守る“ガーディアン”と、それに挑む“エクスプローラー”の闘い。
- 試合はスタンダードルールと、素手で顔面パンチなしの「F&G」ルールの2種類。双方ともポイント制あり。本戦10分、延長3分でも決着がつかず、ポイントにも差がない場合は「オーディエンスジャッジ」を行う。
- “ガーディアン”対“エクスプローラー”の闘いは団体戦でもあり、トータルの獲得ポイントが多いチームが勝利となる。
- 会場には“ガーディアン”、“エクスプローラー”それぞれの応援席を設置。どちらかを選んで「闘票券」と呼ばれるチケットを購入できる。勝者チームの応援席に座った観客にはプレゼントあり。

▲大会を主催する（株）パルテノンの趙顯夫代表。パルテノンは大会の開催とともに選手のプロモートも行っており、禅道会の秋山賢治もパルテノンのプロモートでパンクラスに参戦している

パンクラスの近藤有己が、新しい闘いの舞台へ踏み出すことになった。5月6日、東京ベイNKホールで開催される新大会『プレミアム・チャレンジ』だ。主催はヤマケンの「クラブファイト」を手掛けたパルテノン。実力に加えスター性、説得力、期待感といった抽象的概念の象徴「プレミアム」を守る、既に実績のある選手“ガーディアン（守護者）”と、今後の活躍が期待される“エクスプローラー（探究者）”の闘いという設定のもとで試合は行われる。近藤と石井は“ガーディアン”としての出場だ。未知の強豪の発掘という意味では「クラブファイト」の拡大版であり、攻める者と守る者という図式はブルース・リーの「死亡遊戯」やシュワルツェネッガーの「バトルランナー」っぽくもある。

詳しくは別表にまとめてあるが、この大会には新機軸が満載。最終的な決着には、レフェリー、ジャッジとは別の識者・関係者があくまで主観で判定を下す『オーディエンス・ジャッジ』を採用。技術ではなく、どちらが目立ったか、光ったかで勝負が決まる。また“闘うのは、選手だけじゃない”をキャッチフレーズに、ファン参加型のイベントを展開。観客は“ガーディアン”か“エクスプローラー”どちらかの応援席を選んで購入できる仕組みになっている。

出場選手に関しては、近藤と石井以外は未発表。だがJTCなどを通じて幅広いコネクションを持つパルテノンだけに、禅道会、そしてリングス・ネットワークからの出場もあるという。近藤は今年に入ってからグラバカの若手、ルチャ戦士、そしてこの『プレミアム』と、受けて立つ立場の試合が続く。「UFCや『プライド』などで自分の名を高めるための試合にも挑んでほしいが……？」「その気持ちもなくはないけど、今は組まれた試合をやっていきます。4月の『プライド』も、言われれば出ますよ」と近藤。相変わらずのマイペース、そしてタフネスぶりだが、この男を食ってしまうような存在の発掘こそ『プレミアム』の意義となるのだろう。■

TOPIC!

パンクラス、テレ東で放送開始！

パンクラスの地上波放送が決定！4月2日よりテレビ東京で「格闘Xパンクラス」（仮題）が放送されることになった。単一団体の地上波での放送は、新日本プロレス、ノア、K―1につぐもの。時間は毎週火曜日・深夜2時35分からの30分枠。各大会の激闘はもちろん、企画モノ、過去の名勝負などもオンエアする予定だ。「プライド」出陣も決まりますます上り調子のパンクラス。今回の決定によって、さらに勢いが増すこと必至だ！

Cashing Info

グレート・アントニオ

誌上通販

fasting

NU SCIENCE

Tシャツ

(株)猪木事務所パーカー
(ネイビー／サイズM・L)

t-Shirts & CLOTHES

¥3,500(税別)　¥6,800(税別)　¥6,500(税別)

T-shirts & Clothes

●アントニオ猪木vsブルーザー・ブロディTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥4,500(税別)

●ジョニー・バレンタインTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●ボボ・ブラジルTシャツ
(ネイビー/サイズXS・S・M・L)
¥3,000(税別)

BACK　FRONT

ROCK STARS

●モハメド・アリTシャツ
(白・ネイビー有
サイズS・M・L)
¥4,800(税別)

※LONSDALE製、サイズはワンサイズ大きめです。

●ブルーザー・ブロディTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●フリッツ・フォン・エリックTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

●ザ・シークTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥3,800(税別)

hobby

●桜庭和志ぬいぐるみ(サクモン)
※ソフトビニール製、化粧箱入り
¥1,600(税別)

●マスクド・サクモン
(マスク取り外し可能、
オープンフィンガーグローブつき)
¥2,200(税別)

●ボボ・ブラジル
スポーツバッグ
(ネイビー)
¥5,800(税別)

ROCK STARS

ご注文方法

ご注文は電話受付のみです

「グレート・アントニオ」通販専用NAVIダイヤル
☎ 0570-007800 ※携帯電話からは掛かりません。
☎ 03-3295-4450 ※携帯電話でも掛かります。
[受付曜日・時間] 月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円(ゆうパック)、代引手数料約250円(いずれも地域によって異なります)がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で(株)ジャンボ(大阪)より郵送いたします。(ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください)

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。(期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます)
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

http://www.great-antonio.jp

ACCESS MAP

◎神保町駅(半蔵門線/都営新宿線/都営三田線)より徒歩5分
◎小川町駅(都営新宿線)より徒歩5分
◎淡路町駅(丸ノ内線)より徒歩6分
◎竹橋駅(東西線)より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00(月曜定休)
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

たっつぁあん万座ビーチ

花粉症に負けるな！ ネバーギブアップ!!

読者プレゼント

フジテレビ映像企画提供

DVDと迫力あるホームシアター再生が手軽に楽しめるスピーカーをセットで！

DVD『K-1 WORLD GRAND PRIX 2001 in東京ドーム決勝戦』と特典映像サウンド用スピーカー

1名様

※DVDは税抜価格¥3,800。迷彩柄スピーカー「beat shock」は税抜価格¥16,800。オプショナル・サブウーファー「beat force」は税抜価格¥8,800。DVDのお問い合わせは、ポニーキャニオン☎0120-737-533。スピーカー「beat shock」と「beat force」は、量販店デジキューブ通販にて販売中

ダブルクロス提供

グレート・アントニオでも人気の「U」Tシャツ！

田村潔司「U」Tシャツ
（カラー／白・ネイビー、サイズ／S・M・L）

※この商品に関するお問い合わせは、ダブルクロス☎03-3403-5188まで。グレート・アントニオでも販売中！

イーフォース・ジャパン提供

『プライド19』でのエンセン井上着用モデルが発売！

死んでも大和魂Tシャツ英語バージョン
（サイズ／M・L・XL）

死んでも大和魂Tシャツ日本語バージョン
（サイズ／M・L・XL）

PBスリーアTシャツ
（サイズ／S・M・L・XL）

※すべて定価¥4,000。これらの商品に関するお問い合わせは、イーフォース・ジャパン☎047-378-6403、またはhttp://www.e-force.co.jpまで

K-NETWORK提供

次回『一撃』にも期待！

1・11「一撃」限定Tシャツ 2名様

FRONT　BACK

K-NETWORKオフィシャルTシャツ 2名様

FRONT　BACK

K-NETWORK公認Tシャツ 各1名様

応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、

1. 郵便番号・住所・電話番号
2. お名前
3. 年齢・ご職業
4. 希望プレゼント名
5. 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
6. 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
7. 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『たっつぁあん万座ビーチ⑲』係まで

締め切り…2002年4月4日（木）当日消印有効。

本誌編集部提供

WWF『スマックダウンツアー・ジャパン』パンフレット

ブロードバンド動画放送

2002年PRIDE完全配信決定!!

http://www.e-goraku.tv

2002年PRIDE各大会の試合映像はもとより、年間を通じ舞台裏・選手を完全密着取材。試合会場やテレビ中継だけでは飽き足らないPRIDEマニア必見の映像配信です。闘いの真実,選手の生の声をダイレクトにお伝えするPRIDEファン必見のドキュメンタリー映像にご期待ください!!

NAVIGATION：永島敏行

PRIDE.19 2.24 さいたまスーパーアリーナ大会

エンセンの熱き血潮、シウバの咆哮。

その時エンセン井上は何を伝えたかったのか？自らの闘いのオトシマエ、家族の絆....そして「大和魂」の真実は！あの時、シウバは田村戦の向こうに何を見ていたのか？大会の白熱した試合模様はもちろんのこと、選手の心の叫びを熱くお伝えします。

映像配信／iTV2002プロジェクト事務局　製作／株式会社フォーブリック　後援／株式会社ドリームステージエンターテインメント　協力／株式会社フジテレビジョン

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成14年3月28日発行　第4巻・7号・通巻66号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

雑誌21584-3/28　T1121584030685　Printed in Japan